

Y a m e
八女市内遺跡群 1 0

福岡県八女市酒井田所在 宮ノ前遺跡発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第117集

2017

八女市教育委員会

Y a m e
八女市内遺跡群 1 0

福岡県八女市酒井田所在 宮ノ前遺跡発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第117集

2017

八女市教育委員会

序

八女市の西南部において昭和50年代後半から始まった八女南部圃場整備事業を発端として、福岡県教育委員会・八女市教育委員会で実施した発掘調査では、弥生時代から中世にかけての多くの集落跡等の発掘調査が実施され、多くの埋蔵文化財が発見されています。

今回の報告は、その八女南部第2圃場整備事業に伴い、平成3年度に行われた発掘調査のうち、八女市酒井田所在の宮ノ前遺跡発掘調査に関し、報告するものです。

宮ノ前遺跡発掘調査では、弥生時代中期から古墳時代前期にかけての集落跡や、弥生時代中期の甕棺墓地等が発見されました。また、古墳時代前期の土器では佐賀平野などの周辺地域から持ち込まれたと思われる土器等も確認され、弥生時代の八女地方と周辺地域の交流等を考える上で重要な発見がありました。その他、1万年以上前の旧石器時代の可能性がある石器も1点ではありますが発見され、この酒井田の地での人々の長い期間の営みが垣間見られる発見もありました。

その他、八女市域で過去に実施された圃場整備事業では、多くの遺跡の発掘調査がなされており、発掘調査からは長い月日が経ってしまいましたが、今後も順次、成果を発掘調査報告書として刊行し、成果を公表していく予定です。このたび発掘調査報告書を刊行するにあたり、本書が学術資料として活用されるのはもちろんのこと、文化財の保護や理解普及の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査や報告書作成にあたり、ご協力いただきました地元の方々、並びにご指導・ご助言いただきました方々に心より感謝の意を申し上げます。

併せて、今後も八女市の埋蔵文化財行政にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成29年3月31日

八女市教育委員会

教育長 西島 民生

目 次

本文目次

1 調査の経過	1
A 調査に至る経緯	1
B 調査体制	1
2 調査地の位置と環境	1
3 調査の成果	2
A 発掘調査の概要	2
B 宮ノ前遺跡の発掘調査成果	2
C 出土遺構と出土遺物	5
竪穴建物跡 (S B)	5
土坑 (SK)	91
溝状遺構 (SD)	92
竪棺墓 (K)	121
土坑墓・火葬場	100
4 宮ノ前遺跡発掘調査の総括	132

挿図目次

第 1 図 宮ノ前遺跡の位置	第 17 図 宮ノ前遺跡 SB10・65 実測図 (S=1/80)
第 2 図 宮ノ前遺跡の位置および周辺の遺跡	第 18 図 宮ノ前遺跡 SB11 出土遺物 (S=1/4)
第 3 図 宮ノ前遺跡調査区実測図 (S=1/600)	第 19 図 宮ノ前遺跡 SB12 出土遺物 (S=1/4)
第 4 図 宮ノ前遺跡 SB01 実測図 (S=1/80)	第 20 図 宮ノ前遺跡 SB13～18・SK29 実測図 (S=1/80)
第 5 図 宮ノ前遺跡 SB02 実測図 (S=1/80)	第 21 図 宮ノ前遺跡 SB13 出土遺物 (S=1/4)
第 6 図 宮ノ前遺跡 SB03・04 実測図 (S=1/80)	第 22 図 宮ノ前遺跡 SB14 出土遺物 (S=1/4)
第 7 図 宮ノ前遺跡 SB01・02・03 出土遺物 (S=1/4)	第 23 図 宮ノ前遺跡 SB15・17・18 出土遺物 (S=1/4)
第 8 図 宮ノ前遺跡 SB04 出土遺物 (S=1/4)	第 24 図 宮ノ前遺跡 SB19 出土遺物 (S=1/4)
第 9 図 宮ノ前遺跡 SB05 実測図 (S=1/80)	第 25 図 宮ノ前遺跡 SB19・20・SK21 実測図 (S=1/80)
第 10 図 宮ノ前遺跡 SB06 実測図 (S=1/80)	第 26 図 宮ノ前遺跡 SB21 実測図 (S=1/80)
第 11 図 宮ノ前遺跡 SB07・SX01 実測図 (S=1/80)	第 27 図 宮ノ前遺跡 SB22・SK24 実測図 (S=1/80)
第 12 図 宮ノ前遺跡 SB05 出土遺物 (S=1/4)	第 28 図 宮ノ前遺跡 SB23 実測図 (S=1/80)
第 13 図 宮ノ前遺跡 SB06 出土遺物 (S=1/4)	第 29 図 宮ノ前遺跡 SB21・22・23 出土遺物 (S=1/4)
第 14 図 宮ノ前遺跡 SB08・09・SK104 実測図 (S=1/80)	第 30 図 宮ノ前遺跡 SB24 実測図 (S=1/80)
第 15 図 宮ノ前遺跡 SB08・09・10 出土遺物 (S=1/4)	第 31 図 宮ノ前遺跡 SB25・27・SK28・30・36 実測図 (S=1/80)
第 16 図 宮ノ前遺跡 SB11・12 実測図 (S=1/80)	

- 第32図 宮ノ前遺跡 SB24 出土遺物 (S=1/4)
- 第33図 宮ノ前遺跡 SB25・26 出土遺物 (S=1/4)
- 第34図 宮ノ前遺跡 SB27・28・29 出土遺物 (S=1/4)
- 第35図 宮ノ前遺跡 SB28・34 実測図 (S=1/80)
- 第36図 宮ノ前遺跡 SB29・SK31 実測図 (S=1/80)
- 第37図 宮ノ前遺跡 SB31・32・33・SK31・33・35・SD02 実測図 (S=1/80)
- 第38図 宮ノ前遺跡 SB31・32 出土遺物 (S=1/4)
- 第39図 宮ノ前遺跡 SB39・SK70 実測図 (S=1/80)
- 第40図 宮ノ前遺跡 SB40・SK90 実測図 (S=1/80)
- 第41図 宮ノ前遺跡 SB39・40 出土遺物 (S=1/4)
- 第42図 宮ノ前遺跡 SB40・41・42 出土遺物 (S=1/4)
- 第43図 宮ノ前遺跡 SB41・42・44・SK69 実測図 (S=1/80)
- 第44図 宮ノ前遺跡 SB44 実測図 (S=1/80)
- 第45図 宮ノ前遺跡 SB43・44 出土遺物 (S=1/4)
- 第46図 宮ノ前遺跡 SB45 実測図 (S=1/80)
- 第47図 宮ノ前遺跡 SB46・SD07 実測図 (S=1/80)
- 第48図 宮ノ前遺跡 SB45・46 出土遺物 (S=1/4)
- 第49図 宮ノ前遺跡 SB47・48 実測図 (S=1/80)
- 第50図 宮ノ前遺跡 SB48・49 出土遺物 (S=1/4)
- 第51図 宮ノ前遺跡 SB49 実測図 (S=1/80)
- 第52図 宮ノ前遺跡 SB50 実測図 (S=1/80)
- 第53図 宮ノ前遺跡 SB51・SX04 実測図 (S=1/80)
- 第54図 宮ノ前遺跡 SB51・54 出土遺物 (S=1/4)
- 第55図 宮ノ前遺跡 SB54 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第56図 宮ノ前遺跡 SB52・53・SX04 実測図 (S=1/80)
- 第57図 宮ノ前遺跡 SB53 出土遺物 1 (S=1/4)
- 第58図 宮ノ前遺跡 SB53 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第59図 宮ノ前遺跡 SB53 出土遺物 3 (S=1/4)
- 第60図 宮ノ前遺跡 SB55・60・SK124 実測図 (S=1/80)
- 第61図 宮ノ前遺跡 SB56 実測図 (S=1/80)
- 第62図 宮ノ前遺跡 SB56・60・61 出土遺物 (S=1/4)
- 第63図 宮ノ前遺跡 SB61 実測図 (S=1/80)
- 第64図 宮ノ前遺跡 SB62・63・SX06 実測図 (S=1/80)
- 第65図 宮ノ前遺跡 SB62・64 出土遺物 (S=1/4)
- 第66図 宮ノ前遺跡 SB64・SK101・102 実測図 (S=1/80)
- 第67図 宮ノ前遺跡 SB66・SK165・166 実測図 (S=1/80)
- 第68図 宮ノ前遺跡 SB65・66 出土遺物 (S=1/4)
- 第69図 宮ノ前遺跡 SB67・68・SK138・139 実測図 (S=1/80)
- 第70図 宮ノ前遺跡 SB67 出土遺物 1 (S=1/4)
- 第71図 宮ノ前遺跡 SB67 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第72図 宮ノ前遺跡 SB68 出土遺物 1 (S=1/4)
- 第73図 宮ノ前遺跡 SB68 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第74図 宮ノ前遺跡 SB69・77・78・SK141 実測図 (S=1/80)
- 第75図 宮ノ前遺跡 SB69 出土遺物 (S=1/4)
- 第76図 宮ノ前遺跡 SB70 実測図 (S=1/80)
- 第77図 宮ノ前遺跡 SB70 出土遺物 1 (S=1/4)
- 第78図 宮ノ前遺跡 SB70 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第79図 宮ノ前遺跡 SB70 出土遺物 3 (S=1/4)
- 第80図 宮ノ前遺跡 SB71・74 実測図 (S=1/80)
- 第81図 宮ノ前遺跡 SB71 出土遺物 (S=1/4)
- 第82図 宮ノ前遺跡 SB72・73 実測図 (S=1/80)
- 第83図 宮ノ前遺跡 SB72・73 出土遺物 (S=1/4)
- 第84図 宮ノ前遺跡 SB76 実測図 (S=1/80)
- 第85図 宮ノ前遺跡 SB79・80 実測図 (S=1/80)
- 第86図 宮ノ前遺跡 SB74・76・77・78・79・80 出土遺物 (S=1/4)
- 第87図 宮ノ前遺跡 SB81・SK160 実測図 (S=1/80)
- 第88図 宮ノ前遺跡 SB82 実測図 (S=1/80)
- 第89図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 1 (S=1/4)
- 第90図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第91図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 3 (S=1/4)
- 第92図 宮ノ前遺跡 SB82 出土遺物 1 (S=1/4)
- 第93図 宮ノ前遺跡 SB82 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第94図 宮ノ前遺跡 SB83 実測図 (S=1/80)
- 第95図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 4 (S=1/8)
- 第96図 宮ノ前遺跡 SB84 実測図 (S=1/80)
- 第97図 宮ノ前遺跡 SB83・84 出土遺物 (S=1/4)
- 第98図 宮ノ前遺跡 SB84 出土遺物 (S=1/4)
- 第99図 宮ノ前遺跡 SB85・86・94・SK182 実測図 (S=1/80)
- 第100図 宮ノ前遺跡 SB85 出土遺物 1 (S=1/4)
- 第101図 宮ノ前遺跡 SB85 出土遺物 2 (S=1/4)
- 第102図 宮ノ前遺跡 SB87 実測図 (S=1/80)
- 第103図 宮ノ前遺跡 SB88・89・90・SK175・176 実測図 (S=1/80)
- 第104図 宮ノ前遺跡 SB86・88 出土遺物 (S=1/4)
- 第105図 宮ノ前遺跡 SB88・89・90・91 出土遺物 (S=1/4)

- 第106図 宮ノ前遺跡SB91・SK186実測図 (S=1/80)
- 第107図 宮ノ前遺跡SB93・SK184・185実測図 (S=1/80)
- 第108図 宮ノ前遺跡SB92・96実測図 (S=1/80)
- 第109図 宮ノ前遺跡SB92・100・96出土遺物 (S=1/4)
- 第110図 宮ノ前遺跡SB93出土遺物1 (S=1/4)
- 第111図 宮ノ前遺跡SB93出土遺物2 (S=1/4)
- 第112図 宮ノ前遺跡SB94・95出土遺物 (S=1/4)
- 第113図 宮ノ前遺跡SB95実測図 (S=1/80)
- 第114図 宮ノ前遺跡SB97実測図 (S=1/80)
- 第115図 宮ノ前遺跡SB98実測図 (S=1/80)
- 第116図 宮ノ前遺跡SB99・SX09実測図 (S=1/80)
- 第117図 宮ノ前遺跡SB97・98・99・100出土遺物 (S=1/4)
- 第118図 宮ノ前遺跡主要SK実測図 (S=1/40)
- 第119図 宮ノ前遺跡SK出土遺物1 (S=1/4)
- 第120図 宮ノ前遺跡SK出土遺物2 (S=1/4)
- 第121図 宮ノ前遺跡SK出土遺物3 (S=1/4)
- 第122図 宮ノ前遺跡SK出土遺物4 (S=1/4)
- 第123図 宮ノ前遺跡SK出土遺物5 (S=1/4)
- 第124図 宮ノ前遺跡SK出土遺物6 (S=1/4)
- 第125図 宮ノ前遺跡SK出土遺物7 (S=1/4)
- 第126図 宮ノ前遺跡SK出土遺物8 (S=1/4)
- 第127図 宮ノ前遺跡SK出土遺物9 (S=1/4)
- 第128図 宮ノ前遺跡SK出土遺物10 (S=1/4)
- 第129図 宮ノ前遺跡SK出土遺物11 (S=1/4)
- 第130図 宮ノ前遺跡SK出土遺物12 (S=1/4)
- 第131図 宮ノ前遺跡SK出土遺物13 (S=1/4)
- 第132図 宮ノ前遺跡SK出土遺物14 (S=1/4)
- 第133図 宮ノ前遺跡SK出土遺物15 (S=1/4)
- 第134図 宮ノ前遺跡SK出土遺物16 (S=1/4)
- 第135図 宮ノ前遺跡SK出土遺物17 (S=1/4)
- 第136図 宮ノ前遺跡SK出土遺物18 (S=1/4)
- 第137図 宮ノ前遺跡SK出土遺物19 (S=1/4)
- 第138図 宮ノ前遺跡SK出土遺物20 (S=1/4)
- 第139図 宮ノ前遺跡SK出土遺物21 (S=1/4)
- 第140図 宮ノ前遺跡SB121・ピット出土遺物 (S=1/4)
- 第141図 宮ノ前遺跡SX805実測図 (S=1/80)
- 第142図 宮ノ前遺跡SX807実測図 (S=1/80)
- 第143図 宮ノ前遺跡SX08実測図 (S=1/80)
- 第144図 宮ノ前遺跡SX10・SK117実測図 (S=1/80)
- 第145図 宮ノ前遺跡SD・SX出土遺物 (S=1/4)
- 第146図 宮ノ前遺跡SX・表土・不明出土遺物 (S=1/4)
- 第147図 宮ノ前遺跡SK出土遺物22 (S=1/4)
- 第148図 宮ノ前遺跡SK出土遺物23 (S=1/4)
- 第149図 宮ノ前遺跡K-1実測図 (S=1/20)
- 第150図 宮ノ前遺跡K-2実測図 (S=1/20)
- 第151図 宮ノ前遺跡K-1・3甕棺 (S=1/8)
- 第152図 宮ノ前遺跡K-4・5実測図 (S=1/20)
- 第153図 宮ノ前遺跡K-6実測図 (S=1/20)
- 第154図 宮ノ前遺跡K-4・5・6甕棺 (S=1/8)
- 第155図 宮ノ前遺跡K-7実測図 (S=1/20)
- 第156図 宮ノ前遺跡K-8実測図 (S=1/20)
- 第157図 宮ノ前遺跡K-7・8甕棺 (S=1/8)
- 第158図 宮ノ前遺跡K-9実測図 (S=1/20)
- 第159図 宮ノ前遺跡K-10実測図 (S=1/20)
- 第160図 宮ノ前遺跡K-9・10甕棺 (S=1/8)
- 第161図 宮ノ前遺跡11号墓実測図 (S=1/20)
- 第162図 宮ノ前遺跡12号墓実測図 (S=1/20)
- 第163図 宮ノ前遺跡13号墓実測図 (S=1/20)
- 第164図 補:宮ノ前遺跡SB94火葬墓 (S=1/20)
- 第165図 補:宮ノ前遺跡SB14内投弾出土状況 (S=1/10)

表目次

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表

第2表 宮ノ前遺跡出土石器観察表

図版目次

図版 1 宮ノ前遺跡1

図版 2 宮ノ前遺跡2

図版 3 宮ノ前遺跡3

図版 4 宮ノ前遺跡4

図版 5 宮ノ前遺跡5

図版 6 宮ノ前遺跡6

図版 7 宮ノ前遺跡7

例 言

- ・本書は八女市が国・県に補助を受けて実施した、八女市南部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査の報告書である。本報告ではそのうち、平成2年度に実施した、八女市酒井田所在の宮ノ前遺跡の発掘調査について報告する。
- ・本報告の発掘調査は八女市教育委員会が実施した。
- ・本書の遺構実測図で使用する方位は、磁北を基準とする。
- ・本書で使用了遺構実測図は、発掘調査実施時に現場担当者の指揮のもと、発掘調査参加者で作成している。なお、本報告書の一部の図面で、平成27年度本報告時に理解補助のため破線等を加筆追加した箇所がある。
- ・本書掲載の遺物実測図は、岩戸山歴史資料館（当時）で平成9～10年度に作成したものを、平成27年度の本報告作成時に再検討し、必要な個所に加筆等修正を加えて作成した。また、一部の未実測であった遺物も、調査担当者が選別している状態で、かつ、遺跡の理解のために必要と思われるものについては、追加で実測図作成を行い掲載した。
- ・本書の編集は、八女市教育委員会を事業主体として、八女市役所新社会推進部文化振興課文化財保護係の檀佳克が行なった。なお、宮ノ前遺跡の現地調査時の所見は、過去に概報等の刊行もないことから、調査当時の現地説明会資料等を参考としつつ、一部不明な点について調査担当者よりご教示を得て執筆した。
- ・発掘調査時の現場図面・写真等の記録類および出土品等は八女市教育委員会で保管している。本報告書では諸般の事情により遺物写真等の掲載は叶わなかったが、閲覧に資する形での整理・保管を心かけている。有効な活用を望む。

1 調査の経過

A 調査に至る経緯

昭和 57 年度を初年度として八女南部地区では農地約 209ha を対象に、毎年 20ha 程度の圃場整備事業が実施された（八女南部地区県営圃場整備事業）。平成元年度には国武・緒玉地区が事業地となり、事業地内の一部で埋蔵文化財の包蔵が推測された。これを受けて、八女市教育委員会と八女南部土地改良区で協議を行い、八女市教育委員会による事前調査により、遺跡の範囲は広大に及ぶことが判明した。

そこで、圃場整備により削平を免れる箇所については遺跡保護の観点から現状保存とし、圃場整備により削平を受ける箇所に関しては、遺跡の記録保存を目的に発掘調査が実施された。

なお、発掘調査は国庫補助事業として実施されている。



第1図 宮ノ前遺跡の位置

B 調査体制

【平成2年度】（現地調査時）

（調査主体） 八女市教育委員会

教育長 坂田 不二夫

社会教育課長 小野 勝輝

同 課長補佐 大月 重信

同 社会教育係長 下川 文比古

同 係員 梅野 満

同 係員 井手 勇一

同 係員 平嶋 芳子

同 係員 赤崎 敏男（調査担当）

同 嘱託 鹿田 昌宏（調査担当）

【平成28年度】（本報告刊行時）

（調査主体） 八女市教育委員会 教育長 西島 民生

（調査統括） 八女市役所（新社会推進部 文化振興課 文化財保護係）

新社会推進部 部長 室園 哲也

文化振興課 課長 栗秋 克彦

文化財保護係 係長 中川 寿賀子

（事業統括・別冊報告担当）

同 係員 永田 寧（別冊報告担当）

同 係員 植 佳克（本報告担当）

同 係員 渡部 真弓

同 嘱託 多賀 晴司（別冊報告担当）

2 調査地の位置と環境（第1・2・3図）

本書で報告する宮ノ前遺跡は、昨年度に報告した二反田遺跡のすぐ南側に隣接して存在する。位置と環境に関しては、昨年度報告（八女市文化財調査報告書第113集『八女市内遺跡群9』二反田遺跡報告）とほぼ変わらないことから、詳細は上記文献の記載を参照されたい。

宮ノ前遺跡は旧八女市の西南部、三河小学校区に位置しており、八女市北側端の八女丘陵から旧八女

市南端の矢部川に向かって広がる平野の南端部に位置する。平成 27 年度現在の状況で場所を示すと、酒井田集落と緒玉集落の間に立地し、深田遺跡公園および酒井田団地の南側の水田が調査地である。

以下に、周辺遺跡を含めた調査地周辺の状況を述べる。

縄文時代後晩期では、当該地の南西約 700 m の地点に所在するアモメ遺跡で縄文時代集落が存在していることが判明している（詳細は平成 30 年度以降報告予定）。弥生時代前期では、宮ノ前遺跡の南西約 300 m で調査された宿町遺跡（『八女市内遺跡群 7』所収）で、弥生時代前期後半の集落跡が発見されている。

宮ノ前遺跡のすぐ北側には二反田遺跡・京田遺跡・深田遺跡が所在し、弥生時代から古代・中世にかけての同一微高地上に展開する集落跡と考えられる。

また、二反田遺跡の北西に隣接して野田遺跡があり、弥生時代後期の甕棺墓が多く発見され、鉛鈴の出土も知られる。また、当該地の西側約 2 km の茶ノ木ノ本遺跡では甕棺墓より、方格規矩鏡・鉄戈・細型銅剣・ガラス玉等が出土している。（平成 30 年度以降報告予定）。

以上のように、当該地周辺は、八女市内でも有数の大規模集落が形成されている地域のひとつである。

A 発掘調査の概要

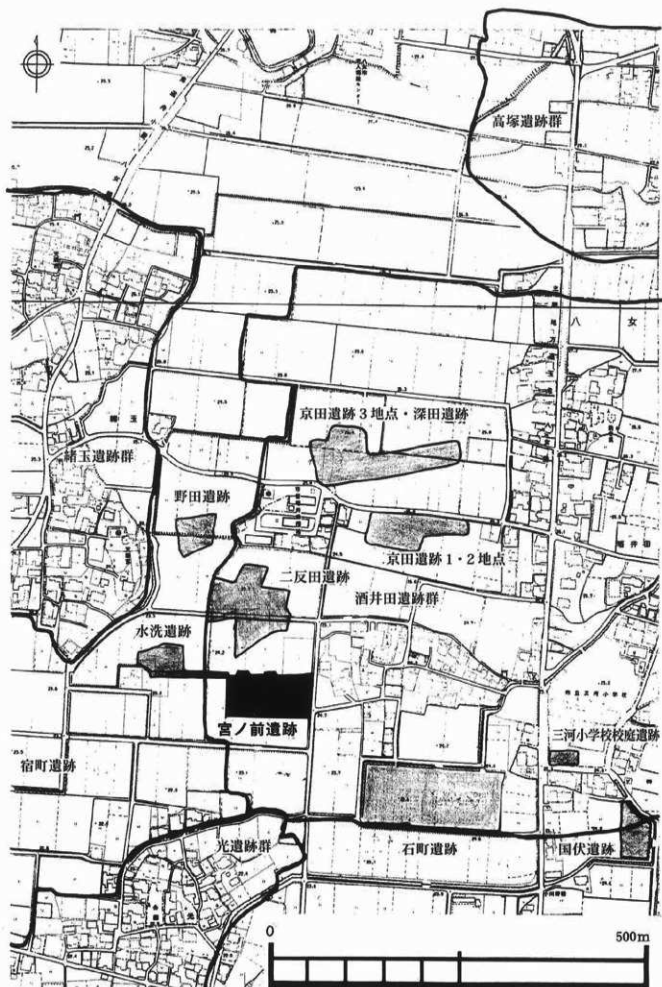
本書で報告する宮ノ前遺跡は、過去に概報等の刊行も行なわれていない。報告者が発掘調査者と異なるため、当時に関しては不明な点もあるが、発掘調査者により作成された現地説明会資料（平成 2 年 12 月 22 日に八女市教育委員会実施）も含めた調査時の記録類をもとに遺跡の概要を記す。

今回報告する宮ノ前遺跡は、八女市南西部の酒井田地区に位置し、小字名が遺跡名の由来である。発掘調査は八女市教育委員会により、平成 2 年 10 月中旬から平成 3 年 3 月にかけて、同一事業の圃場整備事業関連発掘調査と共に実施された。

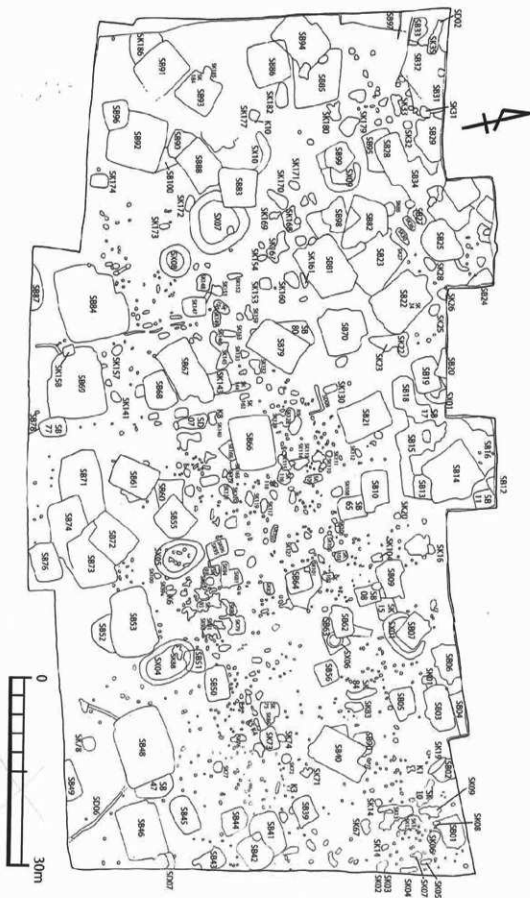
B 宮ノ前調査の発掘調査成果（第 4 図）

発掘調査では、弥生時代中期、弥生時代後期、古墳時代前期、古代、中世の遺構・遺物が多数発見されている。以下に、発掘調査で得られた遺構・遺物の詳細を記す。ただし、本報告では遺構数もさることながら、遺物数が図化可能なもののみでも 1,200 点以上と膨大であり、諸般の事情により紙幅も時間も限られていたため詳述を行うことは困難であった。このことから本報告では、検出された遺構および出土遺物に関し、図化掲載することを優先した。よって、以下の報告では、遺構は図に現れない特記事項を中心に紙幅の許す範囲内で記述する。また、出土遺物の詳細は観察表（第 1 表）を参照されたい。また編集の不手際で、遺構や遺物の図面が離れた記述になってしまった箇所もあるが、ご容赦いただきたい。

また、出土品および図面は八女市教育委員会にて保管しているので、有効な活用を望む。



第2図 宮ノ前遺跡の位置および周辺の遺跡



第3図 宮ノ前遺跡調査区実測図 (S=1/600)

C. 出土遺構と出土遺物

① 竪穴建物 (SB)

竪穴建物跡は、調査時の所見に依れば、100 棟が確認されている。ただし、残存状況によっては、建物跡の形状等が調査時の記録を検討してみても不明確なものもあり、建物であるかどうかははっきりしない平面形状のものも存在する。また、発掘調査時の諸事情により、土層図等の記録作成はなされていないため、平面図記載の実測記録で特に注記等がない箇所など、建物の前後関係が不明なものも存在する。また、本報告時においても十分な検討を重ねることも、諸般の事情により、時間的にかなわなかった。以上のことから、本報告では調査時の所見を重視し、建物跡 (SB)・土坑 (SK) 等に関しては調査時の命名のまま使用し報告する。

また、掘立柱建物についても、調査時図面では多数のピットが確認されており、隣接する遺跡の状況等を勘案しても数棟存在する可能性は高いが、調査時の所見の中では掘立柱建物は 1 棟も確認されていない。本報告においても十分な検討ができたとはいえず、この点は今後の課題として残ってしまった。よって、本報告では配置図に検出されたピットを第 3 図に示す。

また、遺物は調査者により一次整理および選別がなされており、出土遺物も膨大であったため、本報告では諸般の制約もあるため、その選別資料に関し調査者の意思と捉え、報告する。

なお、遺構番号は一部、北西に隣接する水洗遺跡 (『八女市内遺跡群 13』所収) と共につけられているため、宮ノ前遺跡のみでは一部番号に欠番が存在する。

では、以下に調査時検出の建物跡について、概要を記す。遺物の詳細は観察表を参照されたい。

SB01 (第 4・7 図)

調査区の北東端で発見された竪穴建物跡である。ややいびつな長方形の平面形で検出されている。主柱穴は明確ではないが、2 本主柱の可能性が高そうである。

遺物は甕・鉢が出土しており、弥生時代中期に属する。

SB02 (第 5・7 図)

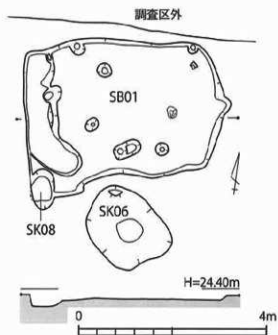
調査区の北東部で発見された。一部が調査区外に延びるためやや不明確な点もあるが、ややいびつな正方形に近い平面形と思われる。主柱穴は明確ではない。建物跡もしくは大型の土坑であるものと思われる。

遺物は弥生土器の甕および砥石が出土しており、弥生時代中期に属する。

SB03・SB04 (第 6・7・8 図)

調査区の北東側で発見された。SB03 は長方形の平面形と思われ、長辺の両側にベッド状遺構を有する。主柱穴は明確ではない。建物跡もしくは大型の土坑であるものと思われる。遺物は弥生土器の甕・器台が出土しており、弥生時代中期に属する。

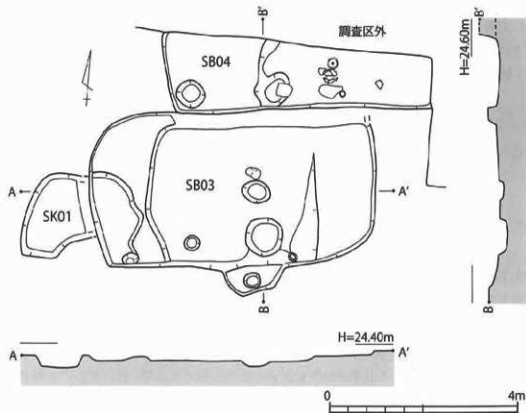
SB04 は、SB03 の北側に所在し、北半部は調査区外のため未掘であるが、長方形の平面形と思われる。遺構の南端部分で土器が固まって出土している。遺物は弥生土器の甕・壺・器台・高坏が出土しており、時期は弥生時代中期に属する。



第4図 宮ノ前遺跡 SB01 実測図
(S=1/80)

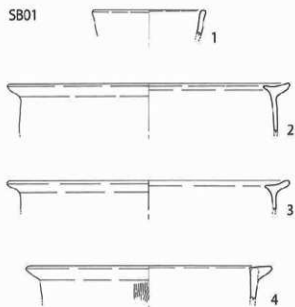


第5図 宮ノ前遺跡 SB02 実測図
(S=1/80)

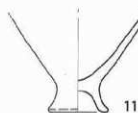
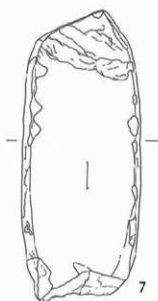


第6図 宮ノ前遺跡 SB03・04 実測図 (S=1/80)

SB01



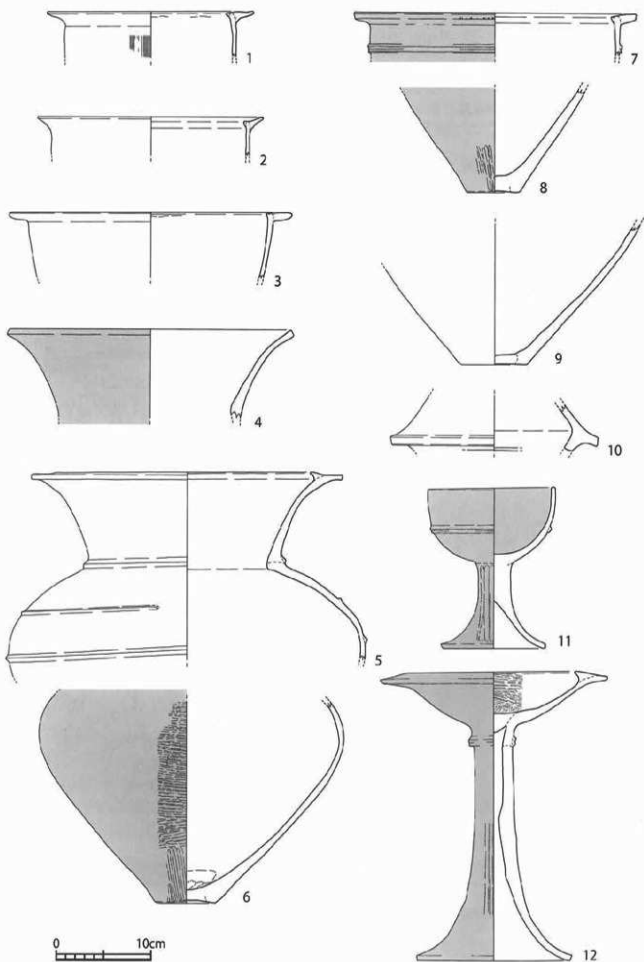
SB02



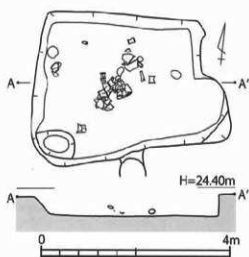
SB03



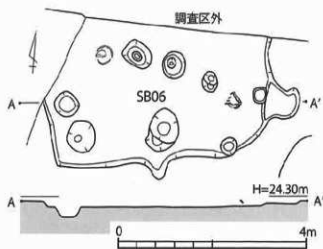
第7図 宮ノ前遺跡 SB01・02・03 出土遺物 (S=1/4)



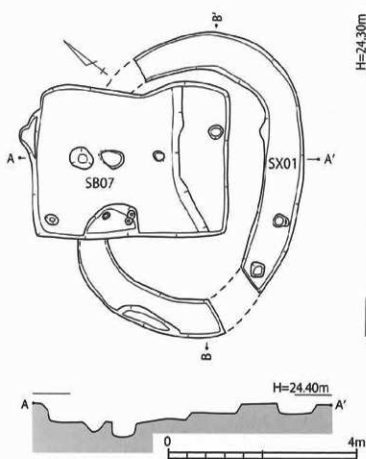
第8図 宮ノ前遺跡 SB04 出土遺物 (S=1/4)



第9図 宮ノ前遺跡 SB05 実測図
(S=1/80)



第10図 宮ノ前遺跡 SB06 実測図 (S=1/80)



第11図 宮ノ前遺跡 SB07・SX01 実測図 (S=1/80)

SB07 (第11・18図)

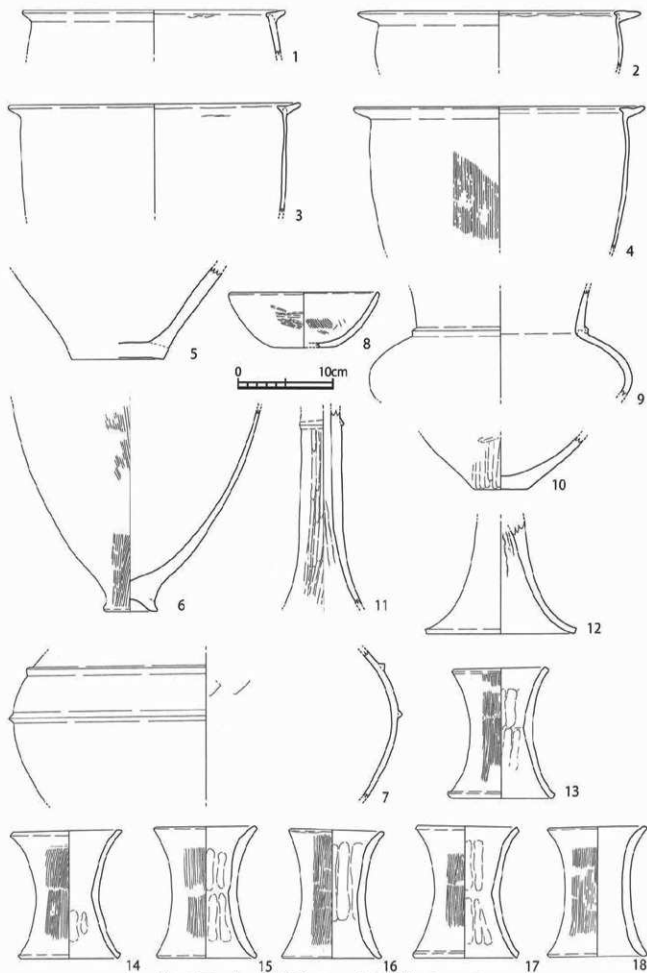
調査区の北側で発見された。建物跡は北西—南東方向に長軸をもつ長方形の平面形である。SX01 周溝状遺構と重なる。ほぼ長方形に近い平面形で、北東にはベッド状遺構を有する可能性がある。主柱穴は明確ではない。図化できる遺物は無い。

SB05 (第9・12図)

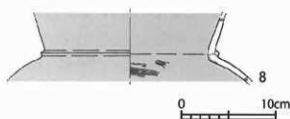
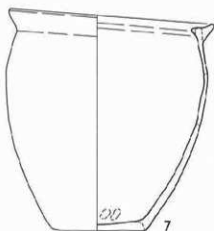
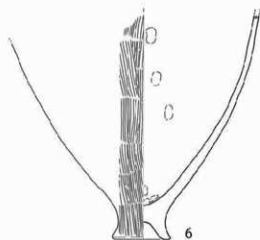
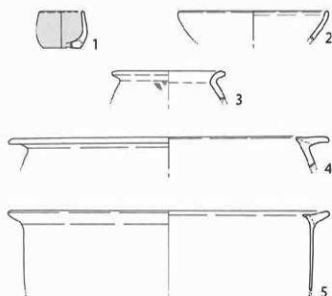
調査区の北東側で発見された。ほぼ正方形に近い平面形であり、北東にはベッド状遺構を有する可能性がある。主柱穴は明確ではない。遺物は遺構中心部を中心にまとまって出土しており残存状況も器台などは完形で良好である。弥生土器の甕・壺・鉢・高環・器台が出土しており、弥生時代中期に属する。

SB06 (第10・13図)

調査区の北東側で発見された。建物跡の北部分は調査区外に延び、未掘である。ほぼ長方形に近い平面形であり、北東にはベッド状遺構を有する可能性がある。主柱穴は明確ではない。遺物は弥生土器の甕・壺・鉢・高環・器台が出土しており、弥生時代中期に属する。



第 12 図 宮ノ前遺跡 SB05 出土遺物 (S=1/4)



SB08・SB09 (第14・15図)

調査区の北側中央やや東寄りで発見された。SB08は南北に長軸をもつ小型の長方形、SB09は北西部分がやや膨らむ（この部分は別遺構か）が、ややいびつな長方形の平面形である。SB08は支柱穴は不明瞭であるが、SB09は中央に炉を持つ2本支柱であるものと思われる。

遺物はSB08からは弥生時代の甕1点、SB09からは弥生土器の甕・高杯や、石英片岩製の砥石が出土している。SB08・SB09ともに出土遺物から、弥生時代中期に属すると思われる。

SB10 (第15・16図)

調査区の北側中央で発見された。南側がSB65と重なっている

SB10は東西に長軸をもつ長方形の平面形、ほぼ長方形に近い平面形であり、北東にはベッド状遺構を有する可能性がある。支柱穴は明確ではない。遺物は弥生土器の甕・壺・鉢や砥石・石包丁等の石器が出土しており、弥生時代中期に属する。

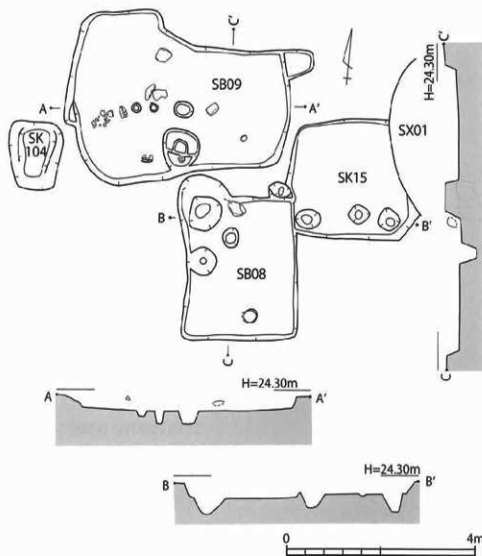
SB11・SB12 (第17・18図)

調査区の北端中央で発見された建物跡で、北側や西側は調査区外に延びることや、土坑等が多く重なっているため、SB11・SB12ともに平面形はやや不明瞭である。遺物は弥生土器の甕1点出土しており、弥生時代中期に属する。

SB13・14・15・16・17・18 (第20～23図)

調査区の北側中央やや東寄りで発見された。重なり合っており、調査時図面でも平面形の詳細が明確ではないため、調査図面の記載のとおり第20図に示した。それぞれ、平面形は不明瞭ではあるものの、方形の建物跡のようであるが、支柱穴数や炉の有無は不明

第13図 宮ノ前遺跡SB06出土遺物 (S=1/4)



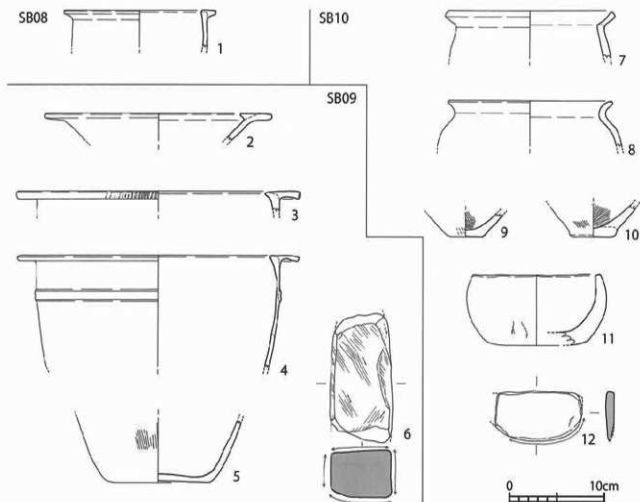
第 14 図 宮ノ前遺跡 SB08・09・SK104 実測図 (S=1/80)

確である。

遺物は SB13 からは覆土中より弥生時代中期～後期に属する土器の他、土製の投弾が出土し（第 21 図）、SB14 から弥生時代中期の土器・石包丁の他、建物南西隅にある土坑の中から土製投弾が 39 点出土しており、この土坑は別遺構の可能性もある（第 22・164 図）。土製投弾には長辺先端の片方に浅い溝状のくぼみが確認されるものが大多数であるが、何か用途があってつけられたものであるのか、子の投弾の製作者の製作上のくせ等であるのかは、観察では明確に把握できなかった。SB15 からは弥生時代中期の土器が出土している他、成人甕棺片と思われる大型の甕の破片も出土している。SB16 は図化できる遺物は確認されなかった。SB17 では弥生時代中期の甕が出土しており、SB18 からは混入と思われる縄文時代後期に属すると思われる土器片が 1 片出土している（第 23 図）。

SB19・SB20（第 24・25 図）

調査区の北端中央で発見された竪穴建物跡である。SB19 は SB20 に切られており、SB20 は北側が調査区外に延びるため、平面形は明確ではない。遺物は SB19 から弥生時代後期に属する甕 1 点のみが図化できた（第 24 図）。SB20 ～は図化可能な遺物は確認できなかった。



第 15 図 宮ノ前遺跡 SB08・09・10 出土遺物 (S=1/4)

SB21 (第 26・29 図)

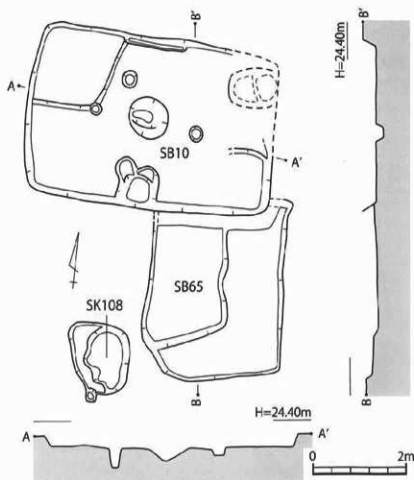
調査区の北側調査区中央、SB18 の南側で発見された。南北方向に長軸をもつ長方形の平面形である。中央に土坑があり、主柱穴は不明確であるが、調査で発見されているピットからは 4 本主柱の可能性がある。遺物は弥生時代後期の甕・鉢が出土している。

SB22 (第 27・29 図)

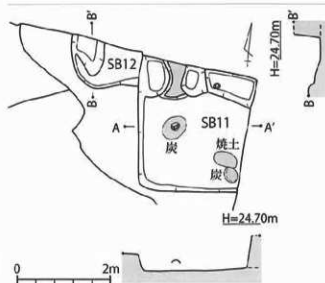
調査区の北側中央やや西寄りで発見された。西側で SB23 を切っている。南西―北東方向に長軸をもつ長方形の平面形であり、北東端にベッド状遺構風の高まりを持つ。内部に土坑等も多く、多数遺構が切り合っている可能性も高いが、主柱穴や火処は調査時記録からは明確ではない。遺物は弥生時代中期の甕・壺・鉢・砥石等の土器 (29 図 3～7) や砥石等の石器 (29 図 13・14)、および古墳時代前期の古式土師器 (29 図 8～12) が出土している。

SB23 (第 28・29 図)

調査区の北側中央やや東寄り、SB22 の西隣で発見された。東側で SB22 に切られており、西側で SB82 と重なっている。調査時の記録からは図面に記載のない箇所もあり、遺構内部の詳細は不明な箇所も多い。遺物は弥生土器の甕・鉢・脚部が出土しており、弥生時代中期に属すると思われる。



第16図 宮ノ前遺跡 SB11・12 実測図 (S=1/80)



第17図 宮ノ前遺跡 SB10・65 実測図 (S=1/80)

SB24 (第30・32図)

調査区の北端で発見された。建物跡の北部分は調査区外に延び、未掘であるため、平面形や主柱穴等は不明な点も多い。遺物は掘削箇所内でまとまって出土しており、古代の土師器・須恵器が出土していることから、古代(9世紀か)の竪穴建物跡もしくは大型の土坑と思われる。

SB25・27 (第31・33・34図)

調査区の北側やや西寄りで重なり合って発見されたが、SB25とSB27の前後関係は調査記録からは不明確である。土坑等も多く重なって折り、火処や主柱穴は明確ではない。遺物はSB25・SB27共に弥生時代中期～後期の土器が出土している。

SB28・34 (第34・35図)

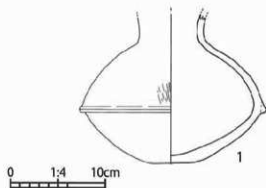
調査区の北側中央やや西寄りで見つかった。SB34の西側に前述のSB27が重なるが、調査記録からは前後関係は不明確である。SB28はSB95を切っている。共に長方形の平面形であるが、SB28とSB34の前後関係も不明である。遺物はSB28より弥生時代中期の甕が出土している。SB34からは図化可能な遺物は確認されなかった。

SB29 (第34・36図)

調査区の北西側やや東寄りで発見された。建物跡の北部分は調査区外に延び、未掘である。ややいびつな平面形であるが、周囲にベッド状遺構を有する方形であると思われる。火処や主柱穴は明確ではない。遺物は北側の落ち込み部分からまとまって出土しており、古墳時代前期の古式土師器が出土している。

SB31・32・33 (第37・38図)

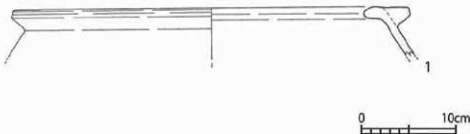
調査区の北西端で発見された。やや平面図記載に不足部分もあり、詳細不明な箇所もある。建物跡の北部分は調査区外に延び、未掘である。それぞれ方形の平面形である。火処や主柱穴は明確ではないが、SB32は周王に炉を持つ正方形4本主柱の平面形であると思われる。遺物はSB31からは弥生時代中期の土器、SB32からは建物跡の中央付近から古墳時代前期の古式土師器が出土している。SB33は図化可能な土器は確認できなかった。



第18図 宮ノ前遺跡SB11出土遺物 (S=1/4)

SB39 (第39・41図)

調査区東端部で発見された。やや小型の長方形に近い平面形であり、火処や主柱穴は明確ではない。遺物は弥生時代中期の甕・高坏および砥石が出土している。



第19図 宮ノ前遺跡SB12出土遺物 (S=1/4)

SB40 (第40～42図)

調査区の北東部で発見された。南西―北東方向に長軸をもつ長方形の平面形である。中央に炉を持つ2本主柱の建物跡であり、長軸の両端にベッド状遺構を有する。遺物一部弥生時代後期の土器(42図1～4)があるが、ほとんどは弥生時代中期の土器である。また、石器の未製品(41図21・22)も出土しており、石器製作がなされた可能性も考えられる。

SB41・42・44 (第42・43・45図)

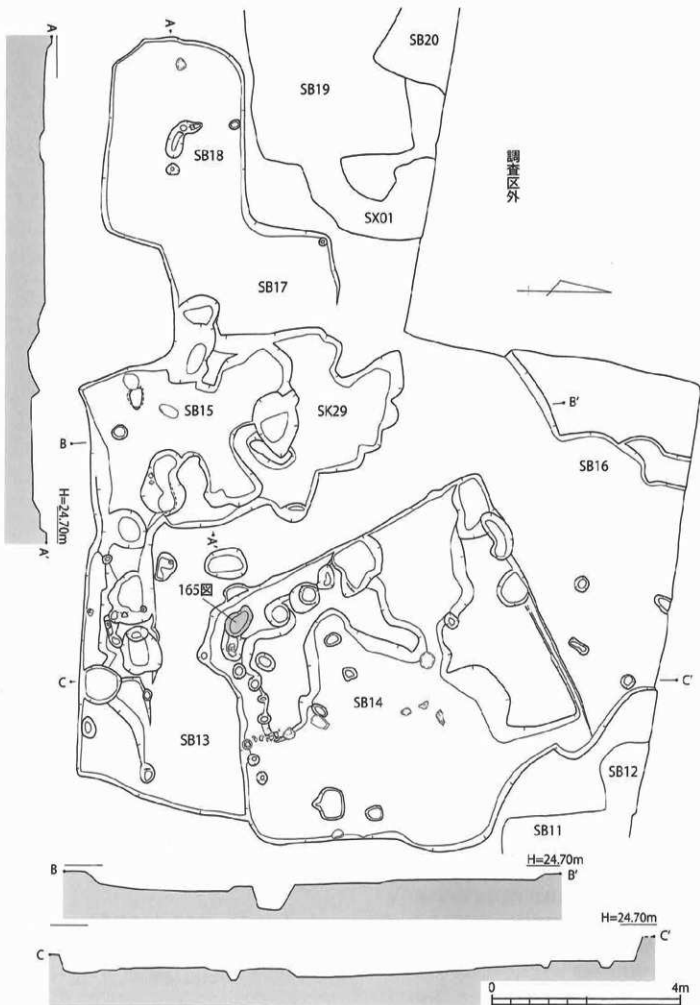
調査区の北側中央やや東寄りで発見された。調査記録によれば、SB42がSB41を切っている。SB41は中央に炉を持つが主柱穴は不明瞭な長方形の平面形、SB42は中央に炉を持つようであるが主柱穴は不明瞭な長方形の平面形、SB44はやや正方形に近い方形の平面形であるが火処や主柱穴は不明瞭である。遺物はSB41・SB42・SB44それぞれからは、弥生時代中期の土器および砥石等の石器が出土している。

SB43 (第44・45図)

調査区東端で発見された。建物跡の一部は調査区外に延び未掘である。南北方向に長軸をもつ、小型長方形の平面形である。火処や主柱穴は明確ではない。遺物は弥生時代中期の土器が出土している。

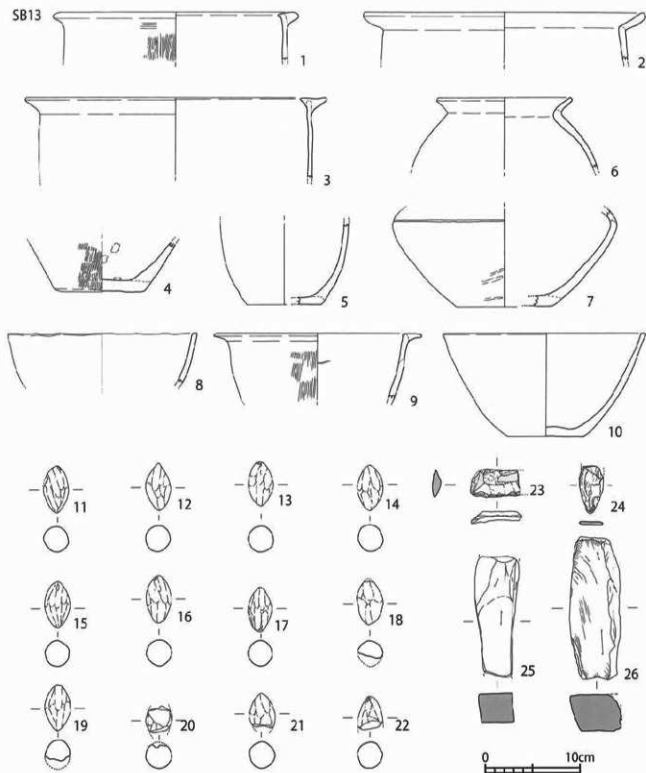
SB45 (第46・48図)

調査区の南東で発見された。東西方向に長軸をもつほぼ長方形に近い平面形である。火処や主柱穴は

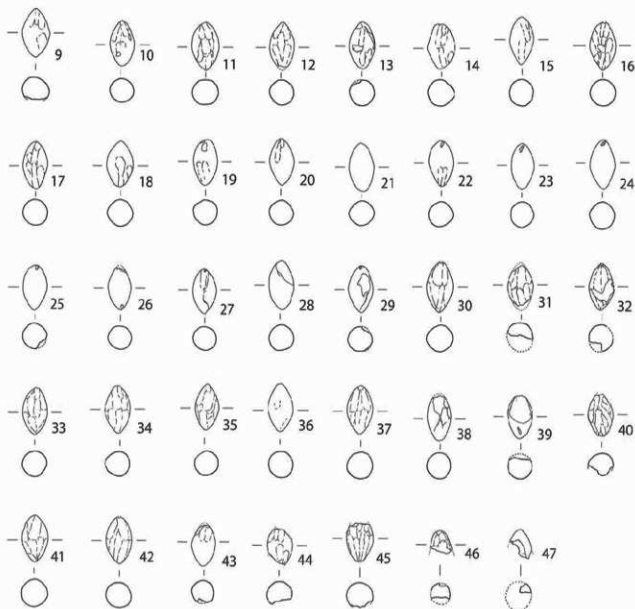
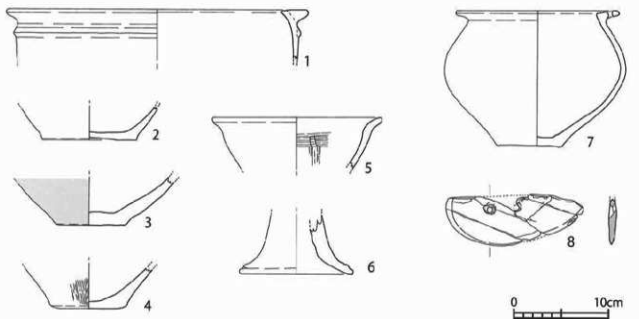


第 20 図 宮ノ前遺跡 SB13 ~ 18・SK29 実測図 (S=1/80)

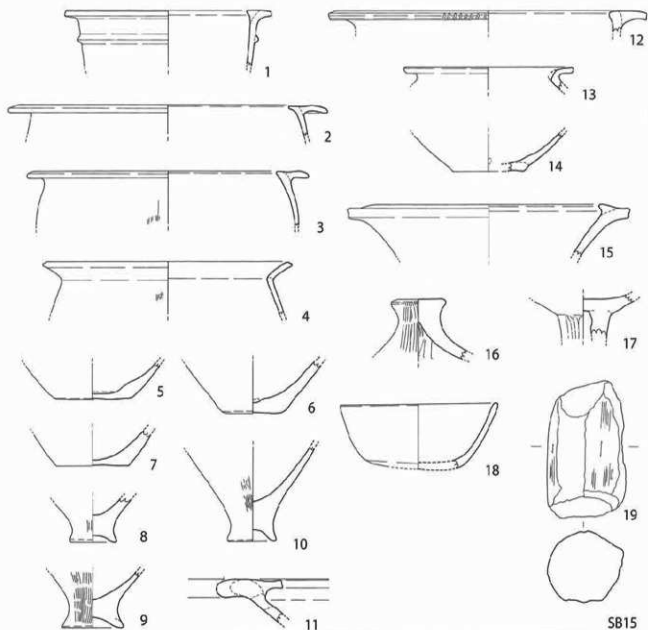
SB13



第 21 図 宮ノ前遺跡 SB13 出土遺物 (S=1/4)

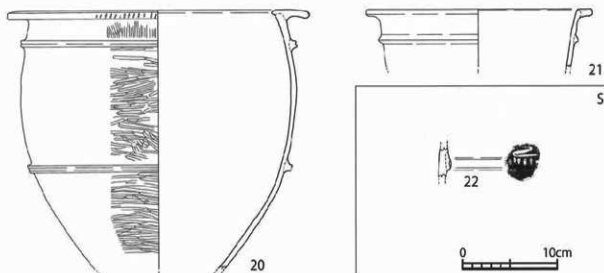


第22図 宮ノ前遺跡 SB14 出土遺物 (S=1/4)



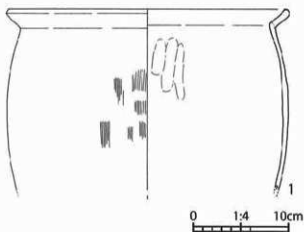
SB15

SB17

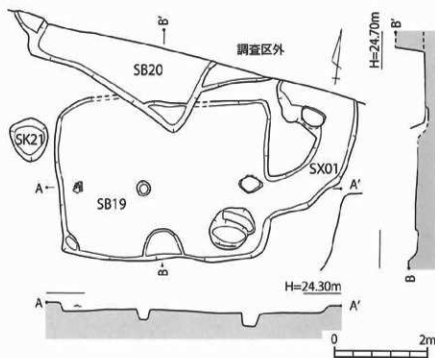


SB18

第23図 宮ノ前遺跡 SB15・17・18 出土遺物 (S=1/4)



第 24 図 宮ノ前遺跡 SB19 出土遺物 (S=1/4)



第 25 図 宮ノ前遺跡 SB19・20・SK21 実測図 (S=1/80)

明確ではない。遺物は弥生時代中期の土器が出土しており、一部成人甕棺の破片の可能性が高い大型の甕の破片も出土している。

SB46 (第 47・48 図)

調査区南東で発見された。南北に長軸をもつ長方形の平面形であり、北東にはベッド状遺構を有する可能性がある。中央に炉を持つが、主柱穴は明確ではないが、検出されているピットの位置より 2 本主柱の可能性はある。遺物は建物跡南西部で固まって出土しており、弥生時代中期の土器が出土している。

SB47・48 (第 49・50 図)

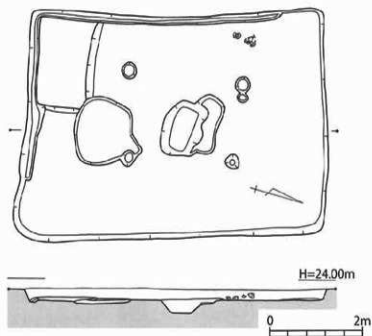
調査区南東で発見された。ともに南北に長軸をもつ長方形の平面形であり、SB47 は SB48 に切られており、SB47 は西端の一部しか残存していない。ともに火処や主柱穴は明確ではない。遺物は建物跡南西部で固まって出土しており、弥生時代中期の土器が出土している。

SB49 (第 50・51 図)

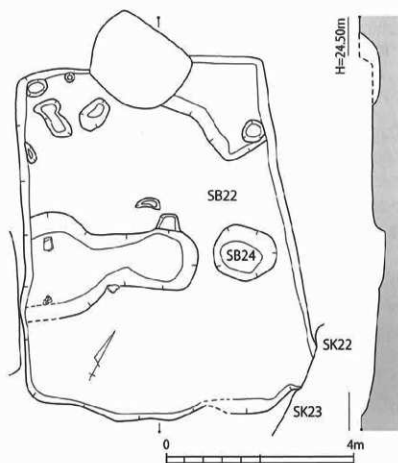
調査区の南東端で発見された。建物跡の南部分は調査区外に延び、未掘である。南北に長軸を有するほぼ長方形に近い平面形である。火処や主柱穴は明確ではない。遺物は弥生時代中期の甕・脚部が出土している。

SB50 (第 52 図)

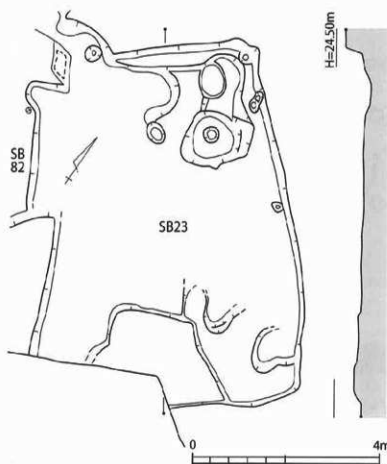
調査区の北側中央やや東寄りで発見された。南北に長軸をもつ、やや小型の長方形の平面形である。火処は明確でないが、主柱穴は 2 本主柱の可能性はある。図化できる遺物は確認できなかった。



第 26 図 宮ノ前遺跡 SB21 実測図 (S=1/80)



第 27 図 宮ノ前遺跡 SB22・SK24 実測図 (S=1/80)



第 28 図 宮ノ前遺跡 SB23 実測図 (S=1/80)

SB51 (第 53・54 図)

調査区の北側中央やや東寄りで発見された。正方形に近い方形の平面形である。火処や支柱穴は明確ではない。遺物は弥生土器の甕・鉢・が出土しており、弥生時代中期に属する。

SB52・53 (第 56～59 図)

調査区の南側やや東寄りで発見された建物跡である。SB53 は南側で SB52 を切っており、北東で SX04 と接している。その為、SB52 は南端部の一部のみしか残存していない。また、SB53 の西側部分には竪穴建物の周溝の可能性のある溝も確認され、遺物の出土状況等も勘案すると、SB53 の西側部分は別の建物の可能性もある。遺物は SB52 では図化可能な遺物は確認されなかった。SB53 から弥生時代中期に属する土器および石包丁が出土している。

SB55 (第 55・60 図)

調査区の南側中央付近で発見された。西側で SB60 を切っており、正方形に近い方形の平面形をしている。また、検出されているピット等を勘案すると中央に炉を持つ 2 本支柱である可能性が高いものと思われる。遺物は建物跡内に数か所でまとまりをもって出土しており、弥生時代中期～後期の土器およびミニチュア土器が出土している。

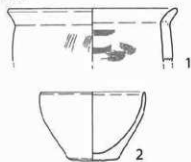
SB56 (第 61・62 図)

調査区の中央からやや東寄りの位置で発見された、小型の正方形の建物跡である。建物中央やや南西にずれた箇所に浅い土坑があるが、炉跡や支柱穴等は明確ではない。遺物は弥生土器の甕・壺が出土している。

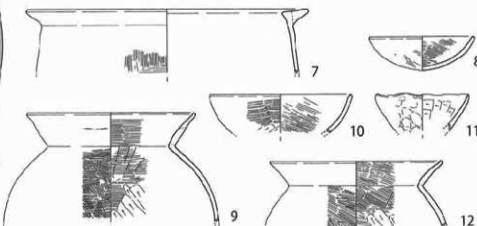
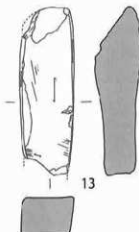
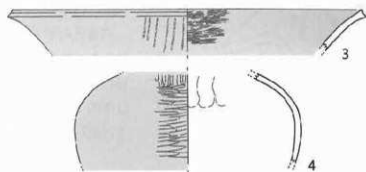
SB60 (第 60・62 図)

調査区の中央やや南寄りで発見された。東側を SB56 により切られており、南西側で SB60 と重なっている部分がある。長方形の平面形であると思われるが火処や支柱穴等ははっきりしない。遺物は建物跡内から数か所のまとまりをもって出土しており、弥生時代中期の土器および砥石が出土している。また、成人甕棺の破片と思われる土器も出土しており、近くに甕棺墓があった可能性も考えられる。

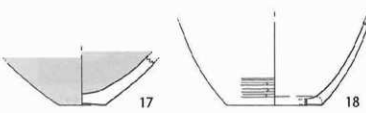
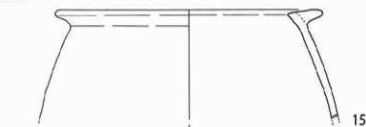
SB21



SB22



SB23



第 29 図 宮ノ前遺跡 SB21・22・23 出土遺物 (S=1/4)



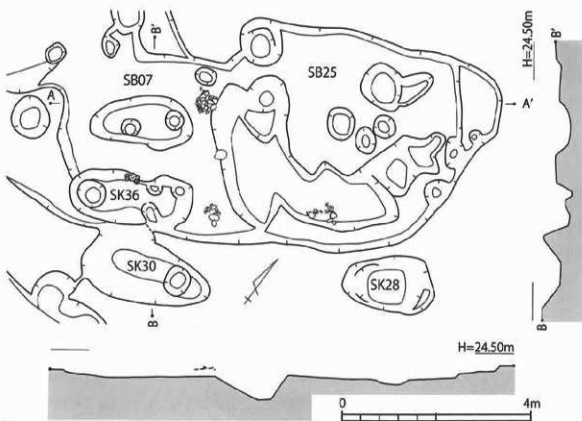
第30図 宮ノ前遺跡 SB24
実測図 (S=1/80)

SB61 (第62・63図)

調査区の中央やや南寄りで発見された。北東-南西方向に長軸をもつ長方形の平面形であり、南西側にベッド状遺構を持つ。建物中央に炉を持ち、東側に土坑が確認されるが、主柱穴数等は不明である。遺物は弥生時代後期に属すると思われる土器および砥石が出土している。

SB62・SB63 (第64・65図)

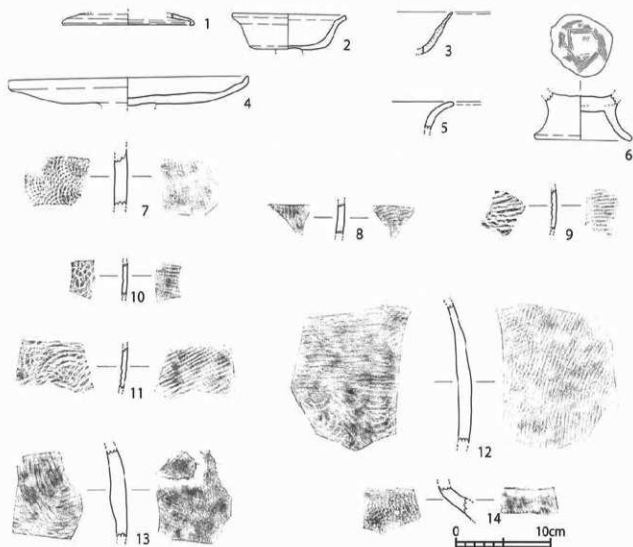
調査区の北側中央やや東寄りで発見された。SB63の中にはSX06 周溝状遺構が存在する。SB62・SB63ともに長方形に近い平面形と思われるが、火処や主柱穴は明確ではない。遺物はSB62より、建物跡北西部でまとまって出土しており、弥生時代中期に属する甕・鉢・高坏・器台が出土している。SB63からは図化可能な遺物は確認されなかった。



第31図 宮ノ前遺跡 SB25・27・SK28・30・36 実測図 (S=1/80)

SB64 (第65・66図)

調査区中央からやや東寄りの箇所で発見された建物跡である。南北方向に長軸をもつ小型の建物跡であるが、火処や主柱穴は明確ではない。遺物は弥生時代中期～後期の土器が北側の土坑内よりまとまって出土している。



第 32 図 宮ノ前遺跡 SB24 出土遺物 (S=1/4)

SB65 (第 16・68 図)

調査区の北側中央で発見された。北側を SB10 に切られている。

SB65 は東西方向に長軸をもつ長方形の平面形であり、2 本主柱で中央に炉がある。遺物は弥生土器の甕・鉢の他、石包丁が出土している。

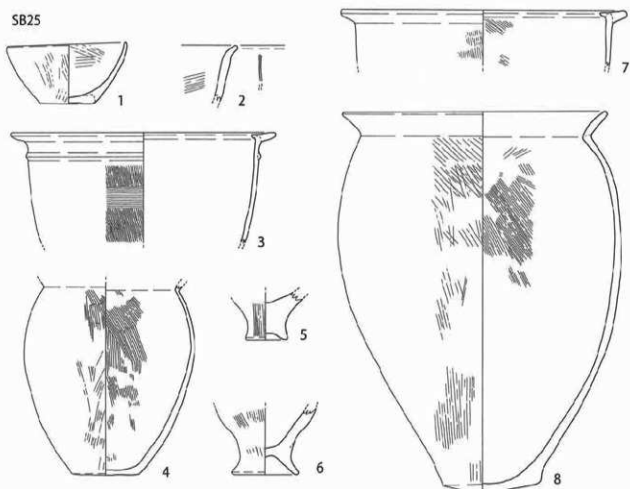
SB66 (第 67・68 図)

調査区の中央付近で発見された建物跡である。正方形に近い東西に長軸をもつ長方形の平面形であり、中央に炉を持つ 2 本主柱の建物跡である。建物跡中央部と南西部で出土しており、弥生時代中期～後期に属する土器が出土している。

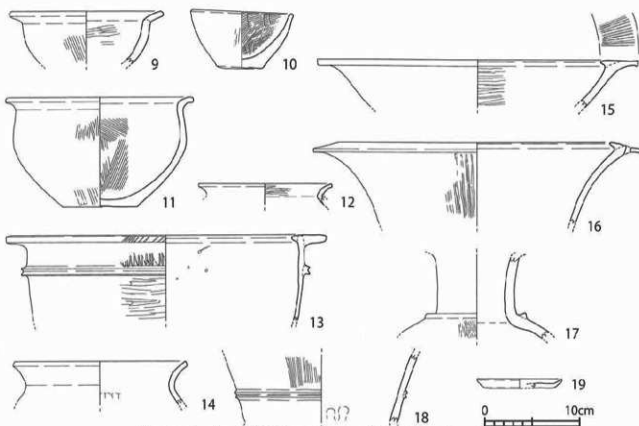
SB67・SB68 (第 69～73 図)

調査区の北側中央やや南西寄りで発見された。SB67 は西南西～東北東方向に長軸をもつ長方形の建物であり、長軸の両辺にベッド状遺構を有する。中央に炉を持ち、2 本主柱である。SB68 は東西方向に長軸をもつ正方形に近い方形の建物であり、中央に炉を持ち 2 本主柱である。SB67 からは弥生時代中期の土器の他、砥石や石包丁、紡錘車未製品(第 71 図 4)等の石器が出土している。SB68 からは、弥生時代中期～後期の土器が出土している。

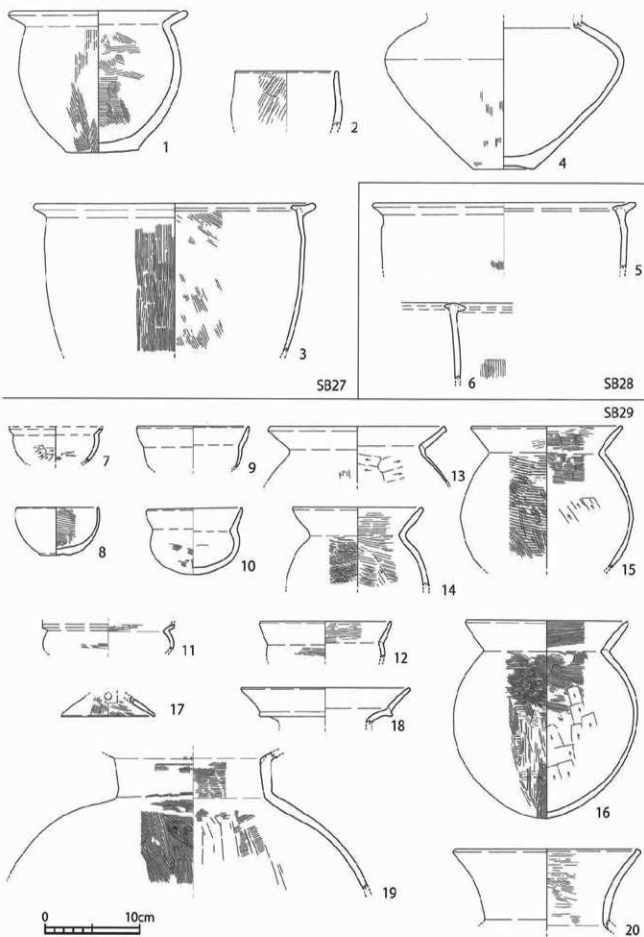
SB25



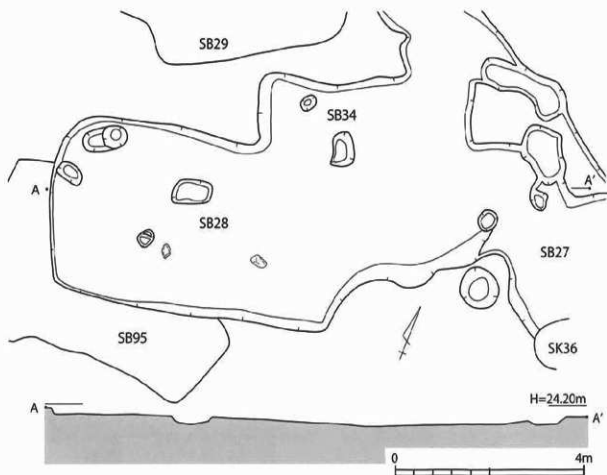
SB26



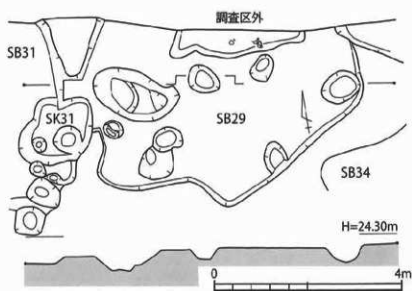
第33図 宮ノ前遺跡 SB25・26 出土遺物 (S=1/4)



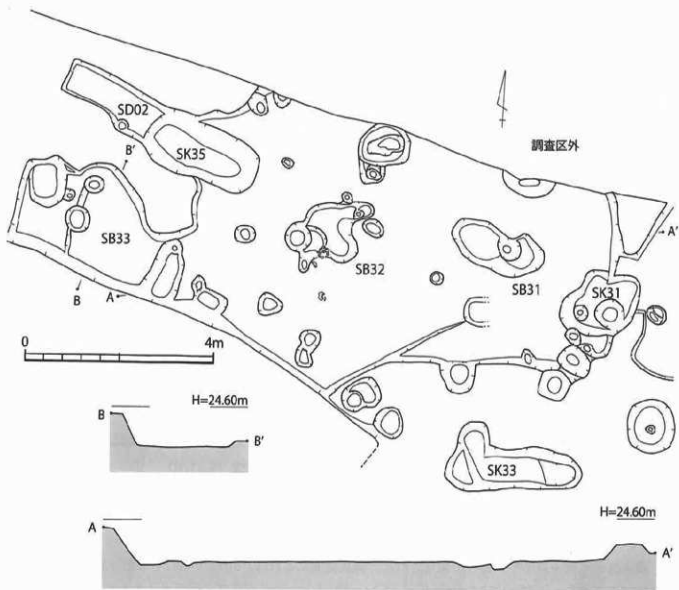
第 34 図 宮ノ前遺跡 SB27・28・29 出土遺物 (S=1/4)



第 35 図 宮ノ前遺跡 SB28・34 実測図 (S=1/80)



第 36 図 宮ノ前遺跡 SB29・SK31 実測図 (S=1/80)



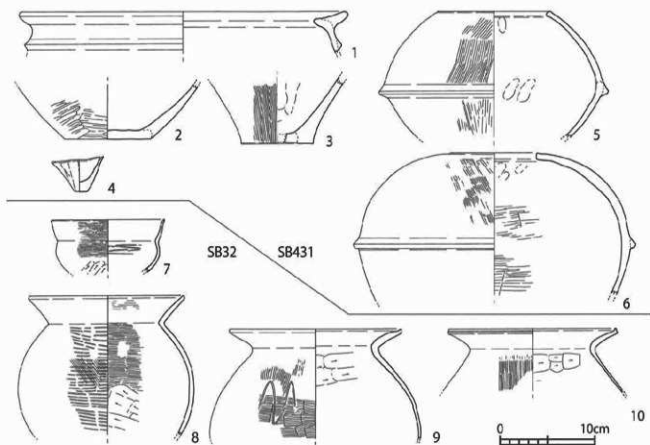
第 37 図 宮ノ前遺跡 SB31・32・33・SK31・33・35・SD02 実測図 (S=1/80)

SB69 (第 74・75 図)

調査区の南端で発見された。やや不整形な方形の平面形である。建物内部には多数のビット・土坑が検出されており、火処や主柱穴等の詳細は不明である。遺物は建物跡中央部分から出土しており、弥生時代中期～後期の土器が出土している。

SB70 (第 76～79 図)

調査区の中央からやや北東寄りで見つかった。残存状況があまり良くないためか、ややいびつな正方形に近い平面形の建物跡である。中央に炉と思われる浅いくぼみが発見されているが、主柱穴の位置や数は検出されているビットからは判然としない。遺物は SB70 の西側に固まって出土しており、甕棺と思われる破片 (第 77 図) や、弥生時代中期に位置づけられる土器の他、砥石ないし石皿と思われる石が出土している。



第38図 宮ノ前遺跡 SB31・32 出土遺物 (S=1/4)

SB71・SB74 (第80・81・86図)

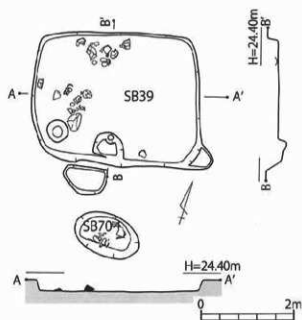
調査区の北側中央やや東寄りで発見された。調査図面によれば、SB74がSB71を切っており、SB74は後述するSB72・SB73に切られている。SB71・SB74ともに長方形の平面形で2本主柱である。遺物はSB71・SB74からは弥生時代中期の土器や石器が出土している。

SB72・SB73 (第82・83図)

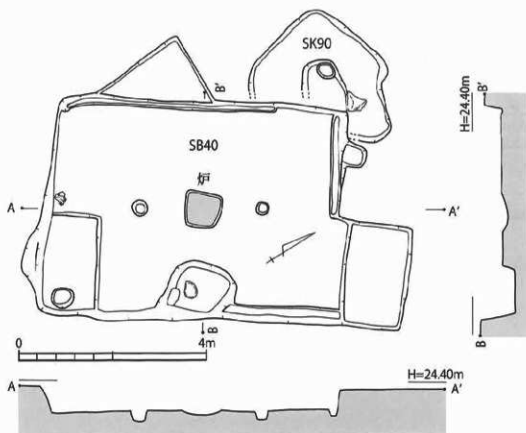
調査区の北側中央やや東寄りで発見された。南西で前述のSB74を切っているが、SB72とSB73の切り合い関係はやや不明瞭である。SB72は南西―北東に長軸をもつ長方形の平面形であり、中央に炉を持ち2本主柱である。SB73も東西方向に長軸をもつ隅丸長方形であり、中央に炉を持ち2本主柱である。遺物はSB73からは弥生時代後期の土器および石器が出土しており、SB72からは弥生時代中期～後期の土器および石器が出土している。

SB76 (第84・86図)

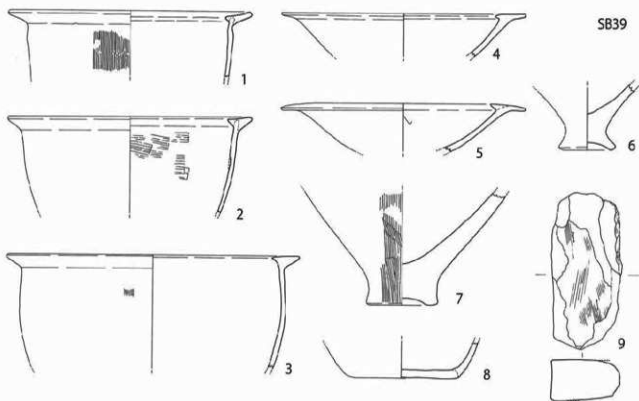
調査区の中央南端部で発見された小型の建物跡である。正方形に近い平面形であり、主柱穴数は判然としませんが4本主柱の可能性が高く、西側にベッド状遺構を有する。遺物は古墳時代前期の古式土師器の甕および砥石が出土している。



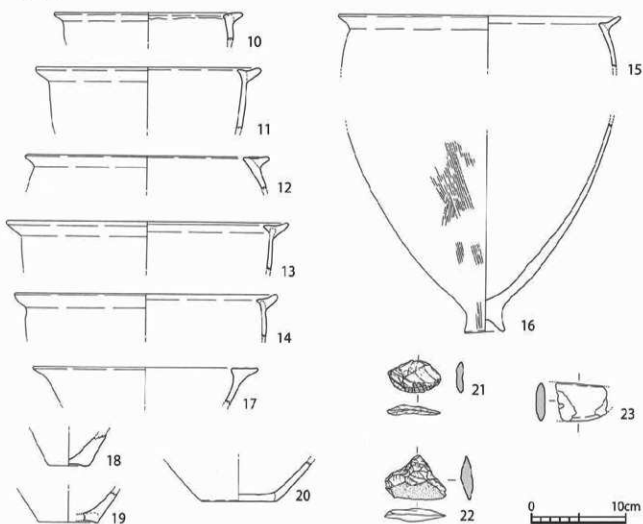
第 39 図 宮ノ前遺跡 SB39・SK70 実測図 (S=1/80)



第 40 図 宮ノ前遺跡 SB40・SK90 実測図 (S=1/80)

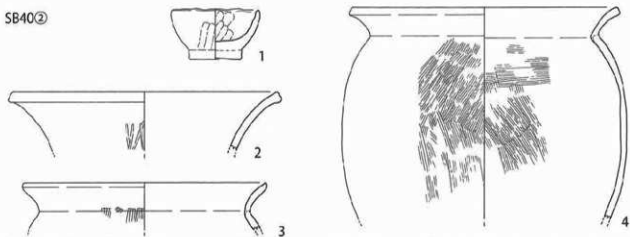


SB40①

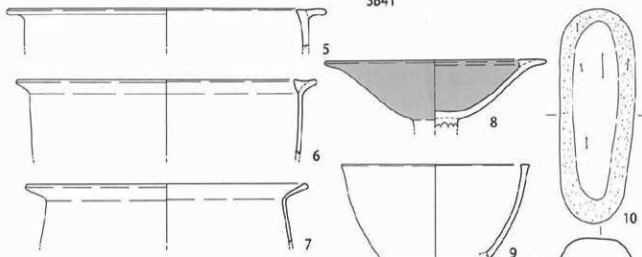


第 41 図 宮ノ前遺跡 SB39・40 出土遺物 (S=1/4)

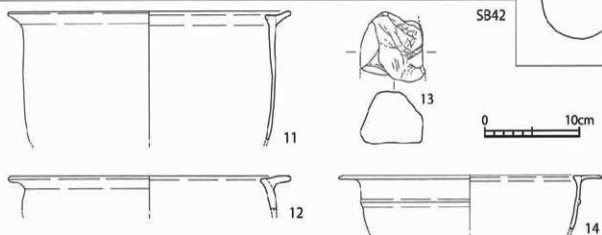
SB40②



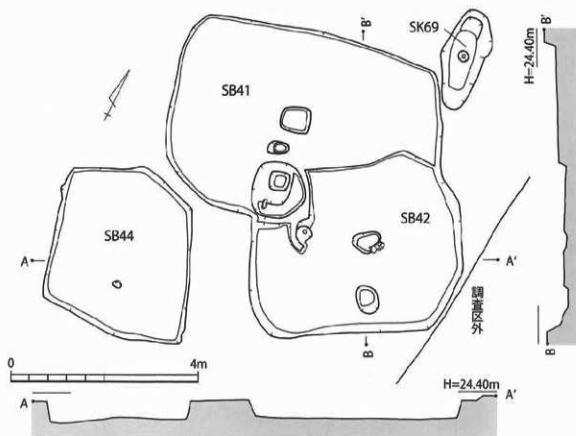
SB41



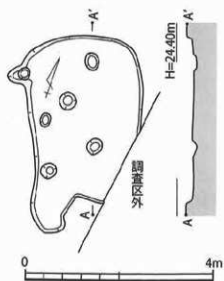
SB42



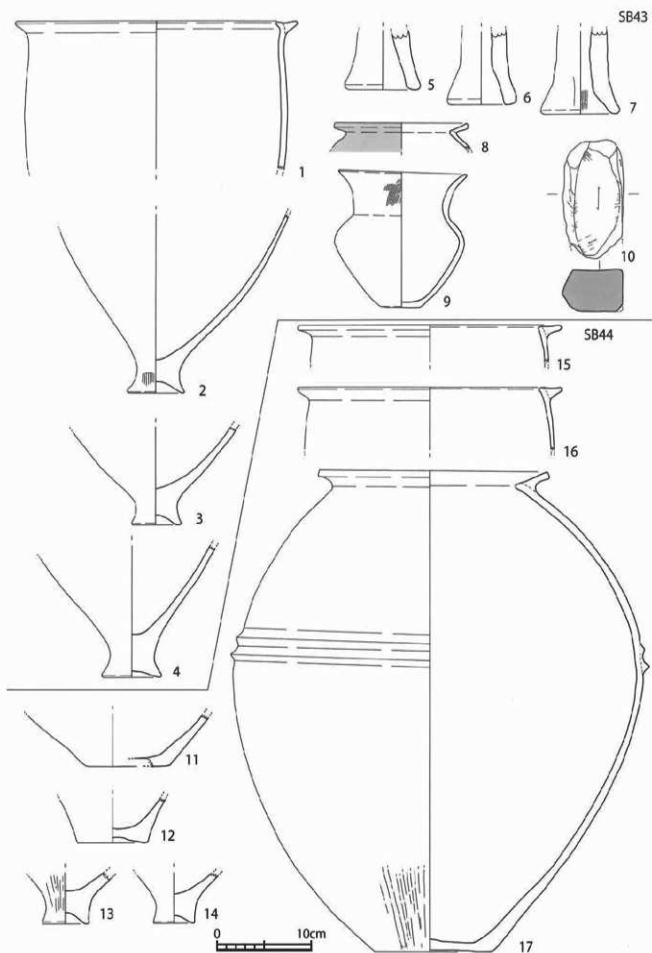
第 42 図 宮ノ前遺跡 SB40・41・42 出土遺物 (S=1/4)



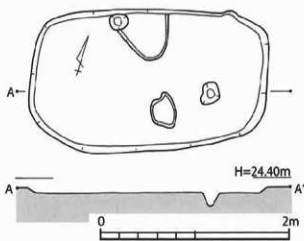
第 43 図 宮ノ前遺跡 SB41・42・44・SK69 実測図 (S=1/80)



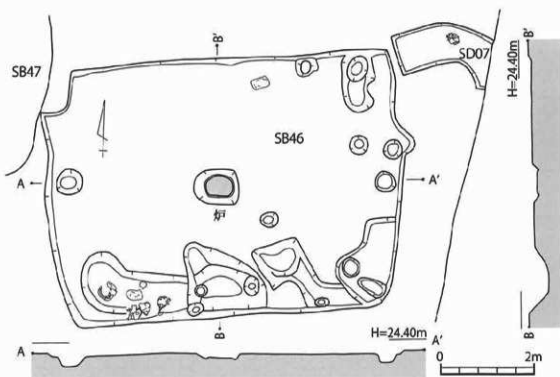
第 44 図 宮ノ前遺跡 SB44 実測図 (S=1/80)



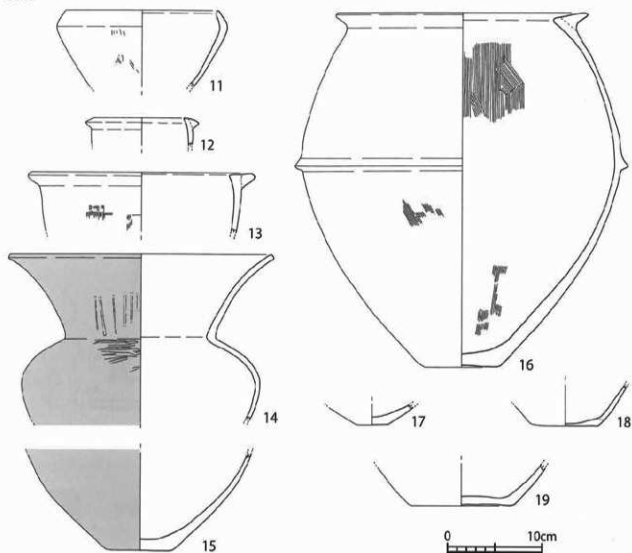
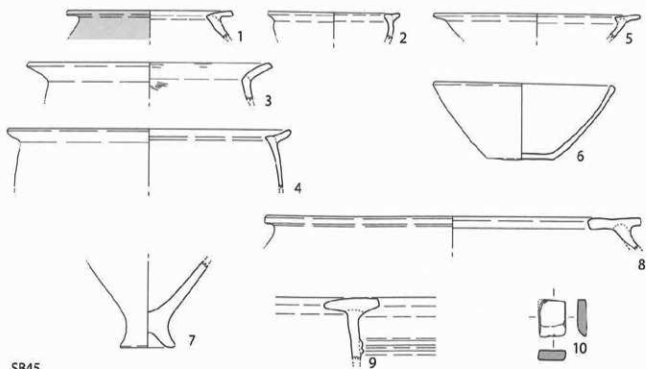
第 45 図 宮ノ前遺跡 SB43・44 出土遺物 (S=1/4)



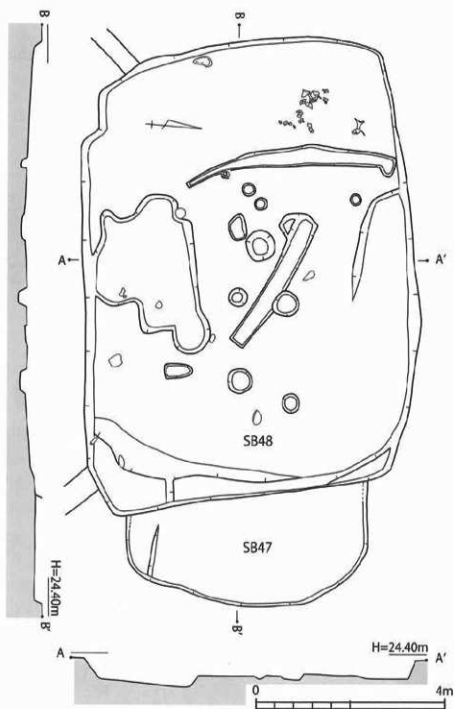
第46図 宮ノ前遺跡 SB45 実測図 (S=1/80)



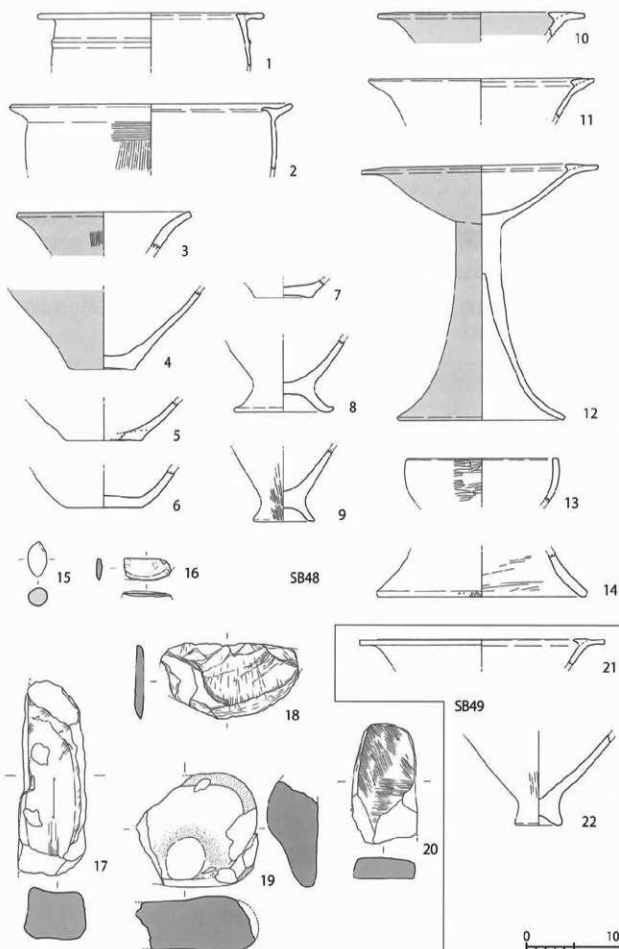
第47図 宮ノ前遺跡 SB46・SD07 実測図 (S=1/80)



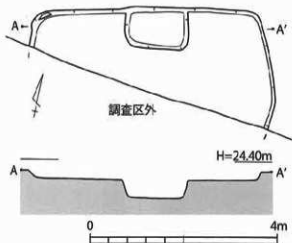
第 48 図 宮ノ前遺跡 SB45・46 出土遺物 (S=1/4)



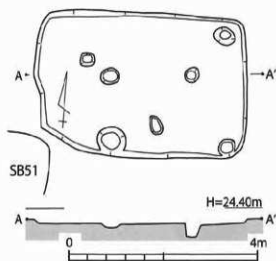
第 49 図 宮ノ前遺跡 SB47・48 実測図 (S=1/80)



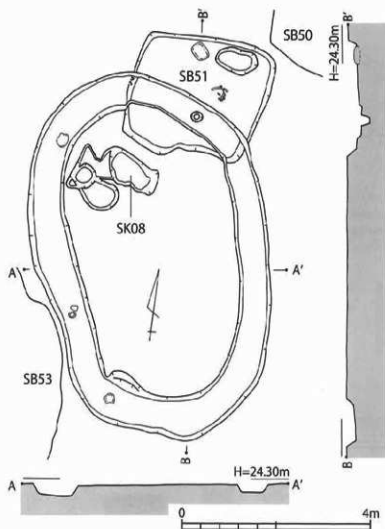
第 50 図 宮ノ前遺跡 SB48・49 出土遺物 (S=1/4)



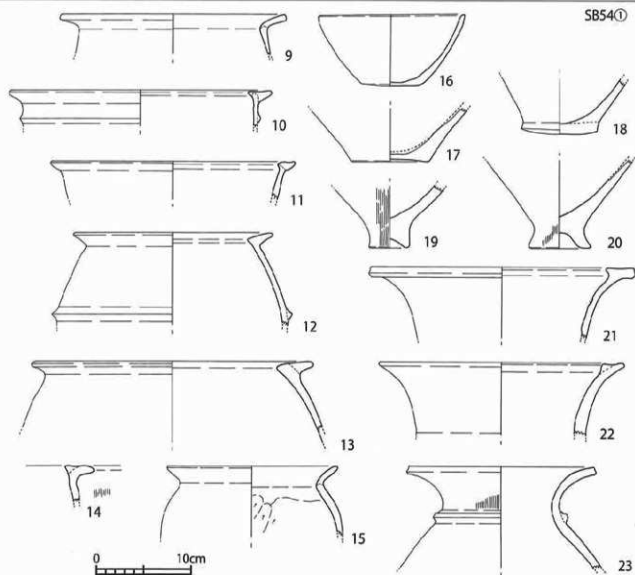
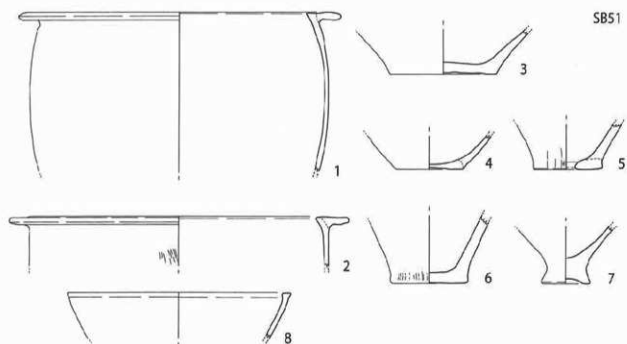
第 51 図 宮ノ前遺跡 SB49 実測図
(S=1/80)



第 52 図 宮ノ前遺跡 SB50 実測図
(S=1/80)

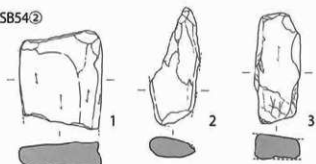


第 53 図 宮ノ前遺跡 SB51・SK04 実測図 (S=1/80)

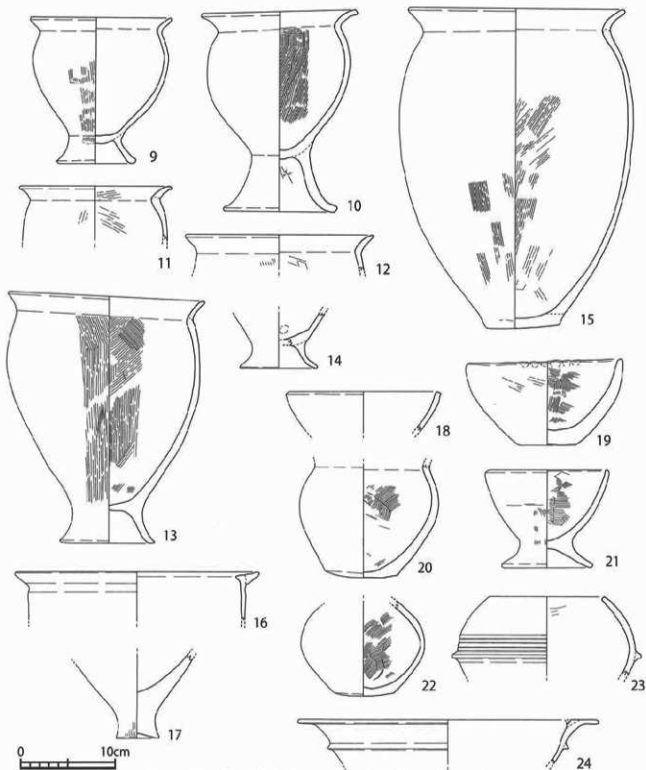
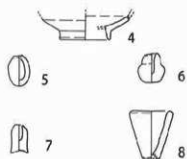


第 54 図 宮ノ前遺跡 SB51・54 出土遺物 (S=1/4)

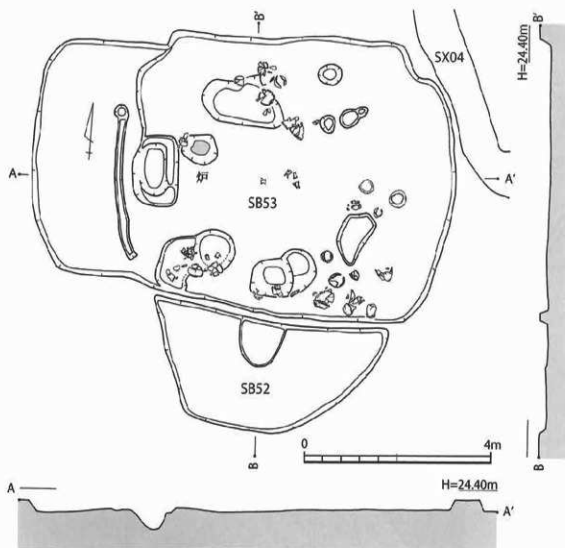
SB54②



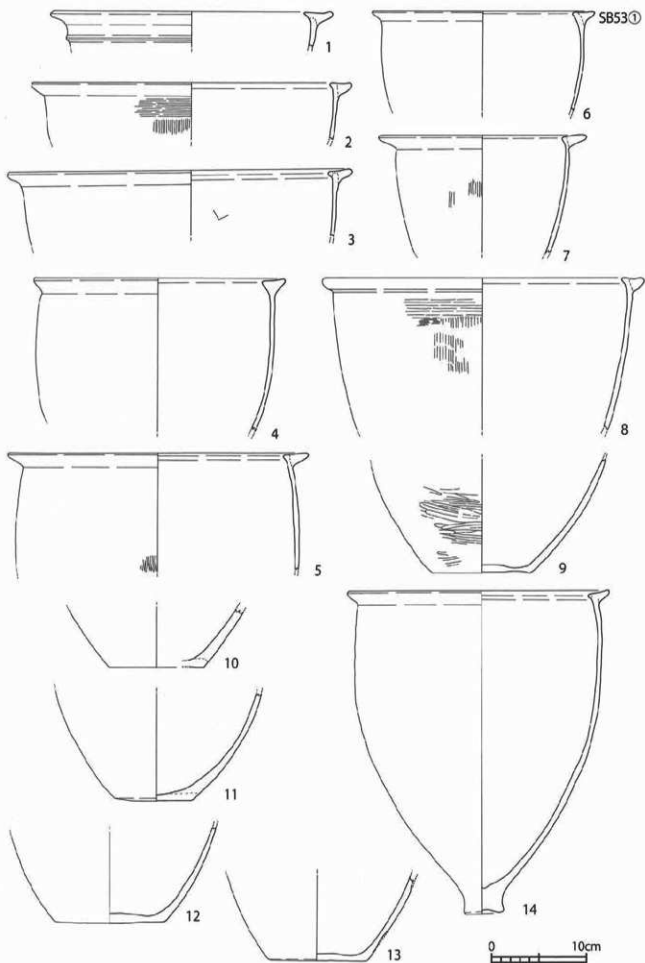
SB55



第55図 宮ノ前遺跡 SB54 出土遺物 2 (S=1/4)

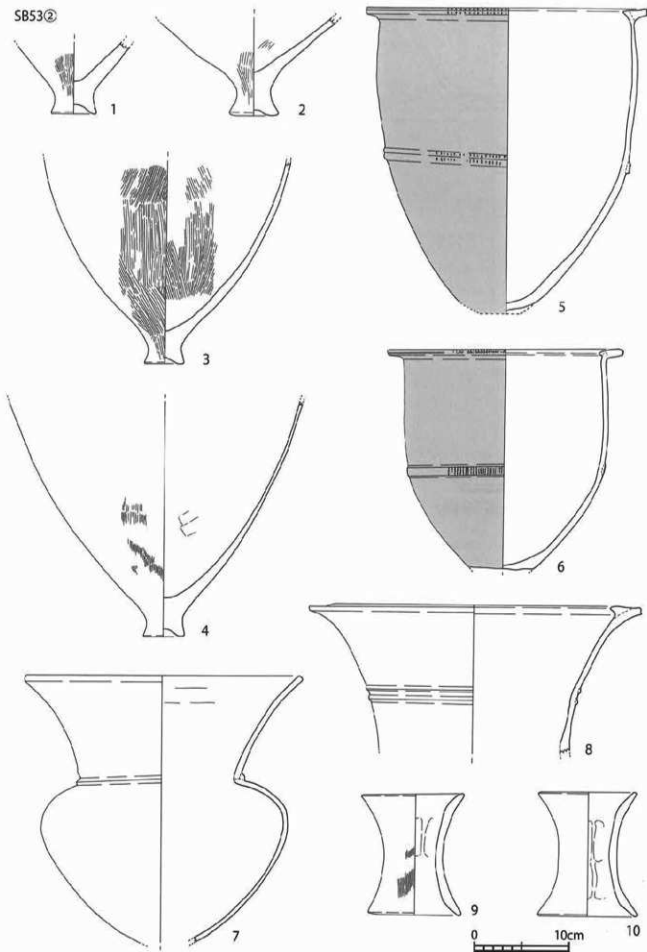


第 56 図 宮ノ前遺跡 SB52・53・SX04 実測図 (S=1/80)



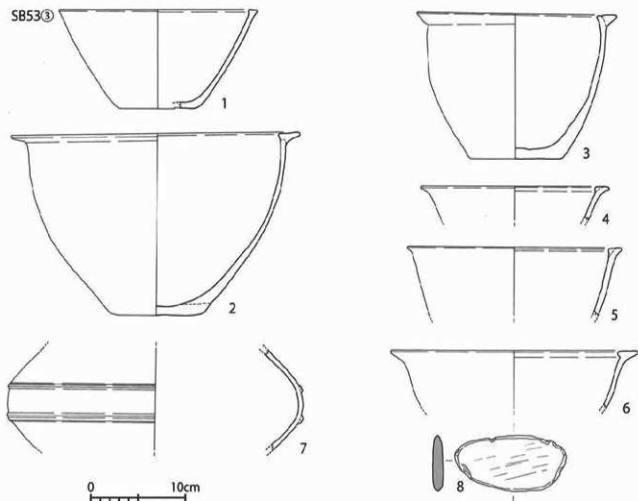
第 57 図 宮ノ前遺跡 SB53 出土遺物 1 (S=1/4)

SB53②

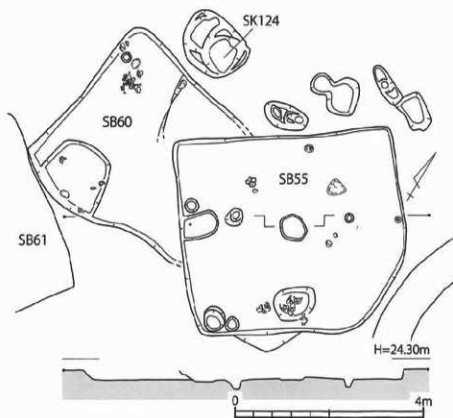


第 58 図 宮ノ前遺跡 SB53 出土遺物 2 (S=1/4)

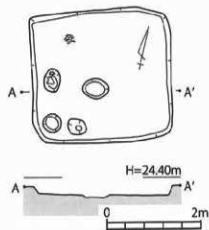
SB53③



第59図 宮ノ前遺跡 SB53 出土遺物 3 (S=1/4)

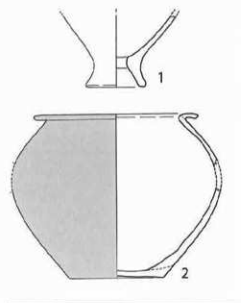


第60図 宮ノ前遺跡 SB55・60・SK124 実測図 (S=1/80)

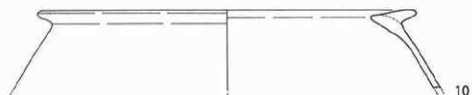
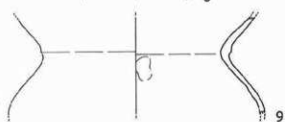
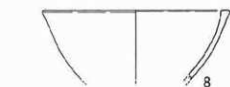
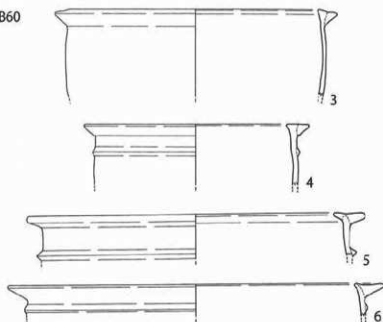


第61図 宮ノ前遺跡 SB56 実測図 (S=1/80)

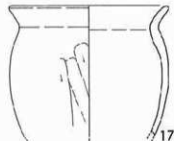
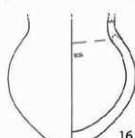
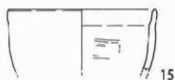
SB56



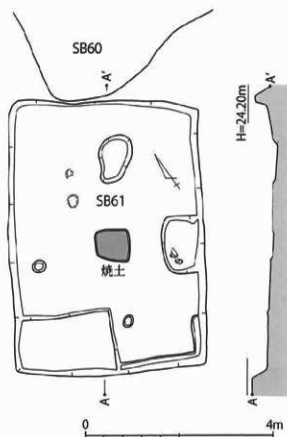
SB60



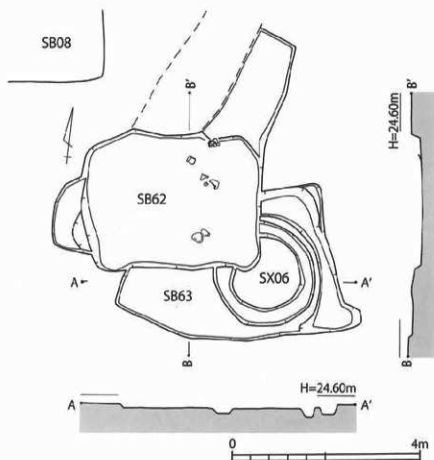
SB62



第 62 図 宮ノ前遺跡 SB56・60・61 出土遺物 (S=1/4)

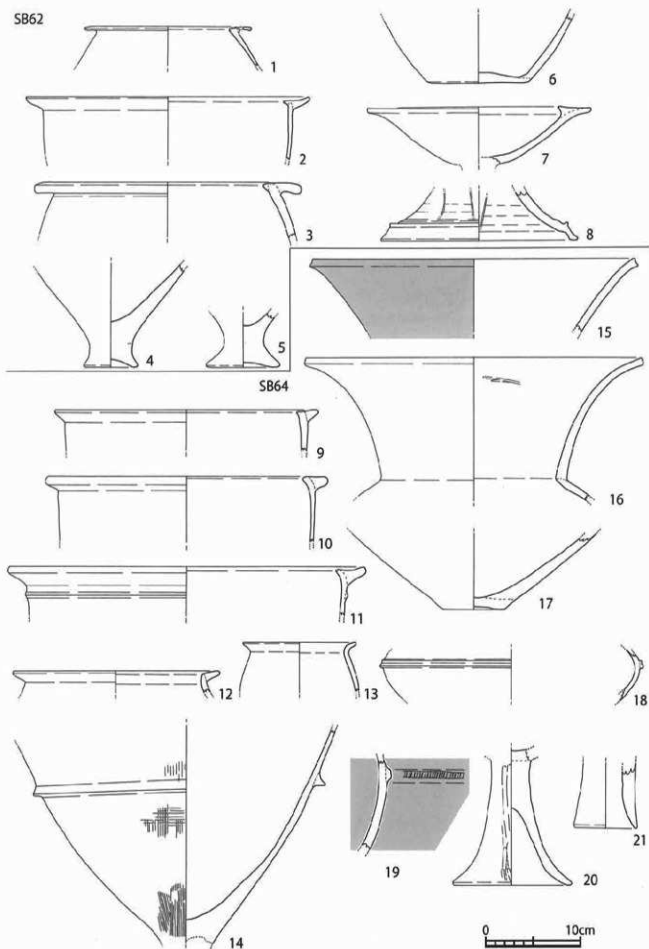


第 63 図 宮ノ前遺跡 SB61 実測図 (S=1/80)

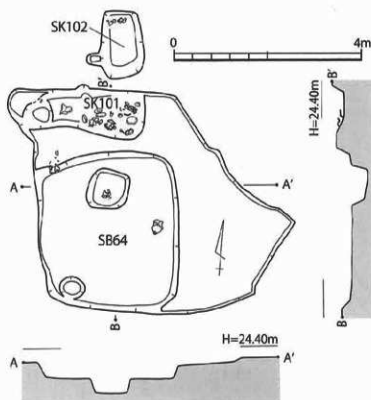


第 64 図 宮ノ前遺跡 SB62・63・SX06 実測図 (S=1/80)

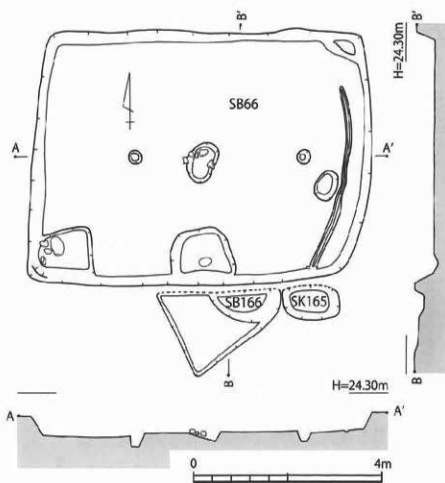
SB62



第 65 図 宮ノ前遺跡 SB62・64 出土遺物 (S=1/4)

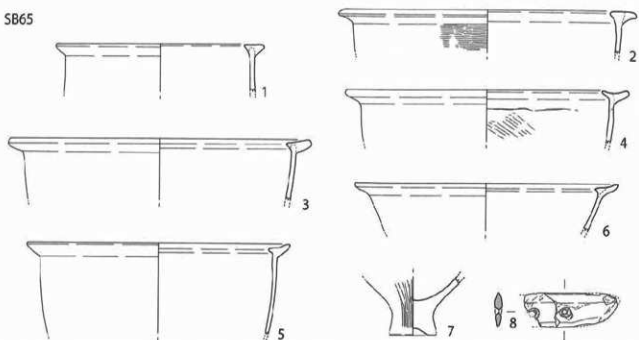


第 66 図 宮ノ前遺跡 SB64・SK101・102 実測図 (S=1/80)

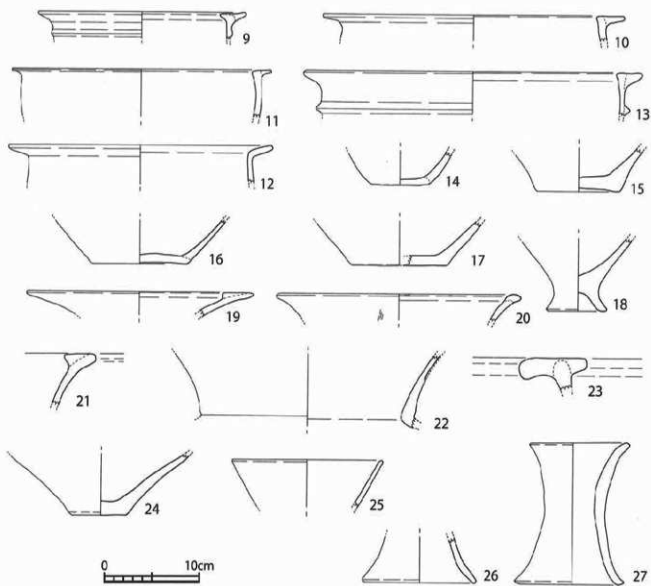


第 67 図 宮ノ前遺跡 SB66・SK165・166 実測図 (S=1/80)

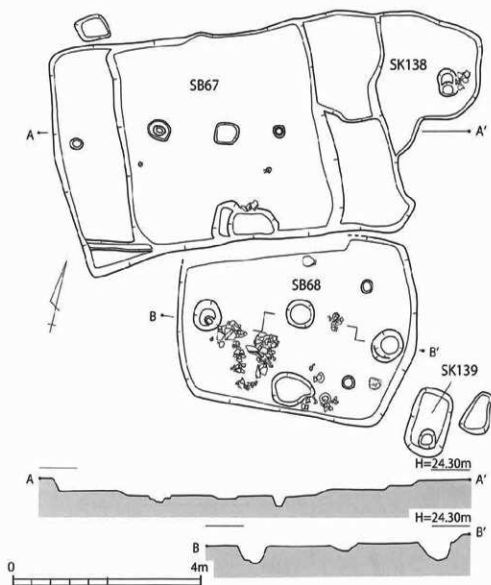
SB65



SB66

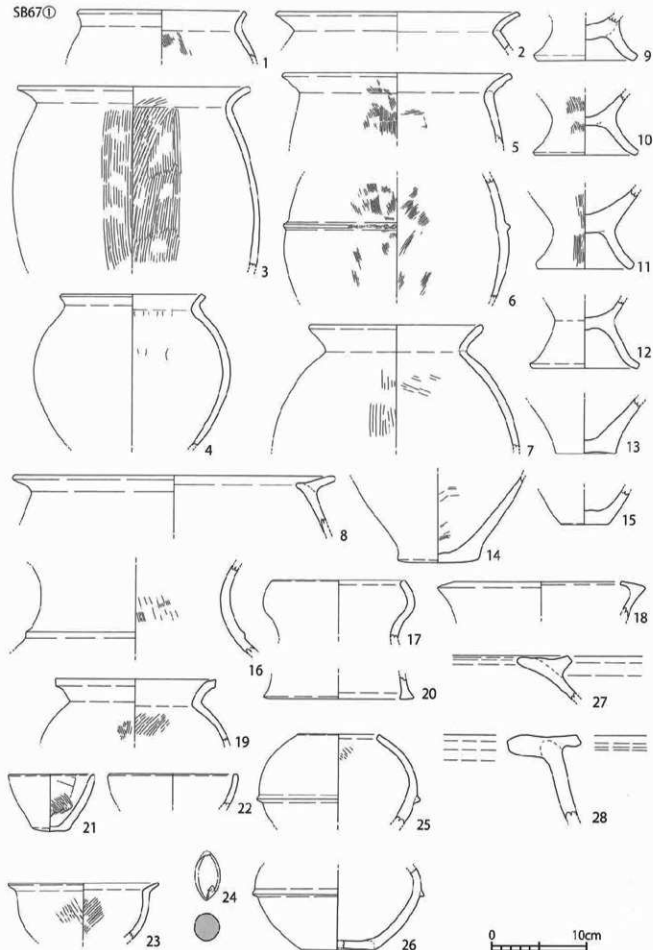


第 68 図 宮ノ前遺跡 SB65・66 出土遺物 (S=1/4)



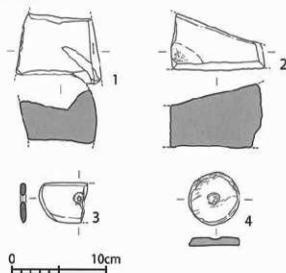
第 69 図 宮ノ前遺跡 SB67・68・SK138・139 実測図 (S=1/80)

SB67①



第70図 宮ノ前遺跡 SB67 出土遺物 1 (S=1/4)

SB67②



第 71 図 宮ノ前遺跡 SB67 出土遺物 2 (S=1/4)

SB77・SB78 (第 74・86 図)

調査区の南端部の、SB69 の南東側で発見された。調査記録によれば、SB77 が SB78 を切っている。SB77 は南北方向に長軸をもつ小型の長方形の平面形であり、主柱穴や火処も不明であるため、土坑の可能性もある。SB78 は、建物跡の南部分は調査区外に延び、未掘であるため、形状等も含め詳細は不明稜である。遺物は SB77 からは剥片が 1 点、SB78 からは器台が 1 点のみである。

SB79・SB80 (第 85・86 図)

調査区の中央付近で発見された。SB79 が SB80 を切っており、SB80 は北西部分のみしか残存していない。SB79 は北東—南西方向に長軸をもつ長方形の建物跡であり、中央に炉がある 2 本主柱の建物跡である。SB80 も残存状況は良くないが、長方形の平面形であるものと思われるが、火処や主柱穴は明確ではない。遺物は SB79 からは覆土中より弥生時代後期の土器が出土している。SB80 からは覆土中より弥生時代中期の土器および砥石が出土している。

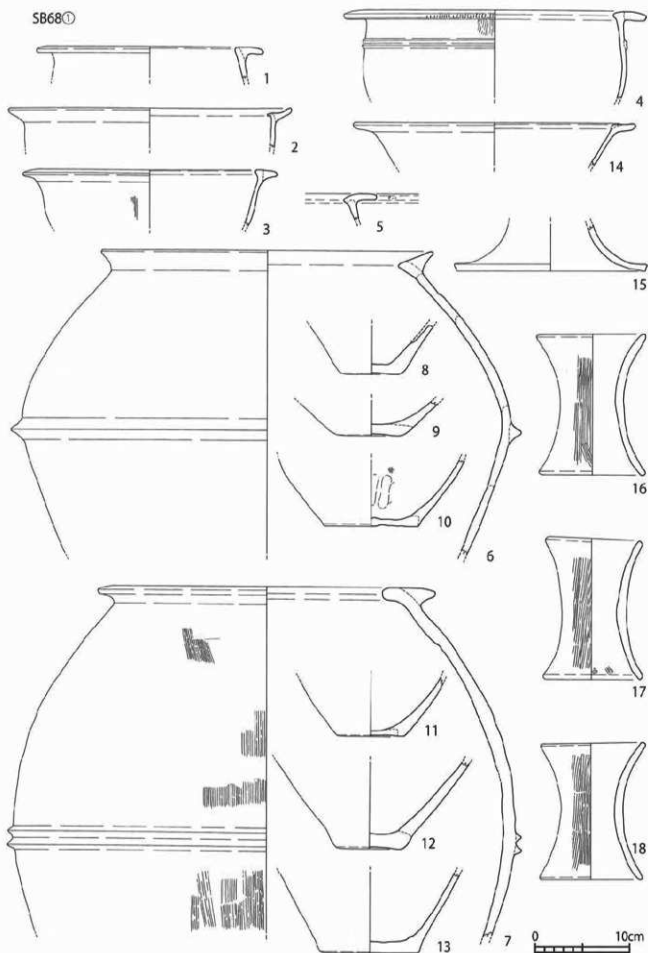
SB81 (第 87・89～91・95 図)

調査区中央やや北西寄りで発見された建物跡である。北東—南西方向に長軸をもつ長方形の建物跡であり、中央に炉を持つ 2 本主柱の建物である。遺物は遺構の東側でまとまって出土しており、弥生時代中期・後期の土器と共に古墳時代前期の古式土師器が多数出土している。

SB82 (第 88・92・93 図)

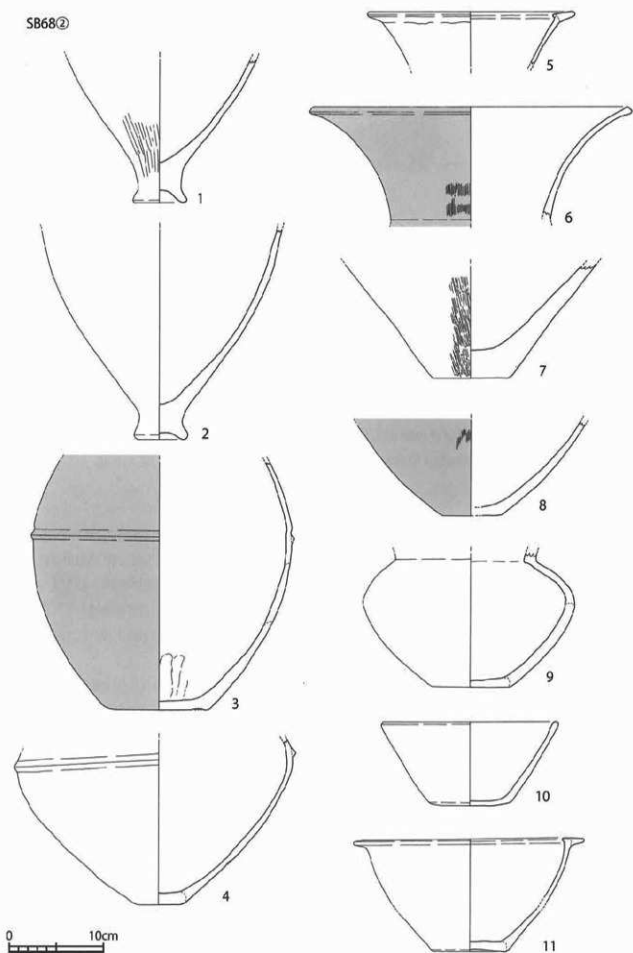
調査区中央やや北西寄りで発見された建物跡であり、東側は SB23 と重なっている。周囲にベッド状遺構を持つ正方形の平面形と思われ、主柱穴は 4 本であると思われる。中央に炉を持つ。遺物は遺構の西側でまとまって出土しており、古墳時代前期の古式土師器が多数出土している。古式土師器は、近畿第Ⅴ様式変容系の土器製作技術を基本として製作されたものが多数であり、タタキ目を有するものは頸部に水平方向のタタキ目を有するものがほとんどである。また、布留系甕に近い外面ヨコハケもしくはヨコナデ調整がなされているものも共に出土している。

SB68①

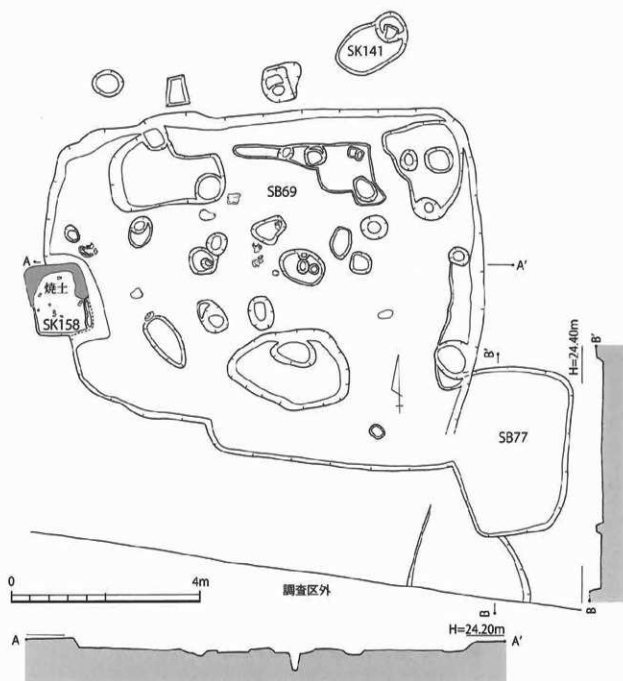


第72図 宮ノ前遺跡 SB68 出土遺物 1 (S=1/4)

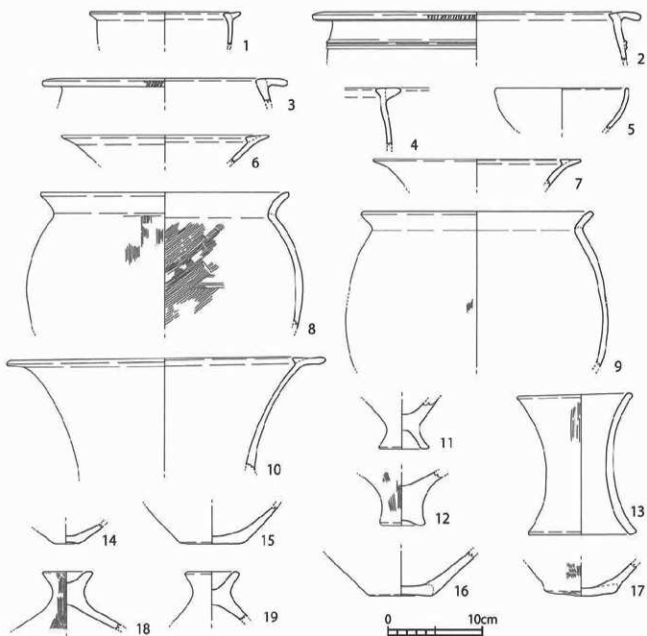
SB68②



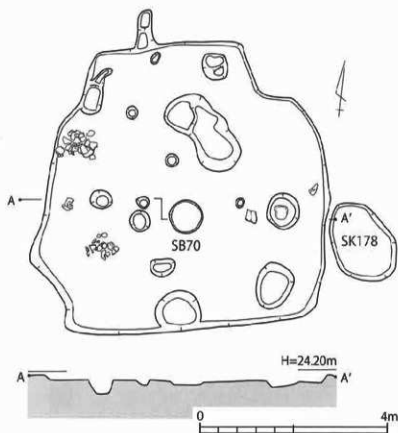
第 73 図 宮ノ前遺跡 SB68 出土遺物 2 (S=1/4)



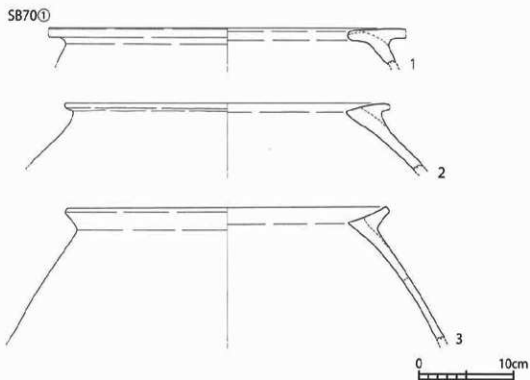
第74図 宮ノ前遺跡 SB69・77・78・SK141 実測図 (S=1/80)



第 75 図 宮ノ前遺跡 SB69 出土遺物 (S=1/4)

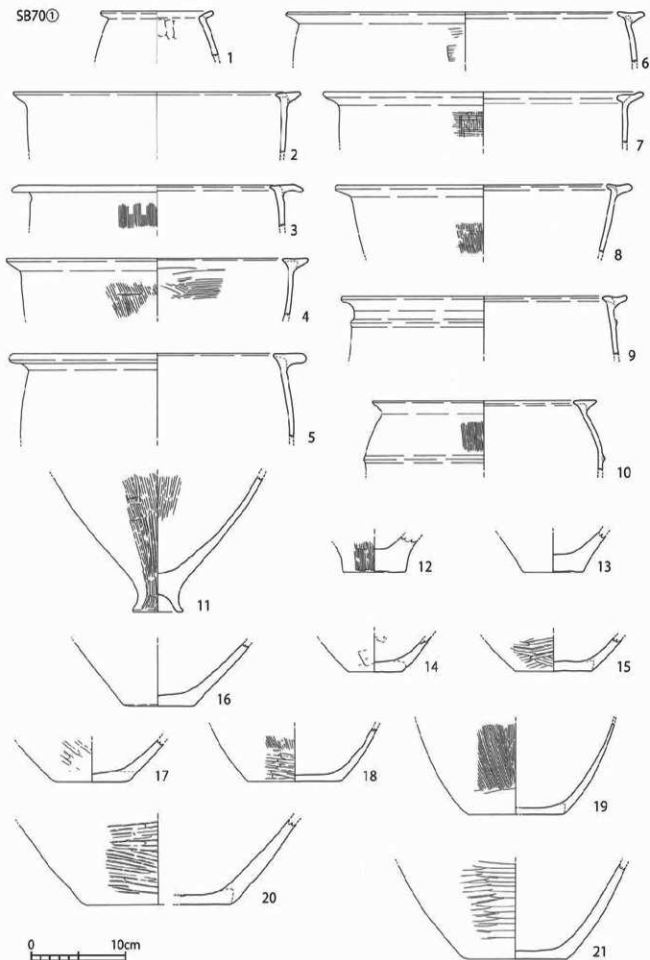


第 76 図 宮ノ前遺跡 SB70 実測図 (S=1/80)



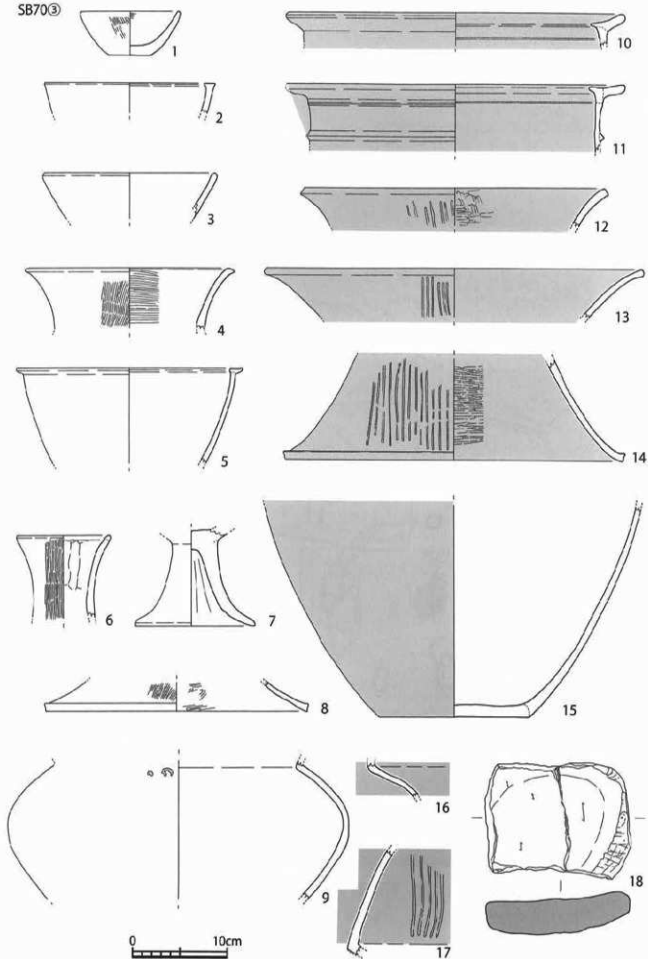
第 77 図 宮ノ前遺跡 SB70 出土遺物 1 (S=1/4)

SB70①

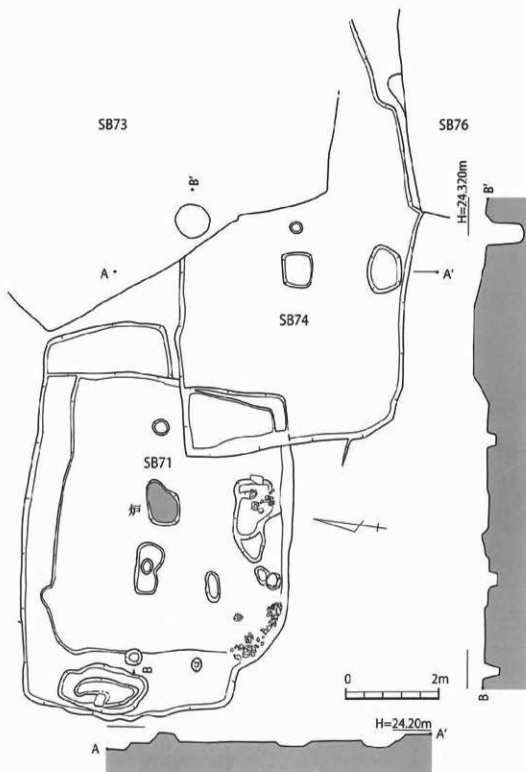


第 78 図 宮ノ前遺跡 SB70 出土遺物 2 (S=1/4)

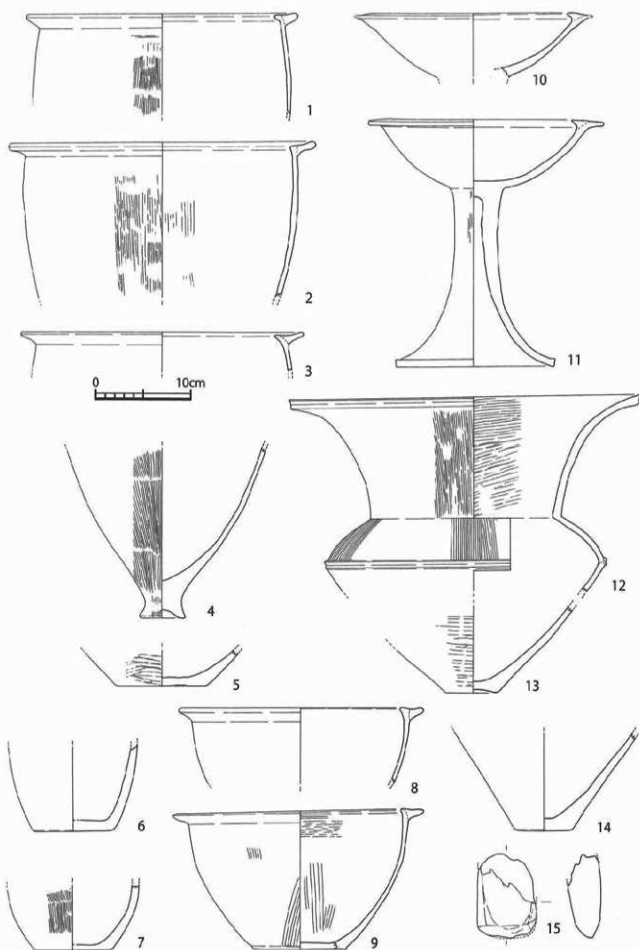
SB70③



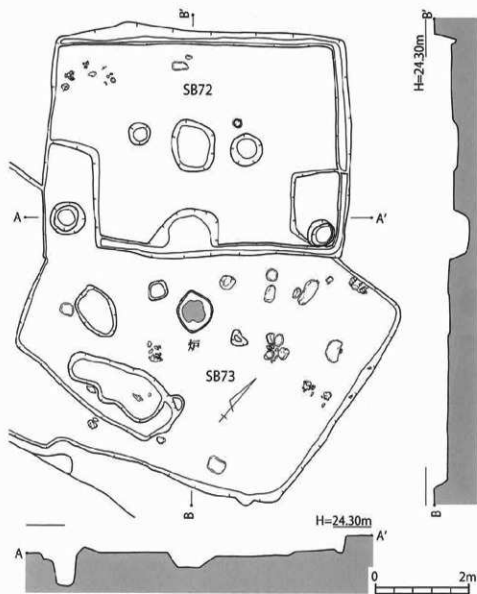
第79図 宮ノ前遺跡 SB70 出土遺物 3 (S=1/4)



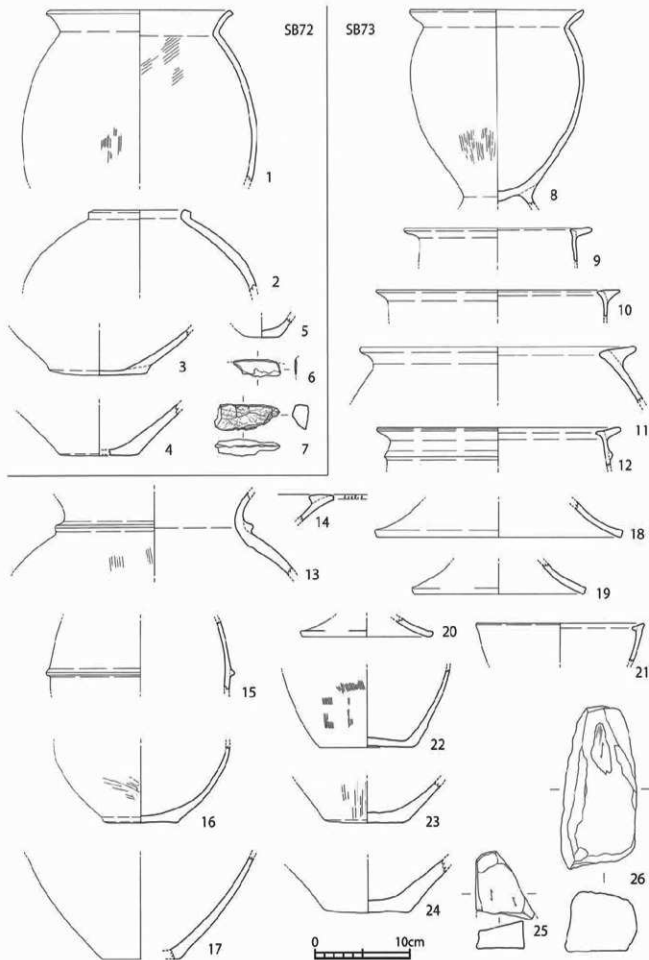
第 80 図 宮ノ前遺跡 SB71・74 実測図 (S=1/80)



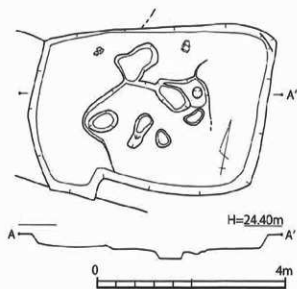
第 81 図 宮ノ前遺跡 SB71 出土遺物 (S=1/4)



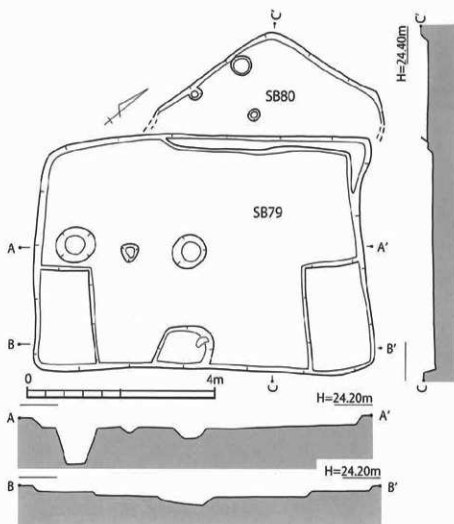
第 82 図 宮ノ前遺跡 SB72・73 実測図 (S=1/80)



第83図 宮ノ前遺跡 SB72・73 出土遺物 (S=1/4)



第 84 図 宮ノ前遺跡 SB76 実測図 (S=1/80)



第 85 図 宮ノ前遺跡 SB79・80 実測図 (S=1/80)

SB74



1



2



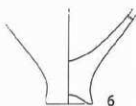
3



4



5

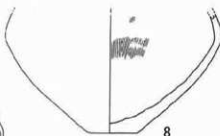


6

SB80



7



8



9



0 10cm

SB76



10



11

SB77



12

SB78



13

SB79



14



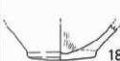
15



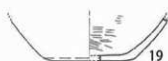
16



17



18



19



20

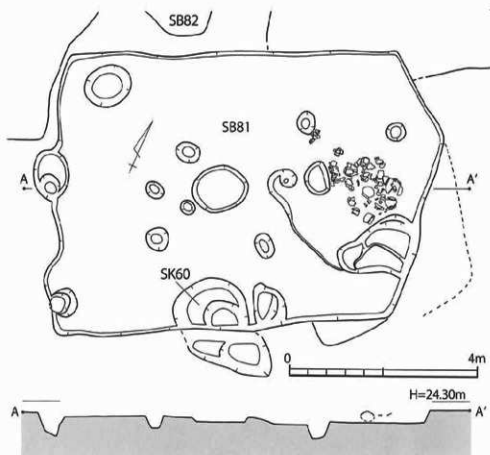


21

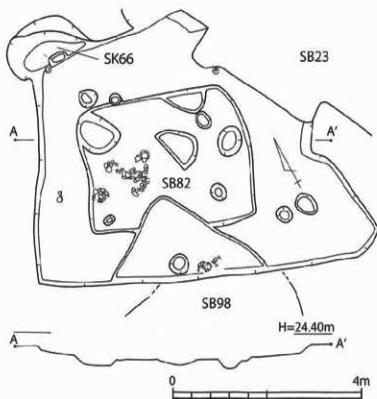


22

第 86 図 宮ノ前遺跡 SB74・76・77・78・79・80 出土遺物 (S=1/4)

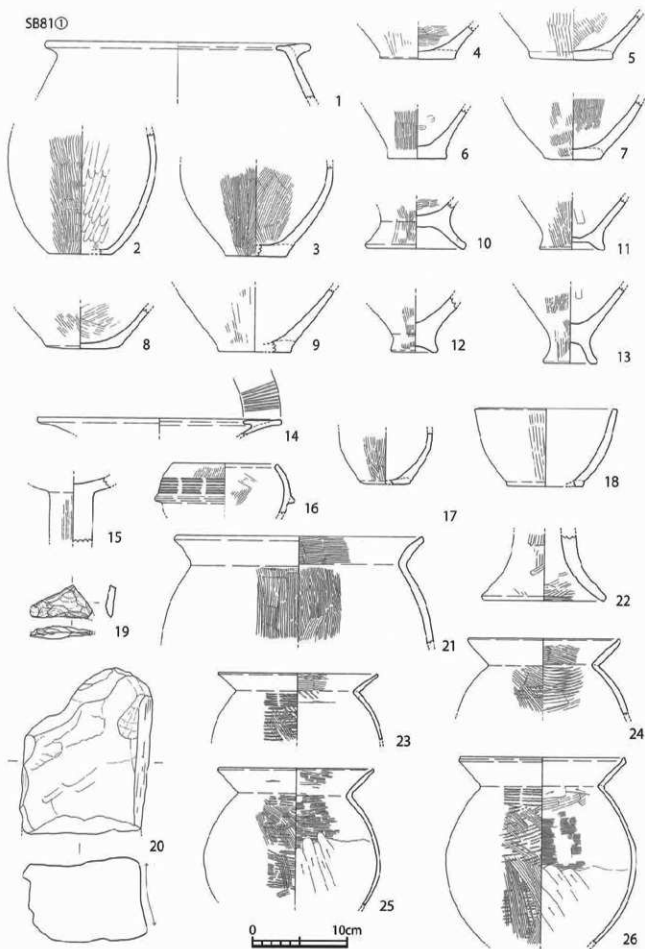


第 87 図 宮ノ前遺跡 SB81・SK160 実測図 (S=1/80)



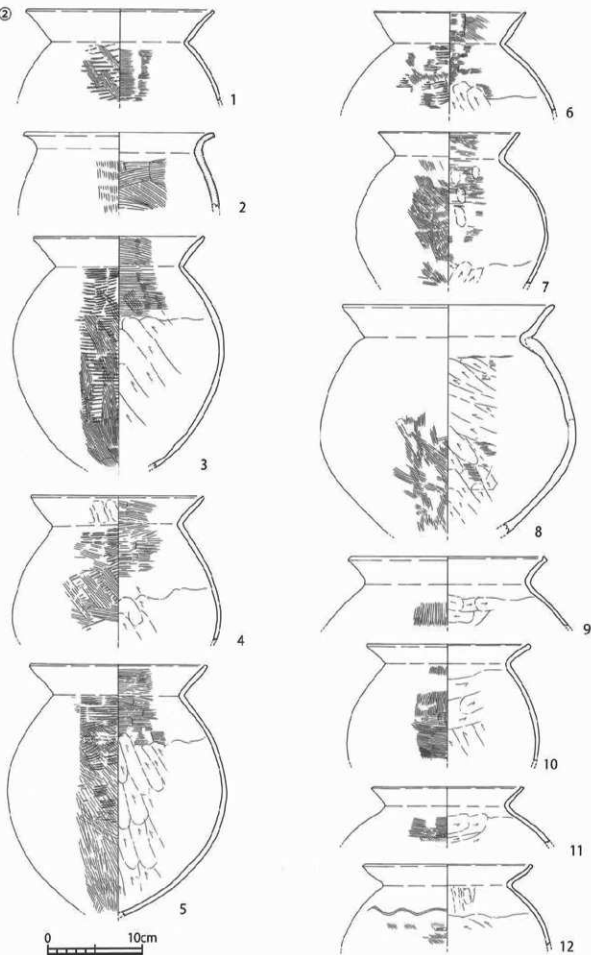
第 88 図 宮ノ前遺跡 SB82 実測図 (S=1/80)

SB81①



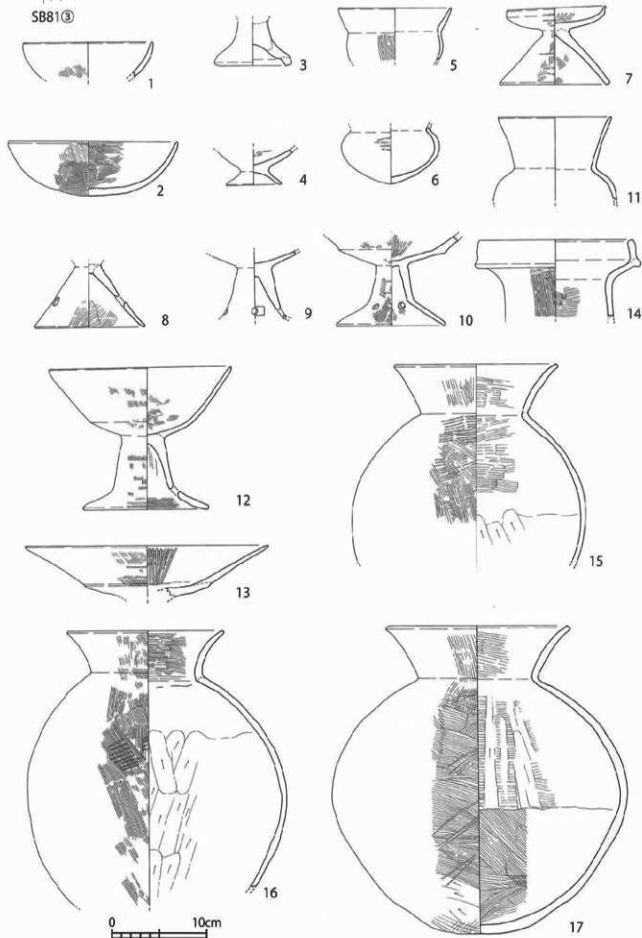
第 89 図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 1 (S=1/4)

SB81②



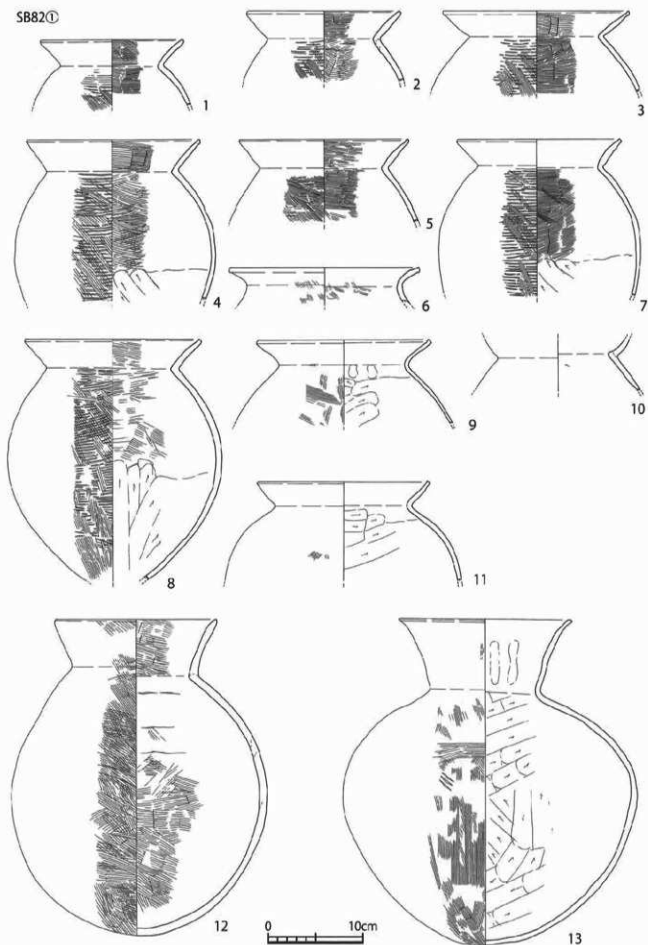
第90図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 2 (S=1/4)

SB81③



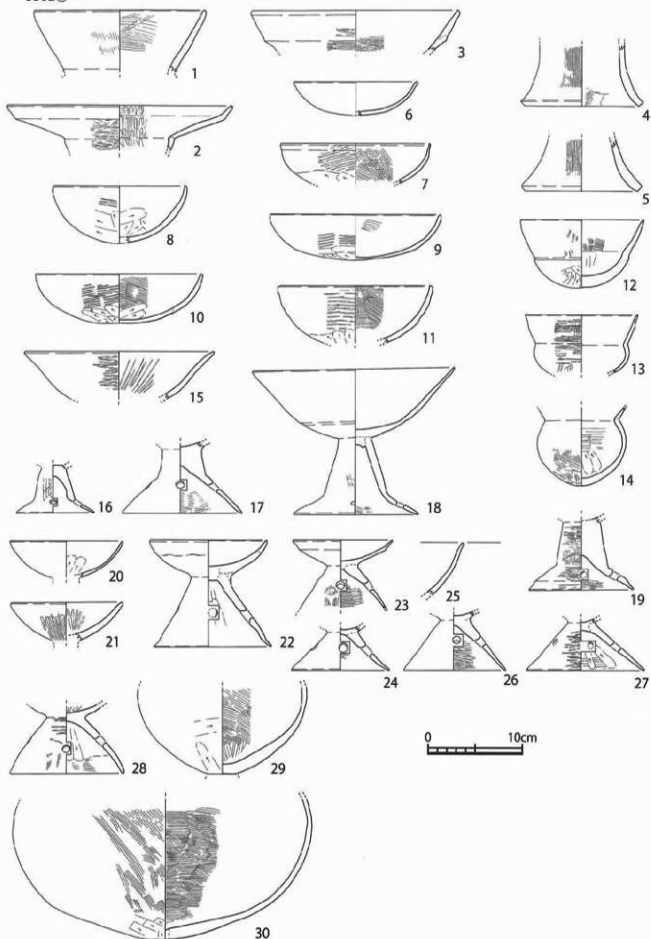
第91図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 3 (S=1/4)

SB82①

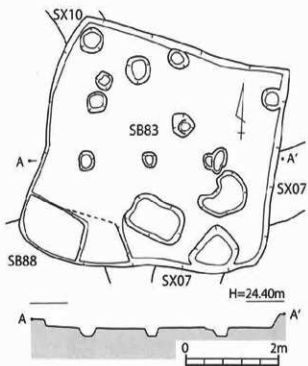


第92図 宮ノ前遺跡 SB82 出土遺物 1 (S=1/4)

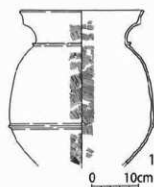
SB82②



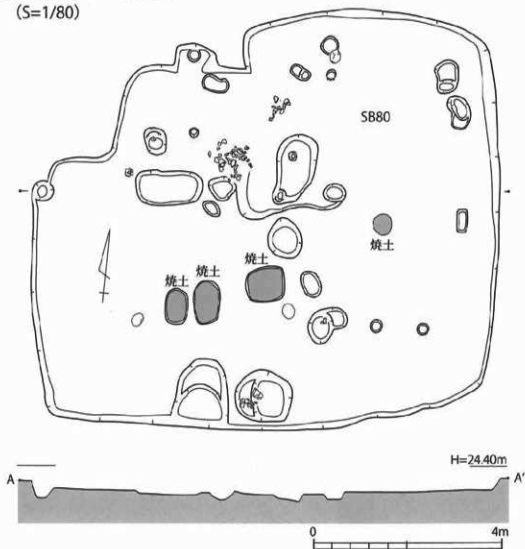
第93図 宮ノ前遺跡 SB82 出土遺物 2 (S=1/4)



第 94 図 宮ノ前遺跡 SB83 実測図
(S=1/80)

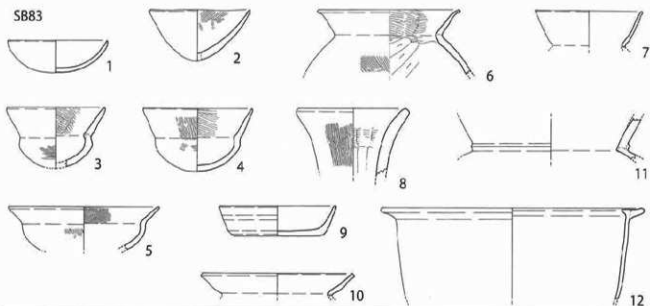


第 95 図 宮ノ前遺跡 SB81 出土遺物 4
(S=1/8)



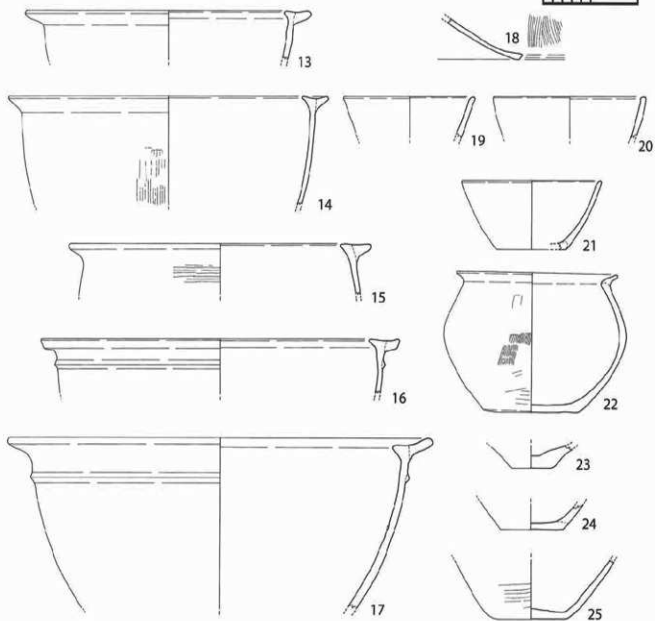
第 96 図 宮ノ前遺跡 SB84 実測図 (S=1/40)

SB83

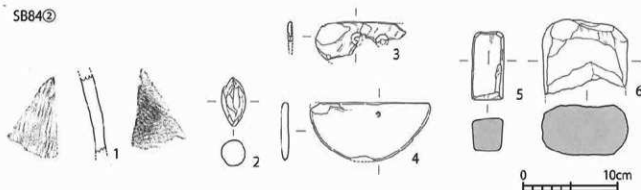


SB84①

0 10cm



第 97 図 宮ノ前遺跡 SB83・84 出土遺物 (S=1/4)



第98図 宮ノ前遺跡 SB84 出土遺物 (S=1/4)

SB83 (第94・97図)

調査区の西側で発見された建物跡である。正方形に近い平面形である。ピット・土坑は多数検出されているが、火処や主柱穴は明確ではない。遺物は古墳時代前期の古式土師器が主体であり、その他、弥生時代中期の土器(97図8・11・12)や古代の土器(97図9)が出土している。

SB84 (第96～98図)

調査区の北側中央やや東寄りで発見された。建物跡の北部分は調査区外に延び、未掘である。ほぼ長方形に近い平面形であり、北東にはベッド状遺構を有する可能性がある。主柱穴は明確ではない。遺物は覆土中より弥生時代中期の土器や石包丁・土製投弾・砥石片が出土している。

SB85・SB86 (第99～101・104図)

調査区西端で発見された。SB85は西側のSB94に切られており、SB86はSB94を切っている。SB85は正方形に近い平面形であり、中央に炉を持つ4本主柱の建物跡と思われる。SB86も正方形に近い平面形であるが、中央に炉を持つ2本主柱と思われる。遺物はSB85からは弥生時代中期の土器・石器が多数出土している。SB86からも弥生時代中期の土器が出土している。

SB87 (第102図)

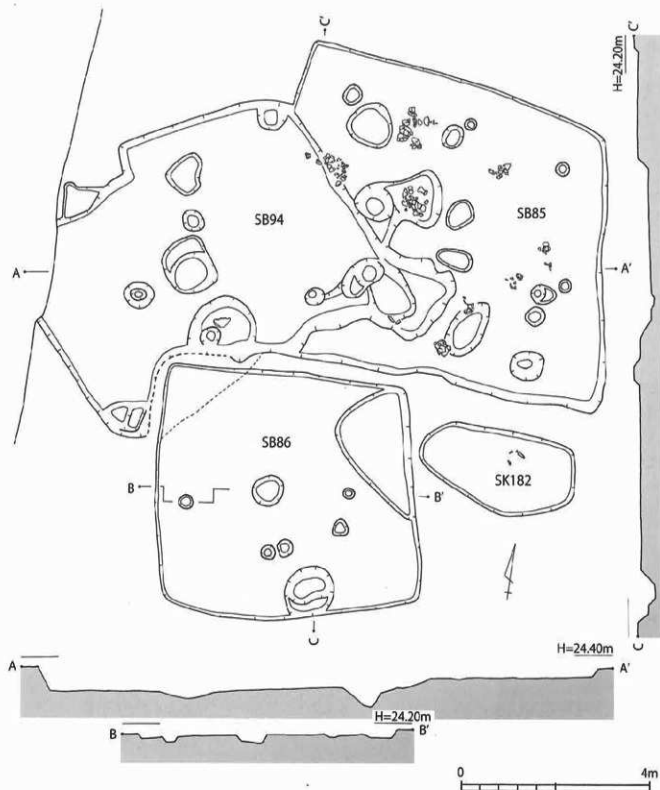
調査区南端発見された。遺構は調査区外に延びており、北端の一部のみ調査がなされている。遺構の詳細は不明であり、建物跡か動向であるのかも判然としない。図化可能な遺物は確認されなかった。

SB88・89・90 (第103・105図)

調査区の南西で発見されたSB88はSB83に切られており、SB88はSB89・SB90を切っている。SB88は西南西―東北東に長軸をもつ長方形の平面形であり、中央に炉を持つ2本主柱の建物跡と思われる。遺物は建物跡南側の土坑内を中心に出土している。SB88からは、古墳時代前期の古式土師器を主体として、古代の須恵器(104図22)が出土している。

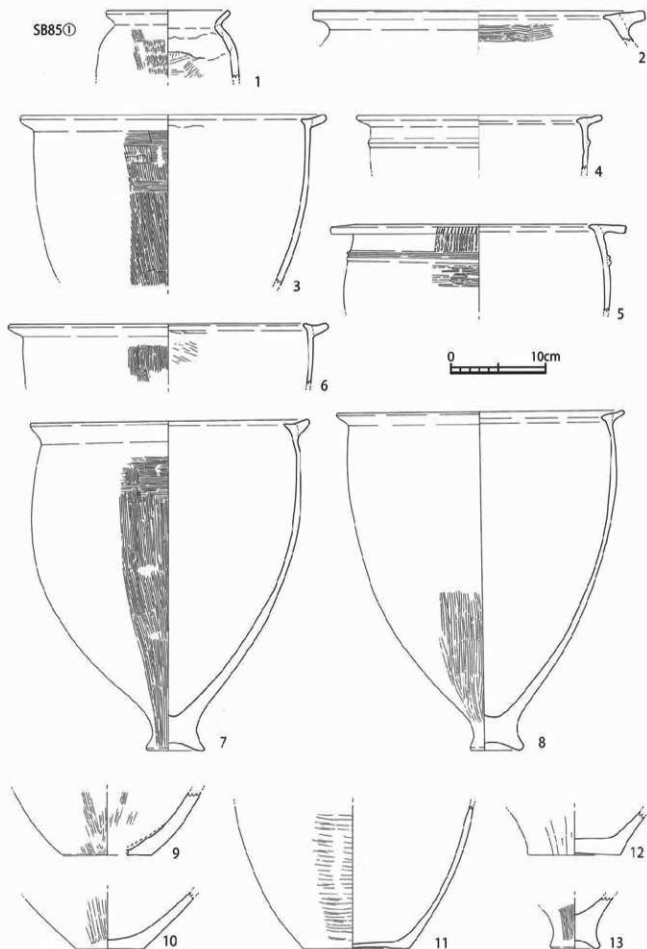
SB89はやや不整形な平面形であるが、正方形の平面形の可能性が高く、中央に炉を持つ4本主柱の建物跡が想定される。遺物は土鍾と弥生土器の器台1点が出土している。

SB90は残存状況も良好ではなく不明な部分もあるが、正方形に近い平面形と思われる。遺物は弥生時代中期の土器を主体として古式土師器・土師器が出土している。



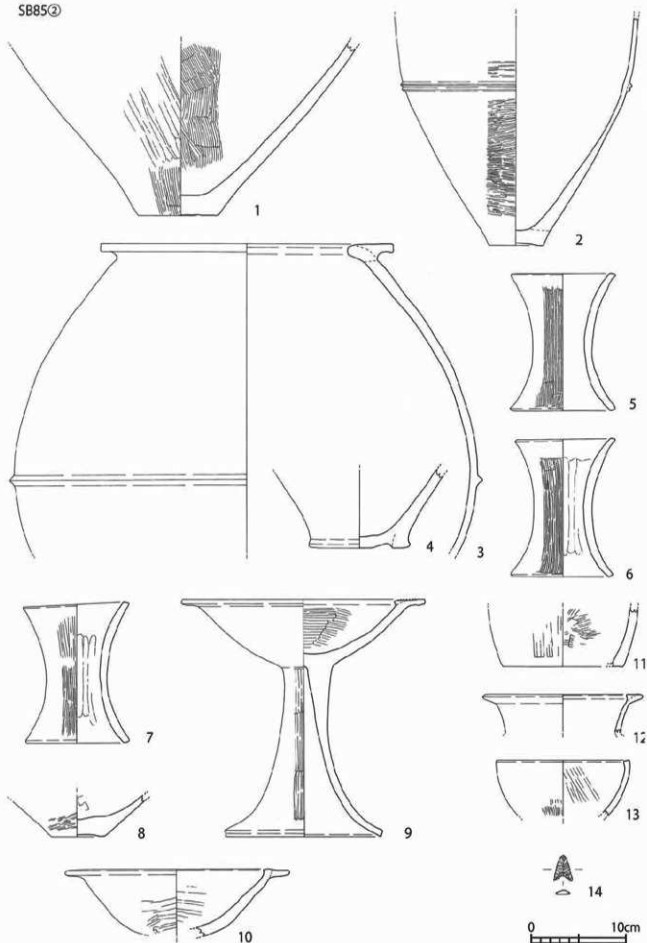
第99図 宮ノ前遺跡 SB85・86・94・SK182 実測図 (S=1/80)

SB85①

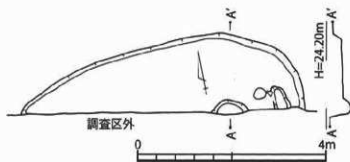


第 100 図 宮ノ前遺跡 SB85 出土遺物 1 (S=1/4)

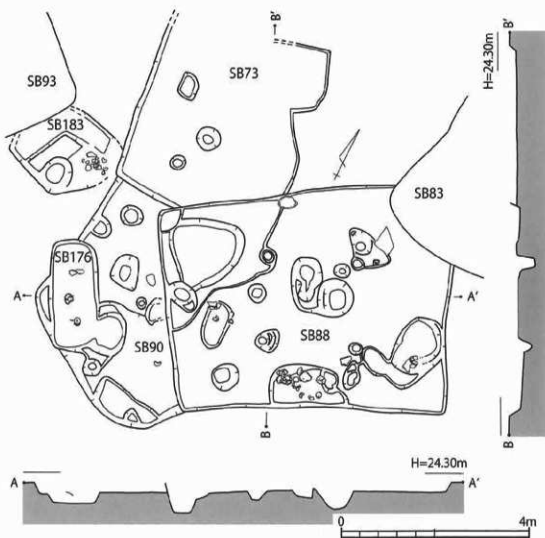
SB85②



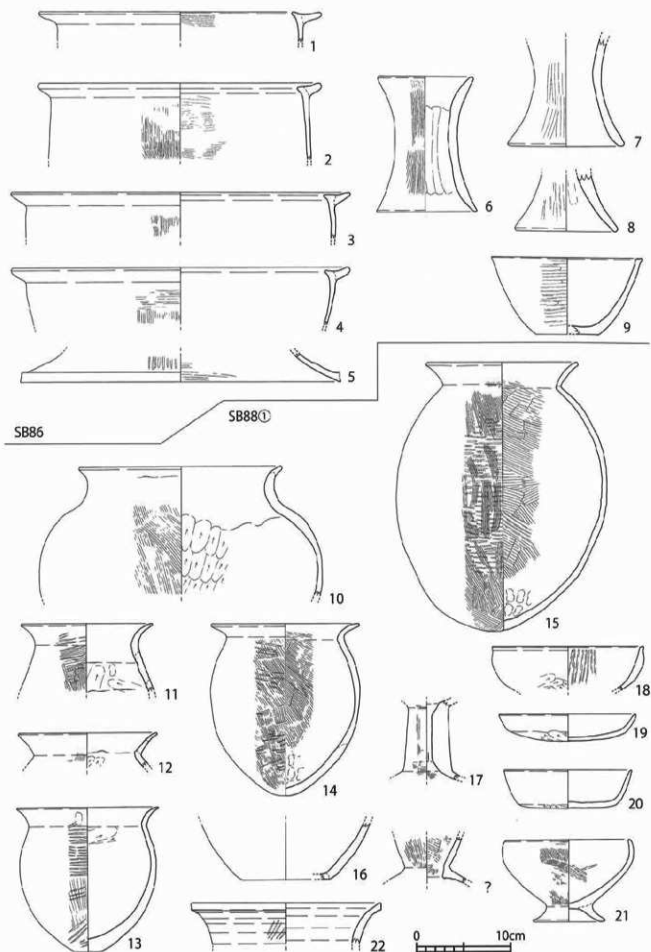
第101図 宮ノ前遺跡 SB85 出土遺物 2 (S=1/4)



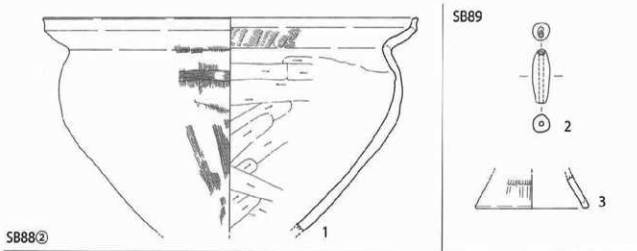
第 102 図 宮ノ前遺跡 SB87 実測図 (S=1/80)



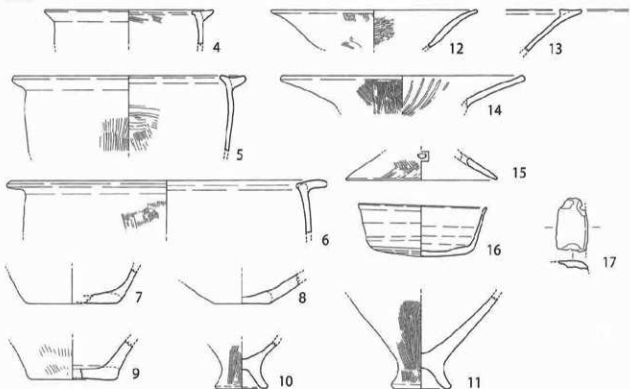
第 103 図 宮ノ前遺跡 SB88・89・90・SK175・176 実測図 (S=1/80)



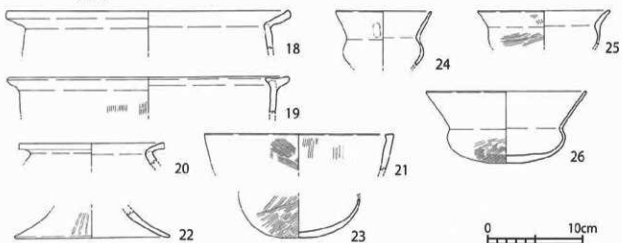
第 104 図 宮ノ前遺跡 SB86・88 出土遺物 (S=1/4)



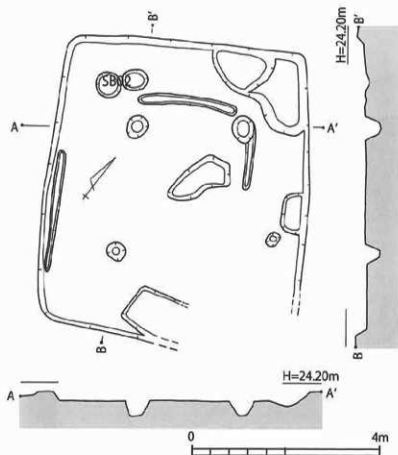
SB90



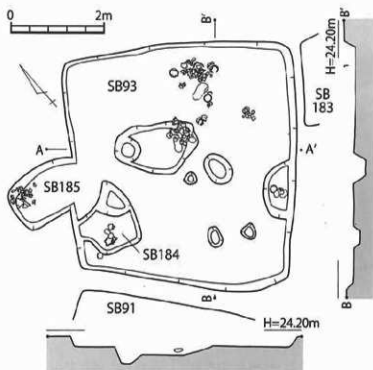
SB91



第105図 宮ノ前遺跡 SB88・89・90・91 出土遺物 (S=1/4)



第106図 宮ノ前遺跡 SB91・SK186 実測図 (S=1/80)



第107図 宮ノ前遺跡 SB93・SK184・185 実測図 (S=1/80)

SB91 (第105・106図)

調査区南西で発見された建物跡である。正方形に近い平面形であり、中央に炉を持つ4本主柱の建物跡である。遺物は覆土中より弥生時代中期・後期の土器や古式土師器が出土している。建物跡の形状や出土遺物より、SB91は古墳時代前期の建物跡と思われる。

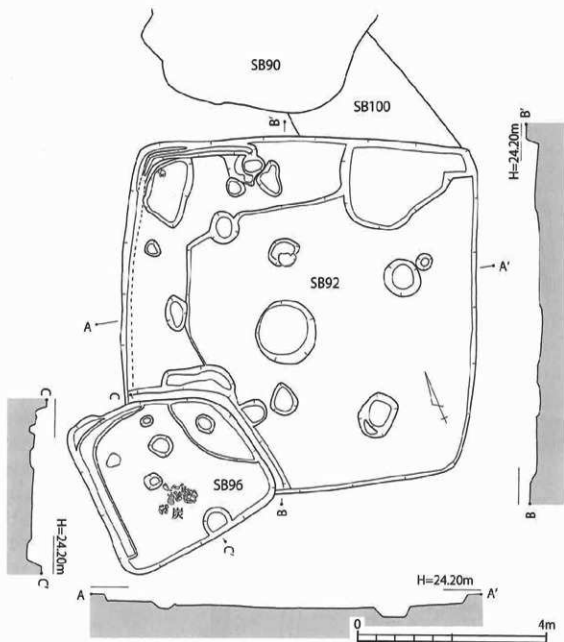
SB93 (第107・110・111図)

調査区南西で発見された建物跡であり、やや小型の正方形の平面形である。周王に炉を持つ4本主柱の建物跡と思われる。遺物は床面近くに数か所のまとまりを持って出土しており、弥生時代中期の土器と古墳時代前期の古式土師器が出土している。出土遺物や建物跡の形状等から、SB93は古墳時代前期に属するものと思われ、出土した弥生時代中期土器はSB093内の土坑等の遺構に伴う可能性が高いものと思われる。

SB92・96 (第108・109図)

調査区南西で発見された建物跡で、SB96がSB92を切っている。SB92は正方形の平面形であり、建物周囲にベッド状遺構を持つ可能性がある。中央に炉を持つ4本主柱の建物跡と思われる。遺物は覆土中より弥生時代中期の土器・古墳時代前期の古式土師器・剥片や砥石が出土している。

SB96は小型の正方形の建物跡であり、中央に炉を持つ4本主柱と思われる。



第 108 図 宮ノ前遺跡 SB92・96 実測図 (S=1/80)

遺物は古墳時代前期の古式土師器・石包丁・砥石等が出土している。

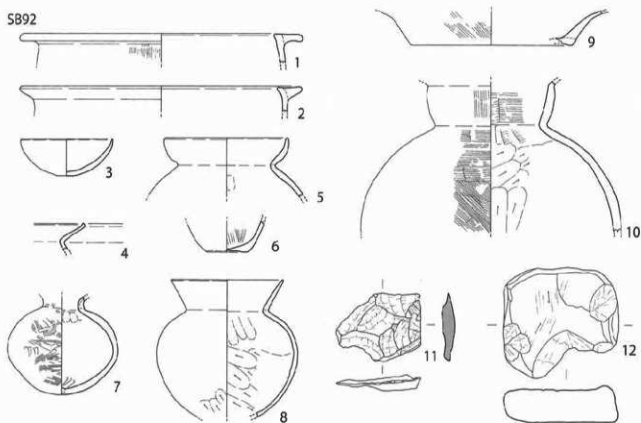
SB94 (第 99 図)

調査区西端で発見された。SB86 に切られており、SB85 を切っている。正方形に近い長方形の平面形であり、検出されている土坑・ピットから、中央に炉を持つ 2 本主柱の建物跡と思われる。図化できる遺物は確認できなかった。

SB95 (第 112・113 図)

調査区の北西で発見された建物跡であり、大部分を SB28 に切られているため、残存状況は良好ではなかった。東西に長軸をもつ長方形の平面形であるが、主柱穴や火処等は不明である。遺物は覆土中より弥生時代中期の土器が出土している。

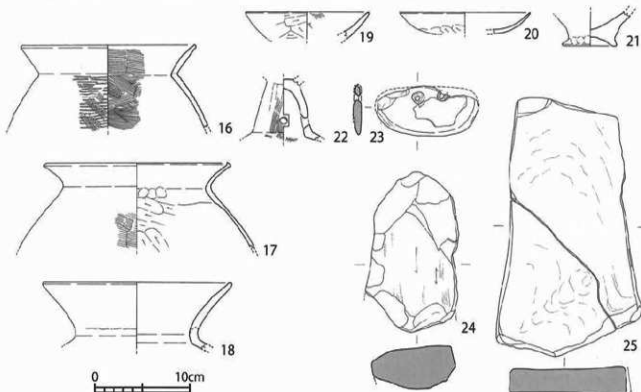
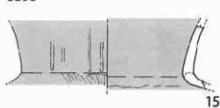
SB92



SB92・100

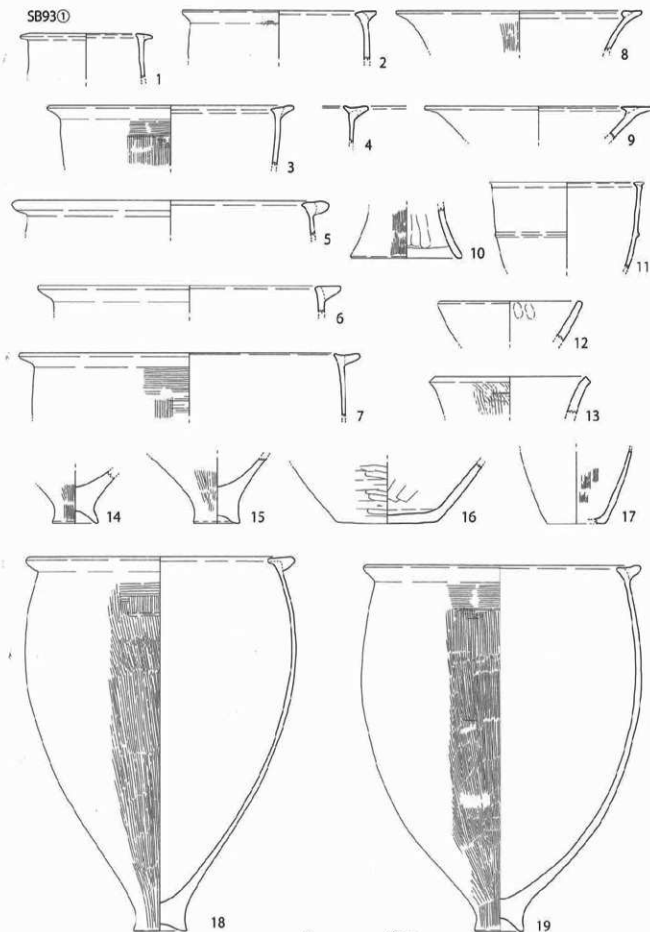


SB96



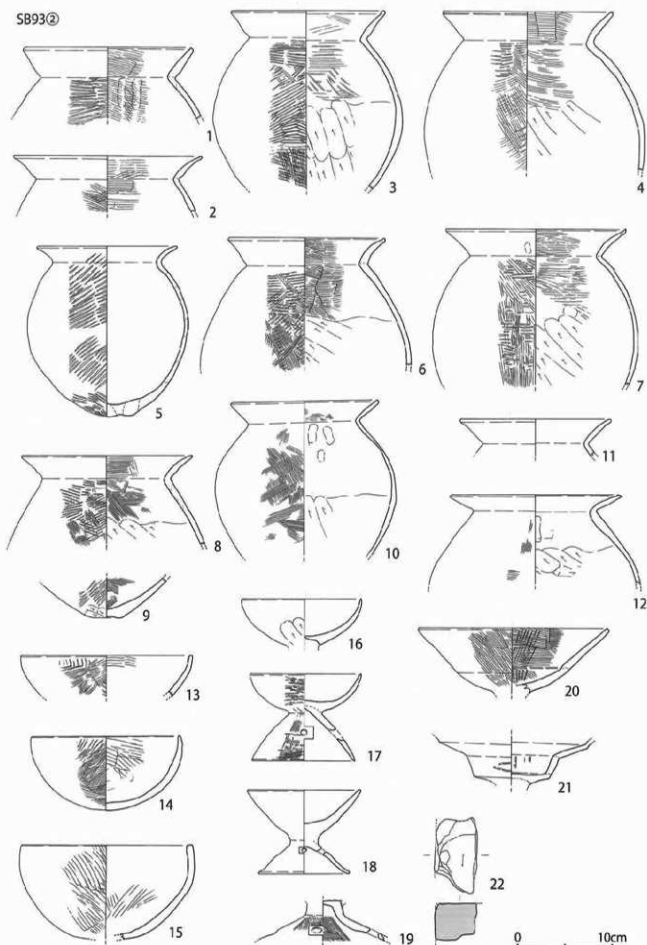
第109図 宮ノ前遺跡 SB92・100・96 出土遺物 (S=1/4)

SB93①



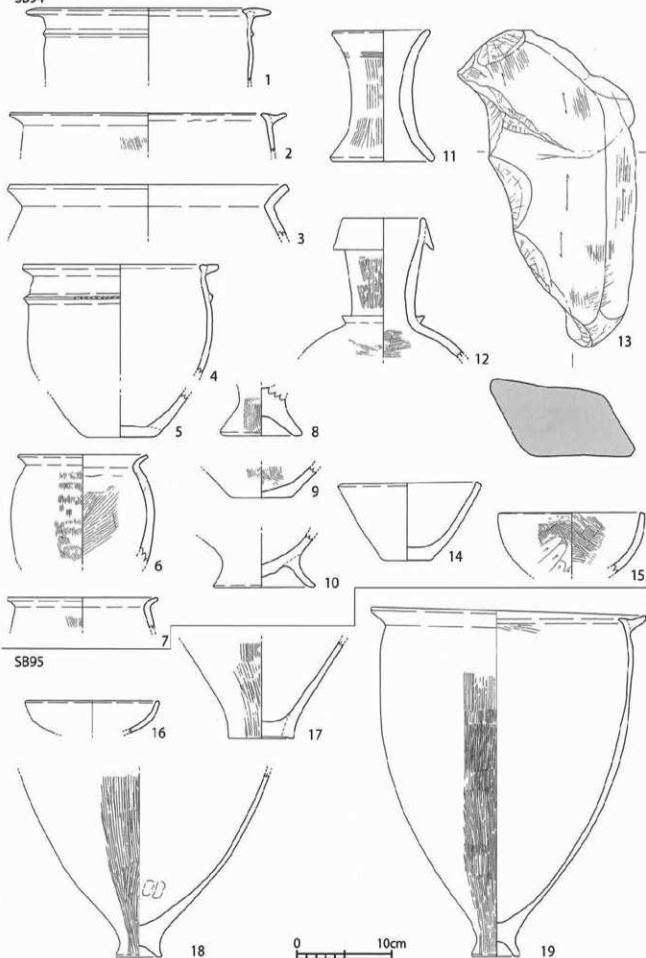
第110図 宮ノ前遺跡 SB93 出土遺物 1 (S=1/4)

SB93②



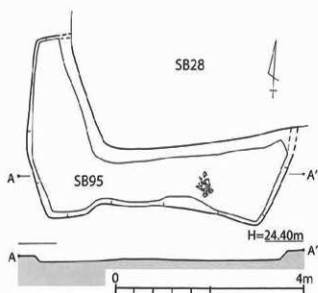
第111図 宮ノ前遺跡 SB93 出土遺物 2 (S=1/4)

SB94

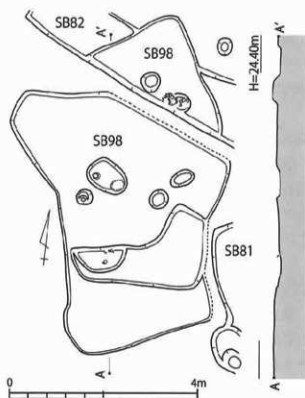


SB95

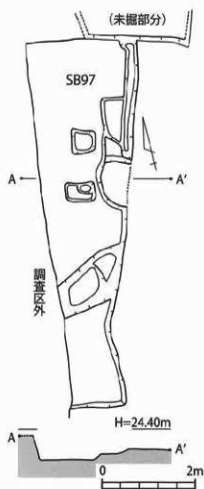
第112図 宮ノ前遺跡 SB94・95 出土遺物 (S=1/4)



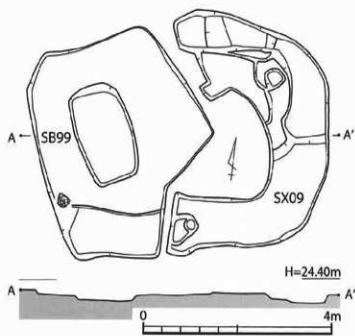
第113図 宮ノ前遺跡 SB95 実測図 (S=1/80)



第115図 宮ノ前遺跡 SB98 実測図 (S=1/80)



第114図 宮ノ前遺跡 SB97 実測図 (S=1/80)



第116図 宮ノ前遺跡 SB99・SX09 実測図 (S=1/80)

SB97 (第 114・117 図)

調査区の北西で発見された建物跡であり、遺構の大半は調査区外に延びるため未掘であるが、正方形の平面形である可能性が高いと思われる。東壁中央でカマド?が検出されているようである。遺物は古墳時代前期の古式土師器を主体として多数出土しており、弥生時代中期の土器をわずかに含んでいる。

SB98 (第 115・117 図)

調査区中央やや北西寄りで発見された建物跡であり、北側で SB82 と重なっている。切り合いもあり、調査図面の整合性の無い箇所もあり不明な点もあるが、遺構の詳細はややいびつな長方形の平面形であるが、火処や主柱穴数は不明である。遺物は弥生時代後期の土器と古墳時代前期の古式土師器が出土している。

SB99 (第 116・117 図)

調査区北西寄りで発見された建物跡であり、SX09 肩溝状遺構と重なっている。建物内には土坑もあり詳細は不明であるが、南北方向に長軸をもつ長方形の平面形であるが、建物跡ではなく土坑等の可能性もある。遺物は弥生土器(中期か)の甕底部が 1 点出土している。

SB100 (第 108・117 図)

調査区南西で発見された建物跡であり、遺構の大半が SB90・SB92 に重なっている。小型であり建物跡か土坑かも判然としない。遺物は弥生時代後期の土器が出土している。

土坑 (SK)

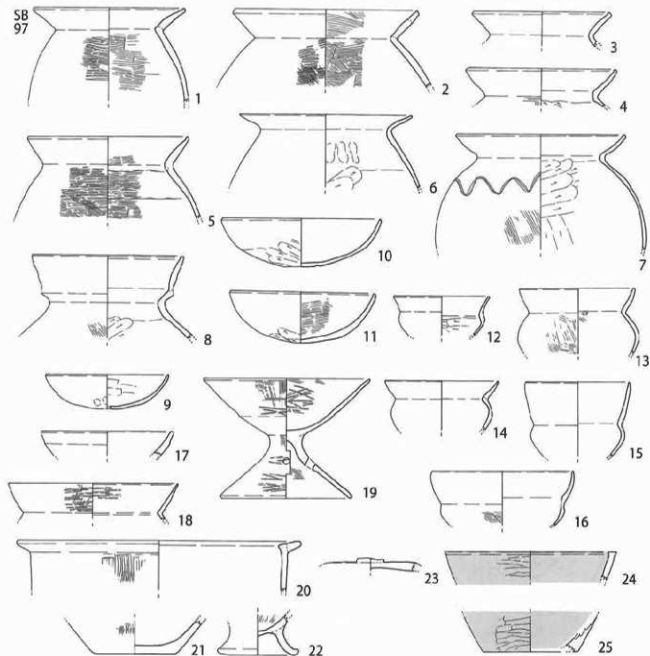
土坑は多数検出されているが(第 3 図参照)、以下では紙幅の都合上、遺物が出土している土坑を中心に報告する。遺物実測図の提示を優先して土坑出土遺物を第 117・139・147・148 図に示し、遺物の詳細は観察表(第 1 表)に示し、注目される点を以下に二・三述べるに留めたので、詳細は観察表を参照されたい。

なお、土坑のうち出土状況がわかる土坑に関しては、出土状況図を第 118 図に示す。

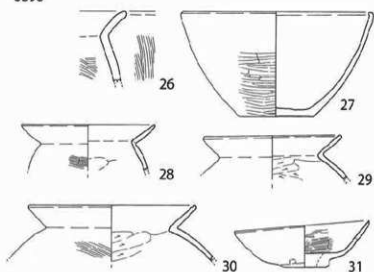
多くの土坑は弥生時代中期の土器が出土していることから、大半は弥生時代中期に属するものと思われるが、中には長方形の土坑状の形状をしているものもあり、成人甕棺の破片と思われる土器片も SB・SK 出土遺物の中に散見されることから、これらの土坑の中には弥生時代中期の甕棺墓の墓坑も含まれているものと思われる。

また、SK91・SK174・SK176 からは古墳時代前期の古式土師器が出土している。

その他、調査区北西の SK36 からは青磁片が多く出土しており、中世(鎌倉時代)の土坑墓の可能性が考えられる。

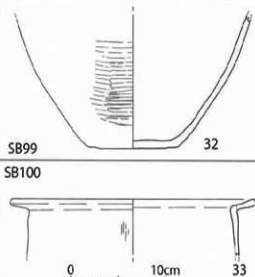


SB98

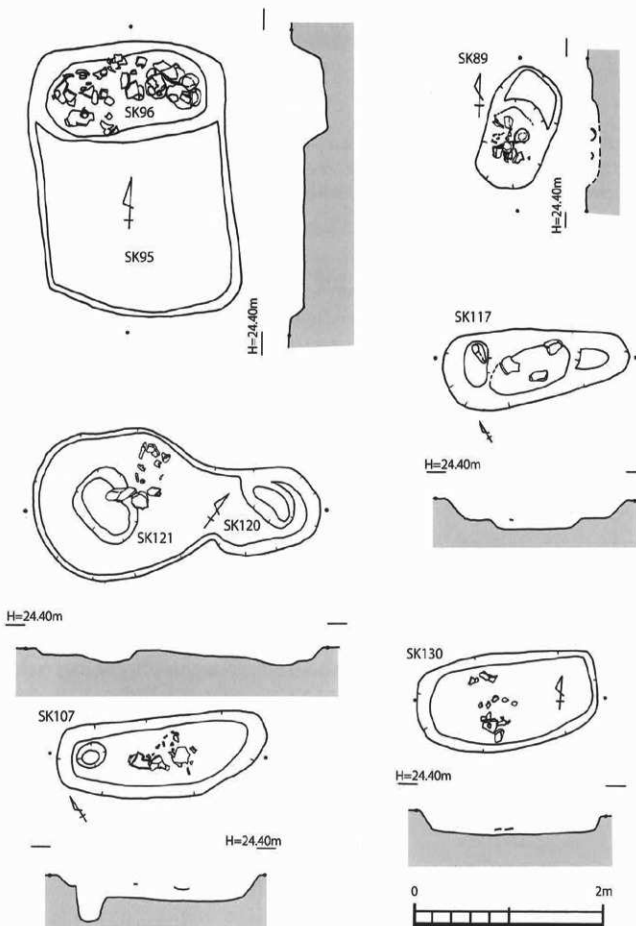


SB99

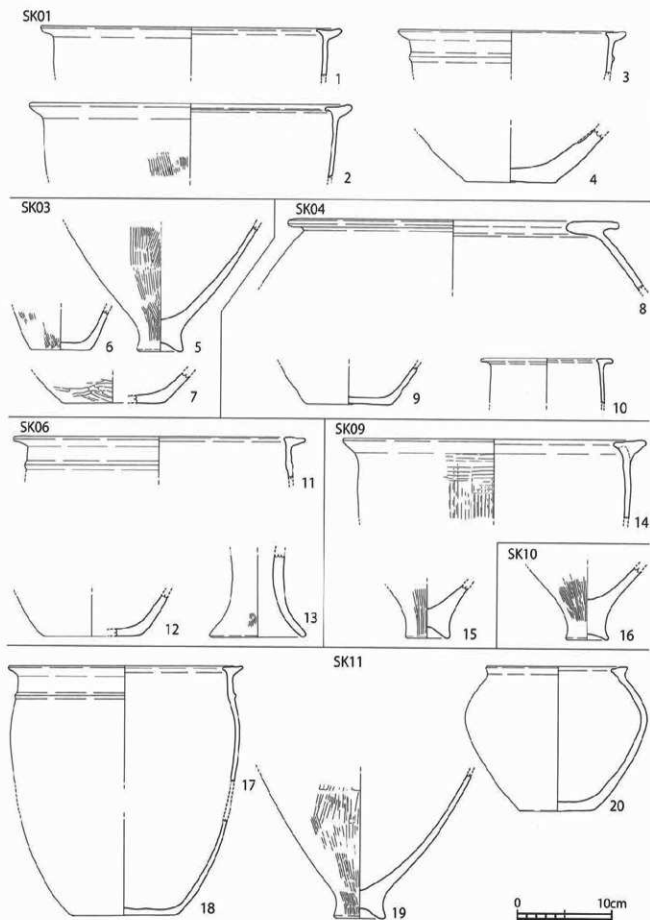
SB100



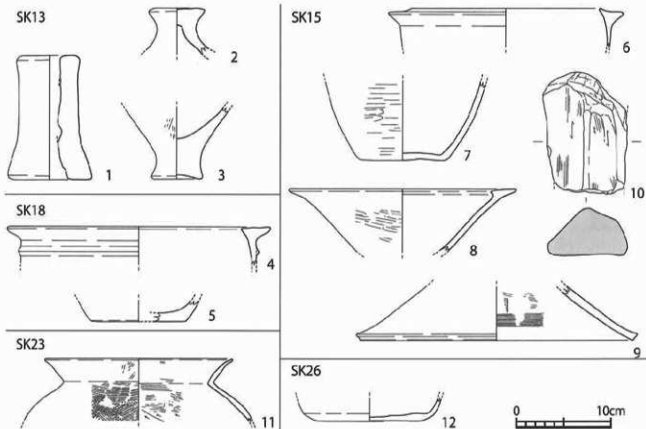
第117図 宮ノ前遺跡 SB97・98・99・100 出土遺物 (S=1/4)



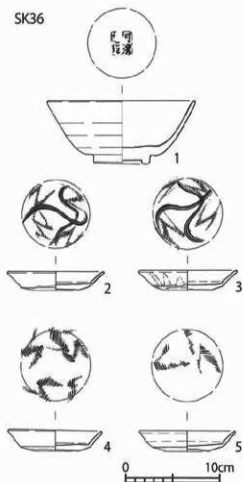
第118図 宮ノ前遺跡主要SK実測図 (S=1/80)



第119図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 1 (S=1/4)



第 120 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 2 (S=1/4)



第 121 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 3 (S=1/4)

SK67

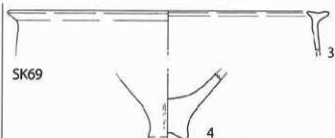


1



2

SK69



3

4

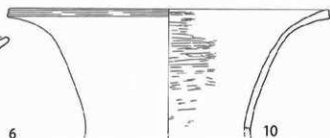
SK70



7



9



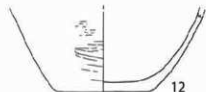
10

6

SK71



11



12



13

SK72



14



15

SK74

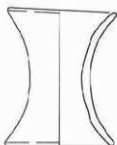


17



18

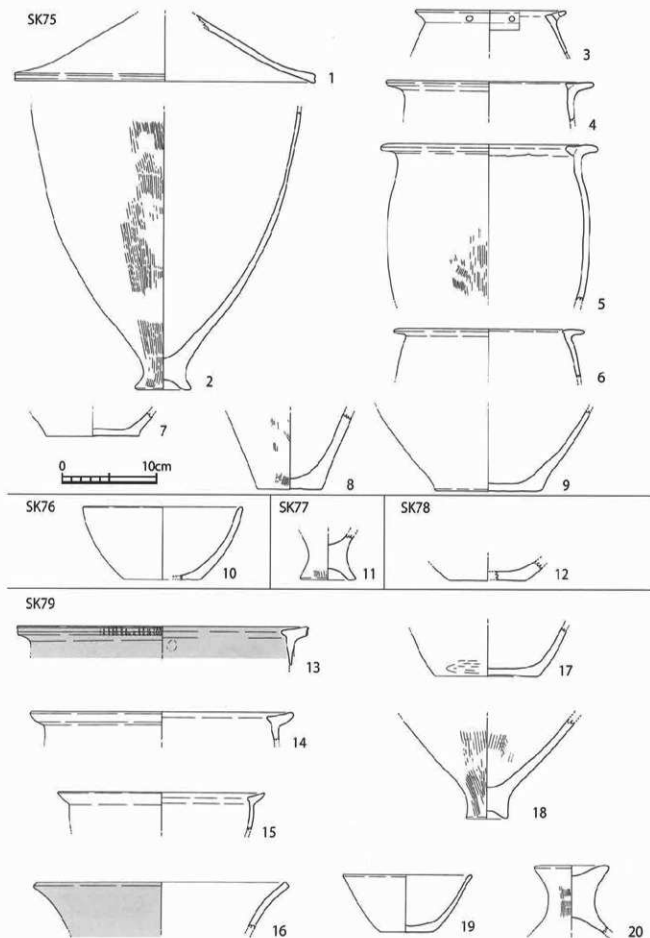
SK73



16

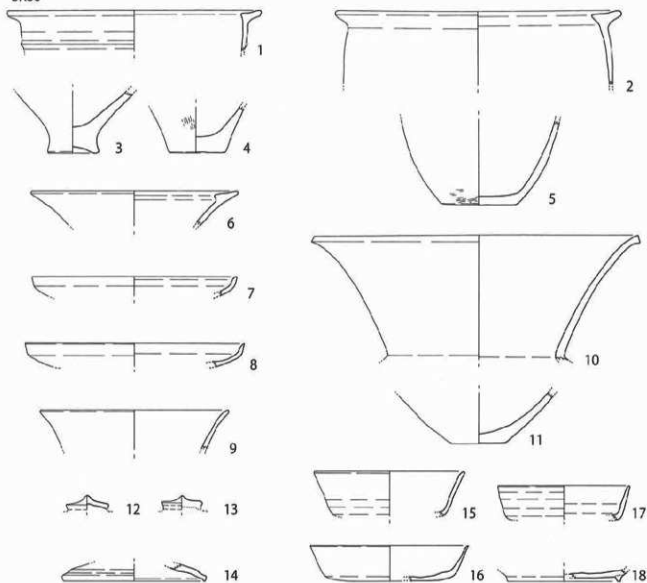


第 122 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 4 (S=1/4)

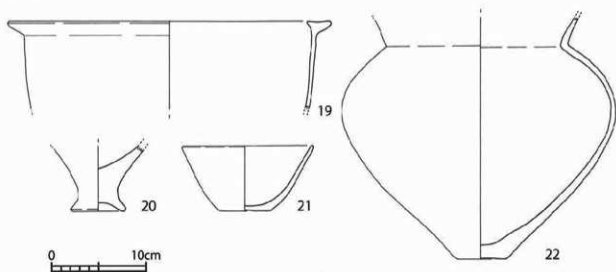


第 123 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 5 (S=1/4)

SK80



SK81



第 124 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 6 (S=1/4)

SK82



SK85



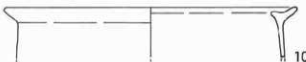
SK83



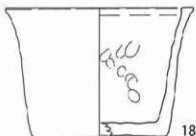
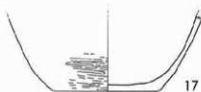
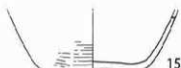
SK84



SK87



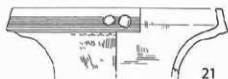
SK89



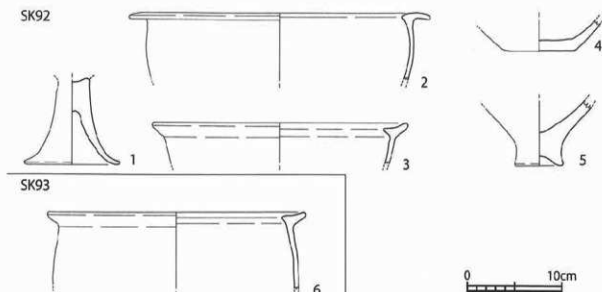
SK90



SK91



第125図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 7 (S=1/4)



第 126 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 8 (S=1/4)

溝状遺構 (SD)

溝状遺構は SD01 ～ SD10 までの記載があるが、SB 番号と同じく、一部水洗遺跡の遺構番号も含まれている。調査図面で確認できる溝状遺構は SD01・06・07・08 であり、溝状遺構は細い溝が 7 条確認できる。

SD01 (第 3・145 図)

調査区北端中央部分で発見された溝状遺構であり、SB19 と重なっている。北側は調査区外に延びる。円形にめぐる溝であることから、周溝状遺構の可能性もある。遺物は弥生土器の甕の底部 1 点が確認された。

SD06 (第 3・145 図)

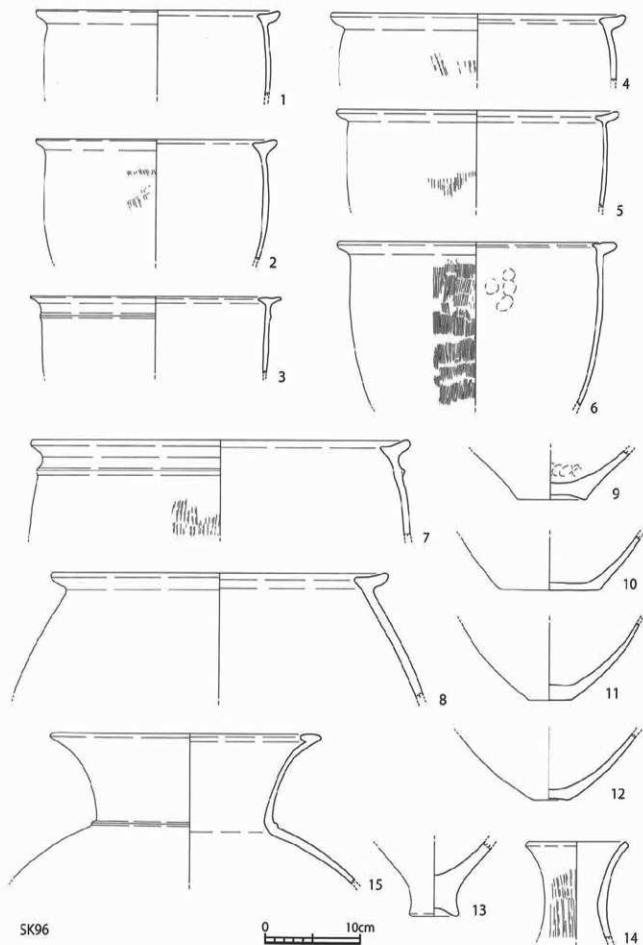
調査区南東で発見された浅くて細い溝状遺構であり、北側は SB48 と重なっている。北側は調査区外に延び、南側は調査区外に延びるようである。北西－南東方向に直線的に伸びる溝である。遺物は弥生土器の袋状口縁壺 1 点が確認された。

SD07 (第 3・145 図)

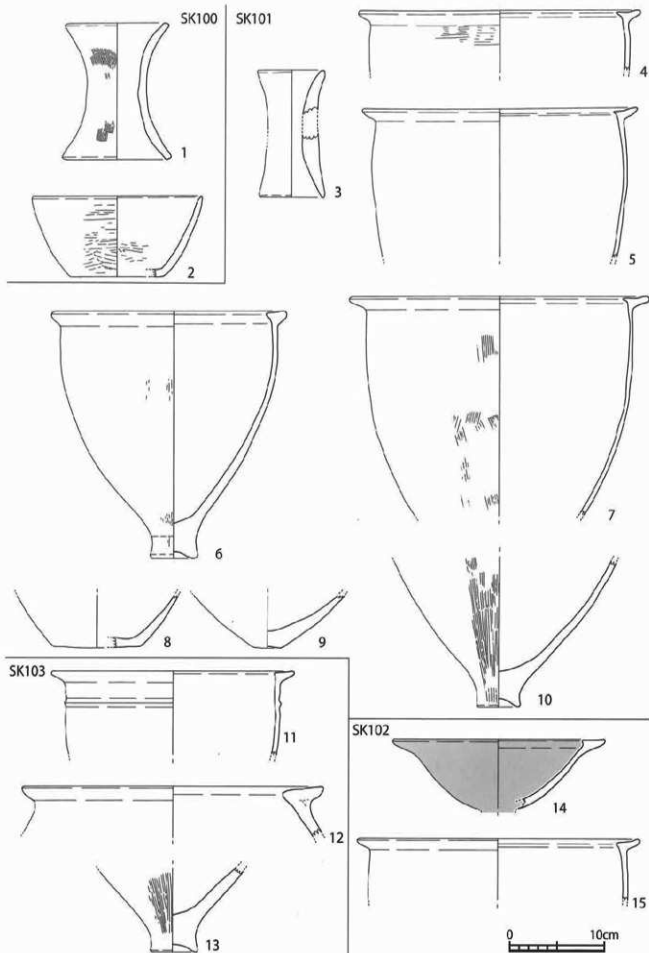
調査区南東で発見された溝状遺構であり、西側で SB46 と重なっている。円形にめぐる溝であることから、周溝状遺構の可能性もある。遺物は弥生時代後期の甕 1 点が確認された。

SD08 (第 3・145 図)

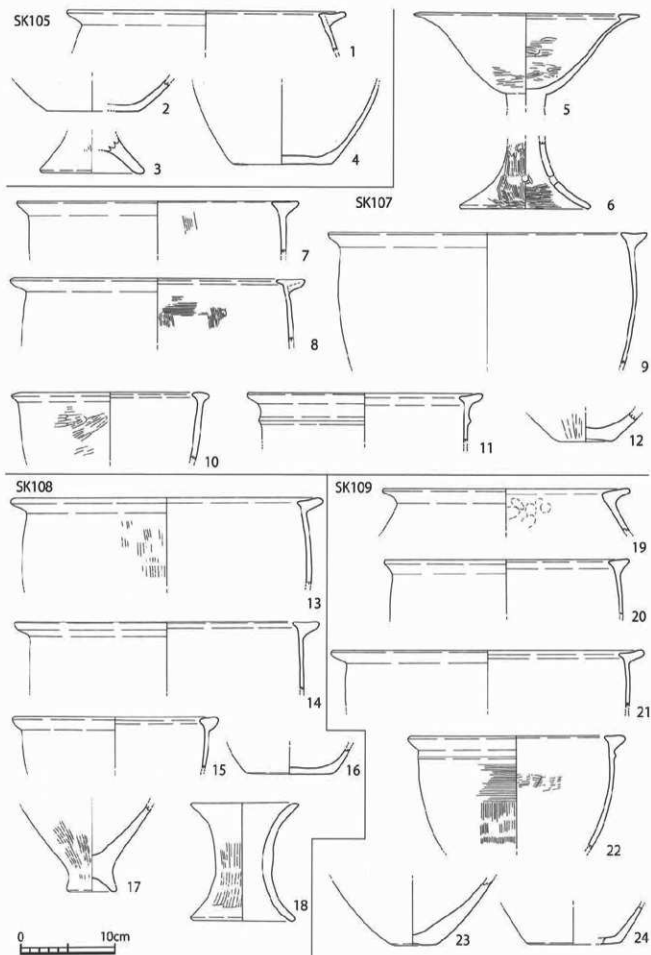
調査区中央で発見された細い溝状遺構であり、途中で直角に曲がっている。区画溝等の一部か。遺物は確認できず、時期は不明である。



第 127 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 9 (S=1/4)

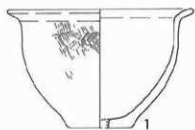


第128図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 10 (S=1/4)



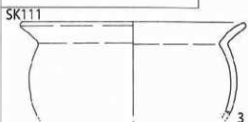
第 129 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 11 (S=1/4)

SK110

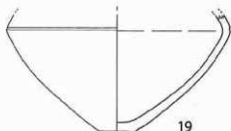
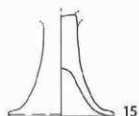
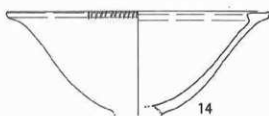
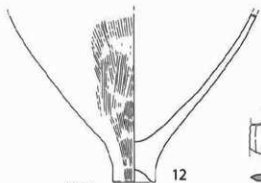
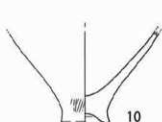
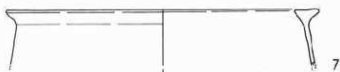
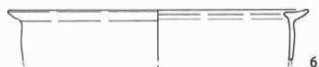
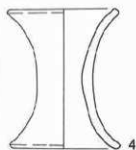


SK112

SK111

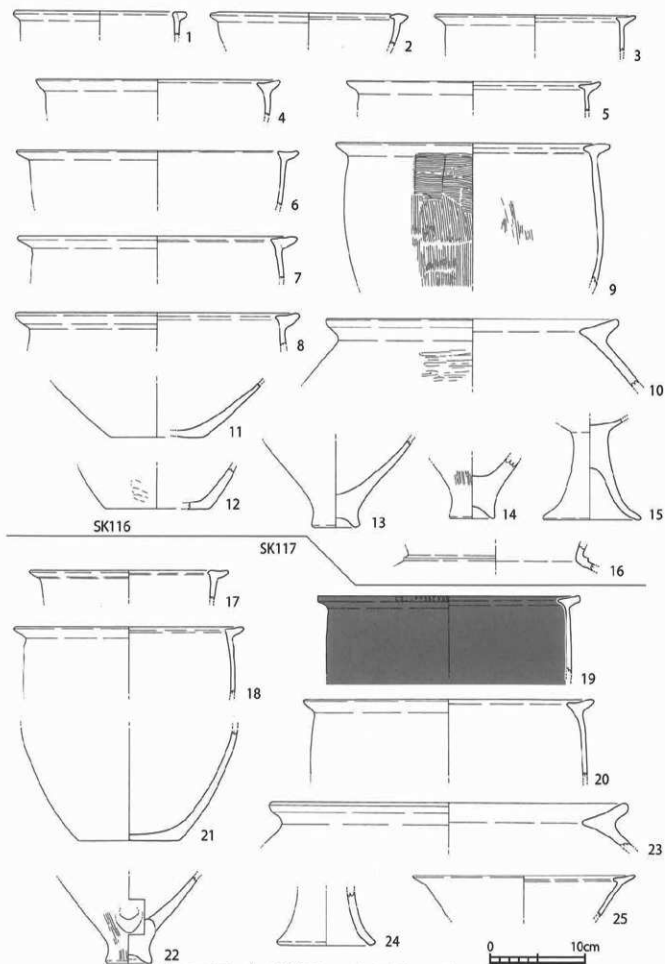


SK114



0 10cm

第 130 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 12 (S=1/4)

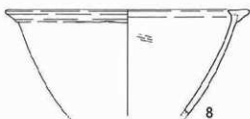


第 131 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 13 (S=1/4)

SK120



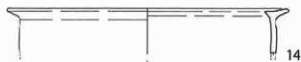
SK121



SK123

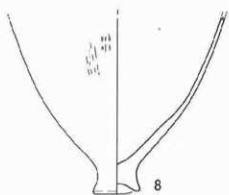
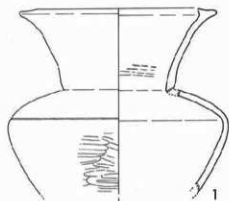
SK128

SK124

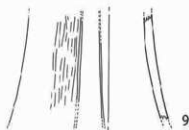
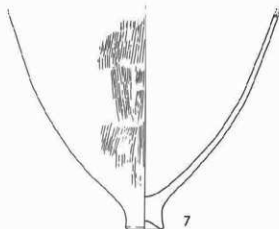
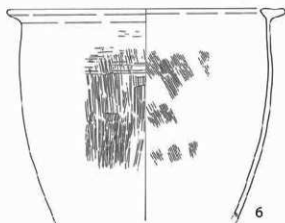


第 132 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 14 (S=1/4)

SK129

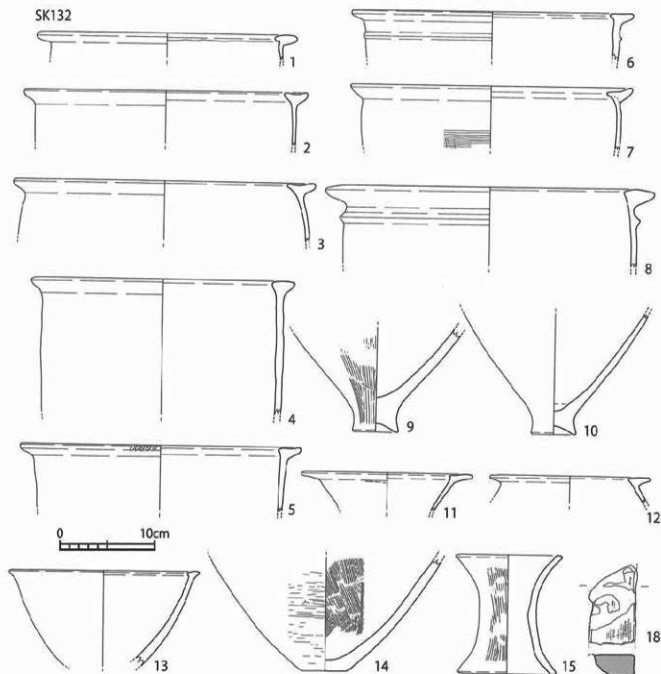


SK130

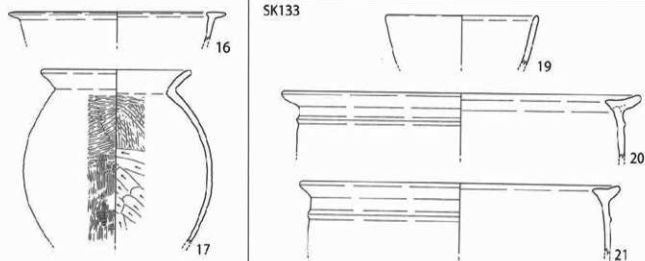


第 133 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 15 (S=1/4)

SK132

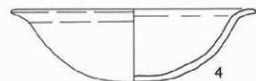
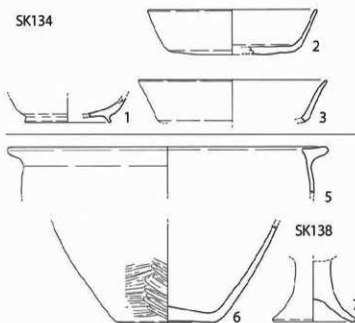


SK133

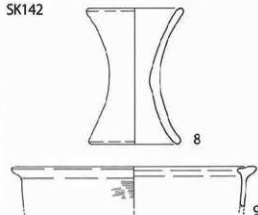


第134図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 16 (S=1/4)

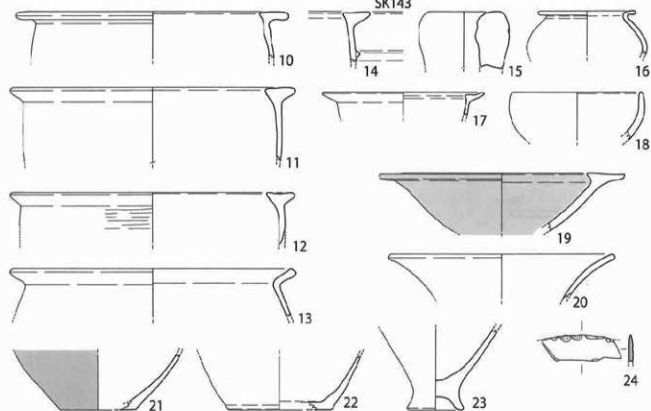
SK134



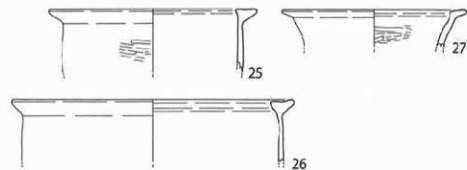
SK142



SK143



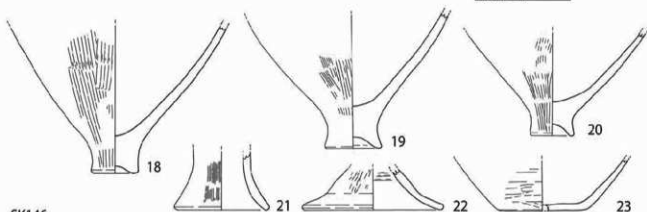
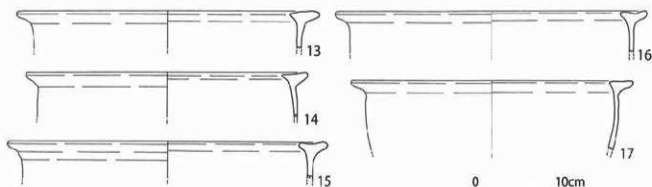
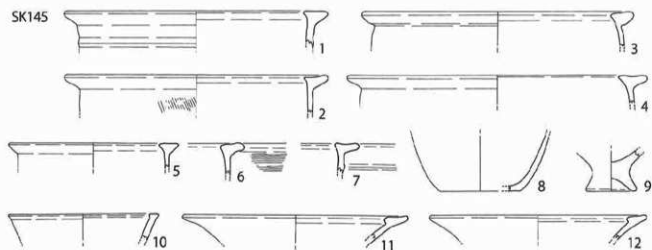
SK144



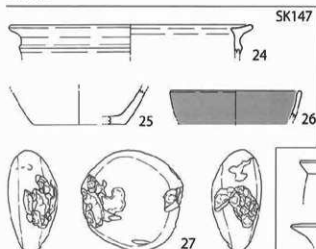
0 10cm

第 135 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 17 (S=1/4)

SK145

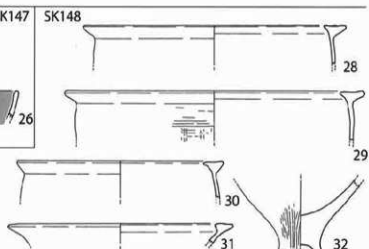


SK146



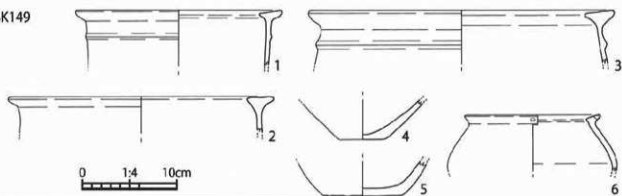
SK147

SK148



第 136 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 18 (S=1/4)

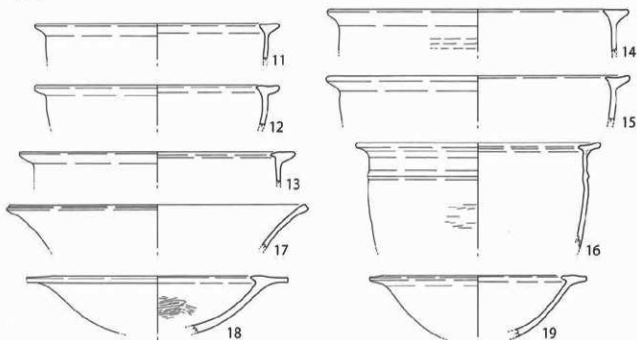
SK149



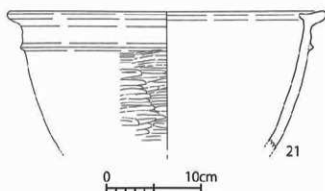
SK150



SK151



SK153



SK152

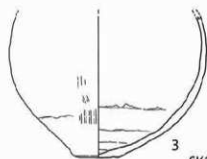
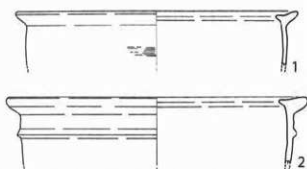


SK154



第 137 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 19 (S=1/4)

SK155



SK156

SK157



SK158



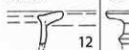
SK158



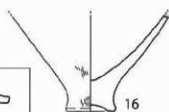
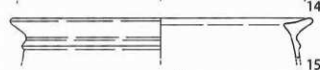
SK160



SK165



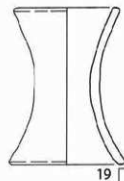
SK166



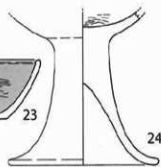
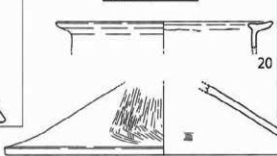
SK168



SK173

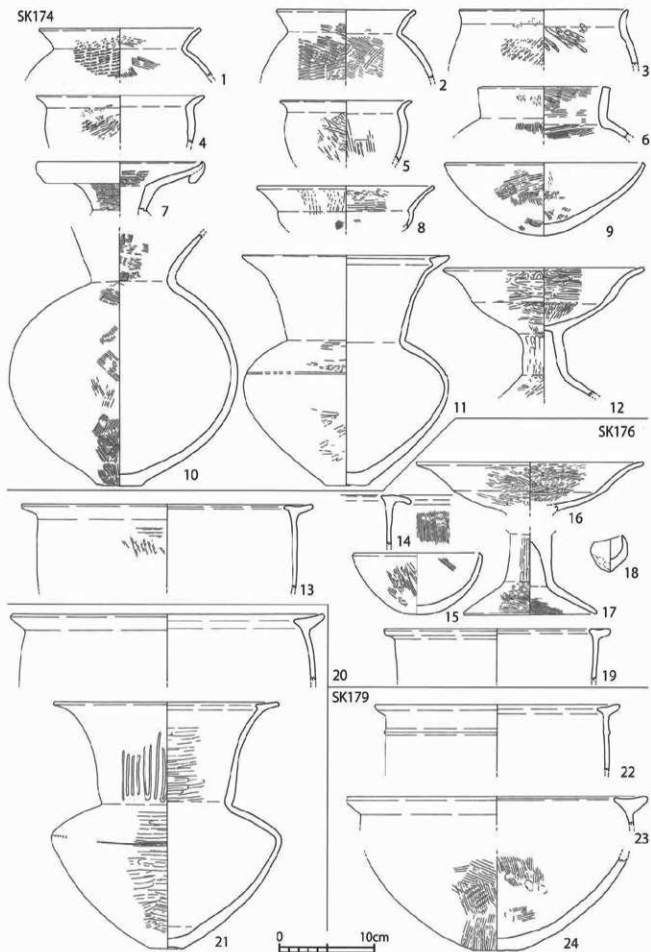


SK172



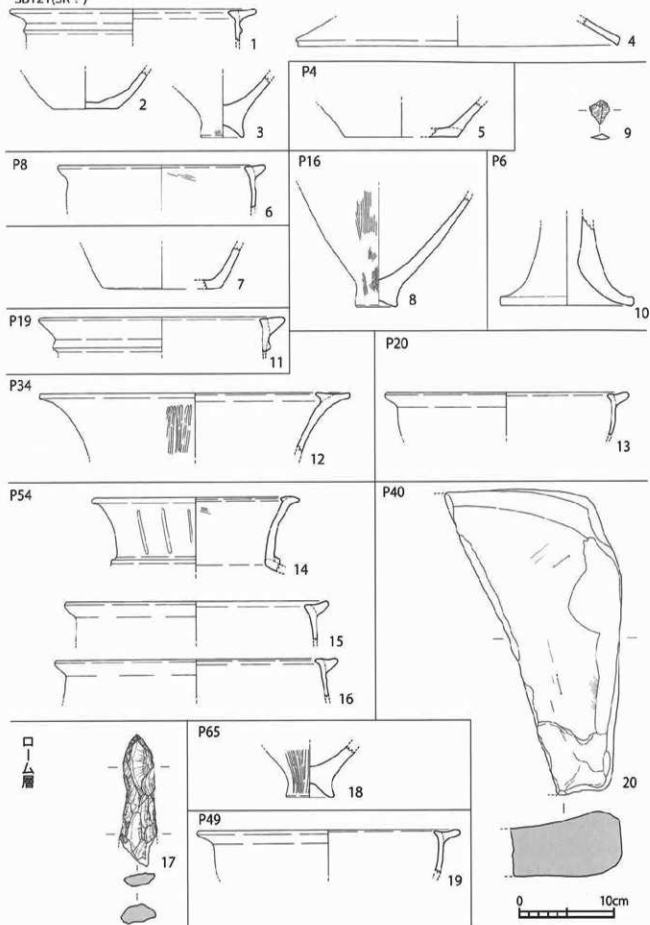
第 138 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 20 (S=1/4)

SK174



第 139 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 21 (S=1/4)

SB121(SK ?)



第140図 宮ノ前遺跡 SB121・ピット出土遺物 (S=1/4)

周溝状遺構・不明遺構 (SX)

宮ノ前遺跡発掘調査でSXとされている遺構はSX01～SX10が存在するようである。そのうち、不明の不整形な溝状遺構を外した周溝状遺構は、調査図面を確認すると形が明確で確實なものは8基存在しているようである。うち、SX02・SX03は欠番である。以下に、周溝状遺構の概要を記す。

SX01 (第11・145図)

調査区北東側で発見された円形の周溝状遺構である。SB07と重なっており一部は残存していない。遺物は鋤先口縁の甕の破片が1点出土しており、弥生時代中期に属する。

SX04 (第53・145図)

調査区南東側で発見された、やや楕円形の円形の周溝状遺構である。北側でSB51と重なり、南西側でSB53に接している。遺物は鋤先口縁の甕2点が出土しており、弥生時代中期に属する。また、黒曜石の剥片1点が出土している。

SX05 (第141・145図)

調査区中央付近からやや南東の位置で確認された、円形の周溝状遺構である。西が歯がSB55と重なっている。遺物は弥生土器の甕および古代の須恵器が出土している。

SX06 (第63図)

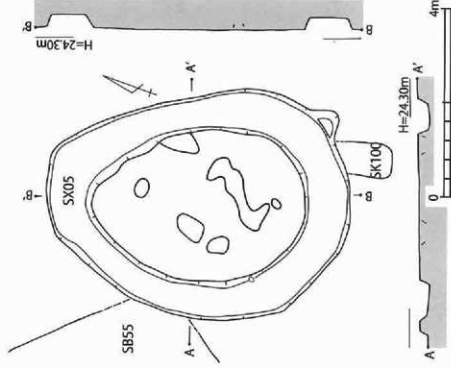
調査区北東側で、SB63と重なる形で発見された周溝状遺構である。出土遺物は図化可能なものはない。確認できなかった。

SX07 (第142・145図)

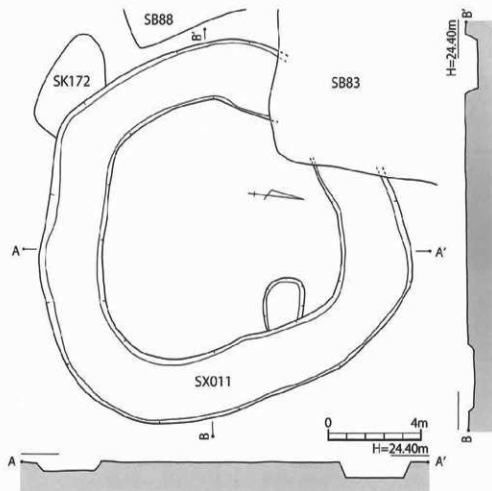
調査区南西よりの箇所で見えられた、ややいびつな円形大型の周溝状遺構である。遺物は弥生土器および古墳時代前期の古式土師器が出土している。

SX08 (第143・145図)

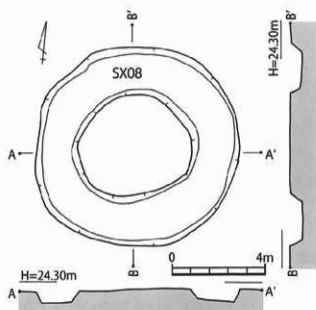
調査区中央から南西側の箇所、SX07の南側で見えられた小型円形の周溝状遺構である。図化可能な遺物は確認されなかった。



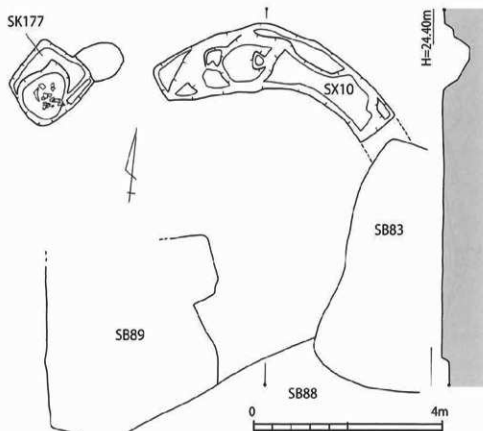
第141図 宮ノ前遺跡SX805実測図 (S=1/80)



第 142 図 宮ノ前遺跡 SX011 実測図 (S=1/80)



第 143 図 宮ノ前遺跡 SX08 実測図 (S=1/80)



第 144 図 宮ノ前遺跡 SX10・SK177 実測図 (S=1/80)

SX09 (第 116・145 図)

調査区北西部で SB99 と重なって発見された円周状のカーブを描く溝状遺構であり、東側は SB83 と重なっている。遺物は弥生時代中期の土器片が出土している。

SX10 (第 144 図)

調査区西側で発見された周溝状遺構である。円形に全周するかも不明である。図化可能な遺物は確認されなかった。

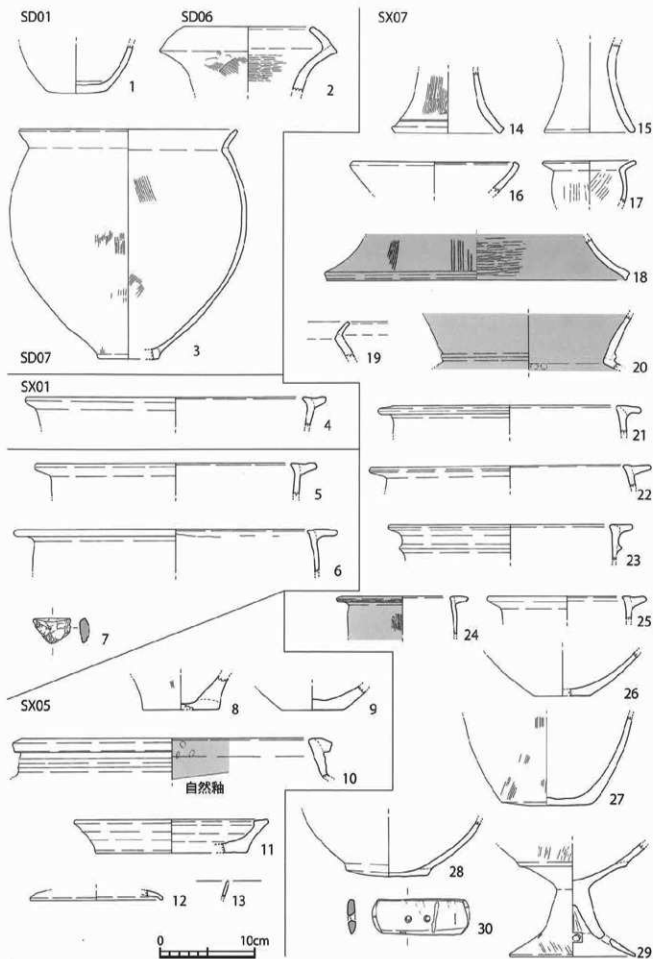
SX11 (第 144 図)

調査区北西の、SB94 内にあるようであるが、詳細は不明である。遺物は弥生土器の器台 1 点が出土している。

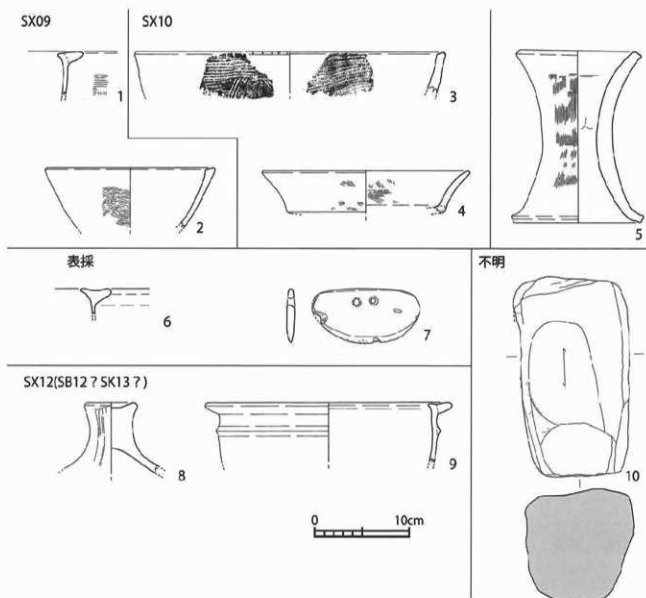
その他出土遺物等 (第 146 図 6～10)

その他、表面採集遺物や出土地不明遺物等を 146 図に示した。うち、「SR112」と注記がなされているもの 2 点あったが (146 図 8・9)、注記時における SB ないし SK の記入間違いの可能性が高く、調査図面を検討しても SB は 100 までしか確認できないため、SK112 の注記間違いの可能性が高いものと思われる。その他、本報告からは除外しているが、「SX12」と記載のある形状不明の鉄塊 1 点があるが、遺構の詳細は不明である。

第 140 図 17 はローム層中から出土した石器で、安山岩製の剥片尖頭器と思われる。時期判断はやや

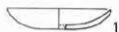


第145図 宮ノ前遺跡SD・SX出土遺物 (S=1/4)



第 146 図 宮ノ前遺跡 SX・表土・不明出土遺物 (S=1/4)

SK181

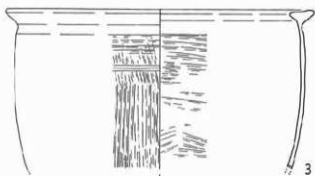


1

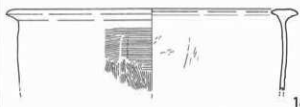
Sk182



2



3



18

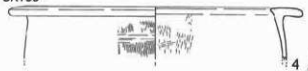


19



20

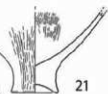
SK183



4



10



21



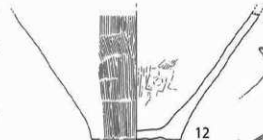
5



11



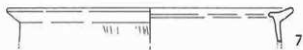
6



12



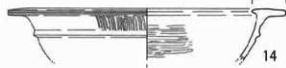
13



7



8



14



9



15



17

0 10cm



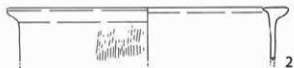
16

第 147 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 21 (S=1/4)

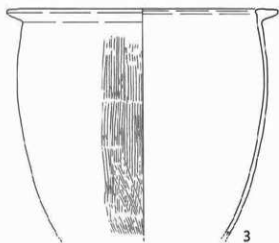
SK185



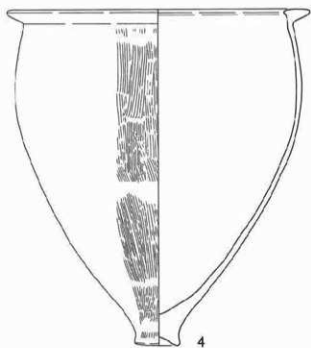
1



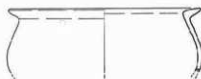
2



3



4



5

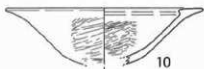
SK186



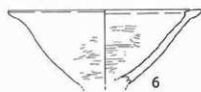
8



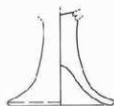
9



10



6



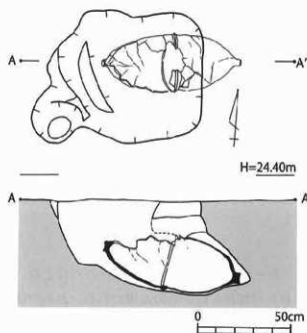
7

第 148 図 宮ノ前遺跡 SK 出土遺物 22 (S=1/4)

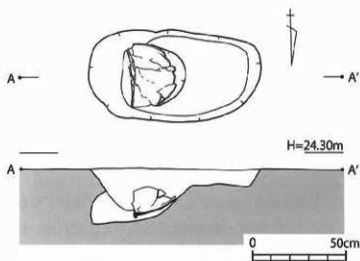
困難であるが、出土状況を考慮すれば、宮ノ前遺跡周辺で旧石器時代～縄文時代前半にも人々がいた可能性を示す遺物で注目される。

甕棺墓 (K)

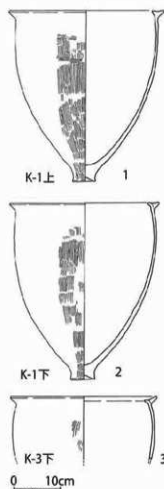
甕棺墓は発掘調査時に9基が確認されている。K-1～K-10が存在するが、K-2は欠番である。いずれも住居跡等から発見される甕形土器と同サイズであり、棺の規模から小児棺である可能性が高い。また、これまで報告してきた通り、建物跡等の別遺構中からも成人棺の破片が出土している。この点は、北隣接の二反田遺跡の状況と同じであり、両遺跡にまたがって甕棺墓地が存在していたことを示すと思われる。また、甕棺墓はいずれも口縁部は断面鋤先状であることから、弥生時代中期に属するも



第149図 宮ノ前遺跡 K-1 実測図 (S=1/20)



第150図 宮ノ前遺跡 K-2 実測図 (S=1/20)



第151図 宮ノ前遺跡 K-1・3 甕棺 (S=1/8)

のと思われ、この点は昨年度報告の宮ノ前遺跡北隣に所在する二反田遺跡と同様の状況であり、一連の墓地である可能性が高いと思われる。なお、発見された甕棺には煤の付着等の火を受けた痕跡等は確認されないことから、甕形土器の転用等ではなく、埋葬専用に製作・使用された甕形土器である可能性が高いと考えられる。

その他、前述したが、竪穴式住居跡（SB）内からも成人甕棺の破片は多数出土しており、土坑の中にも甕棺墓の土坑と形状や規模が類似するものも確認されることから、調査区内に成人棺も含めた甕棺墓群が宮ノ前遺跡～二反田遺跡にかけて形成されていた状況が読み取れる。以下に、調査で発見された甕棺墓の概要を記す。

K-1（第149・151図）

調査区北東端近くで発見された甕棺墓であり、主軸を東西方向にとる。甕棺はやや下甕が下がるが、ほぼ横位に近い形で埋設された状況で検出されている。上面の一部は割れた状況で発見されているが、残存状況は良好である。上甕・下甕ともに甕形土器が使用されている。遺物や人骨等は確認されていない。弥生時代中期に属するものと思われる。

K-3（第150・151図）

調査区東端近くで発見された甕棺墓であり、主軸を東西方向にとる。残存状況はあまり良好ではなく、甕形土器の一部が残存するのみであるが、残存部分は埋蔵時の原位置を保っているものと思われ、ほぼ横位で出土している。遺物や人骨等は確認されていない。弥生時代中期に属するものと思われる。

K-4・K-5（第152・154図）

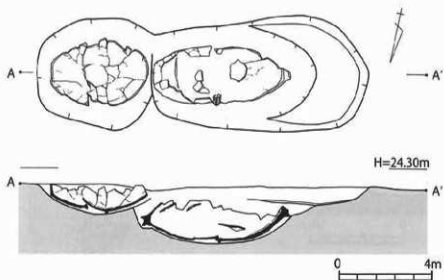
調査区の東側で発見された甕棺墓である。K-4・K-5ともに主軸をほぼ東西方向にとる。甕棺の位置関係から、K-5の埋設の後にK-4が埋設された可能性が高いものと思われる。ともにほぼ横位に近い形で埋設された状況で検出されている。上面の一部は割れた状況で発見されているが、残存状況は良好である。上甕・下甕ともに甕形土器が使用されている。遺物や人骨等は確認されていない。K-4の東側の甕形土器は報告書作成時に検出できていないため、鉢形土器のみを154図に示した。ともに、弥生時代中期に属するものと思われる。

K-6（第153・154図）

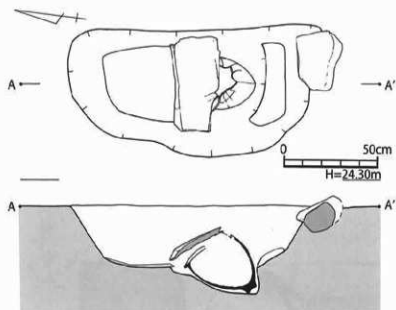
調査区の中央やや南東の箇所で見出された甕棺墓である。南北方向に軸をとり、甕形土器に板石で蓋をするタイプの甕棺墓で、他の合口の甕棺墓と比して、やや立てて埋設する形態をしている。甕の形状から、弥生時代中期に属するものと思われる。

K-7（第155・157図）

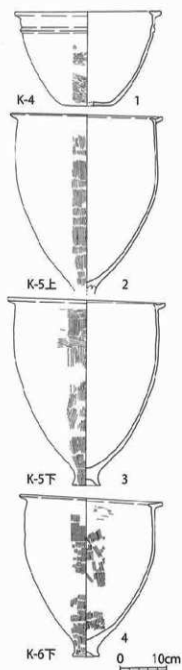
調査区北東端近くで発見された甕棺墓であり、主軸を東西方向にとる。甕棺はやや下甕が下がるが、ほぼ横位に近い形で埋設された状況で検出されている。上面の一部は割れた状況で発見されているが、残存状況は良好である。上甕・下甕ともに甕形土器が使用されている。遺物や人骨等は確認されていない。弥生時代中期に属するものと思われる。



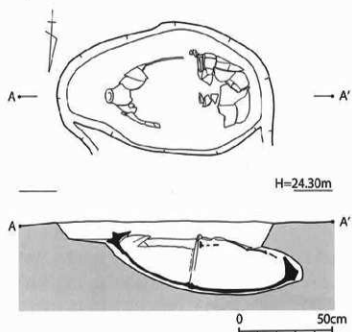
第 152 図 宮ノ前遺跡 K-4・5 実測図 (S=1/20)



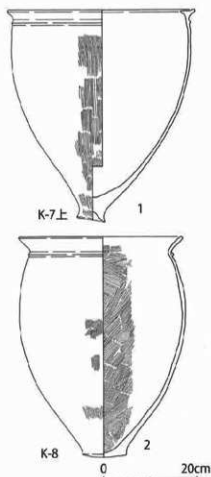
第 153 図 宮ノ前遺跡 K-6 実測図 (S=1/20)



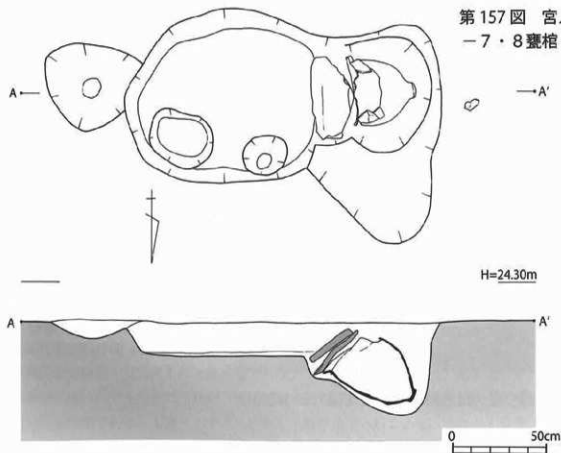
第 154 図 宮ノ前遺跡
K-4・5・6 竈棺 (S=1/8)



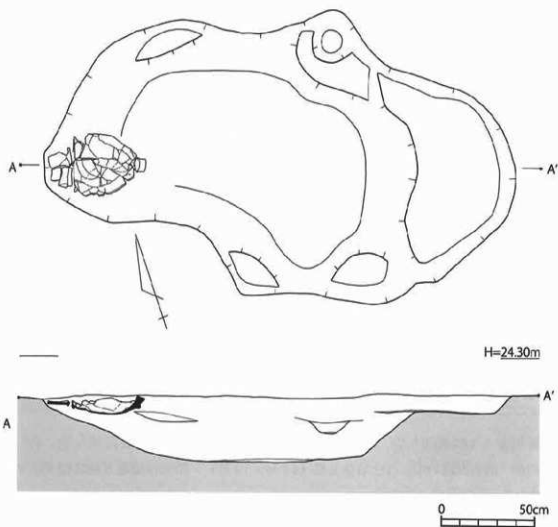
第 155 図 宮ノ前遺跡 K-7 実測図 (S=1/20)



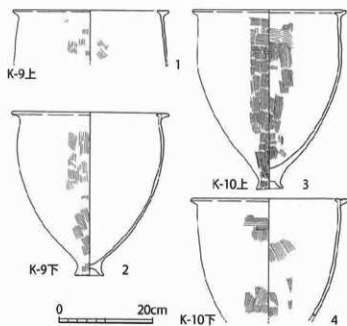
第 157 図 宮ノ前遺跡 K-7・8 竈棺 (S=1/8)



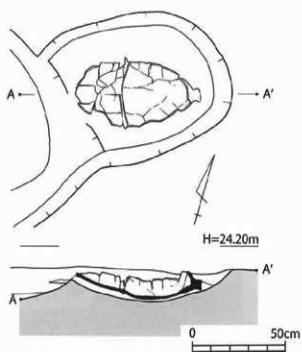
第 156 図 宮ノ前遺跡 K-8 実測図 (S=1/20)



第 158 図 宮ノ前遺跡 K-9 実測図 (S=1/20)



第 160 図 宮ノ前遺跡 K-9・10 甕棺
(S=1/8)



第 159 図 宮ノ前遺跡 K-10 実測図
(S=1/20)

K-8 (第156・157図)

調査区中央付近で発見された甕棺墓である。南北方向に軸をとり、甕形土器に板石で蓋をするタイプの甕棺墓で、他の合口の甕棺墓と比して、やや立てて埋設する形態をしている。甕の形状から、弥生時代中期に属するものと思われる。

K-9 (第158・160図)

調査区北東端近くで発見された甕棺墓であり、主軸を北西-南東方向にとる。甕棺はやや下甕が下がるが、ほぼ横位に近い形で埋設された状況で検出されている。上面の一部は割れた状況で発見されているが、残存状況は良好である。上甕・下甕ともに甕形土器が使用されている。遺物や人骨等は確認されていない。弥生時代中期に属するものと思われる。

K-10 (第159・160図)

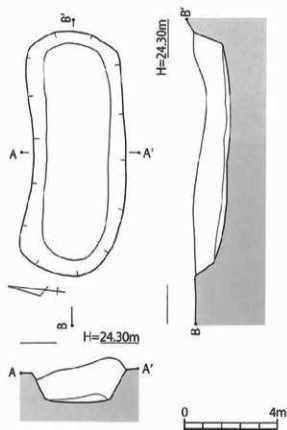
調査区北東端近くで発見された甕棺墓であり、主軸を東西方向にとる。甕棺はやや下甕が下がるが、ほぼ横位に近い形で埋設された状況で検出されている。上面の一部は割れた状況で発見されているが、残存状況は良好である。上甕・下甕ともに甕形土器が使用されている。遺物や人骨等は確認されていない。弥生時代中期に属するものと思われる。

土坑墓 (第161～163図)

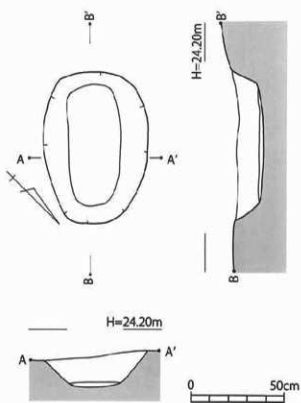
甕棺墓の他、調査図面の中には土坑墓2基(11号・13号)・箱式石棺墓1基(12号)の系3基の墓が確認される(位置は第3図参照)。

火葬場跡 (第164図)

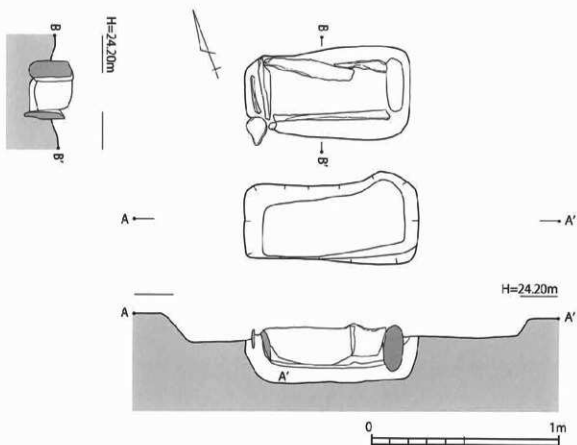
その他、調査図面では「SB94 火葬場跡」とされる遺構の図面が確認された。SB94の内部で検出されたものと思われる。詳細は不明な点も残るが、図面からは河原石を組み合わせで敷き詰められている状況が確認でき、焼土層が確認される。



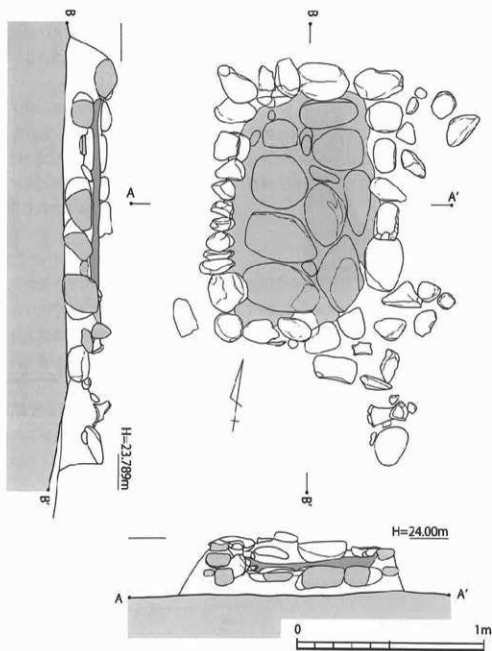
第161図 宮ノ前遺跡11号墓実測図
(S=1/20)



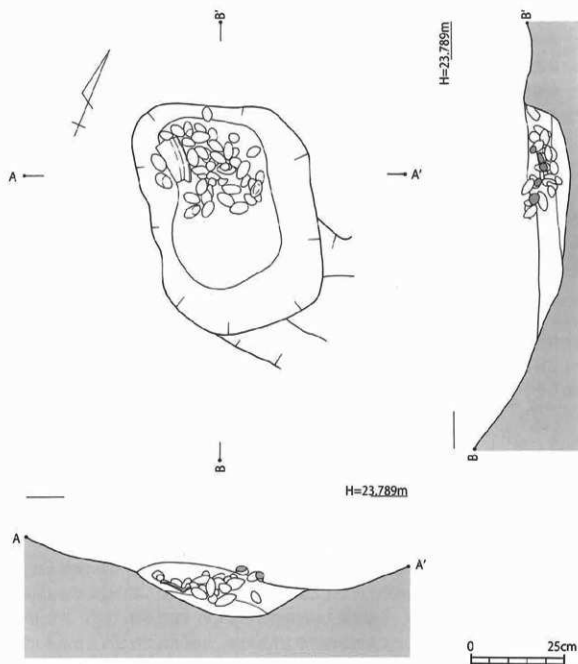
第162図 宮ノ前遺跡12号墓実測図
(S=1/20)



第163図 宮ノ前遺跡13号墓実測図 (S=1/20)



第 164 図 補：宮ノ前遺跡 SB94 火葬墓 (5=1/20)



第 165 図 補：宮ノ前遺跡 SB14 内投弾出土状況 (S=1/10)

D 宮ノ前遺跡発掘調査の総括

以上、本報告では、八女南部地区圃場整備事業に伴い実施された発掘調査のうち、酒井田地区に所在する宮ノ前遺跡の発掘調査に関し報告した。以下、宮ノ前遺跡について概要と注目される点を二・三点述べて、本報告の結びとしたい。

宮ノ前遺跡では、二反田遺跡と同様に 100 棟近い建物跡が発見され、時期は弥生時代中期・弥生時代後期・古墳時代前期、および古代が確認された。また、遺構は存在しないが縄文時代後期の遺物も発見されている他、ローム層からは旧石器時代の可能性もある石器がローム層中より出土（第 140 図 17）し、より長い期間の人々の営みがあった可能性が想起される。それとともに、宮ノ前遺跡・二反田遺跡では建物跡は弥生時代中期の遺構・遺物の比率が高い。すぐ北に所在する京田遺跡・深田遺跡が弥生時代では、古墳時代前期および古代を中心とすることから（『八女市文化財調査報告書第 71 集』参照）、宮ノ前・二反田遺跡集落は京田・深田遺跡集落に先行する集落跡と捉えられる。

また、甕棺墓も、原位置で発見された 10 基の他、建物跡や土坑から成人棺の破片と思われる土器も出土している状況は、昨年度報告の二反田遺跡と酷似する状況である。確証の無い推察であるが、宮ノ前遺跡で発見されている土坑（SK）の一部はこれらの甕棺が埋設された痕跡の可能性もある。二反田遺跡で出土した甕棺はほとんどが弥生時代中期のものであり、弥生時代中期には宮ノ前遺跡調査地内に墓地も存在していた状況が明らかとなった。宮ノ前遺跡調査区内でも、集落と墓地が両方発見されている形である。なお、墓地は弥生時代後期を中心とする甕棺墓で鉛鏃の出土で知られる野田遺跡が北西に隣接している。酒井田一緒玉地区の墓地構成等も、周辺遺跡の整理を待って検討すべき課題である。

次に、宮ノ前遺跡の出土遺物で特に注目されるものについて、最後に 2・3 点の指摘をしておきたい。まず、SB13・14 で大量に出土した投弾状土製品である。特に SB14 からは建物跡内の土坑からまとまって出土しており、土坑内にまとめて置かれたか埋納された可能性があると思われる。用途等も含め、今後類例の増加を待って検討が必要と思われる。

次に、古墳時代前期の古式土師器である。出土数は北側に所在する京田遺跡・深田遺跡と比べるとやや少ないが、宮ノ前遺跡でも建物跡や土坑でまとまった資料が確認された。製作技法では、近畿第Ⅴ様式変容系統ものが主体を占めるが、一部で搬入の可能性のあるもの（器壁が薄いもの、八女市で通有の土器と異なり、胎土に片岩が混入せず金色雲母等が入るもの等。小型器種ではヨコミガキが入る精製のもの）が存在する。一部は、佐賀平野等から搬入された可能性がある土器も出土している。（第 109 図 4、第 111 図 5 等）。今後、八女地域周辺の地域間交流を考えるうえで必要となる視点と思われる。

以上、宮ノ前遺跡資料の整理時に気付いた点を数点述べた。なお、本報告で示した宮ノ前遺跡は、北側に隣接する京田遺跡・深田遺跡（前述）や、北側隣接の二反田遺跡と非常に近い距離であり、同一の平野内微高地上に存在している可能性が高い。これらの各遺跡は相互に関連を持っている可能性が高いと思われることから、これらの遺跡と合わせた考察がなされることで、弥生時代の旧八女市南部の酒井田一緒玉地域の集落の復元に繋がることが期待される。八女南部圃場整備事業地内で発見された数多くの遺跡を総括することにより、八女市西南部の状況はより明らかになってくるであろう。今後も、八女市教育委員会では八女南部地区圃場整備事業関連発掘調査に関して整理作業を行い、継続して随時報告書を刊行していく予定となっているが、本報告以外の遺跡でも、特に弥生時代・古墳時代・古代に関しては多くの遺構・遺物が相当数発見されており、今回の報告書作成作業を通して、徐々にその実態が明瞭になりつつある。今後整理作業に当たっては調査成果の公表とともに、八女地域の歴史の復元の試みを重ねつつ、作業を進めていきたい。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表①

探検 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外面・内面)	断片	形状・器形等	寸法		備考(種類・短評等)
								口徑 [底径]	残存高	
第1層	R2	S801	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄緑	a	内外面に厚減のため不明。	30.0	3.0	口縁部。
第2層	R1	S801 No.1	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄緑	a	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	30.0	5.1	口縁部のみ。
第3層	R4	S801	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / に白い黄	a	内外面にナデ。	12.0	2.7	小片。
第4層	R3	S801 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / に白い黄緑	a	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	26.0	3.5	小片。
第5層	R5	S802 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / 灰	b	内外面に厚減のため不明。	16.0	6.2	口縁部。
第6層	R6	S802 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄灰	a	外面ハケム後ナデ。内面ナデ。	44.3	3.7	底面。内面コグ付着。
第7層	R10	S803 甕土	弥生土器 甕	軟質	に白い黄 / に白い黄	a	内外面に厚減のため不明。	29.8	4.0	口縁部。外面は赤土。
第8層	R9	S803 甕土	弥生土器 甕	軟質	に白い黄 / 黄緑	a	外面厚減のため不明。内面ナデ。	24.0	6.3	小片。
第9層	R11	S803 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	a	外面ハケム後ナデ。内面ナデ。	6.7	7.7	底面片。底面焼結により赤色化。
第10層	R8	S803 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 灰黄	a	外面厚減のため不明。内面ナデ。	6.9	9.9	底面片。内面直にスス付着。外面焼結により赤化。
第11層	R12	S803 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	砂礫少	内外面にナデナデ。	24.0	3.4	口縁部。
第12層	R13	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄緑	砂礫少	内外面に厚減のため不明。	6.0	9.0	底面片。断面は不整断面(四角形に近い)。
第13層	R7	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / 灰黄	a	外面ヨコナデ、ハケム後ナデ。内面ナデ。	22.0	4.7	口縁部。一部焼結により赤色化(縦割の 破損の可能性あり)。
第14層	R17	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / に白い黄	a	外面ヨコナデ。内面ナデ。	24.0	4.0	口縁部。
第15層	R13	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	に白い黄 / に白い黄緑	a	外面ヨコナデ。内面ナデナデ。	30.0	6.8	口縁部。厚が薄い。
第16層	R19	S804 No.4	弥生土器 甕	軟質	黄	a	外面ナデナデ。内面ナデヘラミガキ。	29.8	9.2	口縁部。内面にスス付着。口縁部は同一の 可能性あり。
第17層	R201	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄 / 灰	c	外面厚減のため不明。内面ナデナデ。	33.0	19.6	口縁部。断面の形状は違わないが 異なる。
第18層	R20	S804 No.4	弥生土器 甕	軟質	赤黄 / 灰	a	外面ヘラミガキ。ナデ。内面ナデ。	6.2	21.0	口縁部。断面。外面にスス。R19と同一の 可能性あり。
第19層	R15	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	a	内外面に厚減のため不明。	30.0	4.3	口縁部。外面にスス。口縁部に部分的に 目玉のような文様あり。
第20層	R19	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	a	外面ナデヘラミガキ。内面ナデ。	6.4	10.7	底面片。外表面。
第21層	R21	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	黄 / に白い黄	a	内外面にナデナデ。	6.0	14.7	底面片。断面。
第22層	R18	S804 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	砂礫少	内外面に厚減のため不明。	—	5.9	上部。下部に方形の透かし孔4個。
第23層	R23	S804 No.2	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄緑	a	外面ナデナデヘラミガキ。内面ナデナデ。 断面ヨコナデ。	13.4 (11.1)	16.8	口縁部。断面一部欠損。内外面厚減。
第24層	R22	S804 No.5-6	弥生土器 甕	軟質	黄 / 赤	a	外面ナデナデヘラミガキ。内面ナデヘラミガキ。 断面ヨコナデ。	24.0 (16.4)	30.3	断面一部欠損。内外面厚減。
第12層	R31	S805 No.9	弥生土器 甕	軟質	に白い黄 / に白い黄	a	外面ヨコナデ。厚減のため不明。内面ナデ。	28.0	4.5	口縁部。
第12層	R32	S805 No.12	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	a	内外面にナデナデ。	30.0	6.0	口縁部。
第12層	R46	S805 No.2	弥生土器 甕	軟質	に白い黄 / 灰黄	a	外面厚減のため不明。内面ナデナデ。	31.0	11.2	口縁部。
第12層	R45	S805 No.11	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄	a	外面ヨコナデ。ハケム。内面ナデ。	31.0	14.3	口縁部。
第12層	R29	S805 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / に白い黄	—	外面ナデ。内面ナデ。	6.8	9.6	底面片。石灰・白色砂粒多く含む。
第12層	R30	S805 No.5-11	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	a	外面ハケム。ナデ。内面ナデ。	6.4	20.9	底面片。外面スス付着。
第12層	R33	S805 No.13	弥生土器 甕	軟質	黄 / 灰	a	外面ナデナデ。内面ハケム後ナデ。	—	15.5	断面。
第12層	R28	S805 甕土	弥生土器 甕	軟質	に白い黄 / に白い黄	a	外面ナデ厚減ヘラミガキ。内面ナデ。ハ ケム。	15.5	5.8	口縁部。断面片。
第12層	R35	S805 甕土	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / 黄	a	外面ヨコナデ。ナデ。内面ヨコナデ。	—	11.0	上部片。丹塗。黒。
第12層	R26	S805 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / に白い黄	a	外面ヘラミガキ。ナデ。内面ナデ。	6.4	5.4	底面片。底面厚減。
第12層	R34	S805 No.5	弥生土器 甕	軟質	黄 / 黄	a	外面ナデヘラミガキ。内面ナデ。	—	20.1	断面。表面は割れにより表面不明。
第12層	R36	S805 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / 灰黄	a	内外面に厚減のため不明。内面ナデ。	18.0	11.7	断面片。
第12層	R225	S805 No.1	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / 黄	a	外面ヨコナデ。ハケム。内面ヨコナデ。ナ デ。	10.3 (11.4)	13.7	完了。
第12層	R24	S805 No.4	弥生土器 甕	軟質	黄 / に白い黄	a	外面ヨコナデ。ハケム。内面ヨコナデ。ナ デ。ユビササ。	11.9 (10.8)	13.4	完了。
第12層	R25	S805 No.10	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / 灰黄	a	外面ヨコナデ。ハケム。内面ヨコナデ。ナ デ。ユビササ。	11.0 (10.7)	13.8	完了。
第12層	R27	S805 No.7	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄	a	外面ヨコナデ。ハケム。内面ヨコナデ。ナ デ。	10.1 (10.6)	13.5	完了。
第12層	R25	S805 No.5	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄	a	外面ヨコナデ。ハケム。内面ヨコナデ。ナ デ。ユビササ。	13.4 (13.7)	13.9	残存 9/13。
第12層	R226	S805 No.6	弥生土器 甕	軟質	に白い黄緑 / に白い黄	a	外面ヨコナデ。ハケム。内面ヨコナデ。ナ デ。	12.7 (13.2)	13.7	完了。
第13層	R42	S806 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄 / 赤	a	外面ハケム後ナデ。内面ナデ。	4.8 (3.8)	3.8	残存 1/4。内外面厚減。
第13層	R36	S806 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / 灰黄	砂礫少	外面厚減のため不明。内面ヨコナデ。厚減 のため不明。	15.0	3.0	口縁部。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

探検 番号	実測 番号	出土 地点	器形	構成	色調 (外・内)	胎土	成形・整形手法等	寸法		備考(種類・残存等)
								口径 (底径)	残存高	
第13回 3	R38	SB06 甕土	土師器 小鉢	軟質	にじみ・黄	砂礫少	外面ヨコナデ、ハケメ後ナデ、内面ナデ。	12.0	3.0	口縁部片。
第13回 4	R40	SB06 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・赤黒 / 黄	b	外面ヨコナデ、厚縁のため不明。内面厚縁 のため不明。	24.0	3.3	口縁部片。
第13回 5	R37	SB06 No.2	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	砂礫少	内外両面に厚縁のため不明。	24.0	8.4	口縁部片。
第13回 6	R43	SB06 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケメ、ナデ、内面ナデ。	(8.7)	23.5	胴・底面片。
第13回 7	R44	SB06 No.1	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	内外両面に厚縁のため不明。	21.7 (9.7)	22.6	残存1/2。表面の割罫が深い。外面スリ付 き。基部。
第13回 8	R41	SB06 甕土	弥生土師 器	軟質	暗赤黒 / 黄	a	外面丁寧ナデ。内面ハケメ後ナデ。	—	6.7	頸部小片。外底。底部内面片。
第15回 1	R47	SB08 No.1下	弥生土師 器(小鉢)	軟質	にじみ・黄 / 黄	—	外面ヨコナデ。厚縁のため不明。内面厚縁 のため不明。	16.0	3.0	口縁部片。石室・白色砂粒多く含む。
第15回 2	R51	SB09 甕土	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	a	内外両面に厚縁のため不明。	24.0	2.9	口縁部片。表面割罫のため調査の困難は不明。
第15回 3	R50	SB09 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄 / 明赤黒	a	外面ヘラミガキ。ヨコナデ。内面ヨコナ デ。	30.0	2.2	口縁部小片。
第15回 4	R49	SB09 No.2	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	—	内外両面に丁寧ナデ。	29.8	11.7	口縁部片。内面白・白色砂粒を多く含む。
第15回 5	R48	SB09 No.3	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	外面ハケメ後ナデ。内面丁寧ナデ。	(11.0)	0.6	底部片。
第15回 7	R55	SB10 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	外面ヨコナデ、ハケメ後ナデ。内面ヨコナ デ、ナデ。	18.0	5.0	小片。外面スリ付。
第15回 8	R56	SB10 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	内外両面に厚縁のため不明。	17.4	4.8	口縁部片。
第15回 9	R54	SB10 甕土	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	a	内外両面にハケメ後ナデ。	(3.0)	2.5	底部片。底部底面。
第15回 10	R53	SB10 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / 灰黄	a	外面ハケメ後ナデ。内面ハケメ。	(4.0)	3.5	底部片。
第15回 11	R52	SB10 甕土	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	a	内外両面にヨコナデ。ナデ。外面しぼり 肌。	13.4 (10.4)	7.3	残存1/2。底部やひずみ。底面。底面底 面。
第18回 1	R101	SB11 No.1	弥生土師 器	軟質	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケメ後丁寧ナデ。内面ナデ。	(4.0)	15.7	胴・頸部片。表面割罫のため調査は不明。
第19回 1	R228	SB12 土師	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	b	内外両面にヨコナデ。厚縁のため不明。	42.2	5.1	口縁部片小片。頸部。
第21回 1	R58	SB13 P-2	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	a	外面ハケメ。内面厚縁のため不明。	26.0	5.0	口縁部片。
第21回 2	R60	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	外面丁寧ナデ。ナデ。内面ナデ。	30.0	5.0	口縁部片。
第21回 3	R57	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	内外両面に厚縁のため不明。	32.0	8.4	口縁部片。
第21回 4	R59	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	a	外面ハケメ後ナデ。内面厚縁のため不明。	(8.4)	5.2	底部片。底部。底部・調整(位置あり)。
第21回 5	R64	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	砂礫少	外面ナデ後ヘラミガキ。内面ナデ。	(7.0)	8.5	残存1/2。底面が深い。
第21回 6	R61	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄 / 灰黄	a	外面ナデ後ヘラミガキ。内面厚縁のため不明。	14.4	7.5	残存1/6。底部片(やや歪んでいる)。
第21回 7	R66	SB13 No.1	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	外面ヘラミガキ。内面工具ナデ後丁寧ナ デ。	(10.0)	10.0	胴・底面片。基部。
第21回 8	R63	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	暗赤黒 / にじみ・赤黒	a	内外両面にナデ。	20.0	5.3	小片。外側割罫によると思われる赤色化。
第21回 9	R62	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / 灰黄	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面厚縁のため不明。	22.0	7.0	残存1/4。
第21回 10	R65	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / 灰黄	a	外面ハケメ後ナデ。内面ナデ。	21.6 (7.0)	10.7	ほぼ完全。表面の割罫が深い(調整不明)。
第21回 11	R512	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.9 (2.7)	2.7	ほぼ完全。1ヶ所くぼみ。
第21回 12	R501	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.9 (2.6)	2.7	完全。
第21回 13	R502	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.7 (2.6)	2.7	完全。1ヶ所くぼみ。
第21回 14	R503	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.8 (2.7)	2.8	完全。
第21回 17	R504	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.8 (2.7)	2.7	完全。1ヶ所くぼみ。
第21回 18	R505	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	5.0 (2.6)	2.7	完全。1ヶ所くぼみ。
第21回 19	R506	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.7 (2.5)	2.7	完全。1ヶ所くぼみ。
第21回 20	R508	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.5 (2.7)	1.7	残存1/2。
第21回 21	R507	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	4.8 (2.7)	2.2	残存2/3。
第21回 22	R509	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	2.7 (2.7)	2.5	残存1/3。中央付近に1ヶ所くぼみ。
第21回 23	R510	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	灰黄	砂礫少	手捏による製作。	3.4 (2.7)	2.8	残存1/2。
第21回 24	R511	SB13 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄	砂礫少	手捏による製作。	3.4 (2.6)	2.8	残存1/2。1ヶ所くぼみ。
第22回 1	R67	SB14 甕土	弥生土師 器	軟質	黄 / にじみ・黄	a	内外両面に厚縁のため不明。	32.0	5.3	口縁部片。
第22回 2	R68	SB14 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	砂礫少	外面ナデ。厚縁のため不明。内面ナデ。	(10.0)	3.5	底部片。
第22回 3	R63	SB14 甕土	弥生土師 器	軟質	にじみ・黄 / にじみ・黄	a	外面ナデ。内面ナデ。	(7.0)	5.0	底部。外面内面。
第22回 5	R70	SB14 甕土	弥生土師 器	軟質	黄 / 黄	a	外面厚縁のため不明。内面ハケメ。	18.0	5.4	口縁部片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表③

拝見 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外面/内面)	胎土	成形・装飾手法等	寸法 (口径/底径)	残存高	備考(種類・残存等)
第22館 6	R69	S314 甕土	弥生土器 甕	軟質	黒/青	a	内外共に厚縁のため不明。	(12.0)	6.1	底面片。
第22館 7	R71	S314 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい青/にぶい黄緑	a	外縁ハケメ、ナデ、内面ナデ。	(8.0)	4.2	底面片。底面外縁部縁にのみ赤色化。
第22館 9	R191	S314 土器	弥生土器 鉢	軟質	浅黄/浅黄緑	c	内外共に厚縁のため不明。底面ナデ。	17.4 (8.8)	14.2	ほぼ完形。表面の磨減著しい。片割れ入らず破片。
第22館 10	R516	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黒	不明	手捏による製作。	3.0 (2.6)	2.3	残存 3/4。
第22館 11	R518	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.7 (2.6)	2.5	完形。
第22館 12	R519	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黒	不明	手捏による製作。	5.0 (2.6)	2.6	完形。
第22館 13	R520	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.7 (2.6)	2.7	一部欠損。
第22館 14	R521	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	5.9 (2.7)	2.7	完形。
第22館 15	R522	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.7 (2.6)	2.8	完形。縦方向のひび割れ。
第22館 16	R523	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	5.0 (2.5)	2.8	完形。
第22館 17	R524	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	5.0 (2.7)	2.8	完形。
第22館 18	R525	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	5.0 (2.7)	2.7	完形。
第22館 19	R526	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.7 (2.6)	2.8	完形。
第22館 20	R527	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.8 (2.6)	2.6	ほぼ完形。
第22館 21	R528	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.8 (2.6)	2.6	完形。
第22館 22	R529	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	5.0 (2.6)	2.6	ほぼ完形。ひび割れ。
第22館 23	R530	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.8 (2.6)	2.6	完形。上部に凹状のくぼみ。
第22館 24	R531	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	4.8 (2.4)	2.7	完形。上部に凹状のくぼみ。
第22館 25	R532	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	5.2 (2.7)	2.8	完形。上部に凹状のくぼみ。ひび割れ。
第22館 26	R533	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.7 (2.6)	2.7	一部欠損。上部に凹状のくぼみ。
第22館 27	R534	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.5 (2.4)	2.5	一部欠損。凹状のくぼみ。
第22館 28	R535	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	4.7 (2.5)	2.5	完形。1ヶ所くぼみ。縦方向に亀裂。
第22館 29	R536	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	5.2 (2.6)	2.7	一部欠損。
第22館 30	R537	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	5.0 (2.6)	2.6	一部欠損。1ヶ所くぼみ。
第22館 31	R538	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	4.6 (2.5)	2.7	一部欠損。
第22館 32	R539	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	5.3 (2.8)	2.8	ほぼ完形。
第22館 33	R540	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.1 (2.7)	1.4	残存 1/2。R558と同一個体の可能性あり。
第22館 34	R541	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.6 (2.6)	2.8	残存 3/4。
第22館 35	R542	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	5.0 (2.6)	2.8	完形。
第22館 36	R543	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	5.0 (2.7)	2.7	完形。
第22館 37	R544	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	5.1 (2.7)	2.8	完形。
第22館 38	R545	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	4.4 (2.4)	2.1	残存 2/3。1ヶ所くぼみ。
第22館 39	R546	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.4 (2.6)	2.3	残存 2/3。
第22館 40	R547	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.8 (2.7)	2.9	完形。
第22館 41	R548	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.8 (2.7)	2.5	ほぼ完形。
第22館 42	R549	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.3 (2.6)	2.4	一部欠損。
第22館 43	R550	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	3.6 (2.7)	2.1	残存 1/3。
第22館 44	R551	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	黒灰	不明	手捏による製作。	4.0 (2.6)	2.6	残存 2/3。
第22館 45	R552	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	2.3 (2.3)	1.5	残存 1/3。R548と同一個体の可能性あり。
第22館 46	R553	S314 土器	弥生土器 土器	軟質	灰黄緑	不明	手捏による製作。	2.8 (2.3)	0.9	残存 1/4。
第23館 1	R72	S315 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	外縁ナデ、内面ナデ。	22.0	5.8	小片。外面磨減著しい。
第23館 2	R104	S315 甕土	弥生土器 甕	軟質	浅黄緑/浅黄緑	—	内外共にナデ。	34.0	3.3	小片。石目、角材石、金色の装飾を有す。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表④

探検 番号	発掘 図号	出土 地点	形状	土質	色調 (外側/内側)	胎土	成形・整形手法等	寸法		備考(破損・残存等)
								口徑 (底径)	残高	
第23探 3	R103	S815 段土	弥生土器	軟質	灰黄/灰白	a	外周ヨコナデ、ハケム後ナデ、内面ハケム後ナデ。	30.0	5.7	口縁部1/4。
第23探 4	R132	S815 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	a	外周ヨコナデ、ハケム後ナデ、内面ヨコナデ、ナデ。	26.5	5.5	小片。
第23探 5	R76	S815 段土	弥生土器	軟質	明赤陶/橙	a	内外周共に厚縁のため不明。	18.0	3.8	底面1/4。外面縁部により赤化。
第23探 6	R77	S815 段土	弥生土器	軟質	橙/橙	砂礫少	外周ナデ、内周ナデ、ユビオサエ。	16.4	5.5	底面1/2。
第23探 7	R717	S815 段土	弥生土器	軟質	黒黄/橙	砂礫少	外周ナデ、内周ナデ。	17.0	3.6	底面1/4。内面丹塗。
第23探 8	R75	S815 段土	弥生土器	軟質	灰黄緑 /にぶい黄	a	外周ハケム後ナデ、ナデ、内周ナデ。	14.9	4.5	底面、外周スス付着。
第23探 9	R73	S815 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /灰黄緑	a	外周ハケム、ナデ、内周ナデ。	16.5	5.8	底面、内面コグ付着。
第23探 10	R74	S815 段土	弥生土器	軟質	明赤陶 /にぶい黄	a	外周ハケム、ナデ、内面厚縁のため不明。	15.2	10.0	底面片。厚縁残しい。
第23探 11	R106	S815 段土	弥生土器	軟質	橙/橙	—	外周ヨコナデ、内面ヨコナデ、ナデ。	—	4.6	小片。石灰、白色砂粒、金色の雲母を含む。
第23探 12	R718	S815 段土	弥生土器	軟質	橙/橙	砂礫少	外周ヨコナデ、ナデ、内周ナデ。	25.8	2.2	口縁部片。内外面丹塗。
第23探 13	R719	S815 段土	弥生土器	軟質	橙/橙	砂礫少	外周ナデ、内面ハケム。	18.0	2.3	小片。内外面丹塗。
第23探 14	R716	S815 段土	弥生土器	軟質	明赤陶/浅黄緑	—	内外面にナデ。	17.4	4.0	底面片。外面丹塗。黒濁。石灰含む。
第23探 15	R105	S815 段土	弥生土器	軟質	橙/橙	b	外周ヨコナデ、丁寧ナデ、内面丁寧ナデ。	30.0	5.5	口縁部1/6。
第23探 16	R78	S815 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外周ハケム。内面工具によるナデ、しぼり痕。	15.8	6.3	上縁。
第23探 17	R720	S815 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /橙	砂礫少	外周ナデ後ヘラミガキ。内周ナデ。胴面しぼり痕。	—	4.6	小片。内外面丹塗。
第23探 18	R79	S815 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	b	内外面にナデ。	16.7 (10.1)	7.0	残存2/3。
第23探 20	R107	S817 段土	弥生土器	軟質	橙/明赤陶	砂礫少	外周ヘラミガキ、ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	32.0	27.3	底面欠損。内面内面二層丹塗。
第23探 21	R80	S817 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	a	外周ヨコナデ、厚縁のため不明。内周ナデ。	24.0	6.0	口縁部片。外面やや厚縁。
第23探 22	R202	S818 段土	縄文土器	軟質	黄/黄	—	内外面にナデ。外面片断。縄文文による文様。	—	3.2	小片。石灰・白色砂粒多量含む。
第24探 1	R203	S819 No.1	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄	a	外周ヨコナデ、ハケム後ナデ、内面ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ。	30.0	19.0	残存1/4。
第24探 2	R81	S821 No.1	弥生土器	軟質	にぶい黄 /灰黄	a	内外面にヨコナデ、ハケム後ナデ。	18.0	5.5	小片。やや小型。
第24探 3	R82	S821 No.2	弥生土器	軟質	黄/橙	—	内外面にナデ。	11.2 (5.4)	7.2	残存3/4。石灰多量含む。底面の一部黒濁。灰黄の厚縁。
第24探 4	R822	S822 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /明赤陶	a	外周ヨコナデ。内面ヘラミガキ。	38.0	4.3	口縁部片。内外面丹塗。縄文。
第24探 5	R821	S822 段土	弥生土器	軟質	明赤陶/橙	a	外周ヘラミガキ。内面工具によるナデ、ナデ。	—	9.4	胴部1/4。内面丹塗。内面上部に一部丹塗。
第24探 6	R208	S822 No.1	土師器	軟質	黒黄/黒黄	a	外周ヘラミガキ、ナデ、内周ナデ。	16.0	2.6	小片。黒濁。
第24探 7	R210	S822 段土	弥生土器	軟質	橙/橙	a	外周ヨコナデ、ナデ、内周ナデ。	17.6	3.5	口縁部片。
第24探 8	R206	S822 No.1	土師器	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	砂礫少	外周ヨコナデ、ハケム。内周ナデ。	30.0	6.6	口縁1/6。内面スス付着。
第24探 9	R204	S822 No.1	土師器	軟質	にぶい黄 /にぶい黄緑	a	外周ヨコナデ、ハケム後ナデ。内面ヘラミガキ。	11.2	3.5	残存1/5。
第24探 10	R207	S822 No.1	土師器	軟質	黄/橙	a	外周ヘラミガキ、タタキ。内面ヨコナデ、ハケム。	15.0	4.0	残存1/6。
第24探 11	R209	S822 No.1	土師器	軟質	にぶい黄緑 /橙	砂礫少	外周ナデ、ユビオサエ。内周ナデ、工具によるナデ。	10.0	3.8	小片。やや手段ねのつくり。
第24探 12	R205	S822 No.1	土師器	軟質	赤黄/明赤陶	a	外周ヨコナデ、タタキ後ハケム。内面ヘラミガキ、ハケム。	18.4	6.9	小片。注内底。
第24探 13	R83	S823 段土	弥生土器	軟質	明赤陶 /明赤陶	a	外周ヨコナデ、ナデ、内周ナデ。	28.4	11.5	小片。
第24探 14	R86	S823 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	a	外周ナデ後ヘラミガキ、ヨコナデ。内周ナデ後ヘラミガキ。	38.0	5.7	口縁部片。
第24探 15	R84	S823 段土	弥生土器	軟質	黄緑 /にぶい黄	a	外周ナデ後ヘラミガキ。内周ナデ。	14.0	5.1	底面。内外面丹塗。
第24探 16	R85	S823 段土	弥生土器	軟質	橙/橙	a	外周ナデ後ヘラミガキ。内面ハケム後ナデ。	11.0	8.7	底面1/3。
第24探 17	R87	S823 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	a	内外面にナデ。	16.3	5.4	胴部。
第24探 18	R212	S824 No.1	土師器	硬質	灰/灰	砂礫少	外周厚縁ヘラミガキ、ヨコナデ。内面ヨコナデ。	14.0	1.2	小片。
第24探 19	R89	S824 No.4	土師器	軟質	黄緑/黄緑	砂礫少	外周厚縁のため不明。内面ヘラミガキ。	12.1	3.8	厚縁。表面厚縁のため器物の詳細不明。
第24探 20	R91	S824 段土	土師器	軟質	黄/橙	砂礫少	内外面にナデ。	—	4.4	小片。
第24探 21	R92	S824 段土	土師器	軟質	黄/橙	砂礫少	内外面に厚縁のため不明。	25.5	2.8	厚縁2/3。
第24探 22	R90	S824 段土	土師器	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外周ヨコナデ。内面厚縁のため不明。	—	2.9	口縁部小片。厚縁残しい。
第24探 23	R88	S824 段土	弥生土器	軟質	にぶい黄緑/灰黄緑	b	外周ヨコナデ、ナデ、内面ハケム。	11.0	5.0	胴部。内外面丹塗。
第24探 24	R213	S824 段土	土師器	硬質	灰黄/灰	砂礫少	外周タタキ後ナデ。内面直縁部文。	—	6.0	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑤

採集 番号	実測 図号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外面/内面)	土質	成形・整形手段等	寸法		備考(種類・保存等)
								口徑 (底径)	残存高	
第32期 8	R217	S824 甕土	深鉢器 不明	硬質	灰青/白	砂礫少	外蓋タタキ、内面当て瓦版。	—	3.3	小片。
第32期 9	R218	S824 甕土	深鉢器 不明	硬質	灰/灰白	砂礫少	外蓋タタキ粘土キメ、内面有海泥状文。	—	3.4	小片。
第32期 10	R214	S824 甕土	深鉢器 不明	硬質	灰/灰白	砂礫少	外蓋タタキ粘土キメ、内面当て瓦版。	—	4.3	小片。
第32期 11	R218	S824 甕土	深鉢器 不明	硬質	灰/灰白	砂礫少	外蓋タタキ、内面有海泥状文。	—	4.4	小片。
第32期 12	R218	S824 甕土	深鉢器 不明	硬質	灰/灰	砂礫少	外蓋タタキ、内面有海泥状文、当て瓦版。	—	14.7	小片。
第32期 13	R220	S824 甕土	深鉢器 不明	硬質	灰/灰	砂礫少	外蓋タタキ、内面当て瓦版。	—	9.4	小片。
第32期 14	R215	S824 甕土	深鉢器 不明	硬質	灰青/灰	砂礫少	外蓋ヨコナデ、タタキ後ナデ、内面ヨコナデ、 常陸式文。	—	3.5	小片。
第33期 1	R97	S825 甕土	甕土器 鉢	軟質	黄青 /白青	a	外蓋ハケメ、ナデ、内面ハケメ後ナデ。	12.5 (8.7)	6.2	残存 2/3。裏下平同一手法。
第33期 2	R98	S825 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	b	外蓋ヨコナデ、厚縁のため不明、内面ヨコ ナデ、ハケメ。	—	5.9	小片。外蓋に縦方向の波線。
第33期 3	R98	S825 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ハケメ、内面ヨコナデ、ナ デ。	28.2	11.6	口縁 1/5。外蓋ス付着。
第33期 4	R110	S825 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ハケメ、ナデ、内面ヨコナデ、ハケメ、 ナデ。	(7.1)	20.0	下平。外蓋ス、内面コグ付着。
第33期 5	R93	S825 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ハケメ、ナデ、内面ナデ。	(4.4)	5.0	底面。内面コグ付着。
第33期 6	R34	S825 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ハケメ、ナデ、内面ナデ。	(7.2)	6.9	底面。底面に砂付着。外蓋ス付着。
第33期 7	R95	S825 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ハケメ、内面ハケメ後ナ デ。	30.4	5.8	小片。
第33期 8	R224	S825 甕土	甕土器 鉢	軟質	灰青/灰	a	内外面にヨコナデ、ハケメ、ナデ。	27.9 (10.2)	35.8	ほぼ完全。外蓋ス付着。
第33期 9	R100	S826 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	内外面にヨコナデ、ハケメ。	16.4	5.5	口縁部片。
第33期 10	R304	S826 甕土	土師器 鉢	軟質	青/黒	砂礫少	外蓋ヨコナデ、ハケメ後ナデ、ナデ、内面 ハケメ。	11.0 (4.9)	6.2	完全。かくれ目帯の一種？。
第33期 11	R302	S826 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ハケメ、内面ヨコナデ、ハ ケメ、ナデ。	10.0 (4.0)	11.5	残存 1/5。下平に黒。
第33期 12	R625	S826 甕土	甕土器 小皿	軟質	青/黒	砂礫少	外蓋ヨコナデ。内面ヘタミキ。	14.2	2.3	小片。内外両面黒。
第33期 13	R624	S826 甕土	甕土器 小皿	軟質	白青 /白青	砂礫少	外蓋ヘタミキ。ヨコナデ、ナデ、内面ナ デ。	34.0	9.0	小片。外蓋門縁に砂付。内面に砂付着。
第33期 14	R99	S826 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	砂礫少	外蓋ヨコナデ。内面ヨコナデ、ユビキキ ズ。	18.5	4.7	口縁 1/5。黒。
第33期 15	R626	S826 甕土	甕土器 鉢	軟質	青/黒	a	外蓋ヨコナデ、厚縁のため不明、内面ナ デ後ヘタミキ。	34.0	5.0	口縁部片。口縁部黒文。
第33期 16	R305	S826 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	b	内外面にヨコナデ。	34.8	8.6	口縁 1/5。黒文。乳は2か所のみ。R307と同 一類の可能性がある。
第33期 17	R301	S826 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ナデ、ハケメ、内面ナデ。	—	9.0	底面。底面に縦方向の波線。
第33期 18	R307	S826 甕土	土師器 鉢	軟質	黄青 /白青	b	外蓋ヨコナデ。内面ナデ。	—	7.0	底面 1/5。黒文。R305と同類の可能性がある。
第33期 19	R303	S826 甕土	土師器 鉢	軟質	青/黒	砂礫少	内外面に縦線ナデ。ヘタミキ後ナデ。	9.0 (7.5)	10.0	残存 1/5。底面ヘタミキ。
第34期 1	R108	S827 甕土	甕土器 鉢	軟質	黄青 /黄青	a	内外面にヨコナデ、ハケメ、ナデ。	19.0 (7.6)	14.9	残存 4/5。
第34期 2	R221	S827 甕土	甕土器 鉢	軟質	灰青 /灰	a	外蓋ハケメ。内面ナデ。	10.8	5.7	残存 1/2。
第34期 3	R223	S827 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ハケメ、内面ハケメ。	30.0	15.5	口縁～胴部 1/4。
第34期 4	R222	S827 甕土	甕土器 鉢	軟質	黄青 /白青	b	外蓋ヨコナデ、ハケメ後ナデ、ナデ、内面 ヨコナデ、ナデ。	(6.3)	15.5	胴～底面 1/5。
第34期 5	R229	S828 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ナデ、ハケメ、内面ナデ。	28.0	7.0	口縁 1/5。
第34期 6	R230	S828 甕土	甕土器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ナデ、ハケメ、内面ハケメ 後ナデ。	—	8.0	小片。
第34期 7	R232	S829 甕土	土師器 小皿	軟質	白青 /白青	砂礫少	外蓋ヨコナデ、ハケメ後ナデ、内面ナデ後 ヘタミキ。ヨコナデ。	10.0	3.2	小片。
第34期 8	R238	S829 甕土	土師器 小皿	軟質	青/黒	a	外蓋ナデ。内面ハケメ。	8.8 (3.6)	6.0	残存 3/4。
第34期 9	R236	S829 甕土	土師器 小皿	軟質	黄青 /白青	砂礫少	内外面に丁字ナデ。	12.0	4.3	小片。
第34期 10	R152	S829 甕土	土師器 小皿	軟質	黄青 /白青	—	外蓋ヨコナデ、ハケメ、内面ヨコナデ、ナ デ。	10.2	6.9	完全。黒。石。金色の遺物含む。
第34期 11	R241	S829 甕土	土師器 小皿	軟質	白青 /白青	b	外蓋ヨコナデ、ハケメ、内面ヘタミキ。ヨ コナデ、ハケメ、ナデ。	—	2.7	小片。黒入？。
第34期 12	R233	S829 甕土	土師器 小皿	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ハケメ、内面ハケメ。工具 によるナデ。	14.0	3.8	小片。
第34期 13	R231	S829 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、ハケメ後ナデ。内面ヘタミ ズ。ヨコナデ。	19.0	5.7	口縁部片。
第34期 14	R237	S830 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ、タタキ一部ハケメ。内面ハ ケメ一部ヘタミズ。	13.6	8.3	口縁部片。外蓋黒。
第34期 15	R240	S830 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ハケメ後ヨコナデ。タタキ後ハケメ。 内面ヘタミズ。ハケメ。	16.2	14.7	胴上部片。
第34期 16	R109	S830 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ヨコナデ。タタキ後ハケメ。内面ヘ タミズ。ハケメ。	17.3	20.8	一部欠損。底面に黒。外蓋ス付着。
第34期 17	R235	S830 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	a	外蓋ハケメ。内面ヨコナデ。ハケメ。	(10.0)	2.1	胴部片。
第34期 18	R239	S830 甕土	土師器 鉢	軟質	白青 /白青	—	外蓋ヨコナデ。内面ヨコナデ、ナデ。	18.0	3.8	小片。石。黒。内面に。金色の遺物含む。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑥

調査 番号	実測 番号	出土 地点	器形	焼成	色面 【外顔/内面】	施土	成形・整形手法等	寸法 口径 (底径)	残存高	備考(種類・残存等)
第34回 19	R111	S825上 谷倉前	土師器 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	b	外面ヨコナデ、ハケム。内面ヘラケズリ、 ハケム。	—	14.4	上半部、R239と同一個体の可能性あり。
第34回 20	R234	S826 覆土	土師器 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、内面ハケム後ナデ。	20.0	8.5	小片。
第38回 1	R248	S831 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、内面ナデ。	35.0	4.3	小片。
第38回 2	R114	S831 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヘラミガキ、ナデ。内面ナデ。	19.0	5.7	底唇、底面。
第38回 3	R113	S831 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄 / にぶい黄	b	外面ハケム、ナデ。内面ナデ。	17.0	6.3	底唇部。
第38回 4	R112	S831 覆土	土師器 ミニチュア 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	b	内外面共にナデ。	5.1 (1.3)	3.4	残存2/3、残部。
第38回 5	R115	S831 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	12.0	13.2	残存1/4。
第38回 6	R247	S831 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、ハケム、ナデ。内面ハケム、 ナデ。	9.2	14.9	小片。
第38回 7	R306	S832 覆土	土師器 小型丸底土 甕	軟質	黄褐色 /黄褐色	不明	外面ヘラミガキ、ヘラケズリ、ヨコナデ、 ハケム。内面ヘラミガキ、ヨコナデ。	12.0	5.5	残存1/6。
第38回 8	R04	S832 覆土	土師器 甕	軟質	黄 / 黄	a	外面タタキ一部ハケム、内面ヘラケズリ、 ハケム。	10.4	14.7	残存3/5。
第38回 9	R308	S832 覆土	土師器 甕	軟質	にぶい黄 /黄褐色	a	外面ヨコナデ、ハケム。内面ヘラケズリ、 ヨコナデ、ナデ。	18.2	11.4	残存1/6、外面入付着。
第38回 10	R05	S832 覆土	土師器 甕	軟質	黄 / にぶい黄	不明	外面ヨコナデ、ハケム。内面ヘラケズリ、 ヨコナデ。	17.7	6.4	口縁部片。
第41回 1	R123	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	26.0	6.8	小片。
第41回 2	R122	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄褐色 /にぶい黄	a	外面厚縁のため不明。内面ハケム。	26.0	10.1	小片。
第41回 3	R117	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄 / 黄褐色	a	外面ハケム。内面厚縁のため不明。	31.2	11.8	口縁1/6、厚縁著しい。外面着色化。
第41回 4	R121	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄 / 黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	26.0	4.5	口縁1/6。
第41回 5	R116	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	明赤褐色 /明赤褐色	b	内外面共に厚縁のため不明。	26.0	5.1	坯部2/3、厚縁著しい。
第41回 7	R119	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /オリーブ色	a	外面ハケム、ナデ。内面ナデ。	17.0	11.8	底唇、底面。
第41回 8	R118	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄褐色 /にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	11.0	3.8	底唇、底面、厚縁著しい。
第41回 9	R120	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	明赤褐色 /にぶい黄	a	外面ハケム。内面ナデ。	18.0	6.9	底唇、外面着色化。
第41回 10	R311	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /黄褐色	a	外面ヨコナデ、内面ナデ。	20.0	2.9	小片。
第41回 11	R318	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	内外面共にナデ。	24.0	6.5	口縁1/6、厚縁著しい。
第41回 12	R309	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、ナデ。内面ナデ。	26.0	3.5	小片。やや厚縁。
第41回 13	R310	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄褐色 /にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。内面厚縁 のため不明。	30.0	4.8	小片。口縁部スス、コガ付着。
第41回 14	R320	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄 / 黄	a	外面ヨコナデ、厚縁のため不明。内面厚縁 のため不明。	28.0	4.5	小片。厚縁著しい。
第41回 15	R321 ①	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、ハケム後ナデ。内面ナデ。	20.0	5.4	小片。
第41回 16	R321 ②	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ハケム、ナデ。内面ナデ。	18.0	22.1	下半。底唇に黒染。
第41回 17	R312	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	オリーブ色 /にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	24.0	4.0	小片。内面黒染。
第41回 18	R314	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	不明	外面ナデ。内面ナデ。	18.0	3.5	底唇1/4、断面土器？(胎土より)。
第41回 19	R313	S839 覆土	弥生土師 甕	軟質	オリーブ色 /黄褐色	a	外面ハケム後ナデ。未調整。内面ナデ。	18.0	3.3	底唇1/3。黒染。
第41回 20	R316	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ハケム後ナデ。内面ナデ。	18.0	4.4	底唇。内面黒染。
第42回 1	R315	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄褐色 / 黒染	a	外面ナデ。内面ナデ。	9.5 (5.0)	5.3	残存1/4、手取むし器底。
第42回 2	R319	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄褐色 / 黄褐色	a	外面ハケム後ヨコナデ、ナデ後ヘラミガ キ。内面ナデ。	29.0	6.2	口縁1/6。
第42回 3	R317	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	外面ヨコナデ、ハケム。内面ヨコナデ、ナ デ。	26.0	4.9	口縁1/6、口縁部に結着。
第42回 4	R322	S840 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	内外面共にヨコナデ、ハケム。	28.8	22.2	残存1/4、外面黒染。スス付着。
第42回 5	R246	S841 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	b	内外面共に厚縁のため不明。	34.0	4.0	小片。
第42回 6	R245	S841 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄 / 黄	a	外面ハケム後ナデ。内面ナデ？。	32.0	8.0	口縁1/6、厚縁著しい。
第42回 7	R244	S841 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄褐色 /黄褐色	a	外面ヨコナデ。内面ナデ？。	30.0	6.2	小片。
第42回 8	R242	S841 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	内外面共にナデ。	23.5	7.1	坯部。内外面汚染。
第42回 9	R243	S841 覆土	弥生土師 甕	軟質	黄褐色 /にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	20.0	9.8	小片。全体的に厚縁。
第42回 11	R325	S842 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	30.0	13.4	口縁一部割れ1/6。
第42回 12	R323	S842 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	30.0	3.6	小片。
第42回 14	R324	S842 覆土	弥生土師 甕	軟質	にぶい黄 /黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	28.0	5.7	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑦

標記 番号	定例 番号	出土 地点	器形	施文 (外周/内面)	断片	底形・器形手法等	寸 法		備考(種類・保存等)
							口 径 (底径)	残存高	
第45類 1	R326	S543 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい にふい	a	内外面共に厚縁のため不明。	30.0	15.5	口縁・胴部1/6。
第45類 2	R188	S543 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	外面ハケム後ナデ、ナデ、内面ナデ。	15.0	18.8	下ナ。
第45類 3	R328	S543 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面厚縁のため不明、内面ナデ。	15.2	10.3	底部分。外面基部により赤色化。
第45類 4	R332	S543 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	外面ハケム後ナデ、ナデ、内面ナデ。	15.0	13.9	底部分。
第45類 5	R320	S543 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共にナデ。	17.1	6.2	下ナ。
第45類 6	R330	S543 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	外面ナデ。内面ナデ。コビオスエ。	17.3	7.8	下ナ。
第45類 7	R331	S543 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	内外面共にナデ。	18.0	8.0	下ナ。
第45類 8	R327	S543 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面共に厚縁のため不明。	14.2	2.7	小片。外面内底。
第45類 9	R333	S543 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ハケム後ナデ、ナデ、内面ナデ。	13.0 (14.1)	14.3	底部分。
第45類 11	R255	S544 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共にナデ。	19.1	5.5	底部分。厚縁穿孔の可能性あり。
第45類 12	R251	S544 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ナデ。内面ナデ。	17.4	4.7	底部分1/2。底部分に生底。
第45類 13	R252	S544 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ハケム、ナデ、内面ナデ。	14.0	5.4	底部分。外面基部により赤色化。
第45類 14	R250	S544 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ハケム後ナデ、内面ナデ。	14.3	5.2	底部分。外面スエ付。
第45類 15	R253	S544 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共に厚縁のため不明。	28.0	3.9	口縁部分。
第45類 16	R249	S544 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	外面厚縁のため不明。内面ナデ。	28.0	6.5	口縁1/6。
第45類 17	R254	S544 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	外面ナデ後ハケミナデ、コナナデ、ナデ、内面ナデ。	24.2 (12.5)	50.7	残存2/3。口縁コナナデ。
第45類 18	R335	S545 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面共に厚縁のため不明。	17.6	2.8	小片。外面内底。
第47類 10	R355	S553 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	内外面共にナデ。	110.0	6.3	底部分。厚縁。
第47類 14	R376	S553 No.24	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ハケム後ナデ、ハケム、ナデ、内面ナデ。	27.8 (14.2)	33.8	底部分。厚縁。
第48類 2	R238	S545 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面厚縁のため不明。内面ナデ。	14.0	2.7	小片。小片。
第48類 3	R336	S545 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	外面ハケム後ナデ、内面ハケム。	26.0	3.8	小片。
第48類 4	R334	S545 甕土	甕生土器 甕	縦文 にふい	a	外面コナナデ、ナデ、内面ナデ。	30.0	5.9	小片。
第48類 5	R337	S545 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共にナデ。	22.0	2.5	小片。
第48類 6	R340	S545 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共にナデ。	19.3 (7.1)	8.0	残存1/6。厚縁深い。
第48類 7	R342	S545 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共に厚縁のため不明。	15.4	9.0	底部分。厚縁。
第48類 8	R339	S545 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	b	内外面共に厚縁のため不明。	40.0	3.3	小片。厚縁の破片。
第48類 9	R341	S545 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面コナナデ。内面コナナデ、ナデ。	—	6.5	小片。厚縁の破片。石炭含む。
第48類 11	R257	S546 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面コナナデ。ハケム後ナデ。内面ナデ。	16.2	8.0	残存1/4。厚縁。
第48類 12	R260	S546 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共にナデ。	12.0	2.9	小片。
第48類 13	R125	S546 No.1	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面コナナデ。ハケム、内面ナデ。	24.0	6.3	口縁部分。厚縁が著しい。
第48類 14	R256	S546 No.1	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ナデ後ハケミナデ。内面ナデ。	27.8	17.3	残存1/3。底部分。口縁部厚縁。R258がR256の底部分。
第48類 15	R126	S546 No.1	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共にナデ。	17.0	10.2	底部分1/2。厚縁。
第48類 16	R127	S546 No.2	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ナデ。ハケム後ナデ。内面コナナデ、ハケム後ナデ、ナデ。	16.8 (7.9)	37.3	残存1/2。底部分。内外面にスエ、コナナデ。
第48類 17	R258	S546 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共に厚縁のため不明。	13.1	2.1	底部分。厚縁。R256の底部分の可能性が高い。
第48類 18	R124	S546 No.4	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共にナデ。	17.1	4.2	底部分。
第48類 19	R259	S546 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ハケム後ナデ。内面ナデ。	110.0	4.4	底部分。厚縁。
第50類 3	R345	S548 No.2	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面コナナデ。ハケム後ナデ。内面ナデ。	30.0	7.1	口縁1/4。
第50類 4	R353	S548 No.1	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面コナナデ。ハケム、内面ナデ。	18.5	4.0	小片。外面内底。
第50類 5	R350	S548 No.5	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面共にナデ。	16.0	8.3	底部分。外面内底。
第50類 6	R352	S548 No.1	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面コナナデ。内面ナデ。	17.8	4.1	底部分。厚縁。スエ付。
第50類 7	R349	S548 No.3	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面共にナデ。	15.0	1.8	底部分。
第50類 8	R348	S548 No.4	甕生土器 甕	横文 にふい	a	内外面共に厚縁のため不明。	110.0	7.5	底部分。
第50類 9	R343	S548 甕土	甕生土器 甕	横文 にふい	a	外面ハケム。内面ナデ。	16.0	7.5	底部分。厚縁。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑧

発掘 番号	発掘 期 号	出土 地 点	器 形	成 品	包 装 (外箱/内袋)	新 土	成形・整形手法等	寸 法		備考 (種類・保存等)
								口 径 (口径)	残 存 高	
第50期	10	R542	甕形土器	炊飯	にひい黄粉 /にひい黄	e	外周ヨコナデ、厚縁のため不明。内面ナデ。	22.0	2.7	口縁部片。内外面片。破入。
第50期	11	R347	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	内外面共に厚縁のため不明。	24.0	4.3	小片。
第50期	12	R128	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周ヨコナデ、厚縁のため不明。内面厚縁のため不明。内外面ナデ。しぼり痕。	25.1 (17.7)	26.8	ほぼ完全。外周、内面、口縁部片。
第50期	1	R345	甕形土器	炊飯	串刺形 /朝倉形	b	内外面共にナデ。	24.0	5.6	小片。
第50期	13	R351	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	e	外周ヨコナデヘラミナデ。内面ヨコナデ。	16.0	4.7	小片。金色の雲母を含む。
第50期	14	R354	甕形土器	炊飯	灰陶 /にひい黄粉	e	外周工具によるナデ。内面ハケミ。	32.0 (22.0)	4.7	小片。角閃石、金色の雲母多量を含む。破入。
第50期	15	R546	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	砂塵少	手段ねによる製作。	6.6 (2.0)	2.0	1ヶ所欠け。
第50期	21	R162	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	外周ハケミ後ナデ。ナデ。内面ナデ。	55.0	9.5	底片。
第50期	22	R163	甕形土器	炊飯	にひい黄 /朝倉形	e	外周ヨコナデ、厚縁のため不明。内面ヨコナデ。ナデ。	26.0	2.8	小片。石灰。金色の雲母を含む。
第54期	1	R171	甕形土器	炊飯	串刺形 /朝倉形	a	外周ヨコナデ。ハケミ後ナデ。内面ナデ。	34.4	16.7	口縁→胴部 1/4。80gが脱落。
第54期	2	R167	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	e	外周ハケミ後ナデ。内面ナデ。	36.0	5.2	口縁部片。角閃石、金色の雲母を含む。
第54期	3	R164	甕形土器	炊飯	串刺形 /朝倉形	砂塵少	外周面にナデ。	11.3	4.7	底片。角閃石を含む。
第54期	4	R165	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周ナデ。ナデ。内面ナデ。	7.2	3.5	底片。
第54期	5	R170	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周ハケミ後ナデ。内面ナデ。	7.3	7.7	底片。底面に地味な穿孔。
第54期	9	R168	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周ハケミ。ナデ。内面ナデ。	68.2	7.1	底片 1/4。黒炭、厚縁。
第54期	7	R169	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周面に厚縁のため不明。	55.2	6.0	底片。内面コグ長。R171の底部7。
第54期	8	R166	甕形土器	炊飯	にひい黄 /朝倉形	a	外周面に厚縁のため不明。	23.6	4.8	小片。
第54期	9	R158	甕形土器	炊飯	にひい黄 /櫛ノ形	a	外周面にヨコナデ。ナデ。	23.6	4.2	口縁部片。在来系。
第54期	10	R159	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周ヨコナデ。内面ヨコナデ。ナデ。	28.0	3.8	小片。
第54期	11	R160	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周ヨコナデ、厚縁のため不明。内面ナデ。	26.0	4.0	小片。
第54期	12	R154	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	外周ヨコナデ。厚縁のため不明。内面ナデ。	21.2	8.7	口縁 1/2。
第54期	13	R157	甕形土器	炊飯	にひい黄 /櫛ノ形	a	外周ヨコナデ、厚縁のため不明。内面厚縁のため不明。	30.0	8.5	小片。
第54期	14	R161	甕形土器	炊飯	灰陶 /灰陶	a	外周ヨコナデ。ハケミ。内面ヨコナデ。ナデ。	—	3.8	小片。
第54期	15	R151	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	外周ハケミ後ナデ。内面ハケミナデ。ヨコナデ。ハケミ後ナデ。	18.2	7.4	口縁 1/5。
第54期	16	R153	甕形土器	炊飯	串刺形 /朝倉形	a	外周ハケミ後ナデ。ナデ。内面ナデ。	15.5 (9.2)	7.4	残存 2/3。内面コグ付着。黄と同じ色り方ナデ。
第54期	21	R156	甕形土器	炊飯	灰陶 /灰陶	a	外周ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	28.4	7.4	口縁部片。
第54期	22	R155	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	外周ヨコナデ。内面ナデ。	26.2	7.7	口縁 1/6。
第54期	23	R152	甕形土器	炊飯	灰陶 /朝倉形	a	外周ヨコナデ。ハケミ後ナデ。内面ナデ。	20.2	10.6	口縁 1/6。
第54期	17	R148	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	外周ナデ。内面厚縁のため不明。	68.3	5.7	底片。底面磨削。黒炭。
第54期	18	R149	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	外周厚縁のため不明。ハケミ。内面厚縁のため不明。	68.1	5.8	底片。外周スリ付着。
第54期	19	R150	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	外周ハケミ。ナデ。内面ハケミ。	14.4	6.5	底片。黒炭。
第54期	20	R147	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	a	外周ハケミ後ナデ。ナデ。内面ナデ。	65.0	9.2	底片。外周磨削による赤色。
第55期	4	R136	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	砂塵少	外周面にハケミナデ。ヨコナデ。	55.4	2.7	小片。破入。
第55期	5	R543	甕形土器	炊飯	串刺形 /朝倉形	a	内外面共にナデ。	0.9	3.2	完全。
第55期	6	R555	甕形土器	炊飯	灰陶 /朝倉形	a	内外面共にナデ。	1.5 (1.4)	3.0	完全。
第55期	7	R543	甕形土器	炊飯	串刺形 /朝倉形	a	内外面共にナデ。	0.7 (1.9)	2.8	ほぼ完全。
第55期	8	R241	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	内外面共にナデ。	4.6 (2.0)	9.0	残存 1/2。
第55期	9	R672	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	b	外周ヨコナデ。一部ハケミ。ナデ。内面厚縁のため不明。	13.0 (8.4)	15.3	残存 2/3。破入 (黒炭) 付着。
第55期	10	R673	甕形土器	炊飯	櫛ノ形	b	外周厚縁のため不明。ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。ハケミ。	16.5 (12.0)	21.0	完全。黒炭。
第55期	11	R142	甕形土器	炊飯	灰陶 /灰陶	a	内外面共にヨコナデ。ハケミ。	16.2	5.7	小片。磨削付。
第55期	12	R144	甕形土器	炊飯	灰陶 /灰陶	a	外周ヨコナデ。ハケミ。内面ハケミ。	20.0	3.7	小片。
第55期	13	R133	甕形土器	炊飯	灰陶 /灰陶	a	外周ヨコナデ。ハケミ。内面ヨコナデ。ハケミ。ナデ。	30.8 (10.1)	26.0	上半の一部を欠け。外周スリ。内面コグ付着。
第55期	14	R143	甕形土器	炊飯	にひい黄 /にひい黄	a	内外面共にナデ。	68.2	5.8	底片。外周スリ付着。
第55期	15	R278	甕形土器	炊飯	串刺形 /朝倉形	b	外周ハケミ。ナデ。内面ナデ。	22.8 (7.5)	33.7	ほぼ完全。黒炭。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑨

図面 番号	実測 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外・内・面)	土質	成形・整形手法等	寸法		備考(補綴・保存等)
								口径 (底径)	残存高	
第55図 16	R145	S805 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	a	外周ヨコナデ、ハケム後ナデ。内面ヨコナ デ、ナデ。	26.0	5.1	小片。
第55図 17	R141	S805 No.4	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄 / 灰白	a	外周ハケム。内面ナデ。	14.0	8.9	底縁。
第55図 18	R134	S805 No.2	弥生土器 甕	軟質	黒 / にぶい黄緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	15.4	4.2	小片、底縁。
第55図 19	R135	S805 No.2	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色 / 黒	a	内外面共にハケム。ナデ。	10.5 (6.1)	8.8	底縁。
第55図 20	R140	S805 No.4	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	外周工具によるナデ。内面ハケム。	17.0	12.0	下片。
第55図 21	R137	S805 No.3	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	b	外周ヨコナデ、ハケム。ナデ。内面ハケム。 ナデ。	13.1 (9.0)	10.3	底縁一部欠く。底縁。
第55図 22	R138	S805 No.1	弥生土器 甕	軟質	灰白 / 暗灰黒	b	外周ナデ。内面ハケム。	6.5	10.0	下片。
第55図 23	R139	S805 No.10	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	a	外周厚縁のため不明。内面ハケム。	12.2	8.3	口縁1/5。
第55図 24	R143	S805 甕土	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色 / 灰黄緑	砂礫少	外周ナデ後へラミガキ。厚縁のため不明。 内面ナデ。	32.0	4.7	小片。
第57図 1	R255	S853 No.1	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	内外面共に厚縁のため不明。	30.0	3.7	小片。
第57図 3	R183 ①	S853 No.9	弥生土器 甕	軟質	黒 / にぶい黄緑	a	外周ヨコナデ。ハケム。内面ハケム後ナ デ。	36.7	7.1	口縁1/6。R185②と同一個体か。
第57図 4	R187	S853 No.10	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	外周ヨコナデ。ハケム後ナデ。内面ナデ。	26.7	16.1	上片。
第57図 5	R260	S853 No.4	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄 / 灰白	a	外周ヨコナデ。ハケム。内面厚縁のため不明。	28.0	12.4	小片。外周断面狭い。
第57図 6	R074	S853 No.11	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / 灰黄緑	a	外周ヨコナデ。ハケム後ナデ。内面ナ デ。	23.6	10.0	上片。内面コゲ付着。
第57図 7	R182	S853 No.20	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	a	外周ハケム後ナデ。内面ナデ。	22.0	12.3	小片。外周や厚縁。内面コゲ付着。
第57図 8	R258	S853 No.7	弥生土器 甕	軟質	赤 / にぶい黄緑	a	外周ナデ後へラミガキ。ナデ。内面ナデ。	118.1	12.0	底縁。外周断面により赤色化。
第57図 9	R179	S853 No.12	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	外周ヨコナデ。ハケム。内面ナデ。	34.2	15.9	口縁～胴部1/3。R178と同一個体。
第58図 1	R183	S853 No.2	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	外周ハケム。ナデ。内面ナデ。	14.0	7.5	底縁。
第58図 2	R177	S853 No.5	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄 / 灰白	a	内外面共にハケム。	15.2	10.2	底縁。外周断面付着。赤色化。
第58図 3	R094	S853 No.3	弥生土器 甕	軟質	灰黄 / 灰黄	a	内外面共にハケム。ナデ。	14.2	21.3	下片。外周断面付着。
第58図 4	R182	S853 No.9	弥生土器 甕	軟質	黒 / にぶい黄	a	外周ハケム。ナデ。内面ハケム後ナデ。	14.3	24.6	下片。R185①と同一個体か。
第58図 5	R130	S853 No.3	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	内外面共にナデ。	29.8	30.9	残存2/3。内外面厚縁。
第58図 6	R129	S853 No.15	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	砂礫少	外周ヨコナデ。工具によるナデ。内面ヨ コナデ。ハケム後ナデ。ナデ。	23.0	22.9	底縁を欠く。外周厚縁。
第58図 7	R186	S853 No.18	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	a	内外面共にハケム後ナデ。ナデ。	28.5	28.1	底縁を欠く。内周断面。
第58図 8	R258	S853 No.1	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	外周ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	35.3	15.5	上片。
第58図 9	R181	S853 No.19	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	外周ハケム。内面ヨコナデ。ナデ。	10.9 (9.9)	12.7	一部欠損。
第58図 10	R180	S853 No.19	弥生土器 甕	軟質	黒 / 黒	a	外周ハケム後ナデ。内面ナデ。	10.4 (10.0)	13.1	底縁。
第59図 1	R201	S853 No.17	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	a	外周厚縁のため不明。内面ナデ。	21.2 (7.0)	10.3	残存1/4。底縁。
第59図 2	R075	S853 No.21	弥生土器 甕	軟質	赤 / 赤	a	外周厚縁のため不明。内面ナデ。	30.6 (9.0)	19.6	ほぼ完整。底縁。下片被焼。
第59図 3	R131	S853 No.22	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / 灰黄緑	a	外周ハケム後ナデ。工具によるナデ。内面 ヨコナデ。ナデ。	21.3 (10.0)	15.2	底縁。被焼。
第59図 4	R184	S853 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄 / 黒	a	内外面共に厚縁のため不明。	20.0	3.5	小片。
第59図 5	R176	S853 No.4	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色 / にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	22.8	7.2	口縁1/2。表面断面狭い。
第59図 6	R174	S853 No.24	弥生土器 甕	軟質	にぶい赤黒 / 黒	b	外周ハケム後ナデ。内面ナデ。	28.0	6.1	小片。外周断面。又、付着。
第59図 7	R132	S853 No.23	弥生土器 甕	軟質	オリーブ黒 / 黒	a	外周厚縁のため不明。内面ナデ。	—	10.7	胴部1/4。
第59図 11	R173	S853 No.24	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑 / にぶい黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	18.3	11.2	底縁。
第59図 12	R175	S853 No.14	弥生土器 甕	軟質	黒 / 明赤褐色	a	外周厚縁のため不明。内面ナデ。	11.7	10.1	底縁付。外周断面付着。底縁。
第59図 15	R172	S853 No.4	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色 / 明赤褐色	a	内外面共に厚縁のため不明。	10.4	9.0	底縁。
第60図 1	R190	S850 甕土	弥生土器 甕	軟質	黒 / 灰白	a	外周ヨコナデ。ハケム後ナデ。内面ナデ。	16.3	7.5	底縁。底面に被焼痕付着。
第60図 2	R189 ②②	S850 No.3	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄 / にぶい黄	a	外周丁寧ナデ。ヘラミガキ。内面丁寧ナ デ。	17.4 (10.0)	17.0	残存3/4。内面厚縁。
第60図 3	R251	S860 No.3	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / 灰黄緑	a	外周ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	30.0	9.2	口縁部片。
第60図 4	R258	S860 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰白 / 暗灰黒	a	内外面共にナデ。	24.0	6.4	小片。
第60図 5	R263	S860 No.2	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑 / 灰白	a	内外面共に厚縁のため不明。	36.0	4.6	小片。
第60図 6	R267	S860 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑 / 灰黄緑	a	外周ヨコナデ。内面ナデ。	40.0	3.4	小片。
第60図 7	R262	S860 No.6	弥生土器 甕	軟質	黄緑 / 灰黄緑	a	外周ナデ後へラミガキ。ヨコナデ。ナデ。 内面ナデ。	34.0	13.1	口縁部片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑩

調査 番号	実測 図番	出土 地点	形状	焼成	色面 (外面/内面)	胎土	成形・整形手法等	寸 法		備考 (破損・残存等)
								口徑 (底径)	残存高	
第62図 8	R265	S860 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ヨコナデ、ナデ、内面ナデ。	28.0	7.3	小片、外面やや厚減。
第62図 9	R264	S860 No.1	甕生土器	炊煮	灰黒 / 浅黄褐色	a	外面厚減のため不明、内面ナデ、スピキナ。	—	10.1	胴部1/4、外面やや厚減。
第62図 10	R266	S860 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	内外面共にナデ。	40.2	8.3	口縁部片、蓋付?
第62図 14	R193	S861 No.1下	土師器 甕	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面タタキ、ナデ、内面工具によるナデ。	9.6 (5.1)	3.6	残存2/3、底部にスス付着。頸V様式変形有。
第62図 15	R197	S861 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 浅黄褐色	a	外面ヨコナデ、ハケム後ナデ、内面ヨコナデ、ハケム。	16.0	6.5	小片。
第62図 16	R194	S861 No.1	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	外面工具によるナデ、ナデ、内面ハケム、ナデ。	(5.2)	12.9	残存1/2、底部に黒染。
第62図 17	R195	S861 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ハケム後ナデ、内面ヨコナデ、ハケム後ナデ。	17.0	13.7	残存1/3。
第62図 18	R196	S861 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ハケム後ナデ、内面ナデ。	(6.1)	5.4	底部、内面コナデ付着。
第63図 1	R198	S862 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	内外面共にナデ。	17.8	4.1	小片、孔は2つつ数方所?
第63図 2	R404	S862 No.2	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ハケム後ナデ、内面ナデ。	30.2	6.2	小片、厚減著しい。
第63図 3	R200	S862 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	—	外面ヨコナデ、厚減のため不明、内面厚減のため不明。	28.4	3.8	小片、角部に、金色の塗料含む。
第63図 4	R401	S862 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / にぶい黄褐色	a	外面ハケム後ナデ、ナデ、内面ナデ。	(5.8)	10.8	底部、外面黒染。
第63図 5	R402	S862 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	内外面共にナデ。	(7.8)	5.8	胴部、外面黒染。
第63図 6	R409	S862 No.1	甕生土器	炊煮	灰黒褐色 / にぶい黄褐色	a	内外面共にナデ。	(16.7)	7.3	底部、黒染。
第63図 7	R199	S862 甕土	甕生土器	炊煮	明赤褐色 / 黄	砂塵少	内外面共に厚減のため不明。	23.8	6.0	片部1/4。
第63図 8	R403	S862 甕土	甕生土器	炊煮	灰白 / 灰	砂塵少	内外面共に回転ナデ。	(2.1)	5.1	蓋部片、スカシ。
第63図 9	R272	S864 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / 黄	a	内外面共にヨコナデ。	28.0	4.3	小片。
第63図 10	R271	S864 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ヨコナデ、ナデ、内面ナデ。	30.0	6.9	小片。
第63図 11	R270	S864 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	内外面共に厚減のため不明。	38.0	5.2	口縁1/6、外面黒染により赤染。
第63図 12	R273	S864 甕土	甕生土器	炊煮	明赤褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ヨコナデ、内面ナデ。	22.0	2.3	小片。
第63図 13	R273 R274	S864 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	外面ヨコナデ、厚減のため不明、内面ヨコナデ、ナデ。	12.0	5.2	小片。
第63図 14	R405	S864 No.1	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ヨコナデ、ハケム、内面ナデ。	—	22.9	下半、内面コナデ付着。
第63図 15	R406	S864 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	b	内外面共に厚減のため不明。	34.2	7.8	口縁1/5、外面厚減。
第63図 16	R644 ①	S864 No.3	甕生土器	炊煮	明赤褐色 / 明赤褐色	b	内外面共にナデ後ヘラミダキ。	36.0	15.0	口縁、やや厚減。
第63図 17	R644 ②	S864 No.3	甕生土器	炊煮	明赤褐色 / 明赤褐色	b	外面ナデ後ヘラミダキ、内面ナデ。	(6.4)	8.0	底部、やや厚減。
第63図 18	R407	S864 No.3	甕生土器	炊煮	明赤褐色 / 明赤褐色	a 砂塵少	内外面共にナデ。	—	5.4	小片、やや厚減。
第63図 19	R643	S864 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / にぶい黄褐色	—	外面ヨコナデ、内面厚減のため不明。	—	9.5	小片、内外面片、石炭、黒多き含む。
第63図 20	R209	S864 No.1	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ヘラミダキ、ヨコナデ、丁寧な工具によるナデ、内面ヨコナデ、ナデ。	(12.4)	14.1	胴部。
第63図 21	R642	S864 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	砂塵少	内外面共にナデ。	(6.8)	5.9	下半。
第64図 1	R683	S865 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	内外面共にナデ。	22.0	5.0	胴1/5、やや厚減。
第64図 2	R682	S865 甕土	甕生土器	炊煮	明赤褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ヨコナデ、ハケム、内面ナデ。	30.6	4.4	胴1/6。
第64図 3	R681	S865 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	内外面共にナデ。	32.1	6.4	小片、やや厚減。
第64図 4	R678	S865 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ヨコナデ、ハケム、内面ナデ。	30.2	5.5	小片。
第64図 5	R680	S865 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / にぶい黄褐色	a	内外面共にナデ。	27.8	9.5	胴1/5、やや厚減。
第64図 6	R679	S865 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	内外面共にナデ。	27.8	5.0	やや厚減。
第64図 7	R677	S865 甕土	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ハケム、内面ナデ。	(5.0)	6.2	底部、やや厚減。
第64図 8	R381	S860 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	内外面共にナデ。	22.0	2.8	やや厚減。
第64図 9	R687	S866 No.1	甕生土器	炊煮	にぶい黄褐色 / 黄	a	内外面共にナデ。	31.8	2.6	やや厚減。
第64図 10	R693	S866 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	砂塵少	内外面共にナデ。	27.6	5.0	小片、やや厚減。
第64図 11	R380	S866 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	内外面共にナデ。	23.0	4.0	やや厚減。
第64図 12	R425	S866 甕土	甕生土器	炊煮	灰黒褐色 / 浅黄褐色	a	内外面ともにハケム後ヨコナデ。	36.0	4.5	やや厚減。
第64図 13	R375	S866 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / にぶい黄褐色	a	内外面共にハケム後ナデ。	(6.2)	3.5	底部のみ。
第64図 14	R374	S866 甕土	甕生土器	炊煮	灰 / 黄褐色	a	内外面共にナデ。	(6.7)	4.6	底部のみ。
第64図 15	R376	S866 甕土	甕生土器	炊煮	明赤褐色 / にぶい黄褐色	a	外面ハケム後ナデ、内面ナデ。	(6.8)	4.5	底部のみ。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表①

調査 番号	発掘 調査 番号	出土 地点	器形	焼成	包圍 (外面/内面)	胎土	成形・整形手法等	寸 法		備考 (種類・存在等)
								口徑 (或径)	残存高	
第68期	R378	S206 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/横	a	内外面にナデ。	(10.2)	4.7	やや割減。
第68期	R379	S206 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/にぶい黄褐色	a	内外面にナデ。	(10.2)	4.7	やや割減。
第68期	R422	S206 甕上	弥生土器 高杯	軟質	にぶい黄褐色/灰黄褐色	a	内外面にナデ。	24.0	2.5	小片。
第68期	R424	S206 甕上	弥生土器 高杯	軟質	灰黄褐色/灰黄褐色	a	外周ハケメ横コナデ。内面ナデ。	26.0	2.8	小片。
第68期	R423	S206 甕上	弥生土器 高杯	軟質	にぶい黄褐色/灰黄褐色	e	内外面にナデ。	—	5.4	小片。
第68期	R543	S206 甕上	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともに丁寧ナデ。	—	7.6	内外面片断。
第68期	R384	S206 甕上	弥生土器 脚部	軟質	明黄褐色/明黄褐色	c	内外面にナデ。	—	3.4	底部の破片か。
第68期	R377	S206 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/黄褐色	a	内外面にナデ。	(5.7)	6.4	底部のみ。
第68期	R426	S206 甕上	弥生土器 鉢	軟質	にぶい黄褐色 /にぶい黄褐色	a	内外面にナデ。	15.8	5.0	やや割減。
第68期	R388	S206 甕上	弥生土器 脚部	軟質	横/にぶい黄褐色	a	内外面にナデ。	(12.2)	4.8	小片。やや割減。
第68期	R421	S206 No.2	弥生土器 甕	軟質	横/横	a	内外面にハケメ横ナデ。	13.6 (11.6)	14.8	やや割減。
第70期	R431	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/にぶい横	a	内外面ともにハケメナデ。	18.0	5.1	小片。
第70期	R433	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	灰黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	25.0	4.0	小片。
第70期	R685	S207 No.1	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色 /にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	24.5	19.0	上半部割。外周スス付着。
第70期	R414	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	15.4	15.9	やや割減。
第70期	R434	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	黒褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	24.4	4.0	小片。内面口縁直。
第70期	R416	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	—	12.6	小片。胴部に割目片断あり。
第70期	R413	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/にぶい黄褐色	e	内外面ともにハケメナデ。	18.4	12.9	小片。
第70期	R435	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/横	a	内外面ともにハケメナデ。	34.2	6.0	小片。やや割減。
第70期	R429	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	(10.4)	4.5	底部のみ。
第70期	R695	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/灰黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	(10.7)	6.5	底部のみ。
第70期	R387	S207 No.2	弥生土器 甕	軟質	灰黄褐色/灰黄褐色	e	内外面ともに丁寧ナデ。	(6.0)	8.3	内面コグ付着。底部のみ。
第70期	R415	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色/明赤褐色	b	内外面ともにハケメナデ。	(11.0)	7.1	底部のみ。
第70期	R695	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/灰黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	(6.3)	6.0	底部のみ。
第70期	R411	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	(6.7)	11.1	底部のみ。
第70期	R427	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	浅黄褐色/浅黄褐色	a	内外面ともにナデ。	(5.2)	3.7	やや割減。
第70期	R429	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	浅黄褐色/浅黄褐色	a	内外面ともにナデ。	—	9.4	小片。
第70期	R689	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/灰黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	14.0	5.0	小片。
第70期	R428	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/横	a	内外面ともにナデ。	22.0	3.7	小片。
第70期	R430	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/浅黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	17.0	6.4	新1号。
第70期	R432	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/にぶい横	a	内外面ともにナデ。	(16.0)	2.5	小片。やや割減。
第70期	R696	S207 No.3	弥生土器 甕	軟質	明黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	32 (4.1)	6.0	穴部。
第70期	R696	S207 No.1	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	13.6	3.2	小片。
第70期	R692	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	明黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	6.0	6.0	小片。
第70期	R547	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/横	砂塵少	手挽ね。	4.8	2.7	一部欠く。
第70期	R691	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/砂・灰	a	内外面ともにハケメナデ。	8.4	9.4	黒褐色あり。R411と同一。
第70期	R411	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/灰黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	7.6	8.6	黒褐色あり。R691と同一。
第70期	R385	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/横	a	内外面ともに丁寧ナデ。	—	4.6	やや割減。R386と組み合う可能性がある。
第70期	R386	S207 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/にぶい黄褐色	a	内外面ともに丁寧ナデ。	—	8.6	やや割減。R385と組み合う可能性がある。
第72期	R388	S208 甕上	弥生土器 甕	軟質	にぶい横/にぶい横	b	内外面ともにハケメナデ。	18.0	3.3	小片。
第72期	R440	S208 甕上	弥生土器 甕	軟質	黒褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	30.0	4.2	小片。
第72期	R444	S208 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/横	a	内外面ともにハケメナデ。	27.0	6.0	小片。
第72期	R445	S208 甕上	弥生土器 甕	軟質	横/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメナデ。	32.2	9.2	口縁部部に割目片断。
第72期	R382	S208 No.13	弥生土器 甕	軟質	横/横	a	内外面ともにハケメナデ。	—	2.8	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

観測 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	色面 (外面/内面)	取土	成形・成形手法等	寸法		備考(種類・発見等)
								口径 (底径)	残存高	
第72図 6	B281	S804 No.14	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色/にぶい黄	a	内外面ともにナデ。	34.6	32.0	約1/4
第72図 7	B282	S804 No.5	弥生土器 甕	軟質	淡黄褐色/淡黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	24.2	36.5	約1/4
第72図 8	B437	S804 No.8	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色/にぶい黄	砂礫少	内外面ともにナデ。	25.4	5.3	底部のみ。
第72図 9	B436	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	砂礫少	内外面ともにナデ。	27.1	3.4	底部のみ。
第72図 10	B390	S804 No.9	弥生土器 甕	軟質	暗/にぶい黄褐色	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	28.8	7.0	約2/3。内面に種子痕あり。
第72図 11	B441	S804 No.10	弥生土器 甕	軟質	明黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	27.2	6.3	底部は未調査。
第72図 12	B438	S804 No.11	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/淡黄褐色	a	内外面ともにナデ。	27.8	9.2	底部のみ。
第72図 13	B410	S804 No.2	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	10.0	8.2	内面コゲ付着。
第72図 14	B439	S804 No.3	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	30.0	4.6	やや前縁。
第72図 15	B399	S804 No.10	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	c	内外面ともにハケメ後ナデ。	20.0	4.9	約1/4。
第72図 16	B447	S804 No.7	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	a	外面ハケメ。内面ナデ。	11.6 (11.3)	14.7	完形。
第72図 17	B446	S804 No.6	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色/暗	a	外面ハケメ。内面ナデ。	10.3 (10.0)	14.7	完形。
第72図 18	B448	S804 No.11	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	a	外面ハケメ。内面ナデ。	11.2 (10.9)	14.3	完形。
第73図 1	B280	S804 No.5	弥生土器 甕	軟質	赤褐色/淡赤褐色	a	内外面ともにナデ。	25.4	15.0	下半のみ。流紋により串化。
第73図 2	B390	S804 No.11	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	c	内外面ともにハケメ後ナデ。	13.7	22.0	底部のみ。
第73図 3	B279	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	赤褐色/淡褐色	a	内外面ともにナデ。	19.4	26.0	下半部のみ。外面磨り。
第73図 4	B285	S804 No.12	弥生土器 甕	軟質	明赤/暗赤褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	14.4	17.2	下半のみ。
第73図 5	B397	S804 No.12	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	14.4	17.3	約1/3。
第73図 6	B722	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	明赤褐色/明赤褐色	a	内外面ともにナデ。	33.3	11.5	外面は月曜か。
第73図 7	B076	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	黄褐色/黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	38.9	12.0	底部のみ。
第73図 8	B442	S804 No.11	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	35.3	10.0	外面は月曜か。
第73図 9	B731	S804 No.10	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	38.1	14.0	下半は完形。
第73図 10	B443	S804 No.13	弥生土器 甕	軟質	暗/暗黄褐色	a	内外面ともにナデ。	18.8 (18.4)	8.7	やや前縁。
第73図 11	B384	S804 No.12	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	a	内外面ともにナデ。	21.2 (20.0)	12.6	約1/2。
第75図 1	B372	S804 No.5	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	a	内外面ともにナデ。	12.4	3.4	小片。やや前縁。
第75図 2	B373	S804 No.2	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	砂礫少	内外面ともにナデ。	34.8	5.0	小片。口縁部のみ目有。
第75図 3	B371	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	e	内外面ともにハケメ後ナデ。	26.0	2.5	小片。口縁部のみ目有。
第75図 4	B460	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	明黄褐色/明黄褐色	a	内外面ともにナデ。	—	6.0	小片。やや前縁。
第75図 5	B368	S804 No.2	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	c	内外面ともにナデ。	14.0	4.2	やや前縁。
第75図 6	B369	S804 No.3	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	a	内外面ともにナデ。	17.0	5.0	やや前縁。
第75図 7	B370	S804 No.4	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	22.0	2.9	小片。
第75図 8	B468	S804 No.5	弥生土器 甕	軟質	黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	26.2	14.3	小片。内面コゲ付着。
第75図 9	B407	S804 No.5	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/暗	e	内外面ともにナデ。	24.6	16.3	約1/5。
第75図 10	B408	S804 No.1	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	c	内外面ともにナデ。	33.8	12.3	口縁部のみ。
第75図 11	B463	S804 No.2	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	5.3	5.2	蓋のつまみ部。可能性有。
第75図 12	B460	S804 No.3	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	14.8	5.6	底部のみ。
第75図 13	B044	S804 No.4	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	a	外面ハケメ。内面ナデ。	12.3 (14.7)	11.4	完形。
第75図 14	B470	S804 No.5	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	砂礫少	内外面ともにナデ。	22.0	2.1	底部のみ。
第75図 15	B464	S804 No.6	弥生土器 甕	軟質	暗/黄褐色	砂礫少	内外面ともにナデ。	16.7	4.0	R373の底部の可能性大。
第75図 16	B465	S804 No.7	弥生土器 甕	軟質	暗/暗	砂礫少	内外面ともにナデ。	16.0	4.7	底部のみ。
第75図 17	B471	S804 No.8	弥生土器 甕	軟質	淡黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	17.7	3.5	底部のみ。
第75図 18	B462	S804 No.9	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	5.4	6.1	つまみ部のみ。
第75図 19	B461	S804 No.10	弥生土器 甕	軟質	暗/黄褐色	a	内外面ともにナデ。	3.8	5.1	つまみ部のみ。
第77図 1	B477	S804 No.11	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	37.8	3.8	蓋のつまみ部。小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑬

調査 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外面/内面)	胎土	成形・整形手法等	寸法		備考(種類・残存等)
								口径 (底径)	残存高	
第77号 2	R476	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	灰黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにナズ。	34.5	7.0	甌底の破片か。小片。
第77号 3	R475	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにナズ。	34.4	14.1	甌底の破片か。小片。
第78号 1	R391	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	青/に白い黄緑	a	外面ハケメ後ナズ・ミダキ。内面ナズ。	3.0	4.7	筒1/6。
第78号 3	R671	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い赤黒/灰黒	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	31.0	4.4	小片。
第78号 4	R669	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	黒褐色/に白い黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	26.4	6.0	小片。外面微付着。
第78号 5	R667	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/黒	a	内外面ともにナズ。	24.5	8.9	小片。
第78号 6	R664	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	灰黄/灰黄	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	37.5	5.3	小片。
第78号 7	R665	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	青/黒	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	28.4	5.4	小片。
第78号 8	R666	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	青/黒	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	31.8	7.2	小片。
第78号 9	R670	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	灰黄緑/灰黄緑	a	内外面ともにナズ。	30.4	6.2	小片。
第78号 10	R668	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/黒	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	23.8	7.3	小片。胴部微付着。
第78号 11	R650	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	(5.4)	14.2	底面のみ。
第78号 12	R658	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/灰黄緑	a	外面ハケメ。内面ナズ。	(5.6)	3.7	底面のみ。
第78号 13	R650	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	青/黒	砂礫少	内外面ともにナズ。	(5.3)	4.2	底面のみ。
第78号 15	R647	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/に白い黄緑	c	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	(5.9)	3.5	底面のみ。
第78号 16	R474	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/黒	a	内外面ともにナズ。	(7.4)	6.5	底面のみ。
第78号 17	R651	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	黒褐色/に白い青	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	(5.2)	4.5	底面のみ。
第78号 18	R283	SF70 No.3	甌土土器 甌	軟灰	黒褐色/に白い黄緑	a	外面ハケメ後ナズ・ミダキ。内面ナズ。	(10.2)	5.6	底面付。
第78号 19	R656	SF70 No.4	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	(10.3)	9.6	底面のみ。
第78号 20	R653	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/灰黄緑	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	(15.0)	8.9	底面のみ。
第78号 21	R694	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	(10.8)	10.0	底面のみ。
第78号 24	R654	SF70 No.4	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/黒	a	内外面ともにナズ。	(5.6)	3.5	底面のみ。
第78号 2	R657	SF70 No.4	甌土土器 甌	軟灰	灰黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	30.4	6.4	小片。
第79号 1	R468	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/黒	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	10.5 (5.6)	4.6	筒1/4。
第79号 2	R661	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/灰黄緑	a	内外面ともにナズ。	18.0	3.2	小片。
第79号 3	R655	SF70 No.4	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにナズ。	18.4	4.8	口縁部付。
第79号 4	R382	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	黒灰/青	a	内外面ともにハケメ。	22.2	6.3	筒1/6。
第79号 5	R663	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	黒灰/黒灰	a	内外面ともにナズ。	24.0	9.9	小片。やや微減。
第79号 6	R284	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/に白い青	a	外面ハケメ。内面ナズ。	10.0	8.5	小片。
第79号 7	R649	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/に白い青	a	内外面ともにナズ。	(12.7)	9.6	胴部のみ。
第79号 8	R728	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い赤黒/に白い赤黒	砂礫少	内外面ともにハケメ後ナズ。	(28.0)	3.0	小片。
第79号 9	R645	SF70 No.2	甌土土器 甌	軟灰	明赤褐色/に白い黄緑	砂礫少	内外面ともにナズ。	—	14.7	甌底の破片か。小片。
第79号 10	R722	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	明赤褐色/に白い青	a	内外面ともにナズ。	36.0	3.2	筒1/4。内外面付着。
第79号 11	R472	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	赤黒/赤黒	a	内外面ともにハケメ後ミダキナズ。	36.0	7.1	小片。内外面付着。
第79号 12	R723	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	明赤褐色/明赤褐色	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	32.8	4.0	小片。内外面付着。
第79号 13	R721	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	明赤褐色/に白い黄緑	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	40.0	5.1	小片。内外面付着。
第79号 14	R473	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い赤黒/黒	a	内外面ともにハケメ後ミダキナズ・ミダキ。	(26.6)	10.6	小片。内外面付着。
第79号 15	R700	SF70 No.10	甌土土器 甌	軟灰	赤黒/黒	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	(16.0)	22.2	外面付着。
第79号 16	R724	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	明赤褐色/明赤褐色	a	内外面ともにナズ。	—	3.5	小片。内外面付着。
第79号 17	R723	SF70 甌土	甌土土器 甌	軟灰	明赤褐色/明赤褐色	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	—	10.9	胴部付。内外面付着。
第81号 1	R449	SF71 No.10	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/に白い黄緑	a	内外面ともにナズ。	28.8	10.6	口縁部のみ。
第81号 2	R277	SF71 No.6	甌土土器 甌	軟灰	に白い黄緑/に白い黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	27.0	16.3	上手のみ。
第81号 3	R286	SF71 甌土	甌土土器 甌	軟灰	に白い青/黒	a	内外面ともにナズ。	30.0	4.2	小片。
第81号 5	R658	SF71 甌土	甌土土器 甌	軟灰	黒灰/に白い黄緑	a	内外面ともにナズ。外面ミダキ。	(9.6)	3.8	底面のみ。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑬

検出 番号	実測 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外面/内面)	散土	成形・成形手法等	寸法		備考(種類・残存等)
								口径 (底径)	残存高	
第81図 6	R361	S871 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	(8.4)	9.0	下半のみ。やや磨滅。
第81図 7	R659	S871 甕土	弥生土器 甕	軟質	浅黄/灰黄	a	内外面ともにナデ。外面ミガキ。	(8.4)	6.9	底部のみ。
第81図 8	R419	S871 P-1	弥生土器 甕	軟質	黒/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	26.0	8.0	小片。
第81図 9	R362	S871 No.5	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/黒	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	26.6 (10.1)	14.5	約1/4。やや磨滅。
第81図 10	R420	S871 No.1	弥生土器 甕	軟質	赤黒/明赤黒	b	内外面ともに丁寧ナデ。	25.5	6.7	約1/4。やや磨滅。
第81図 11	R417	S871 No.2	弥生土器 高杯	軟質	青/青	砂礫少	内外面ともに丁寧ナデ。	25.1 (16.9)	25.7	完形。
第81図 12	R554 ①	S871 No.7	弥生土器 甕	軟質	明赤黒/明赤黒	a	内外面ともにナデ。	—	3.5	上半のみ。R554②と同一胴体。胴部にハ ケツ具による施文行。
第81図 13	R55 ②	S871 No.7	弥生土器 甕	軟質	明赤黒/明赤黒	a	内外面ともにハケメ後ナデ。部分ミガキ。	—	3.5	下半のみ。R554②と同一胴体。
第81図 14	R418	S871 No.8	弥生土器 甕	軟質	青/青	a	内外面ともにナデ。	(8.1)	10.3	底部のみ。
第81図 4	R660	S871 No.10	弥生土器 甕	軟質	にぶい・黄/灰黄	a	内外面ともにナデ。外面ミガキ。	(8.3)	17.9	底部のみ。
第83図 1	R451	S872 No.3	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/にぶい・黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	19.8	18.0	小片。
第83図 2	R454	S872 No.3	弥生土器 甕	軟質	にぶい・黄/灰黄	a	内外面ともにナデ。	9.6	8.7	小片。R452と同一胴体。
第83図 3	R450	S872 No.4	弥生土器 甕	軟質	青/青	a	内外面ともにナデ。	(10.4)	4.8	底部のみ。
第83図 4	R452	S872 No.4	弥生土器 甕	軟質	にぶい・黄/にぶい・黄	a	内外面ともにナデ。外面ミガキ。	(8.4)	5.3	小片。R454と同一胴体。
第83図 5	R453	S872 No.5	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/浅黄	a	内外面ともにナデ。	(8.0)	2.1	底部のみ。
第83図 8	R723	S873 No.7	弥生土器 甕	軟質	にぶい・黄/にぶい・黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	18.5	20.6	胴部内面砂付着。
第83図 9	R364	S873 No.7	弥生土器 甕	軟質	灰黄/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	20.0	3.6	小片。磨滅著しい。
第83図 10	R365	S873 No.7	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	26.0	2.8	小片。
第83図 11	R287	S873 No.7	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/にぶい・黄	a	内外面ともにナデ。	29.4	5.8	小片。磨滅の痕跡が。
第83図 12	R366	S873 No.8	弥生土器 甕	軟質	青/青	a	内外面ともにナデ。	26.0	4.0	小片。胴体部有。
第83図 13	R724	S873 No.7	弥生土器 甕	軟質	青/青	a	内外面ともにナデ。	—	8.8	小片。
第83図 14	R458	S873 No.7	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/にぶい・黄	a	内外面ともにナデ。	—	2.8	小片。口縁部砂付着。
第83図 15	R545	S873 No.7	弥生土器 甕	軟質	青/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	—	7.3	小片。外面磨滅。
第83図 16	R456	S873 No.6	弥生土器 甕	軟質	にぶい・赤黒/にぶい・赤黒	c	内外面ともにナデ。	(7.7)	8.0	底部のみ。外面磨滅著。
第83図 17	R455	S873 No.3	弥生土器 甕	軟質	青/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	(8.2)	10.7	小片。外面磨滅著。
第83図 18	R459	S873 No.3	弥生土器 甕	軟質	青/青	c	内外面ともにナデ。	26.0	3.7	小片。口縁部砂付着。
第83図 19	R540	S873 No.4	弥生土器 高杯	軟質	青/青	c	内外面ともにナデ。	(18.0)	3.3	小片。外面磨滅。
第83図 20	R544	S873 No.3	弥生土器 高杯	軟質	青/青	c	内外面ともにナデ。	26.0	3.7	小片。外面磨滅。
第83図 21	R457	S873 No.3	弥生土器 甕	軟質	青/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	18.0	4.1	小片。
第83図 22	R289	S873 No.1	弥生土器 甕	軟質	にぶい・黄/明赤黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(10.1)	8.1	底部のみ。
第83図 23	R288	S873 No.1	弥生土器 甕	軟質	にぶい・黄/明赤黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(8.8)	4.4	底部のみ。
第83図 24	R363	S873 No.5	弥生土器 甕	軟質	灰黄/にぶい・青	a	内外面ともにナデ。	(8.8)	5.6	底部のみ。
第85図 1	R705	S874 No.1	弥生土器 甕	軟質	青/青	a	内外面ともにナデ。	24.0	7.6	小片。やや磨滅。
第85図 2	R704	S874 No.1	弥生土器 甕	軟質	明赤黒/にぶい・黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	24.2	7.2	約1/4。胎土に角閃石・片岩を含む。
第85図 3	R706	S874 No.1	弥生土器 甕	軟質	青/明赤黒	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(10.8)	9.5	小片。やや磨滅。
第85図 4	R707	S874 No.1	弥生土器 甕	軟質	浅黄/浅黄	a	内外面ともにナデ。	32.1	5.4	小片。やや磨滅。
第85図 5	R703	S874 No.1	弥生土器 甕	軟質	灰黄/灰黄	a	内外面ともにナデ。	12.9	5.1	底部のみ。
第85図 6	R702	S874 No.1	弥生土器 甕	軟質	灰黄/灰黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	—	2.8	底部のみ。
第85図 7	R709	S880 No.1	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/にぶい・青	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	23.6	3.1	小片。
第85図 8	R708	S880 No.1	弥生土器 甕	軟質	青/青	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(3.4)	12.5	約1/4。やや磨滅。
第85図 9	R478	S876 No.1	土師器 甕	軟質	灰黄/灰黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。内面ケズリ。	15.6	11.9	約1/4。外面磨滅付着。
第85図 10	R479	S876 No.1	土師器 甕	軟質	青/にぶい・黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(10.0)	12.6	約1/4。
第85図 11	R290	S879 No.1	弥生土器 甕	軟質	青/にぶい・青	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	21.4	8.5	小片。やや磨滅。
第85図 12	R291	S879 No.1	弥生土器 甕	軟質	にぶい・青/にぶい・青	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	25.4	5.1	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑮

録順 番号	実測 番号	出土 地点	器形	地蔵	色面 (外面/内面)	胎土	成形・整形手法等	寸法		備考(種類・保存等)
								口径 (底径)	残存高	
第96編 16	R298	S879 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(5.2)	3.8	底部のみ。
第96編 17	R299	S879 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(6.0)	4.3	底部のみ。やや膨らみつく。
第96編 18	R297	S879 甕土	甕土器 甕	甕	淡黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(7.1)	3.8	底部のみ。
第96編 19	R296	S879 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(9.0)	4.5	底部のみ。
第96編 20	R294	S879 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	砂焼少	内外面ともにユキヤキセ。ナシ。	7.8	4.8	小片。古式土器の可能性あり。
第96編 21	R293	S879 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	—	4.5	小片。
第96編 22	R292	S879 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	12.5	3.6	小片。
第96編 1	R720	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにナシ。	27.6	5.8	小片。
第96編 2	R713	S881 P-9	甕土器 甕	甕	黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(8.0)	12.9	約1/4。
第96編 3	R719	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/灰黄緑	b	内外面ともにハケメ後ナシ。	(6.4)	9.5	底部のみ。内面が付着。
第96編 4	R806	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/灰黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(8.3)	3.5	約1/2。
第96編 5	R710	S881 甕土	甕土器 甕	甕	黄/黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(8.5)	5.0	底部のみ。内面が付着。
第96編 6	R800	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	c	内外面ともにハケメ後ナシ。	(6.3)	5.2	底部のみ。
第96編 7	R718	S881 甕土	甕土器 甕	甕	赤黄/赤黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(8.5)	5.0	底部のみ。内面が付着。
第96編 8	R697	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄/灰黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(7.9)	4.3	底部のみ。
第96編 9	R808	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	b	内外面ともにハケメ後ナシ。	(7.8)	6.8	約1/4。
第96編 10	R804	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	e	内外面ともにハケメ後ナシ。	(10.8)	5.0	底部のみ。
第96編 11	R812	S881 甕土	甕土器 甕	甕	灰黄緑/灰黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(6.8)	5.0	底部のみ。
第96編 12	R715	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(5.1)	6.0	底部のみ。
第96編 13	R810	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/灰黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(5.7)	8.1	底部のみ。
第96編 14	R486	S881 甕土	甕土器 甕	甕	黄/黄	砂焼少	内外面ともにナシ。口縁部とミキ。	25.8	1.8	小片。
第96編 15	R547	S881 甕土	土師器 甕	甕	赤黄/にぶい黄緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	—	6.9	胴部のみ。外面内面。
第96編 16	R485	S881 甕土	甕土器 甕	甕	灰黄緑/黄灰黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	11.0	5.2	小片。頸部1次と頸部5次が混入。
第96編 17	R732	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(5.2)	5.5	底部のみ。
第96編 18	R710	S881 No.15	土師器 甕	甕	黄灰/にぶい黄緑	b	内外面ともにハケメ後ナシ。	15.0 (8.0)	8.2	小片。
第96編 21	R712	S881 No.2	甕土器 甕	甕	にぶい黄緑/灰黄緑	b	内外面ともにハケメ後ナシ。	26.0	11.2	口縁部のみ。
第96編 22	R811	S881 甕土	甕土器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(12.8)	7.0	小片。
第96編 23	R738	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	b	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ(下平ケズ)。	17.0	6.9	小片。
第96編 24	R737	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ(下平ケズ)。	16.0	8.0	小片。
第96編 25	R299	S881 No.1	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	16.4	14.3	上平のみ。近畿V様式系。
第96編 26	R725	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	17.4	16.5	約1/2。近畿V様式系。
第96編 1	R721	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	20.4	8.0	小片。在来系。
第96編 2	R720	S881 甕土	土師器 甕	甕	黄/黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ(下平ケズ)。	20.0	9.5	小片。近畿V様式系。
第96編 3	R728	S881 No.3	土師器 甕	甕	黄/にぶい黄緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ(下平ケズ)。	20.0	9.5	約1/2。近畿V様式系。
第96編 4	R300	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄/赤黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	18.3	15.2	上平のみ。近畿V様式系。
第96編 5	R803	S881 No.4	土師器 甕	甕	にぶい黄/赤黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ、下平ケズ。	18.7	26.7	完整。
第96編 6	R487	S881 甕土	土師器 甕	甕	黄灰黄/にぶい黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	16.1	10.7	上平のみ。近畿V様式系。
第96編 7	R813	S881 No.11	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ、下平ケズ。	15.0	16.0	上平のみ。
第96編 8	R489	S881 No.2	土師器 甕	甕	黄/にぶい黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	22.4	24.0	約1/5。近畿V様式系。
第96編 9	R734	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	20.5	7.3	小片。
第96編 10	R714	S881 No.5	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	17.0	12.3	約1/2。
第96編 11	R733	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄/黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ナシ。	15.8	6.0	口縁部のみ。
第96編 12	R711	S881 No.15	土師器 甕	甕	にぶい黄緑/灰黄緑	e	外面ハケメ後ナシ。内面ハケメ後ナシ。	18.0	8.6	約1/5。布留系。近畿系入。
第97編 1	R805	S881 甕土	土師器 甕	甕	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	13.6	3.7	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑮

図号 番号	発掘 番号	出土 地点	器形	焼成	色澤 (内面/外面)	胎土	成形・成形手法等	寸法		備考(種類・残存等)
								口径 (底径)	残存高	
第01図 2	R482	S381 No. 4	土師器 鉢	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄 褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。	17.8	5.8	約4/5
第01図 3	R484	S381 No. 5	土師器 鉢	軟質	黄/にぶい黄	a	内外面ともにナデ。	(底径)	4.7	小片。ミニチュアの底部分? (土師器?)
第01図 4	R483	S381 No. 6	土師器 鉢	軟質	にぶい黄/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。内面ミガキ。	(底径)	3.6	小片。
第01図 5	R735	S381 No. 7	土師器 小丸丸底	軟質	黄/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。	12.0	5.5	小片。
第01図 6	R717	S381 No. 8	土師器 小丸丸底	軟質	明赤褐色/明赤褐色	a	内外面ともにナデ。外面ヨコミガキ。	—	5.0	約1/4。在来系か。
第01図 7	R490	S381 No. 9	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。受部内面磨製 状ミガキ。	104 (117)	8.0	破片なくつ。
第01図 8	R731	S381 No. 10	土師器 鉢	軟質	明赤褐色/黄	a	内外面ともにハケム後ナデ。	16.2	8.1	下半のみ。中や破片。
第01図 9	R827	S381 No. 11	土師器 鉢	軟質	黄/にぶい黄褐色	a	脚部のみ。腹部に穿孔4箇所。中や破片。	—	7.1	穿孔4箇所。中や破片。
第01図 10	R481	S381 No. 12	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。受部内面磨製 状ミガキ。	(117)	9.4	口縁部を欠く。
第01図 11	R730	S381 No. 13	土師器 鉢	軟質	明赤褐色/にぶい黄	a	内外面ともにナデ。	12.0	8.8	上半のみ。内外面内面。
第01図 12	R488	S381 No. 14	土師器 鉢	軟質	黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケム後ナデ。	19.2 (13.4)	14.9	約1/2。
第01図 13	R730	S381 No. 15	土師器 鉢	軟質	にぶい赤褐色/にぶい赤 褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。ミガ キ。	25.8	5.4	小片。
第01図 14	R730	S381 No. 16	土師器 鉢	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄 褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。	16.2	8.1	口縁部のみ。在来系。
第01図 15	R730	S381 No. 17	土師器 鉢	軟質	明赤褐色/にぶい黄褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム。	18.8	32.4	約1/3。在来系。R727も同一個体。
第01図 16	R801	S381 No. 18	土師器 鉢	軟質	にぶい赤褐色/にぶい赤 褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム。下平 ナデ。	17.5	20.9	底部を欠く。
第01図 17	R802	S381 No. 19	土師器 鉢	軟質	明赤褐色/にぶい黄	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム。下平 ナデ。	18.5	29.0	底部を欠く。
第02図 1	R751	S382 No. 1	土師器 鉢	軟質	にぶい赤褐色/にぶい黄	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム。	15.2	6.0	約1/4。輸入か(黄質?)。
第02図 2	R750	S382 No. 2	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム。	16.4	7.4	約1/4。輸入か(黄質?)。
第02図 3	R747	S382 No. 3	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム。	16.4	7.4	約1/3。
第02図 4	R757	S382 No. 4	土師器 鉢	軟質	にぶい赤褐色/にぶい黄 褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム後下平 ナデ。	18.3	16.8	上半のみ。近畿V様式定容系。
第02図 5	R819	S382 No. 5	土師器 鉢	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄 褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム(下平 ナデ)。	18.0	8.7	下半を欠く。近畿V様式定容系。
第02図 6	R817	S382 No. 6	土師器 鉢	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄 褐色	a	内外面ハケム。	20.0	3.9	小片。在来系。
第02図 7	R758	S382 No. 7	土師器 鉢	軟質	明赤褐色/にぶい赤褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム後下平 ナデ。	17.5	16.4	上半のみ。近畿V様式定容系。
第02図 8	R826	S382 No. 8	土師器 鉢	軟質	にぶい赤褐色/にぶい赤 褐色	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム後下平 ナデ。	18.4	25.4	口縁部を欠く。近畿V様式定容系。
第02図 9	R820	S382 No. 9	土師器 鉢	軟質	淡黄褐色/黄	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム後ナ デ。	18.0	8.5	約1/4。在来系。
第02図 10	R490	S382 No. 10	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	外面はナデ。内面ナデ。	—	5.5	頸部小片。
第02図 11	R752	S382 No. 11	土師器 鉢	軟質	にぶい黄褐色/にぶい黄 褐色	a	内面ハケム。内面ナデ。	17.0	6.0	上半のみ。近畿V様式定容系。
第02図 12	R804	S382 No. 12	土師器 鉢	軟質	黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケム。	17.0	33.4	完整。
第02図 13	R494	S382 No. 13	土師器 鉢	軟質	にぶい黄/黄褐色	a	外面タタキ後底部ナデ。内面ナデ。	18.4	34.5	ほぼ完整。
第03図 1	R743	S382 No. 14	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。	18.3	6.5	小片。
第03図 2	R822	S382 No. 15	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。内外面 ミガキ。	23.8	4.7	約1/4。在来系か。
第03図 3	R745	S382 No. 16	土師器 鉢	軟質	明赤褐色/黄	a	内外面ともにハケム後ナデ。口縁部外 面ミガキ。	22.2	4.2	小片。
第03図 4	R744	S382 No. 17	土師器 鉢	軟質	にぶい赤褐色/にぶい赤 褐色	b	内外面ともにハケム後ナデ。	(13.0)	6.4	小片。天端部の可能性有。
第03図 5	R742	S382 No. 18	土師器 鉢	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケム後ナデ。	12.0	5.5	小片。
第03図 6	R815	S382 No. 19	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	内外面ともにナデ。	13.2	3.7	頸部のみ。
第03図 7	R821	S382 No. 20	土師器 鉢	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	外面タタキ後ハケム。底部ナデ。内面ハ ケム。	15.8	4.2	約1/4。
第03図 8	R754	S382 No. 21	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	外面タタキ後底部ナデ。内面ナデ後底 部ナデ。	13.8	6.0	約1/2片。
第03図 9	R743	S382 No. 22	土師器 鉢	軟質	黄/黄褐色	a	外面タタキ後底部ナデ。内面ハケム後 ナデ。	18.0	4.8	完整。
第03図 10	R814	S382 No. 23	土師器 鉢	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	外面タタキ後底部ナデ。内面ハケム後 ナデ。	17.6	5.2	完整。
第03図 11	R746	S382 No. 24	土師器 鉢	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	外面タタキ後底部ナデ。内面ハケム ナデ。	15.8	6.0	小片。
第03図 12	R492	S382 No. 25	土師器 小丸丸底	軟質	にぶい黄/にぶい黄	b	内外面ハケム後ナデ。	13.1	7.2	完整。
第03図 13	R833	S382 No. 26	土師器 小丸丸底	軟質	黄/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。外面にヨコミガ キ。	12.0	6.1	約1/3。
第03図 14	R832	S382 No. 27	土師器 小丸丸底	軟質	黄/黄褐色	a	内外面ともにハケム後ナデ。内面下部に ミガキ。	—	8.2	口縁部を欠く。在来系。
第03図 15	R749	S382 No. 28	土師器 高坪	軟質	にぶい黄褐色/明赤褐色	a	内外面ともにナデ。下半ナデ後ミガ キ。	20.0	5.0	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表①

探検 番号	実測図 番号	出土 地点	図形	地層	色調 (外・内・面)	胎土	形状・装飾等	寸法		備考(種類・保存等)
								口径 (mm)	底径 (mm)	
第93探	R741	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	明赤陶/明赤陶	砂礫少	内外面ともにナズ、外面面方角ミナキ。	8.40	5.0	肉2/3。
第93探	R740	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/暗	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	(12.7)	7.4	底部のみ。在来品。
第93探	R756	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい青/にぶい青	砂礫少	内外面ともにハケメ後ナズ。	21.5 (13.3)	15.2	ほぼ完品。
第93探	R816	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/暗	a	内外面ナズ後ミナキ。	(11.2)	7.2	底部のみ。穿孔は4箇所。
第93探	R836	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/暗	砂礫少	内外面ともにナズ。内面下部にケズリ。	12.0	3.8	小片。
第93探	R834	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにナズ。内外面ミナキ。	12.0	4.0	肉1/4。
第93探	R753	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/暗	砂礫少	内外面ともに丁寧ナズ。内面ミナキ。	12.4 (12.5)	11.2	肉1/3。穿孔は4箇所。
第93探	R825	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	10.6	7.2	底部一部を欠く。
第93探	R824	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/暗	a	内外面ともにハケメ後丁寧ナズ。	(10.4)	4.6	底部のみ。
第93探	R818	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	灰青/暗	a	外面ハケメ後ナズ。内面ナズ。	—	5.5	
第93探	R823	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/暗	a	内外面ともにハケメ後丁寧ナズ。	(10.8)	6.2	肉2/3。
第93探	R757	S882 P-1	土師器 高杯	軟質	明赤陶/明赤陶	砂礫少	内外面ともにハケメ後ナズ。外面口コミナキ。	(12.5)	5.5	肉1/3。穿孔は4箇所。
第93探	R491	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/灰黄陶	a	内外面ハケメ後丁寧ナズ。外面・内面 面ミナキ。	10.8	6.2	肉2/3。
第93探	R815	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/黒陶	砂礫少	内外面ともにハケメ後ナズ。外面底部ケズリ。	23.8	4.7	肉1/6。近畿V様式変形系。
第93探	R493	S882 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/明赤陶	a	内外面ともにハケ。底部ケズリ。	—	14.9	肉1/6。近畿V様式変形系。
第93探	S881	S881 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	50.0	64.0	大型。肉1/4。
第97探	R762	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい青/にぶい青	a	内外面ともに丁寧ナズ。	10.6	3.3	肉4/5。
第97探	R764	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/にぶい青	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	10.7	5.3	肉1/2。
第97探	R761	S883 甕土	土師器 小皿丸底	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	10.4	6.2	肉1/3。
第97探	R760	S883 甕土	土師器 小皿丸底	軟質	にぶい青/にぶい青	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	11.6	6.6	肉1/3。
第97探	R786	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい青/にぶい青	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	16.0	4.5	小片。
第97探	R763	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	灰黄陶/灰黄陶	a	外面ハケメ後ナズ。内面ナズ後ケズリ。	15.2	6.7	肉1/4。
第97探	R787	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/にぶい青	a	内外面ともに丁寧ナズ。	11.4	3.9	小片。
第97探	R789	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい青/にぶい青	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	12.0	7.1	小片。
第97探	R759	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	暗/暗	砂礫少	肉ナズ後底部面へケ切り。	12.4 (10.8)	3.2	肉1/2。
第97探	R788	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともに丁寧ナズ。	16.3	2.3	小片。
第97探	R548	S883 甕土	土師器 高杯	軟質	明赤陶/明赤陶	a	内外面ともにナズ。	—	4.4	小片。内外面ともに汚染。
第97探	R872	S883 P-3	土師器 高杯	軟質	暗/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	28.0	9.6	小片。
第97探	R768	S884 P-6	土師器 高杯	軟質	にぶい青/にぶい青	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	29.8	5.1	(口縁部)。
第97探	R873	S884 P-13	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	34.0	11.3	小片。
第97探	R828	S884 甕土	土師器 高杯	軟質	灰黄/灰黄	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	32.0	5.3	小片。
第97探	R829	S884 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/灰黄陶	a	内外面ともにナズ。	38.0	5.7	小片。
第97探	R828	S884 No.13	土師器 高杯	軟質	明赤陶/明赤陶	a	内外面ともにナズ。	45.0	17.9	肉1/2。
第97探	R769	S884 甕土	土師器 高杯	軟質	灰黄/灰黄	a	内外面ともにナズ後ミナキ。	—	4.3	小片。
第97探	R831	S884 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい青/にぶい青	a	内外面ともに丁寧ナズ。	14.0	4.3	小片。
第97探	R766	S884 No.1	土師器 高杯	軟質	にぶい青/にぶい黄緑	a	内外面ともに丁寧ナズ。	10.2	4.3	小片。
第97探	R837	S884 No.11	土師器 高杯	軟質	明赤陶/にぶい黄緑	a	内外面ともに丁寧ナズ。	17.0 (10.9)	14.6	肉1/2。
第97探	R830	S884 甕土	土師器 高杯	軟質	灰黄/灰黄	a	内外面ともにナズ。	(14.0)	2.4	底部のみ。
第97探	R765	S884 No.1	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/暗	a	内外面ともにナズ。	(5.7)	2.7	底部のみ。
第97探	R770	S884 No.11-11	土師器 高杯	軟質	灰黄/灰黄	a	内外面ともにナズ後ミナキ。	(7.3)	6.2	底部のみ。
第98探	R767	S884 No.8	土師器 高杯	軟質	灰/灰	砂礫少	内外面ともにケナキ。	—	8.3	小片。
第98探	R545	S884 甕土	土師器 高杯	軟質	暗	砂礫少	エッジナズ。ナズによる破損。	5.1	2.5	重量27.4g。
第97探	R839	S884 P-2	土師器 高杯	軟質	灰/灰黄	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	14.5 (7.5)	7.2	小片。
第100探	R844	S885 甕土	土師器 高杯	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナズ。	13.2	7.0	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑬

調査 番号	実測 番号	出土 地点	形状	焼成	色調 (外面/内面)	胎土	成形・成形手法等	寸法		備考(種類・保存等)
								口径 (底径)	残存高	
第100回 2	R771	S385 No.11	赤生土器 甕	軟質	橙/橙	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	35.2	3.3	小片。資料ナシ。
第100回 3	R784	S385 No.5	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	32.5	17.8	口縁部。資料ナシ。
第100回 4	R841	S385 No.4	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	26.0	5.7	小片。資料ナシ。
第100回 5	R783 ①	S385 No.2	赤生土器 甕	軟質	橙/黄	a	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	31.3	9.2	口縁部。資料ナシ。
第100回 6	R843	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	黄/にんじろ	a	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	34.0	6.3	小片。
第100回 7	R776	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	29.5 (6.1)	34.9	上半1/2を欠く。
第100回 8	R847	S385 No.9	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	30.5 (5.3)	35.7	上半2/3を欠く。
第100回 9	R779	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	b	内外面ともにハケメ後ナシ。	(9.3)	6.5	底部分。
第100回 10	R778	S385 No.4	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	外面ナシ後ミガキ。内面ナシ。	(7.2)	6.0	底部分のみ。
第100回 11	R775	S385 No.4	赤生土器 甕	軟質	黄/にんじろ	a	外面ナシ後ミガキ。内面ナシ。	(11.2)	14.9	底部分のみ。
第100回 12	R777	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	明赤/にんじろ	b	内外面ともにハケメ後ナシ。	(9.8)	4.6	底部分のみ。
第100回 13	R780	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(4.8)	5.4	胴部分のみ。
第101回 1	R773	S385 No.11	赤生土器 甕	軟質	橙/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(8.5)	16.1	底部分のみ。資料ナシ。
第101回 2	R783 ②	S385 No.2	赤生土器 甕	軟質	橙/黄	a	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	(5.7)	24.1	口縁部。第100回5と同一個体か。
第101回 3	R772 ①	S385 No.2	赤生土器 甕	軟質	明赤/明赤	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	32.4	32.4	資料ナシ。
第101回 4	R772 ②	S385 No.2	赤生土器 甕	軟質	明赤/明赤	砂塵少	内外面ともにハケメ後ナシ。	(8.3)	8.2	資料ナシ。
第101回 5	R231	S385 No.6	赤生土器 甕	軟質	明赤/黄	a	外面ハケメ後ミガキ。内面ナシ。	11.1 (11.2)	14.4	底部分。
第101回 6	R782	S385 No.8	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	10.5 (10.8)	14.4	底部分。
第101回 7	R781	S385 No.7	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	11.2 (11.1)	14.6	底部分。
第101回 8	R842	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	砂塵少	外面ハケメ後ナシ。内面ナシ。	(5.4)	5.4	底部分のみ。
第101回 9	R774	S385 No.3	赤生土器 甕	軟質	明赤/明赤	a	内外面ともにハケメ後ミガキ。	25.8 (16.5)	25.0	一部欠く。
第101回 10	R785	S385 No.2	赤生土器 甕	軟質	橙/黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。ミガキ。	23.8	7.0	上半のみ。
第101回 11	R846	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(12.8)	6.0	底部分のみ。資料ナシ。
第101回 12	R840	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	17.0	4.0	口縁部。
第101回 13	R845	S385 No.1	赤生土器 甕	軟質	黄/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	14.0	5.8	小片。
第104回 1	R849	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	30.0	3.1	小片。
第104回 2	R852	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	30.0	8.0	口縁部分のみ。
第104回 3	R848	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	36.0	4.8	小片。
第104回 4	R851	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	36.0	6.0	小片。
第104回 5	R853	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	明赤/明赤	砂塵少	内外面ともにハケメ後ナシ。	34.0	3.1	小片。
第104回 6	R791	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにハケメ後ミガキ。	10.2 (10.7)	14.3	上半約2/3を欠く。
第104回 7	R854	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(12.4)	11.2	口縁部。
第104回 8	R858	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	橙/黄	砂塵少	内外面ともにハケメ後ナシ。内面ミガキ。	16.0	4.6	口縁部。
第104回 9	R860	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(9.2)	6.0	口縁部。
第104回 10	R850	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	(11.2)	6.0	小片。
第104回 11	R790	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにハケメ後ナシ。	16.0 (6.7)	8.1	口縁部。
第104回 12	R855	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ後ミガキ。	21.4	13.6	上半部S386No.1と適合する。
第104回 13	R792	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ナシ。下半タタキ。	14.0	7.2	小片。形状はややびつ。蓋部V型式。
第104回 14	R857	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/にんじろ	a	内外面ともにハケメ後ナシ。胴部内面ナシ。	14.8	3.7	小片。
第104回 15	R795	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	明赤/明赤	a	外面タタキ後ハケメ。内面ナシ後ミガキ。	15.5	18.0	口縁部。
第104回 16	R805	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	にんじろ/黄	a	内外面ともにタタキ後ハケメ。ナシ。	16.1	28.3	口縁部。
第104回 17	R849	S386 No.1	赤生土器 甕	軟質	橙/にんじろ	砂塵少	内外面ともにハケメ。ナシ。	—	8.3	胴部分のみ。
第104回 18	R490	S386 No.2	赤生土器 甕	軟質	橙/黄	a	口縁部ナシ後底縁部ハケメナシ。	14.5	2.9	底部分。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表①

拝見 番号	実測 番号	出土 地点	器形	状況	色調 (外面/内面)	胎土	文部・装飾手法等	寸 法		備考 (種類・保存等)
								口径 (底径)	残存高	
第104期 20	R496	S883 No.2	土師器 鉢	破損	緑 / 黄	a	回転ナデ底面磨削ヘラ切リ。	13.6	4.0	約1/3。
第104期 21	R498	S883 No.3	赤土土師 鉢	破損	緑 / 黄	a	内外面ともにハケメナデ。	13.2 (7.3)	8.6	完整。
第104期 22	R836	S883 No.2	須恵器 鉢	破損	灰白 / 灰白	砂礫少	タタキ施シコナデ。	20.0	4.3	小片。
第104期 23	R839	S883 No.2	土師器 鉢	破損	灰黄緑 / 灰黄緑	a	内外面ともにハケメナデ。	—	4.9	底部付達の小片。
第105期 1	R794	S883 No.1	土師器 鉢	破損	黄灰緑 / 黄灰緑	a	外面ハケメナデ。内面ナデ後ケズリ。	39.8	22.5	約1/3。
第105期 2	R560	S889 No.1	土師器 鉢	破損	黄	a	内外面ともにナデ。	1.8	5.6	完整。
第105期 3	R861	S889 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄緑 / にぶい黄	a	内外面ともにハケメナデ。	12.0	3.6	小片。
第105期 4	R1209	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	明赤陶 / 明赤陶	a	外面磨削のため不明。内面ハケメ、ナデ。	18.0	3.7	小片。
第105期 5	R1203	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	内外面共にナデ。ハケメ。	24.9	7.9	小片。
第105期 6	R1206	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい赤陶 / にぶい赤陶	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ヨコナデ。	34.0	5.7	小片。
第105期 7	R1210	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	黄 / にぶい黄	a	内外面共にナデ。	9.8	3.7	小片。
第105期 8	R1212	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	黄 / にぶい黄	—	内外面共に磨削のため不明。	6.8	3.1	底部1/3。石炭、白色砂質を含む。
第105期 9	R1211	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい黄緑 / 黄灰	a	外面ハケメ。内面ナデ。	9.0	4.2	底部1/4。
第105期 10	R1202	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい黄 / 黒陶	a	外面ハケメ、ナデ。内面ナデ。	6.2	5.0	底部。内面コケ付着。
第105期 11	R1207	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい黄 / 黒陶	a	外面ハケメ、ヨコナデ。内面ナデ。	6.3	9.8	底部。
第105期 12	R1213	S890 No.1	赤土土師 高杯	破損	にぶい黄緑 / にぶい黄	a	外面ヨコナデ。ハケメ施工具によるナデ。内面ハケメ後ヘラミガキ。	22.0	4.0	小片。
第105期 14	R1214	S890 No.1	土師器 高杯	破損	にぶい黄緑 / 浅黄緑	砂礫少	外面ハケメ、ナデ。内面ヨコナデ。	26.0	3.4	小片。蛇文。
第105期 15	R1227	S890 No.1	土師器 高杯	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	16.0	2.3	小片。土炭は不明。
第105期 16	R1204	S890 No.1	土師器 高杯	破損	黄 / 黄	砂礫少	外面ヨコナデ。回転ヘラケズリ。内面ヨコナデ。	13.5 (10.5)	5.3	残存1/3。
第105期 18	R879	S891 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	内外面共にヨコナデ。ナデ。	30.2	4.2	小片。
第105期 19	R875	S891 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	30.0	3.8	口縁1/6。
第105期 20	R877	S891 No.1	赤土土師 鉢	破損	赤陶 / 赤陶	砂礫少	内外面共にヨコナデ。ナデ。	15.4	2.4	小片。内外面付着。
第105期 21	R878	S891 No.1	赤土土師 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	内外面共にヨコナデ。ハケメ。	20.0	3.8	小片。
第105期 22	R880	S891 No.1	土師器 鉢	破損	黄 / にぶい黄	—	外面ナデ後ヘラミガキ。内面ナデ。	16.4	2.9	厚1/4。有段高杯。二重口縁部の可能性あり。石炭、白色砂質を含む。
第105期 23	R881	S891 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ハケメ。内面ナデ。	—	4.2	底部。
第105期 24	R1205	S891 No.1	土師器 小形丸底土器	破損	にぶい黄 / にぶい黄	砂礫少	外面ナデ。内面ヨコナデ。	10.1	5.7	口縁部。外面や磨削。
第105期 25	R876	S891 No.1	土師器 小形丸底土器	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	14.0	3.6	小片。
第105期 26	R874	S891 No.1	土師器 小形丸底土器	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ヨコナデ。ナデ。	17.0 (9.4)	7.5	口縁2/3を欠く。
第109期 1	R867	S892 No.1	赤土土師 鉢	破損	黄 / 黄	b	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	30.0	3.0	小片。
第109期 2	R866	S892 No.1	赤土土師 鉢	破損	浅黄緑 / 浅黄緑	a	外面ヨコナデ。内面ナデ。	30.0	2.7	小片。
第109期 3	R868	S892 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	砂礫少 (粗粒)	内外面共にナデ。	9.6 (5.6)	3.9	残存1/2。
第109期 4	R869	S892 No.1	土師器 鉢	破損	黄 / 黄	a	内外面共に磨削のため不明。	—	2.8	小片。断面確認。
第109期 5	R871	S892 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / 灰灰	a	内外面共に磨削のため不明。	13.0	6.2	小片。
第109期 6	R865	S892 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ナデ。内面ハケメ。	6.4	3.3	下半。底部磨削技法。
第109期 7	R863	S892 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	—	外面ハケメ後ヘラミガキ。ハケメ後ヨコナデ。内面ナデ。工具によるナデ。	6.4	10.3	口縁部欠く。石炭、金色の雲母を含む。
第109期 8	R864	S892 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	—	外面ヘラケズリ。ヨコナデ。ナデ。内面ヘラケズリ。ハケメ後ナデ。ナデ。	12.0	14.4	残存1/2。石炭、白色砂質を含む。
第109期 9	R862	S892 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ハケメ。内面磨削のため不明。	17.0	3.6	底部1/2。
第109期 10	R870	S892 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / 灰灰	—	外面ハケメ後ヨコナデ。ハケメ。内面ハケメ後ヨコナデ。ヘラケズリ。	—	15.8	面へ割戻し1/4。石炭、金色の雲母を含む。
第109期 13	R727	S892- S8100	赤土土師 鉢	破損	明赤陶 / 黄	砂礫少	外面ヨコナデ。ナデ。内面磨削のため不明。	—	2.8	小片。内外面付着。
第109期 14	R726	S892- S8100	赤土土師 鉢	破損	明赤陶 / にぶい赤陶	—	外面ヨコナデ。内面ヘラミガキ。	—	7.6	小片。内外面付着。蛇文。石炭、金色の雲母を含む。
第109期 15	R729	S890 No.1	赤土土師 鉢	破損	明赤陶 / 明赤陶	a	内外面ともにナデ後ミガキ。	—	6.7	内外面付着。
第109期 16	R1038	S895 No.1	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい赤陶	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハケメ。	18.1	8.6	小片。
第109期 17	R1034	S896 No.3	土師器 鉢	破損	にぶい黄 / にぶい黄	a	外面ハケメ。内面ナデ後ケズリ。	19.8	9.0	約1/2。断面確認。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

調査 番号	実測図 番号	出土 層位	器形	地産	色調 (外面/内面)	胎土	成形・装飾等は	寸法		備考(状態・保存等)
								口径 (底径)	現存高	
第109期 18	R1037	S806 甕土	土師器 甕	模製	黄/黄	a	内外面ともにハケム後ナシ。	20.0	7.0	小片。
第109期 19	R1036	S806 甕土	土師器 甕	模製	黄/黄	砂眼少	内外面ともにナシ。底部外周ケズリ。	13.0	2.9	粉1/5。
第109期 20	R1039	S805 甕土	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	b	内外面ともにナシ。底部外周ケズリ。	13.8	2.3	粉1/4。
第109期 21	R1035	S806 甕土	土師器 甕	模製	黄/黄	砂眼少	内外面ともにユビオサシ。ナシ。	15.0	3.0	底部のみ。
第109期 22	R1033	S806 甕土	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	砂眼少	内外面ともにハケム後ナシ。	—	6.4	穿孔2箇所。
第110期 1	R1016	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	—	内外面共にナシ。	14.0	4.7	小片。石炭、金色の遺物含む。厚紙着しい。
第110期 2	R1013	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面へうミガキ。ヨコナシ。ハケム後ヨコ ナシ。ナシ。内面ヨコナシ。ナシ。	20.0	5.0	口縁部片。
第110期 3	R1008	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。ハケム。内面ナシ。	26.2	6.2	小片。
第110期 4	R759	S803 No.5	甕土師 甕	模製	黄/黄	a	外面ナシ。ハケム。内面ナシ。	—	3.9	小片。
第110期 5	R1007	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。内面ナシ。	33.5	3.6	小片。
第110期 6	R1009	S803 甕土	甕土師 甕	模製	黄/黄	a	外面ヨコナシ。ナシ。内面厚紙のため不明。	32.0	2.8	小片。
第110期 7	R1011	S803 甕土	甕土師 甕	模製	灰黄/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。ハケム後ナシ。内面ナシ。	36.2	6.0	小片。
第110期 8	R1006	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。ハケム。内面ナシ。	26.0	4.2	小片。
第110期 9	R1015	S803 甕土	甕土師 甕	模製	黄褐色/明褐色	a	内外面共に厚紙のため不明。	24.2	3.5	小片。
第110期 10	R1005	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ハケム後ナシ。内面ナシ。	(11.8)	5.3	小片。
第110期 11	R101	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	b	内外面共に厚紙のため不明。	—	9.0	確認工程14.6
第110期 12	R1004	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ナシ。内面ナシ。ユビオサシ。	15.2	4.3	口縁部片。
第110期 13	R1014	S803 甕土	甕土師 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	a	外面ハケム。内面ヨコナシ。	17.0	4.0	小片。
第110期 14	R1017	S803 甕土	甕土師 甕	模製	灰黄褐色/灰黄	a	外面ハケム。ナシ。内面ナシ。	(4.0)	5.5	底部片。
第110期 15	R1201	S803 No.3	甕土師 甕	模製	にぶい黄褐色/灰黄	a	外面ハケム。ナシ。内面ナシ。	(4.7)	6.9	底部。
第110期 16	R800	S803 甕土	甕土師 甕	模製	黄褐色/にぶい黄	a	外面へうミガキ。内面工具によるナシ。ナシ。	10.8	6.4	底部1/2。
第110期 17	R500	S803 No.1	甕土師 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ナシ。内面ハケム後ナシ。	(6.0)	7.8	小片。
第110期 18	R1020	S803 No.8	甕土師 甕	模製	灰黄褐色/灰白	a	外面ヨコナシ。ハケム。ナシ。内面ヨコナ シ。ナシ。	28.6 (5.0)	30.3	短弁1/3。
第110期 19	R1021	S803 No.8	甕土師 甕	模製	灰黄褐色/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。ハケム。ナシ。内面ヨコナ シ。ナシ。	29.3 (5.0)	38.6	短弁1/6。
第111期 1	R1023	S802 No.4	土師器 甕	模製	黄褐色/にぶい黄	b	外面ヨコナシ。タタキ。内面ハケム。	18.0	7.5	小片。
第111期 2	R1026	S803 No.4	土師器 甕	模製	灰黄褐色/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。タタキ。内面ハケム。	20.0	5.7	小片。
第111期 3	R1104	S803 No.5	土師器 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	—	外面ヨコナシ。タタキ後一組ハケム。内面 へうケズリ。ハケム。	15.9	19.8	上半。石炭、金色の遺物含む。
第111期 4	R1018	S803 No.5	土師器 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。タタキ後ハケム。内面へう ケズリ。ハケム。	18.1	16.7	上半2/3。
第111期 5	R870	S803 No.6	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/灰黄	b	外面ヨコナシ。タタキ。内面ハケム後丁寧 なナシ。	14.9	17.8	完全。底部に「N」字の施線。おそらく個人 土器。近隣より式次第。
第111期 6	R1022	S803 No.4	土師器 甕	模製	黄/黄	a	外面ヨコナシ。タタキ後ハケム。内面へう ケズリ。ハケム。	16.5	13.3	上半。
第111期 7	R882	S803 P1	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/黄	a	外面ヨコナシ。タタキ後ハケム。内面へう ケズリ。ハケム。	19.2	16.3	小片。
第111期 8	R1106	S803 甕土	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。タタキ後ハケム。内面へう ケズリ。ハケム。	18.0	9.3	小片。
第111期 9	R1105	S803 甕土	土師器 甕	模製	黄褐色/黄	—	外面へうケズリ。タタキ。ナシ。内面ハケ ム。	(3.0)	4.2	底部。石炭、金色の遺物含む。個人？。
第111期 10	R1107	S803 No.2	土師器 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。ハケム。内面へうケズリ。 ハケム。文様によるナシ。	15.7	16.1	上半。
第111期 11	R1012	S803 甕土	土師器 甕	模製	黄/黄	—	内外面共にヨコナシ。	10.0	4.0	小片。石炭、赤褐色色含む。
第111期 12	R1103	S803 No.5	土師器 甕	模製	黄/黄	a	外面ヨコナシ。ハケム。内面へうケズリ。 ナシ。	18.2	9.4	口縁部片。
第111期 13	R1010	S803 甕土	甕土師 甕	模製	黄/黄	a	外面タタキ後ハケム。内面ハケム後ナシ。	18.2	4.3	小片。
第111期 14	R1002	S803 No.3	土師器 甕	模製	にぶい黄/にぶい黄	a	外面タタキ後ナシ。ハケム。内面ハケム。 ナシ。	15.8	7.8	底部。
第111期 15	R1001	S803 甕土	土師器 甕	模製	にぶい黄/黄	a	内外面共にハケム。	18.0	9.9	底部。
第111期 16	R1019	S803 P1	土師器 甕	模製	黄褐色/黄褐色	砂眼少	外面へうケズリ。ヨコナシ。内面ヨコナ シ。ナシ。	12.7	4.9	上半。
第111期 17	R1003	S803 No.5	土師器 甕	模製	黄褐色/明褐色	砂眼少	外面ハケム後へうミガキ。内面ナシ。	11.7 (10.9)	9.1	上半2/3を欠く。
第111期 18	R798	S803 No.1	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	—	内外面共にナシ。	12.0 (6.0)	8.8	短弁1/3。石炭、金色の遺物含む。孔は4 か所？。
第111期 19	R883	S803 P1	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ヨコナシ。ハケム。内面ハケム。ナシ。	—	4.3	底部。孔。厚紙に包み留め付。
第111期 20	R797	S803 甕土	土師器 甕	模製	にぶい黄褐色/にぶい黄	a	外面ハケム後へうミガキ。ハケム後ヨコナ シ。内面ハケム後へうミガキ。	20.0	6.9	底部。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

採掘 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外底・内面)	胎土	文部・型印手法等	寸 法		備考(種類・残存等)
								口径 (底径)	残存高	
第117期 21	R490	S893 No.1	土師器 高弁	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	外面ナデ後へラミガキ。内面ハケメ後ナ デ。	—	5.1	片断。
第117期 1	R880	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	明赤黄/赤黄	b	内外面ともにナデ。	26.0	7.5	小片。実部1葉あり。
第112期 2	R888	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	29.2	4.1	小片。外面スス付着。
第112期 3	R887	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにナデ。	30.0	5.4	小片。外面スス付着。
第112期 4・5	R1025 ①②	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	明赤黄/明赤黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	20.8 8.0	①11.5 ②4.6	R1025 ③④共に同一個体。
第112期 6	R1024	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	13.7	11.5	片1/4。
第112期 7	R889	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄灰/にぶい黄緑	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	16.0	3.2	小片。
第112期 8	R1215	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(8.6)	5.0	底面片。
第112期 9	R1028	S894 P1	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/灰	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	6.6	3.3	底面のみ。
第112期 10	R1216	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(11.6)	5.7	破損により弁化。
第112期 11	R1217	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	10.5 (11.2)	14.3	片1/3。
第112期 12	R884	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	8.6	14.6	片1/2。頸部破損。
第112期 13	R885	S894 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/黄	a	内外面ともにナデ。	15.3 14.7	8.1	片2/3。
第112期 14	R1029	S894 P1	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。底部外面ナ デ。	15.6	6.5	片1/3。
第112期 15	R890	S895 No.1	弥生土器 甕	軟質	灰黄/灰黄黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	29.4 (5.1)	36.4	片1/5。
第112期 16	R1030	S895 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	b	内外面ともにナデ。	14.2	3.4	小片。
第112期 17	R1031	S895 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/にぶい黄緑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	6.9	10.3	底面のみ。
第112期 18	R1032	S895 No.1	弥生土器 甕	軟質	明赤黄/明赤黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	14.8	19.2	下半のみ。
第117期 1	R898	S897 甕土	土師器 甕	軟質	明赤黄/にぶい黄緑	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハナ デ(内面下平ケリ)。	16.1	8.7	小片。近畿V様式変容系。
第117期 2	R1043	S897 甕土	土師器 甕	軟質	灰黄/灰黄	a	外面タタキのちハナ(内面下平ケリ ナデ)。	19.8	8.0	底面のみ。在来系。
第117期 3	R1223	S897 甕土	土師器 甕	軟質	灰黄緑/灰黄黄	a	内外面ともにヨコナデ。	14.8	3.6	小片。在来系。
第117期 4	R1221	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄	e	内外面ともにヨコナデ。外面ハケメ後ナ デ。内面ナデ。	14.8	3.6	小片。在来系。
第117期 5	R897	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	外面タタキ後ハケメ。内面ハナ デ(内面下平ケリ)。	17.1	8.0	小片。近畿V様式変容系。
第117期 6	R1042	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄	e	外面タタキのちハナ。内面下平ケリ。	18.3	7.6	底面のみ。近畿V様式変容系。
第117期 7	R900	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにヨコナデ。外面ハケメ後ナ デ。内面ナデ。	18.3	7.6	片1/5。市部系変容。肩部に亀文あり。
第117期 8	R895	S897 甕土	土師器 甕	軟質	明赤黄/明赤黄	砂礫少	内外面ともに丁寧ナデ。	13.0	3.6	片1/4。
第117期 9	R829	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄緑	a	外面丁寧ナデ。内面ハナ。底部外面へラ ミガキ。	14.0	2.5	小片。
第117期 10	R893	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄/黄	a	内外面ともに丁寧ナデ。底部外面へラ ミガキ。	17.0	5.0	片1/2。
第117期 11	R892	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄緑	a	外面丁寧ナデ。内面ハナ。底部外面へラ ミガキ。	15.5	5.3	片2/3。
第117期 12	R1040	S897 甕土	土師器 甕	軟質	黄/黄	砂礫少	内外面ともに丁寧ナデ。内面ナデ。	10.2	4.1	片1/3。
第117期 13	R1041	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄/黄	砂礫少	内外面ともに丁寧ナデ。	12.1	5.2	小片。
第117期 14	R891	S897 甕土	土師器 甕	軟質	明赤黄/明赤黄	砂礫少	内外面ともにハケメ後ナデ。	12.3	6.9	小片。
第117期 15	R894	S897 甕土	土師器 甕	軟質	黄/黄	砂礫少	内外面ともにナデ。	11.2	7.9	片1/2。やや破損。
第117期 16	R896	S897 甕土	土師器 甕	軟質	明赤黄/明赤黄	砂礫少	内外面ともにハケメ後ナデ。	14.0	5.7	片1/5。
第117期 17	R899	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄 /にぶい黄緑	a	内外面ともにヨコナデ。外面ハケメ後ナ デ。内面ナデ。	16.0	8.5	小片。
第117期 18	R1224	S897 甕土	土師器 甕	軟質	にぶい黄/灰黄	砂礫少	内外面ともにナデ後ミガキ。	18.0	3.7	小片。
第117期 19	R1008	S897 甕土	土師器 甕	軟質	明赤黄/明赤黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。ミガキ。	17.7 (14.6)	12.6	片1/2。穿孔は4箇所。
第117期 20	R1220	S897 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄/明赤黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	30.2	5.2	小片。
第117期 21	R1219	S897 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	8.8	3.5	片1/2。
第117期 22	R1218	S897 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑/灰黄黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	8.6	4.3	底面のみ。
第117期 23	R1222	S897 甕土	土師器 甕	硬質	灰黄/灰黄	砂礫少	外面ナデ後外面へラミガキ。その後つまみ部 ナデ。	—	1.3	小片。
第117期 24	R828	S897 甕土	弥生土器 甕	軟質	赤黄/赤黄	a	内外面ともにナデ後外面ミガキ。	18.2	3.0	小片。R827と同一個体。内外面付着。
第117期 25	R827	S897 甕土	弥生土器 甕	軟質	赤黄/赤黄	a	内外面ともにナデ後外面ミガキ。	18.2	3.0	小片。R828と同一個体。内外面付着。
第117期 26	R1111	S898 P1	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑/にぶい黄緑	a	外面ハケメ。ナデ。内面ナデ。	(5.2)	5.0	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

調査 番号	発掘 層	出土 地点	器形	焼成 色面 (内面/外面)	胎土	成形・整型手法等	寸法		備考(経年・残存等)
							口径 (cm)	残存高 (cm)	
第117図	R1045	SR08 甕土	弥生土器	灰黄緑 / 灰黄	a	内外面ナデ滑ミガキ。	25.5 (17.0)	10.9	約1/4。
第117図	R1043	SR08 甕土	土師器 甕	灰黄 / に近い黄	a	外面タタキ滑ミガキ、内面ハケム(内面ナ デ滑ミガキ)。	14.0	4.8	小片。近畿式横式定容系。
第117図	R1109	SR08 No.1	土師器 甕	灰黄 / に近い黄	a	外面ナデ、内面ナデ。	14.7	4.6	小片。布留系定容。
第117図	R1110	SR08 甕土	土師器 甕	黄 / に近い黄	a	外面ハケム後ナデ、内面ナデ。	17.8	5.0	小片。布留系定容。
第117図	R1044	SR08 甕土	土師器 甕	灰黄 / に近い黄	a	外面タタキ滑ミガキ、内面ハケム。	14.0	4.8	一部欠け。近畿式横式定容系。
第117図	R1049	SR09 No.1	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ナデ滑ミガキ、内面ナデ。	29.6	13.9	底面のみ。
第117図	R1112	SR100 甕土	弥生土器	灰黄 / に近い黄	a	外面ナデ滑ミガキ、内面ナデ。	25.2	5.8	小片。
第119図	X5	SK01 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	32.0	5.1	口縁部片。
第119図	X6	SK01 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ヨコナデ、ナデ、ハケム。内面厚縁 のため不明。	34.2	7.7	口縁部片。
第119図	X4	SK01 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ヨコナデ、ナデ、内面厚縁のため不明。	24.2	4.5	口縁部片。赤い焼色。
第119図	X1	SK01 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	16.6	5.8	底面片。
第119図	X9	SK03 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム。内面ナデ。	14.8	1.32	底面片。
第119図	X8	SK03 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム。内面ナデ。	16.6	4.2	底面片。
第119図	X7	SK03 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ヘラミガキ。内面ナデ。	13.7	3.0	底面片。
第119図	R17	SK04 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	—	外面ヨコナデ、ナデ。内面厚縁のため不明。	35.0	7.3	口縁部片。 甕土に灰化、石炭等。
第119図	R18	SK04 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	砂漉少	内外面共に厚縁のため不明。	29.6	4.0	底面片。 灰化、赤色焼色等。
第119図	R19	SK04 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	砂漉少	内外面共に厚縁のため不明。	14.0	4.7	口縁部片。 甕土に灰化、赤色焼色等。
第119図	R11	SK06 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	31.0	4.4	口縁部片。赤い焼色。
第119図	R10	SK06 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	13.0	4.4	底面片。赤い焼色。
第119図	R12	SK06 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム。内面ヨコナデ、ナデ。	13.2	8.6	底面片。
第119図	R13	SK06 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	32.2	8.3	口縁部片。
第119図	R14	SK06 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム。内面ナデ。	14.7	5.6	底面片。
第119図	R15	SK10 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム。内面ナデ。	16.5	8.0	底面片。
第119図	R16	SK10 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム。内面ナデ。	25.0 (11.6)	26.0	口縁部。底面片。焼色は少ないが推定で黄 い焼色。
第119図	R17-18	SK11 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	15.0 (7.8)	15.1	残存1/2。
第119図	R19	SK11 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。外面は工具サ デヘラミガキの可能性あり。	6.7 (8.5)	13.0	残存2/3。
第120図	R244	SK13 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	10.6	4.9	つまみ部片。
第120図	R105	SK13 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム。内面厚縁のため不明。	15.4	7.6	底面片。
第120図	R104	SK13 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	28.0	4.0	口縁部片。
第120図	R207	SK18 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	10.1	2.2	底面片。
第120図	R208	SK18 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	25.0	4.0	口縁部片。
第120図	R204	SK15 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ヘラミガキ。内面厚縁のため不明。	24.2	6.7	残存片。
第120図	R201	SK15 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ヘラミガキ。内面厚縁のため不明。	30.6	5.7	口縁部片。
第120図	R202	SK15 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	外面ハケム後ヨコナデ、タタキ後一部ハケ ム。内面ヨコナデ、ヘラミガキ、ハケム。	20.6	6.5	口縁部片。
第120図	R119	SK23 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。底部ヘラミ ガキ。	11.2	2.5	底面片。
第120図	R103	SK18 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	10.1	2.2	底面片。
第121図	R2002	SK30 No.3	青磁 甕	灰白 / 灰白	—	内外面共に厚縁のため不明。	13.8 (8.5)	6.6	ほぼ完全。彩色灰白。内面見込み に「何」の印。
第121図	R2003	SK30 No.4	青磁 甕	灰白 / 灰白	—	内外面共に厚縁のため不明。	10.3 (8.8)	2.0	完全。彩色灰白。外に文様と 印。
第121図	R2004	SK30 No.5	青磁 甕	灰白 / 灰白	—	内外面共に厚縁のため不明。	10.5 (8.1)	2.0	完全。彩色灰白。外に文様と 印。
第121図	R2000	SK30 No.1	青磁 甕	灰白 / 灰白	—	内外面共に厚縁のため不明。	10.1 (8.4)	2.3	ほぼ完全。彩色灰白。外に文様と 印。
第121図	R2001	SK30 No.2	青磁 甕	灰白 / 灰白	—	内外面共に厚縁のため不明。	10.2 (8.5)	2.2	ほぼ完全。彩色灰白。外に文様と 印。
第122図	R107	SK07 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	5.8 (8.8)	11.0	残存1/4。焼色は少ないが推定で黄 い焼色。甕土に灰化～2mmのシボを 含む。
第122図	R108	SK07 甕土	弥生土器	灰黄 / 灰黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	30.0	5.4	口縁部片。外面ナデ。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

観測 番号	実測 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外面/内面)	胎土	彫刻・装飾等	寸法		備考(種類・現存等)
								口徑 (底径)	残存高	
第122図 3	R110	S609 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/灰黄緑	a	内外面に厚縁のため不明	34.0	4.1	口縁部片。
第122図 4	R109	S609 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/灰黄緑	a	外面ハケメ。内面厚縁のため不明。	(4.2)	7.0	底部片。
第122図 5	R216	S670 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑 / にんい・黄緑	a	外面ハケメ。内面ナシ。	33.0	7.7	口縁部片。
第122図 6	R215	S670 No.2 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	内外面に厚縁のため不明。	33.2	9.9	口縁部片。
第122図 7	R217	S670 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黒 / にんい・黒	a	内外面に厚縁のため不明。	30.0	6.5	口縁部片。
第122図 8	R200	S670 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/にんい・黒	一	外面ヘラミダシ。内面ナシ。	(8.2)	3.0	底部片。外面内縁。 胎土に石灰等含む。
第122図 9	R211	S670 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑 / にんい・黄緑	一	外面ヨコナデ。ナデ。内面ヨコナデ。	14.0	3.7	口縁部片。胎土に石灰・炭屑?等含む。
第122図 10	R214	S670 No.2 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/明赤	砂礫少	外面厚縁のため不明。内面ヘラミダシ。	34.2	13.0	口縁部片。赤い焼き。
第122図 11	R20	S671 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑 / にんい・黄緑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナシ。	26.6	5.3	口縁部片。
第122図 12	R22	S671 甕土	甕土土器 甕	軟質	浅黄緑/黒	a	外面ヘラミダシ。内面ナシ。	(10.0)	8.4	底部片。
第122図 13	R23	S671 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	外面ヘラミダシ。内面ナシ。	(8.3)	11.1	底部片。
第122図 14	R24	S672 甕土	甕土土器 甕	軟質	浅黄緑/浅黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	24.4	4.3	口縁部片。
第122図 15	R25	S672 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/浅黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	(11.0)	13.4	胴一底部片。
第122図 16	R301	S673 甕土	甕土土器 甕	軟質	浅黄緑/黒	a	外面厚縁のため不明。内面ナシ。	(11.5 11.0)	14.5	完整。
第122図 17	R303	S674 甕土	土師器 甕	軟質	灰黄緑/灰黄緑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面厚縁のため不明。	26.4	6.0	口縁部片。
第122図 18	R304	S674 甕土	土師器 甕	軟質	にんい・黄緑 / にんい・黄緑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面厚縁のため不明。	29.2	6.5	口縁部片。
第123図 1	R402	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/にんい・黒	a	内外面に厚縁のため不明。	32.0	6.9	口縁部片。
第123図 2	R112	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑/灰黄緑	a	外面ハケメ。内面ナシ。	(5.5)	20.3	胴一底部片。
第123図 3	R233	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑/黒	a	外面厚縁のため不明。内面ヨコナデ。ナデ。	10.0	4.4	口縁部片。 底面付分孔とカサ。
第123図 4	R237	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/にんい・黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	22.0	4.2	口縁部片。
第123図 5	R111	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑 / にんい・黄緑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナシ。	23.0	16.3	口縁一底部片。
第123図 6	R238	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黒/にんい・黒	砂礫少	外面ヨコナデ。厚縁のため不明。内面ナシ。	20.2	5.0	口縁部片。
第123図 7	R115	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	砂礫少	外面厚縁のため不明。内面ナシ。	(10.0)	2.5	底部片。
第123図 8	R114	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑 / にんい・黄緑	a	外面ハケメ。内面ナシ。	(5.5)	8.0	底部片。
第123図 9	R113	S675 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	砂礫少	内外面に厚縁のため不明。	(11.4)	8.5	底部片。
第123図 10	R305	S676 甕土	甕土土器 甕	軟質	赤/黒	a	外面厚縁のため不明。内面ナシ。	17.0 (5.2)	7.6	現在1/2。
第123図 11	R306	S677 甕土	甕土土器 甕	軟質	にんい・黄緑/にんい・黄緑	a	外面ハケメ。内面ナシ。	(5.5)	4.7	底部片。
第123図 12	R307	S678 甕土	甕土土器 甕	軟質	浅黄緑/灰黄	a	内外面に厚縁のため不明。	(7.5)	2.2	底部片。
第123図 13	R550	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/にんい・黒	a?	内外面にナシ。	31.0	2.8	口縁部片。内外面内縁。
第123図 14	R28	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	浅黄緑/浅黄緑	a	外面ヨコナデ。内面ナシ。	28.0	2.9	口縁部片。
第123図 15	R30	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	浅黄緑/にんい・黄緑	a	外面ヨコナデ。内外面厚縁のため不明。	22.0	4.0	口縁部片。
第123図 16	R29	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	内外面に厚縁のため不明。	27.2	5.0	口縁部片。外面内縁。
第123図 17	R20	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/にんい・黄緑	a	外面ヘラミダシ。ナデ。内面厚縁のため不明。	(10.7)	5.2	底部片。
第123図 18	R31	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	外面ハケメ。内面ハケメ。ナシ。	(4.4)	10.5	底部片。
第123図 19	R27	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	外面厚縁のため不明。内面ナシ。	13.7 (5.5)	6.0	現在1/2。
第123図 20	R32	S679 甕土	甕土土器 甕	軟質	明赤/にんい・黄緑	a	外面ハケメ。内面ナシ。	(7.5)	7.2	底部片。
第124図 1	R225	S680 甕土	甕土土器 甕	軟質	黄緑/黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	26.8	4.3	口縁部片。
第124図 2	R220	S680 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	外面ナシ。内面厚縁のため不明。	30.4	7.8	口縁部片。
第124図 3	R221	S680 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/にんい・黒/灰黄	a	内外面に厚縁のため不明。	(5.5)	6.5	底部片。
第124図 4	R221	S680 甕土	甕土土器 甕	軟質	灰赤/にんい・黄緑	a	外面ハケメ。内面ナシ。	(5.5)	4.9	底部片。
第124図 5	R234	S680 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	外面ヘラミダシ。内面厚縁のため不明。	(8.0)	9.3	底部片。
第124図 6	R34	S680 甕土	甕土土器 甕	軟質	黒/黒	a	内外面に厚縁のため不明。	22.0	3.5	口縁部片。
第124図 7	R118	S680 甕土	土師器 甕	軟質	黒/黒	砂礫少	内外面に厚縁のため不明。	21.5	2.0	口縁部片。
第124図 8	R117	S680 甕土	土師器 甕	軟質	黄緑/浅黄緑	砂礫少	内外面に厚縁のため不明。	23.2	2.5	口縁部片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表(24)

発掘 番号	発掘 層 号	出土 地 点	器 形	属 属	色 澤 (外面/内面)	胎 土	成形・成形手法等	寸 法		備 考 (種類・保存等)
								口 径 (口径)	残 存 高	
第124図 9	R119	SK92 段土	土師器 甕	横紋	浅黄緑 / 浅黄緑	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。	20.0	4.1	口縁部片。
第124図 10	R219	SK92 段土	弥生土師 甕	横紋	明赤褐色 / 明赤褐色	a	内外面に厚縁のため不明。内面はヘラミ ガキ?	34.8	13.1	口縁部片。赤い焼き。
第124図 11	R35	SK90 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 黒	a	内外面に厚縁のため不明。	(5.8)	5.4	底部片。
第124図 12	R125	SK90 段土	土師器 甕	横紋	にぶい・黒	砂焼土	外面ナシ。	4.5 (4.1)	1.5	つまみ部片。
第124図 13	R125	SK90 段土	土師器 甕	横紋	黒	砂焼土	外面ナシ。	4.3 (4.0)	1.5	つまみ部片。
第124図 14	R124	SK90 段土	土師器 甕	横紋	黒 / 黒	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。	15.2	1.8	口縁部片。
第124図 15	R121	SK90 段土	土師器 甕	横紋	黄緑 / 浅黄緑	砂焼土	外面に厚縁ナシ。内面厚縁のため不明。	10.0	4.7	口縁部片。
第124図 16	R122	SK90 段土	土師器 甕	横紋	浅黄緑 / 黄緑	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。底部板目直。	18.8 (12.8)	3.7	残存 1/4。
第124図 17	R120	SK90 段土	土師器 甕	横紋	黒 / 黒	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。	14.0	3.6	口縁部片。
第124図 18	R123	SK90 段土	土師器 甕	横紋	浅黄緑 / 明赤褐色	砂焼土	外面に厚縁ナシ。内面厚縁のため不明。	(12.0)	1.2	底部片。
第124図 19	R38	SK81 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / にぶい・黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	34.4	9.1	口縁部片。
第124図 20	R39	SK81 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / にぶい・黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	(5.8)	6.9	底部片。
第124図 21	R36	SK81 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / 黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	14.0 (5.2)	6.8	ほぼ完全。
第124図 22	R128	SK81 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 黒	a 砂焼土	内外面に厚縁のため不明。	(5.2)	25.4	口縁・底部片。赤い焼き。
第125図 1	R242	SK82 段土	土師器 甕	横紋	にぶい・黒 / 浅黄緑	砂焼土	外面に厚縁ナシ。部分的にヘラミガキ。内面 厚縁のため不明。	15.6 (12.0)	4.5	口縁・底部片。
第125図 2	R239	SK82 段土	土師器 甕	横紋	にぶい・黒 / 浅黄緑	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。	16.0 (13.0)	3.7	残存 1/2。
第125図 3	R243	SK82 段土	土師器 甕	横紋	黒 / 黒	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。底部板目直。	15.0 (10.9)	3.0	残存 3/4。
第125図 4	R241	SK82 段土	土師器 甕	横紋	にぶい・黒 / 黒	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。	16.0 (12.4)	3.7	口縁・底部片。
第125図 5	R227	SK83 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 黒	a	内外面に厚縁のため不明。	18.0	4.1	口縁部片。
第125図 6	R226	SK83 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / にぶい・黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	31.8	3.1	口縁部片。 胎土にやや石灰質。目立つ。
第125図 7	R230	SK84 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / にぶい・黒	a	外面ヘラミガキ。内面厚縁のため不明。	(12.4)	7.2	底部片。
第125図 8	R228	SK84 段土	弥生土師 甕	横紋	灰黄緑 / 灰黄緑	a	外面ヘラミガキ。内面ナシ。	(5.1)	8.3	底部片。
第125図 9	R730	SK87 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 黒	a	内外面に厚縁のため不明。	30.6	2.0	口縁部片。内外面片。
第125図 10	R310	SK87 段土	弥生土師 甕	横紋	浅黄緑 / 浅黄緑	a	外面厚縁のため不明。内面コナナシ。ナ シ。	31.0	5.3	口縁部片。
第125図 11	R309	SK87 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黄緑 / 黄緑	a	外面ヘラミガキ。内面ナシ。	(7.0)	4.8	底部片。
第125図 12	R311	SK87 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / にぶい・黒	a	外面コナナシ。厚縁のため不明。内面ヘラ ミガキ。	22.2	4.9	口縁部片。
第125図 13	R232	SK85 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / にぶい・黒	a	外面ヘラミガキ。内面ナシ。	(4.5)	7.0	底部片。
第125図 14	R312	SK88 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / にぶい・黒	a	外面コナナシ。ハケミ。内面厚縁のため不明。	29.6	5.2	口縁部片。
第125図 15	R314	SK89 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 黒	a	外面ヘラミガキ。内面厚縁のため不明。	(11.0)	5.7	底部片。
第125図 16	R44	SK89 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / にぶい・黒	a	外面コナナシ。ナシ。内面コナナシ。ナシ。	30.2	10.2	口縁部片。口縁下に浅焼。
第125図 17	R313	SK89 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / にぶい・黒	a	外面ヘラミガキ。内面ナシ。	(10.0)	8.0	底部片。
第125図 18	R41	SK89 段土	弥生土師 甕	横紋	浅黄緑 / 黄緑	a	外面厚縁のため不明。内面ナシ。コナナシ。 ナシ。	20.0 (14.2)	13.5	残存 1/6。
第125図 19	R40	SK89 段土	弥生土師 甕	横紋	浅黄 / 黄緑	a	外面ヘラミガキ。コナナシ。厚縁のため不明。 内面厚縁のため不明。	28.4	9.6	口縁部片。
第125図 21	R255	SK91 段土	古式土師 甕	横紋	にぶい・黄緑 / にぶい・黄緑	a	外面コナナシ。ハケミ。内面ハケミ。	22.2	6.9	口縁部片。内面片。
第126図 1	R151	SK92 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 黒	a	内外面に厚縁のため不明。	(10.2)	9.9	底部片。
第126図 2	R154	SK92 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 黒	砂焼土	内外面に厚縁のため不明。	32.0	7.0	口縁部片。
第126図 3	R152	SK92 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / 浅黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	27.0	4.3	口縁部片。
第126図 4	R150	SK92 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黄緑 / にぶい・黄緑	a	外面ナシ。内面ハケミ。ナシ。	(7.5)	3.2	底部片。
第126図 5	R153	SK92 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / 黄緑	a	外面厚縁のため不明。内面ナシ。	(5.2)	6.8	底部片。
第126図 6	R42	SK93 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黒 / 黒	a	外面厚縁のため不明。内面ナシ。	27.2	8.1	口縁部片。
第127図 1	R50	SK96 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / にぶい・黒	a	内外面に厚縁のため不明。	26.0	8.8	口縁部片。
第127図 2	R53	SK96 段土	弥生土師 甕	横紋	黒 / にぶい・黒	a	外面コナナシ。ハケミ。内面コナナ シ。ナシ。	25.7	12.6	口縁部片。
第127図 3	R55	SK96 段土	弥生土師 甕	横紋	黄緑 / 浅黄緑	a	内外面に厚縁のため不明。	26.6	7.0	口縁部片。
第127図 4	R43	SK96 段土	弥生土師 甕	横紋	にぶい・黄緑 / にぶい・黄 緑	a	外面コナナシ。ハケミ。内面厚縁のため不明。	31.4	6.9	口縁部片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

調査 番号	発掘 層位	出土 地点	器種	形状	色澤 (外側/内側)	胎土	成形・整形手法等	寸法		備考(種類・保存等)
								口径 (底径)	残存高	
第127洞 5	R54	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	灰黄陶/にぶい黄陶	※	外面ヨコナデ、ナデ、ハケム。内面ナデ。	30.0	10.0	口縁部欠。
第127洞 6	R45	SK96 No.6	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄陶/にぶい黄陶	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	29.6	17.1	口縁部欠。
第127洞 7	R56	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	灰黄陶/にぶい黄陶	※	外面ヨコナデ、ナデ、ハケム。内面ナデ。	40.2	10.0	口縁部欠。
第127洞 8	R57	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	黄赤/浅黄陶	※	外面ヨコナデ、厚底のため不明。内面ナデ。	35.8	13.2	口縁部欠。
第127洞 9	R46	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	明赤陶/にぶい黄	※	外面厚底のため不明。内面ヨコナデ。	17.0	5.2	底部片。
第127洞 10	R52	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄陶/にぶい黄	※	内外面共に厚底のため不明。	10.2	5.7	底部片。
第127洞 11	R49	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/橙	※	内外面共に厚底のため不明。	14.3	8.1	底部片。
第127洞 12	R48	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/明赤陶	※	内外面共に厚底のため不明。	14.3	7.0	底部片。赤い斑。
第127洞 13	R58	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/黄赤	※	内外面共に厚底のため不明。	15.2	7.9	底部片。
第127洞 14	R59	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/明赤陶	※	外面ハケム。内面厚底のため不明。	110.8	10.2	口縁部欠。
第127洞 15	R169	SK96 段上	弥生土器 甕	散灰	浅黄陶/灰白	※	内外面共に厚底のため不明。	27.8	15.8	口縁部欠。
第128洞 1	R411	SK100 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ヨコナデ。	11.0 (11.0)	14.2	残存1/2。
第128洞 2	R407	SK100 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤 /にぶい黄赤	※	内外面共にハケミガキ。	18.1 (18.0)	8.4	残存1/5。
第128洞 3	R405	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	緑黄少	※	内外面共に厚底のため不明。	7.2 (7.0)	13.2	胴部内部欠。推定復元。 赤い斑。
第128洞 4	R216	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤 /にぶい黄赤	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	30.0	6.4	口縁部欠。
第128洞 5	R238	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄赤	※	内外面共に厚底のため不明。	29.4	15.6	口縁部欠。
第128洞 6	R263	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	黒灰/灰黄	※	外面ハケム。内面ヨコナデ。厚底のため不明。	25.0 (25.1)	26.0	残存2/3。
第128洞 7	R51	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	32.0	23.0	口縁部欠。
第128洞 8	R217	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/橙	※	内外面共に厚底のため不明。	19.1	5.5	底部片。
第128洞 9	R218	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄赤	※	内外面共に厚底のため不明。	13.0	5.5	底部片。
第128洞 10	R50	SK101 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤 /にぶい黄赤	※	外面ハケム。内面厚底のため不明。	14.7	15.7	胴一部片。
第128洞 11	R221	SK103 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/橙	※	内外面共に厚底のため不明。	25.8	8.8	口縁部欠。
第128洞 12	R223	SK103 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/橙	※	内外面共にヨコナデ、ナデ。	32.0	5.4	口縁部欠。
第128洞 13	R222	SK103 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/にぶい黄	※	外面ハケム。内面厚底のため不明。	15.0	8.9	底部片。
第128洞 14	R219	SK102 段上	弥生土器 甕	散灰	明赤陶/明赤陶	※	不明。	22.6	7.3	胴部。内外面片。散土にやち石口立つ。
第128洞 15	R220	SK102 段上	弥生土器 甕	散灰	黄赤/浅黄	※	内外面共にヨコナデ。厚底のため不明。	30.0	6.4	口縁部欠。
第129洞 1	R265	SK105 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/橙	※	内外面共に厚底のため不明。	29.6	4.0	口縁部欠。
第129洞 2	R225	SK105 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄	※	外面厚底のため不明。内面ナデ。	19.7	3.3	底部片。
第129洞 3	R264	SK105 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/明赤陶	※	外面ハケム。内面厚底のため不明。	11.0	3.8	胴部片。
第129洞 4	R224	SK105 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄	※	外面厚底のため不明。内面ナデ。	110.5	8.4	底部片。
第129洞 5	R406	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/橙	※	内外面共にハケミガキ。	23.9	9.8	胴部片。
第129洞 6	R136	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄	※	外面ハケミガキ、ハケム。内面ハケム、ナデ。	113.8	7.2	胴部片。黄赤斑。散土にやち石口立つ。
第129洞 7	R140	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤 /にぶい黄赤	※	外面厚底のため不明。内面ハケム。	30.0	5.5	口縁部欠。
第129洞 8	R138	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	灰黄/にぶい黄赤	※	外面ヨコナデ、ナデ。内面ハケム。	31.2	6.5	口縁部欠。
第129洞 9	R137	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄	※	内外面共に厚底のため不明。	34.0	13.8	口縁部欠。
第129洞 10	R243	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	灰黄/浅黄	※	外面ハケミガキ、ヨコナデ。内面ナデ。	21.0	7.0	口縁部欠。
第129洞 11	R139	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/にぶい黄	※	内外面共に厚底のため不明。	25.0	5.2	口縁部欠。
第129洞 12	R409	SK107 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/黄	※	外面ハケミガキ。内面ナデ。	15.0	3.0	底部片。
第129洞 13	R237	SK108 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/灰黄陶	※	内外面共に厚底のため不明。	32.4	7.3	口縁部欠。
第129洞 14	R232	SK108 段上	弥生土器 甕	散灰	浅黄陶/にぶい黄	※	内外面共に厚底のため不明。	22.0	5.4	口縁部欠。
第129洞 15	R228	SK108 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/にぶい黄	※	外面厚底のため不明。内面ナデ。	19.2	2.7	底部片。
第129洞 16	R229	SK108 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/浅黄陶	※	外面ハケム。内面厚底のため不明。	15.4	9.3	底部片。
第129洞 17	R230	SK108 段上	弥生土器 甕	散灰	橙/橙	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面厚底のため不明。	11.5 (11.2)	12.4	残存3/4。
第129洞 18	R230	SK108 段上	弥生土器 甕	散灰	にぶい黄赤/黄赤	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ヨコナデ、ハケミガキ。	23.0	11.9	口縁部欠。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

観測 番号	発掘 番号	出土 地点	形状	地蔵	土質	色調 (外面/内面)	胎土	成形・装飾手法等	寸 法		備考 (破損・保存等)
									口径 (底径)	残存高	
第129回 第24	R524	第109 段上	弥生土器	炊飯	明赤土/明赤土	a		内外面共に厚縁のため不明。	5.0	6.8	底面片。
第129回 第24	R525	第109 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	10.0	4.0	底面片。
第129回 第19	R526	第109 段上	弥生土器	炊飯	黄/にぶい・黄	a		外面厚縁のため不明。内面スコヤス。	26.2	4.4	口縁部片。
第129回 第20	R527	第109 段上	弥生土器	炊飯	浅黄緑/浅黄緑	a		内外面共に厚縁のため不明。	26.0	5.3	口縁部片。
第129回 第21	R528	第109 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面ヨコナデ。厚縁のため不明。内面厚縁のため不明。	33.2	6.1	口縁部片。
第129回 第31	R531	第109 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面ヨコナデ。ハケム。内面ナデ。	33.2	6.1	口縁部片。
第130回 第1	R170	第110 段上	弥生土器	炊飯	黄/黄	a		外面ハケム。内面厚縁のため不明。	19.8 (底径)	12.4	残存1/3。
第130回 第2	R333	第111 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	35.0	2.8	底面片。
第130回 第3	R171	第112 段上	弥生土器	炊飯	黄/にぶい・黄	a		外面ヨコナデ。厚縁のため不明。内面厚縁のため不明。	24.0	6.8	口縁部片。
第130回 第4	R65	第114 段上	弥生土器	炊飯	黄/にぶい・黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	11.9 (11.8)	14.5	残存3/4。
第130回 第5	R66	第114 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	30.4	4.6	口縁部片。
第130回 第6	R269	第114 段上	弥生土器	炊飯	灰黄緑/灰黄緑	a		外面ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	32.0	5.4	口縁部片。
第130回 第7	R340	第114 段上	弥生土器	炊飯	灰黄/浅黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	33.2	5.9	口縁部片。
第130回 第8	R267	第114 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	18.8	6.6	口縁部片。
第130回 第9	R270	第114 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面ハケム。内面厚縁のため不明。	5.4	6.0	底面片。
第130回 第10	R277	第114 段上	弥生土器	炊飯	明赤土/灰黄	a		外面ハケム。内面厚縁のため不明。	5.1	9.6	底面片。
第130回 第11	R278	第114 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/灰黄	a		外面ハケム。内面ナデ。	5.3	11.7	底面片。
第130回 第12	R63	第114 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面ハケム。内面ナデ。	5.4	17.7	胴・底面片。
第130回 第13	R276	第114 段上	弥生土器	炊飯	明赤土/明赤土	a		内外面共に厚縁のため不明。	19.3 (7.3)	9.5	残存1/3。赤みがある焼き。赤黄も残る。
第130回 第14	R275	第114 段上	弥生土器	炊飯	明赤土/黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	28.0	10.6	胴部。赤みがある焼き。
第130回 第15	R64	第114 段上	弥生土器	炊飯	黄/黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	11.2	10.6	胴部片。
第130回 第16	R339	第114 段上	弥生土器	炊飯	灰黄緑/灰黄	a		外面ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	19.4	4.3	口縁部片。
第130回 第17	R68	第114 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	20.6	3.1	口縁部片。
第130回 第18	R238	第114 段上	弥生土器	炊飯	黄/黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	22.0	5.7	口縁部片。
第130回 第19	R62	第114 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面ハケム。内面ナデ。	5.7	12.2	胴・底面片。
第131回 第1	R176	第116 段上	弥生土器	炊飯	明赤土/明赤土	a		内外面共に厚縁のため不明。	18.4	2.5	口縁部片。
第131回 第2	R178	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a	砂埋	外面ヨコナデ。内面ナデ。	21.0	3.3	口縁部片。
第131回 第3	R74	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/明赤土	a		外面ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	21.4	3.8	口縁部片。
第131回 第4	R73	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面厚縁のため不明。内面ヨコナデ。ナデ。	26.0	3.8	口縁部片。
第131回 第5	R75	第116 段上	弥生土器	炊飯	黄/にぶい・黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	27.0	3.1	口縁部片。
第131回 第6	R71	第116 段上	弥生土器	炊飯	浅黄緑/浅黄緑	a		内外面共に厚縁のため不明。	30.0	5.7	口縁部片。
第131回 第7	R76	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	29.7	4.3	口縁部片。
第131回 第8	R77	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/灰黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	30.2	3.5	口縁部片。
第131回 第9	R69	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/黄	a		外面ヨコナデ。ハケム。内面ナデ。一部ハケム。	29.1	20.0	口縁・胴部片。
第131回 第10	R180	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/灰黄	a		外面ヨコナデ。ヘラミガキ。内面ナデ。	31.2	7.1	口縁部片。
第131回 第11	R175	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	6.8	5.7	底面片。
第131回 第12	R174	第116 段上	弥生土器	炊飯	オリーブ黒/黄	a		外面ヘラミガキ。内面厚縁のため不明。	11.0	4.3	底面片。
第131回 第13	R172	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	6.8	9.1	底面片。
第131回 第14	R173	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面ハケム。内面ナデ。	6.8	6.4	底面片。
第131回 第15	R181	第116 段上	弥生土器	炊飯	にぶい・黄/にぶい・黄	a		外面厚縁のため不明。内面ナデ。	10.0	10.5	胴部片。
第131回 第16	R70	第116 段上	弥生土器	炊飯	黄/黄	a?		内外面共に厚縁のため不明。	—	2.7	赤い焼き。
第131回 第17	R494	第117 段上	弥生土器	炊飯	黄/黄	a		外面ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	21.2	3.0	口縁部片。
第131回 第18	R490	第117 段上	弥生土器	炊飯	黄/にぶい・黄	a		内外面共に厚縁のため不明。	24.6	7.1	口縁部片。
第131回 第19	R496	第117 段上	弥生土器	炊飯	黄/黄	a		外面厚縁のため不明。内面ヨコナデ。厚縁のため不明。	27.9	8.2	口縁部片。内外面厚縁。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑦

種別 番号	発掘 番号	出土 地点	器形	焼成 色相 (外面/内面)	胎土	成形・装彩手法等	寸 法		備考(種類・残存等)	
							口 径 (底径)	残存高		
第131例 20	SK117 甕土	甕生土器	軟質	灰青/灰黄	a	外面ヨコナデ、厚縁のため不明、内面厚縁のため不明。	30.9	6.1	口縁部片。	
第131例 21	SK117 甕土	甕生土器	軟質	橙/に灰青	a	外面ナデ、内面厚縁のため不明。	(10.8)	11.8	底部片。	
第131例 22	SK117 甕土	甕生土器	軟質	橙/黄褐色	a	外面ハケメ、内面口にナデナデ。	4.9	5.1	底部片、底縁に施された穿孔。	
第131例 23	SK117 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	内外面共にヨコナデ、ナデ。	38.2	4.6	口縁部片。	
第131例 24	SK117 甕土	甕生土器 部分	軟質	橙/橙	a	内外面共に厚縁のため不明。	(10.5)	5.6	底部片。	
第131例 25	SK117 甕土	甕生土器 部分	軟質	橙/橙	a	内外面共に厚縁のため不明。	23.6	4.4	口縁部片、赤褐色に染み。	
第132例 1	SK120 甕土	甕生土器	軟質	赤褐色/に灰青	a	内外両面にヘラミガキ、ヨコナデ。	21.4	0.7	底部片。	
第132例 2	SK121 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面ヨコナデ、ハケメ、内面ハケメ、ナデ。	29.0	4.1	口縁部片。	
第132例 3	SK121 甕土	甕生土器	軟質	浅黄/浅黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	(11.3)	8.4	底部片。	
第132例 4	SK123 甕土	甕生土器	軟質	灰黄/灰黄	a	外面ヨコナデ、ハケメ、内面ナデ。	38.6	7.8	口縁部片。	
第132例 5	SK123 甕土	甕生土器	軟質	灰黄/灰黄	a	外面ヘラミガキ、内面厚縁のため不明。	6.0	2.8	底部片。	
第132例 6	SK123 甕土	甕生土器	軟質	橙/に灰青	a	外面ナデ、厚縁のため不明、内面厚縁のため不明。	9.0	5.2	底部片。	
第132例 7	SK123 甕土	甕生土器	軟質	橙/灰白	a	外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、ナデ。	38.0	3.5	口縁部片。	
第132例 8	SK123 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面ヨコナデ、ナデ、内面ハケメナデ。	26.0	11.1	口縁部片。	
第132例 9	SK123 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面ナデ、内面ヨコナデ、ナデ。	22.0	3.9	口縁部片。	
第132例 10	SK123 甕土	甕生土器	軟質	橙/橙	a	外面厚縁のため不明、内面ヨコナデ、ナデ。	30.0	4.8	口縁部片。	
第132例 11	SK124 甕土	甕生土器	軟質	灰黄/灰黄	a	外面ヘラミガキ、ヨコナデ、内面ナデ。	20.0	2.5	口縁部片。	
第132例 12	SK124 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/厚赤	a	内外面共にヨコナデ、厚縁のため不明。	26.0	4.5	口縁部片。	
第132例 13	SK124 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/浅黄	a	外面ヨコナデ、ハケメ、内面厚縁のため不明。	32.0	5.9	口縁部片。	
第132例 14	SK124 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面ヨコナデ、厚縁のため不明、内面厚縁のため不明。	30.0	4.8	口縁部片。	
第132例 15	SK128 甕土	甕生土器	軟質	黄/に灰青	a	内外面共にヨコナデ、ナデ。	18.0	5.3	口縁部片。	
第132例 16	SK128 甕土	甕生土器	軟質	灰黄/に灰青	a	外面ヨコナデ、厚縁のため不明、内面厚縁のため不明。	22.0	3.5	口縁部片。	
第132例 17	SK128 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面ヨコナデ、ナデ、内面ナデ。	22.0	6.1	口縁部片、破文。	
第132例 18	SK128 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面厚縁のため不明、内面ヨコナデ、厚縁のため不明。	28.4	2.7	口縁部片。	
第132例 19	SK128 甕土	甕生土器	軟質	赤/厚赤	a	外面ハケメ、内面厚縁のため不明。	(4.5)	6.3	底部片。	
第132例 20	SK128 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/橙	a	内外面共に厚縁のため不明。	(8.0)	5.3	底部片。	
第133例 1	R497 R498	SK129 甕土	甕生土器	軟質	黄/黄	a	外面ヘラミガキ、ヨコナデ、内面ヘラミガキ、ナデ。	21.0	19.0	口縁部片、底縁部片、底縁部片。
第133例 2	R260	SK129 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/灰黄	a	外面ヘラミガキ、内面ハケメ、ナデ。	(4.1)	4.7	底部片。
第133例 3	R262	SK129 甕土	甕生土器	軟質	灰黄/に灰青	a	外面ヘラミガキ、内面ナデ。	(9.0)	2.5	底部片。
第133例 4	R261	SK129 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/灰黄	a	外面ハケメ、ナデ、内面ナデ。	(5.0)	9.4	底部片。
第133例 5	R731	SK130 甕土	甕生土器	軟質	明黄/赤	a	内外面共にヘラミガキ。	30.6	6.5	口縁部片、内外両面片。
第133例 6	R86	SK130 甕土	甕生土器	軟質	黄/に灰青	a	外面ヨコナデ、ハケメ、内面ハケメ。	29.4	22.4	口縁部片。
第133例 7	R95	SK130 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面ハケメ、ナデ、内面厚縁のため不明。	(4.0)	22.7	口縁部片。
第133例 8	R96	SK130 甕土	甕生土器	軟質	赤/灰黄	a	外面ハケメ、内面ナデ。	(4.0)	18.4	口縁部片。
第133例 9	R97	SK130 甕土	甕生土器 部分	軟質	橙/橙	a	外面ヘラミガキ、内面ナデ。	—	11.4	底部片、すかしは指定復元。
第134例 1	R338	SK132 甕土	甕生土器	軟質	橙/黄	a	外面厚縁のため不明、内面ナデ。	27.7	2.6	口縁部片。
第134例 2	R92	SK132 甕土	甕生土器	軟質	明黄/浅黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	33.1	5.5	口縁部片。
第134例 3	R335	SK132 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/明黄	a	外面ヨコナデ、ハケメ、内面厚縁のため不明。	32.1	5.9	口縁部片。
第134例 4	R337	SK132 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/明黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	28.0	14.2	口縁部片。
第134例 5	R85	SK132 甕土	甕生土器	軟質	橙/橙	—	内外面共に厚縁のため不明。	29.8	6.8	口縁部片、底縁部片、底縁部片。
第134例 6	R334	SK132 甕土	甕生土器	軟質	浅黄/に灰青	a	外面ヨコナデ、厚縁のため不明、内面ヨコナデ、ナデ。	30.0	5.0	口縁部片。
第134例 7	R89	SK132 甕土	甕生土器	軟質	明黄/灰黄	a	外面ヨコナデ、ハケメ、内面ナデ。	30.0	6.5	口縁部片。
第134例 8	R93	SK132 甕土	甕生土器	軟質	浅黄/に灰青	a	内外面共に厚縁のため不明。	35.0	8.2	口縁部片。
第134例 9	R101	SK132 甕土	甕生土器	軟質	に灰青/に灰黄	a	外面ハケメ、内面ナデ。	(4.0)	11.1	底部片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

観測 番号	実測 番号	出土 地点	器形	焼成	色調 (外面/内面)	胎土	成形・裝飾手法等	寸法		備考(種類・残存等)
								口径 (底径)	残存高	
第134図 10	R2005	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	明黄灰/灰白	a	内外面共に厚縁のため不明。	(6.8)	2.8	底面片。
第134図 11	R284	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	a	外面へうミガキ、ヨコナデ。内面ナデ。	18.2	3.9	口縁部片。
第134図 12	R87	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰白/にぶい黄緑	a	外面ヨコナデ。厚縁のため不明。内面ナデ。	17.0	2.8	口縁部片。
第134図 13	R88	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	20.2	10.0	口縁～胴部片。
第134図 14	R2000	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	外面へうミガキ。内面ハケミ、ナデ。	(5.1)	12.0	底面片。
第134図 15	R94	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	外面ヨコナデ、ハケミ。内面ヨコナデ、ナデ。	11.3 (10.4)	12.5	残存1/2。
第134図 16	R91	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/黄	c	内外面共に厚縁のため不明。	23.0	3.2	口縁部片。
第134図 17	R2007	SK132 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/黄	a	外面ヨコナデ、ハケミ、タタキ。内面ヨコ ナデ、ヘラタタキ、ハケミ。	16.0	18.1	口縁～胴部片。外底ス文付。
第134図 19	R281	SK133 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/浅黄緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	16.2	5.2	口縁部片。
第134図 20	R103	SK133 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑/にぶい黄緑	a	内外面共にヨコナデ、ナデ。	38.2	6.5	口縁部片。
第134図 21	R83	SK133 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/浅黄緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	34.0	7.3	口縁部片。
第135図 1	R100	SK134 甕土	土師器 甕	軟質	黄/黄	砂礫少	内外面共に厚縁のため不明。	(9.1)	2.0	底面片。胎土に～1mmの砂白の砂を含む。
第135図 2	R93	SK134 甕土	土師器 甕	軟質	黄/黄	砂礫少	内外面共に厚縁のため不明。	18.0 (13.4)	4.7	口縁～底面片。
第135図 3	R99	SK134 甕土	土師器 甕	軟質	浅黄緑/浅黄緑	砂礫少	内外面共に厚縁のため不明。	20.1	4.4	口縁部片。胎土に石灰を含む。
第135図 4	R135	SK134 甕土	土師器 甕	軟質	浅黄緑/浅黄緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	26.0	7.5	残存3/4。
第135図 5	R274	SK138 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰白/灰白	a	外面ヨコナデ。内面厚縁のため不明。	34.0	5.0	口縁部片。
第135図 6	R273	SK138 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰白/浅黄緑	a	外面へうミガキ、ナデ。内面厚縁のため不明。	(10.7)	10.2	底面片。
第135図 7	R404	SK138 甕土	弥生土器 甕	軟質	浅黄緑/黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	(8.7)	6.4	胴部片。
第135図 8	R141	SK142 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄/にぶい黄	a	外面厚縁のため不明。内面ナデ。	10.2 (9.8)	14.2	残存3/4。
第135図 9	R142	SK142 甕土	弥生土器 甕	軟質	明黄灰/厚黄緑	a	外面ヨコナデ、ハケミ。内面ナデ。	26.0	4.3	口縁部片。
第135図 10	R289	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 /にぶい黄緑	b	内外面共に厚縁のため不明。	29.0	4.9	口縁部片。
第135図 11	R291	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/浅黄緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	30.4	7.7	口縁部片。
第135図 12	R290	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/浅黄緑	a	外面ヨコナデ、ハケミ。内面厚縁のため不明。	30.2	5.3	口縁部片。
第135図 13	R293	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	外面ヨコナデ。厚縁のため不明。内面厚縁 のため不明。	30.3	5.1	口縁部片。
第135図 14	R288	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/にぶい黄緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	—	5.3	口縁部片。
第135図 15	R285	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	明黄灰/黄	—	外面ナデ。内面不明。	8.2	5.7	上部片。底縁の砂を含む。
第135図 16	R282	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/浅黄緑	—	内外面共に厚縁のため不明。	(10.4)	4.6	口縁部片。外面片付。胎土に～2mmの 長石を含む。
第135図 17	R287	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/黄	a	内外面共に厚縁のため不明。	17.2	2.4	口縁部片。
第135図 18	R286	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄/にぶい黄 緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	13.5	5.0	口縁部片。
第135図 19	R283	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/黄	a?	内外面共に厚縁のため不明。	26.0	6.1	杯部片。内外面片付。
第135図 20	R284	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/黄	砂礫少	内外面共に厚縁のため不明。	24.0	4.7	口縁部片。
第135図 21	R290	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/にぶい黄緑	砂礫少	外面ナデ。内面厚縁のため不明。	18.0	5.9	底面片。外面片付。
第135図 22	R281	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄/灰	砂礫少	内外面共に厚縁のため不明。	(11.0)	5.7	底面片。
第135図 23	R279	SK143 甕土	弥生土器 甕	軟質	明黄灰/にぶい黄	a	外面ナデ。厚縁のため不明。内面ナデ。	(6.0)	8.4	底面片。
第135図 25	R412	SK144 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄/黄	a	外面へうミガキ、ヨコナデ。内面ヨコナ デ。口縁によるナデ。	22.2	6.6	口縁部片。赤い焼き。
第135図 26	R415	SK144 甕土	弥生土器 甕	軟質	浅黄緑/浅黄緑	a	内外面共に厚縁のため不明。	30.0	6.5	口縁部片。
第135図 27	R413	SK144 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	外面ヨコナデ。厚縁のため不明。内面へう ミガキ。	19.6	3.9	口縁部片。
第136図 1	R143	SK145 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑/黄	a	内外面共にヨコナデ。内面ナデ。	28.0	4.0	口縁部片。
第136図 2	R144	SK145 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/にぶい黄 緑	a	外面ヨコナデ、ハケミ。内面厚縁のため不明。	28.0	4.0	口縁部片。
第136図 3	R146	SK145 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/浅黄緑	a	外面厚縁のため不明。内面ナデ。	29.0	3.7	口縁部片。
第136図 4	R145	SK145 甕土	弥生土器 甕	軟質	灰黄緑/にぶい黄緑	a	外面ヨコナデ、ナデ。内面ナデ。	32.0	2.9	口縁部片。
第136図 5	R151	SK145 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/黄	a	外面ナデ。内面厚縁のため不明。	18.0	2.6	口縁部片。
第136図 6	R150	SK145 甕土	弥生土器 甕	軟質	にぶい黄緑/灰黄	a	外面ヨコナデ、ハケミ。内面厚縁のため不明。	—	3.4	口縁部片。
第136図 7	R155	SK145 甕土	弥生土器 甕	軟質	黄/にぶい黄緑	a	内外面共にヨコナデ。内外面共に厚縁のため不明。	—	3.2	口縁部片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

図号 番号	発掘 番号	出土 地点	器形	焼成	包土 (外・内・面)	胎土	成形・形状手法等	寸法		備考(種類・残存等)
								口徑 (底径)	残存高	
第136図 8	R153	SK145 層上	弥生土器 甕	軟質	灰黄/灰黄	a7	内外面共に厚肉のため不明。	8.4	5.9	底面片。
第136図 9	R152	SK145 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/にふい黄褐色	a	内外面共に厚肉のため不明。	8.4	4.2	底面片。
第136図 10	R149	SK145 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄/明黄褐色	a	内外面共に厚肉のため不明。	15.0	2.8	口縁部片。
第136図 11	R148	SK145 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面ナデ。	24.0	2.9	口縁部片。
第136図 12	R147	SK145 層上	弥生土器 甕	軟質	灰黄/灰黄	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	23.0	2.6	口縁部片。
第136図 13	R116	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/浅黄褐色	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	32.2	4.0	口縁部片。
第136図 14	R422	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	33.0	4.7	口縁部片。
第136図 15	R421	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	灰黄/浅黄	a	外面ヨコナデ、ハケミ後ナデ。内面ナデ。	34.0	3.9	口縁部片。
第136図 16	R418	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	灰黄/にふい黄褐色	a	外面ヨコナデ、ナデ。内面ナデ。	33.2	4.5	口縁部片。
第136図 17	R417	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/浅黄褐色	a	内外面共に厚肉のため不明。	33.0	7.3	口縁部片。
第136図 18	R296	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ハケミ、ナデ。内面ナデ。	15.0	15.5	胴・底面片。
第136図 19	R423	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ハケミ、ナデ。内面ナデ。	16.0	14.0	胴・底面片。
第136図 20	R294	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	灰黄/にふい黄褐色	a	外面ハケミ、ナデ。内面厚肉のため不明。	14.0	10.8	底面片。
第136図 21	R420	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/黄	a	外面ハケミ。内面ヨコナデ、ナデ。	10.2	6.2	上下不明。
第136図 22	R419	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄/明黄褐色	a	外面ヘラミガキ。内面ナデ、ハケミ。	13.0	4.3	底面片。
第136図 23	R295	SK146 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヘラミガキ。内面ナデ。	16.4	6.2	底面片。
第136図 24	R157	SK147 層上	弥生土器 甕	軟質	浅灰/にふい黄褐色	a	内外面共に厚肉のため不明。	16.0	3.7	底面片。
第136図 25	R735	SK147 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/にふい黄	一	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	14.0	3.0	口縁部片。内外面升立。胎土に雲母多く見られる。
第136図 26	R155	SK147 層上	弥生土器 甕	軟質	浅灰褐色/浅黄褐色	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	26.0	3.2	口縁部片。
第136図 28	R300	SK148 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄/にふい黄褐色	a	内外面共に厚肉のため不明。	23.0	3.2	口縁部片。
第136図 29	R299	SK148 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄/黄	a	外面ヨコナデ、ハケミ。内面ナデ。	32.0	5.3	口縁部片。
第136図 30	R501	SK148 層上	弥生土器 甕	軟質	浅灰褐色/灰黄	a	外面厚肉のため不明。内面工具によるナデ。	22.0	4.0	口縁部片。
第136図 31	R298	SK148 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/黄	a	外面ヨコナデ、ヘラミガキ。内面厚肉のため不明。	24.0	2.1	口縁部片。
第136図 32	R297	SK148 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ハケミ、ナデ。内面厚肉のため不明。	14.5	7.7	底面片。
第137図 1	R507	SK149 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヨコナデ、ナデ。内面厚肉のため不明。	22.0	5.8	口縁部片。
第137図 2	R508	SK149 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/浅黄褐色	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	28.2	3.8	口縁部片。
第137図 3	R506	SK149 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/浅黄褐色	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	32.6	5.6	口縁部片。
第137図 4	R503	SK149 層上	弥生土器 甕	軟質	黄灰/黄灰	a	外面ナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	14.9	4.2	底面片。
第137図 5	R504	SK149 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/黄灰	a	外面厚肉のため不明。内面ナデ。	18.4	3.7	底面片。
第137図 6	R505	SK149 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	内外面共に厚肉のため不明。	14.4	5.0	口縁・胴部片。口縁に焼成部穿孔1箇所。
第137図 7	R428	SK150 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/黄	a7 砂眼 少	内外面共に厚肉のため不明。	29.2	3.4	口縁部片。赤い焼き。
第137図 8	R429	SK150 層上	弥生土器 甕	軟質	灰黄/灰黄	a	外面ヨコナデ、ハケミ。内面ナデ。	27.0	4.2	口縁部片。
第137図 9	R426	SK150 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	30.2	3.1	口縁部片。
第137図 10	R427	SK150 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	内外面共に厚肉のため不明。	28.0	3.2	口縁部片。
第137図 11	R434	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/黄	a	内外面共に厚肉のため不明。	28.0	3.7	口縁部片。
第137図 12	R435	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/浅黄褐色	a	外面ヨコナデ、ナデ。内面ナデ。	26.0	4.2	口縁部片。
第137図 13	R431	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/黄	a	内外面共に厚肉のため不明。	29.3	3.2	口縁部片。
第137図 14	R436	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヨコナデ、ハケミ後ナデ。内面ナデ。	32.0	4.4	口縁部片。
第137図 15	R430	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面厚肉のため不明。	32.2	4.6	口縁部片。
第137図 16	R510	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ヨコナデ、ヘラミガキ。内面ナデ。	26.0	11.1	口縁部片。
第137図 17	R513	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/黄	砂眼少	内外面共に厚肉のため不明。	32.0	4.6	口縁部片。
第137図 18	R511	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/黄	砂眼少	外面ヨコナデ、厚肉のため不明。内面ヘラミガキ。	27.8	6.0	胴部片。赤い焼き。
第137図 19	R512	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	灰/黄	砂眼少	内外面共に厚肉のため不明。	23.0	6.5	胴部片。赤い焼き。
第137図 20	R509	SK151 層上	弥生土器 甕	軟質	にふい黄褐色/にふい黄	a	外面ハケミ、ナデ。内面ナデ。	19.0	7.6	底面片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表⑤

検出 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	色面 (外面/内面)	胎土	成形・成形手法等	寸法		備考(種類・状態等)
								口径 (底径)	残存高	
第137回 21	R469	SK153 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄 緑	※	外面ヘラミガキ、ヨコナデ、内面ナデ。	34.0	14.6	口縁一部破片。
第137回 22	R732	SK152 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄 緑	※	外面ヘラミガキ、内面ナデ。	—	8.4	胴部片、外面内底。
第137回 23	R733	SK154 甕土	甕生土器 甕	軟質	赤黒 / 黒	※	外面ヘラミガキ、ヨコナデ、内面ヨコナ デ。	—	1.3	口縁部片、内外面内底。
第138回 1	R438	SK155 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / 浅黄緑	※	外面ハケム。内面厚縁のため不明。	30.0	5.6	口縁部片。
第138回 2	R439	SK155 甕土	甕生土器 甕	軟質	黒 / にぶい黒	※	内外面共にヨコナデ、厚縁のため不明。	32.0	7.1	口縁部片。
第138回 3	R514	SK156 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	—	外面ナデ、一部ハケム。内面工具によるナ デ。	(4.8)	14.7	胴～底部分。甕土に黒赤斑。にぶい黒の 目立つ。長径等含む。
第138回 5	R441	SK158 甕土 甕土上土	甕生土器 甕	硬質	灰 / 灰白	砂礫少	内外面共に回転ナデ。底部ヘラミガキ。	(9.2)	1.2	底部分。
第138回 6	R443	SK158 甕土 甕土上土	甕生土器 甕	軟質	黒 / にぶい黒	砂礫少	内外面共にナデ。	12.0	3.7	口縁部片。
第138回 7	R440	SK158 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	砂礫少	内外面共に厚縁のため不明。	14.0	9.8	残存1/4。
第138回 8	R444	SK158 甕土 甕土上土	甕生土器 甕	軟質	浅黄緑 / 灰黄	砂礫少	外面厚縁のため不明。内面回転ナデ。底部 ヘラミガキ。	16.0	3.4	残存1/4。
第138回 9	R442	SK158 甕土 甕土上土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ハケム。	—	10.4	胴部片。
第138回 10	R445	SK158 甕土	甕生土器 甕	軟質	明黄緑 / 明黄緑	※	外面ヨコナデ、ナデ。内面ナデ。	19.6 (7.8)	14.8	口縁部欠損。赤い斑。甕土に石質。長径 目立つ。口縁部に2孔1弁の形成跡等。
第138回 11	R515	SK160 甕土	甕生土器 甕	軟質	黒 / 黒	※	内外面共にヘラミガキ、ヨコナデ。	—	5.5	口縁部片。
第138回 12	R001	SK165 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	※	内外面共にヨコナデ、ナデ。	—	3.6	口縁部片。
第138回 13	R516	SK160 甕土	甕生土器 甕	軟質	黒 / 黒	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	30.3	4.2	口縁部片。
第138回 14	R448	SK166 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	※	内外面共に厚縁のため不明。	34.0	3.6	口縁部片。
第138回 15	R447	SK166 甕土	甕生土器 甕	軟質	明黄緑 / にぶい黄緑	※	内外面共に厚縁のため不明。	32.2	4.2	口縁部片。
第138回 16	R446	SK166 甕土	甕生土器 甕	軟質	黒 / にぶい黄緑	※	外面ハケム。ナデ。内面厚縁のため不明。	(5.3)	10.1	底部分。
第138回 18	R300	SK168 甕土	甕生土器 甕	軟質	明黄緑 / 黒	※	外面ヨコナデ、工具によるナデ。内面ヨコ ナデ、工具によるナデ、ナデ。	11.2 (1.4)	15.4	残存1/3。
第138回 19	R400	SK168 甕土	甕生土器 甕	軟質	赤黒 / 黒	砂礫少	外面ヘラミガキ、ヨコナデ、内面ナデ。	34.8	7.2	口縁部片。外面内底。増文。
第138回 20	R159	SK172 甕土	甕生土器 甕	軟質	黄灰 / 黄灰	※	内外面共にヨコナデ、ナデ。	23.0	2.9	口縁部片。
第138回 21	R158	SK172 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ、一部に ハケム。	33.8	7.3	口縁部片。
第138回 22	R452	SK173 甕土	甕生土器 甕	軟質	黄灰 / 黄灰	※	外面ヨコナデ、ナデ。内面厚縁のため不 明。	29.4	4.3	口縁部片。
第138回 23	R451	SK173 甕土	甕生土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	※	外面ヘラミガキ。内面ヘラミガキ。	12.5 (5.7)	6.2	残存1/4。内外面内底。
第138回 24	R450	SK173 甕土	甕生土器 甕	軟質	黒 / にぶい黄緑	※	外面厚縁のため不明。内面ヘラミガキ。胴 内面ヨコナデ、ナデ。	(16.6)	16.1	胴部片。
第139回 1	R195	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	灰黄緑 / 灰黄緑	砂礫少	外面ヨコナデ、タタキ。内面ヨコナデ、ハ ケム。	17.2	5.2	口縁部片。
第139回 2	R405	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	※	外面ヨコナデ、タタキ。内面ヨコナデ、ハ ケム。	14.8	7.1	口縁部片。
第139回 3	R193	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	黒 / にぶい黄緑	—	外面ヨコナデ、タタキ。内面ナデ。持取の 工具痕等。	17.9	5.8	口縁部片。甕土に石質目立つ。
第139回 4	R194	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	—	外面ヨコナデ、タタキ。内面ヨコナデ、工 具によるナデ。	13.9	5.0	口縁部片。甕土に石質目立つ。
第139回 5	R192	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	※	内外面共にハケム、ヨコナデ、内面ナデ。	14.0	6.5	口縁部片。
第139回 6	R454	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / 暗黄緑	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ハケム。	14.0	5.4	口縁部片。
第139回 7	R191	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	—	外面ヘラミガキ、ヨコナデ、ハケム。内面 ヘラミガキ、ハケム、ナデ。	18.0	5.2	口縁部片。口縁部と頸部は磨定還元。甕土 に石質目立つ。
第139回 8	R406	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ヨコナデ、ハ ケム、ナデ。	19.0	4.5	口縁部片。
第139回 9	R453	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	※	外面ハケム、タタキ。内面ヘラミガキ。	21.3	7.6	残存2/3。甕土に石質含む。
第139回 10	R461	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	黒 / 黒	※	外面ヨコナデ。内外面共にハケム、ナデ。	(4.8)	26.6	残存1/3。
第139回 11	R462	SK174 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	※	外面ヘラミガキ、ヨコナデ、内面ナデ。	21.9 (4.4)	24.3	残存1/2。頸部に1条の浅溝。
第139回 12	R190	SK173 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄 緑 / にぶい黄緑	—	内外面共にヘラミガキ。胴内面ハケム後 ヘラミガキ。胴内面工具によるナデ、ナ デ。	21.4	13.5	底部欠損。石質、長径目立つ。
第139回 13	R460	SK176 甕土	甕生土器 甕	軟質	黒 / 灰黄緑	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	31.0	8.7	口縁部片。内底石目立つ。
第139回 14	R456	SK176 甕土	甕生土器 甕	軟質	黄緑 / にぶい黄緑	※	外面ヨコナデ、ハケム。内面ナデ。	—	5.2	口縁部片。
第139回 15	R453	SK176 甕土	古式土器 甕	軟質	黒 / にぶい黄 緑	※	外面ハケム、ヨコナデ。内面工具によるナ デ、ナデ。一部ハケム、ヨコナデ。	13.9	6.5	残存1/2。
第139回 16	R455	SK176 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / 黄緑	※	外面ハケム後ヘラミガキ。内面ヘラミガ キ。	24.2	5.1	胴部片。
第139回 17	R451	SK176 甕土	古式土器 甕	軟質	にぶい黄緑 / にぶい黄緑	※	外面ハケム後ヘラミガキ。内面ハケム、ナ デ。	(14.2)	8.6	胴部片。
第139回 18	R458	SK176 甕土	ミニチュア 土器	軟質	黒 / 黒	※	外面ナデ、ユビオサエ。内面ナデ。	3.3	3.8	残存3/4。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表①

詳細 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	包圍 (外周/内周)	胎土	成形・整形手法等	寸法		備考(種類・保存等)
								口徑 (底径)	残存高	
第139期 19	R457	SK176 甕土	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/黄	a	当面ヨコナデ、ナデ。内面厚減のため不明。	24.0	5.7	口縁部片。
第139期 20	R160	SK177 甕土	弥生土器 甕	軟灰	黄/黒	a	内外面共に厚減のため不明。	33.4	7.0	口縁部片。
第139期 21	R303	SK177 甕土	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄/にぶい黄	a	外面へラミガキ、ヨコナデ、ナデ。内面へラミガキ、ナデ。	24.0 (3.8)	26.2	残存 1/2。増文。
第139期 22	R162	SK179 甕土	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色 /にぶい黄褐色	a	外面ヨコナデ、厚減のため不明。内面ヨコナデ、ナデ。	20.0	7.0	口縁部片。
第139期 23	R161	SK179 甕土	弥生土器 甕	軟灰	灰褐色/にぶい黄	a	外面ヨコナデ。内面ナデ。	32.0	3.1	口縁部片。
第139期 24	R163	SK179 甕土	土師器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/黄褐色	a	外面タキ接ハケメ。内面ハケメ。	6.4	0.9	底部片。
第140期 1	R1114	SK121 No.2	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにナデ。	25.2	3.4	片 1/3。表面1条。(SK121 6)
第140期 2	R302	SK121 No.2	弥生土器 甕	軟灰	浅黄/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	68.8	4.0	底部のみ。やや割減。(SK121 9)
第140期 3	R1113	SK121 No.2	弥生土器 甕	軟灰	明赤褐色/黄褐色	a	内外面ともにナデ。	6.4	0.5	底部のみ。破損により赤化。(SK121 5)
第140期 4	R301	SK121 No.2	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにナデ。	63.0	2.8	小片。両呼もしくは器台の脚部。(SK121 4)
第140期 5	R310	74	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	112.0	3.7	小片。やや割減。
第140期 6	R336	78	弥生土器 甕	軟灰	黄褐色/浅黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	22.0	4.4	小片。
第140期 7	R537	711	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	112.4	4.5	小片。
第140期 8	R538	716	弥生土器 甕	軟灰	明赤褐色/黒褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	64.5	11.6	底部のみ。
第140期 9	R517	76	弥生土器 甕	軟灰	浅黄/浅黄	a	内外面ともにナデ。	114.1	9.5	片 1/6。
第140期 10	R539	F19	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	25.0	3.6	小片。やや割減。変形有。
第140期 11	R710	734	弥生土器 甕	軟灰	明赤褐色/明赤褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。外面ミガキ。	33.0	6.5	片 1/4。
第140期 12	R540	720	弥生土器 甕	軟灰	黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	25.0	4.5	小片。やや割減。
第140期 13	R711	754	弥生土器 甕	軟灰	黄/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。外面ミガキ。	22.0	7.8	小片。
第140期 14	R712	754	弥生土器 甕	軟灰	黄/黒	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	28.0	4.1	小片。
第140期 15	R713	754	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	30.0	4.0	小片。
第140期 16	R714	765	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	64.8	5.5	底部のみ。
第140期 17	R541	F49	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	28.0	4.7	小片。
第145期 1	R620	SD01	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	66.4	5.1	片 1/3。
第145期 2	R529	SD06	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	13.6	6.8	片 1/3。割減1箇所。
第145期 3	R530	SD07	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	22.6 (底径)	24.2	片 1/6。
第145期 4	R607	SD21	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	32.0	3.0	小片。
第145期 5	R613	SD34	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	30.0	3.4	小片。
第145期 6	R612	SD34	弥生土器 甕	軟灰	明赤褐色/黒	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	34.0	4.4	小片。
第145期 7	R610	SD05	弥生土器 甕	軟灰	明赤褐色/黒褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	68.0	3.5	片 1/2。
第145期 8	R611	SD05	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにナデ。	66.4	2.5	底部のみ。
第145期 9	R609	SD05	弥生土器 甕	軟灰	灰/明赤褐色	不明	内外面ともにヨコナデ。	34.0	4.0	片 1/3。自然割れ付。
第145期 10	R608	SD05	弥生土器 甕	軟灰	灰褐色/黄褐色	不明	内外面ともに割減ナデ。	20.4 (底径)	3.5	小片。
第145期 11	R614	SD05	弥生土器 甕	軟灰	灰/灰	不明	内外面ともに割減ナデ。	14.0	1.0	小片。
第145期 12	R615	SD05	弥生土器 甕	軟灰	オリーブ型/オリーブ型	不明	内外面ともにヨコナデ。	—	1.7	小片。
第145期 13	R707	SD07	弥生土器 甕	軟灰	明赤褐色/黒	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	61.4	0.4	小片。
第145期 14	R706	SD07	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄/にぶい黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	17.2	3.3	小片。
第145期 15	R701	SD07	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/浅黄	不明	内外面ともにハケメ。	9.8	4.5	小片。
第145期 16	R738	SD07	弥生土器 甕	軟灰	赤褐色/赤褐色	不明	内外面ともにナデ後ミガキ。	63.0	4.4	小片。
第145期 17	R705	SD07	弥生土器 甕	軟灰	黄/黒	a	内外面ともにナデ。	—	3.7	小片。
第145期 18	R737	SD07	弥生土器 甕	軟灰	黄/黒	b	内外面ともにナデ後ミガキ。	—	5.7	小片。
第145期 19	R704	SD07	弥生土器 甕	軟灰	灰白/灰白	c	内外面ともにハケメ後ナデ。	28.0	2.0	小片。
第145期 20	R703	SD07	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	30.0	2.2	小片。
第145期 21	R702	SD07	弥生土器 甕	軟灰	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	28.0	3.7	小片。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表②

図録 番号	実測図 番号	出土 地点	器形	焼成	色面 (外面/内面)	取手	成形・成形手法等	寸法		備考(種類・保存等)
								口径 (底径)	残存高	
第145図 24	B200	S307	赤生土器 甕	軟質	滑/にぶい滑	縁部 少	内外面ともにハケメ後ナデ・ミダナ。	14.0	4.0	小片。
第145図 25	B199	S307	赤生土器 甕	軟質	赤滑/赤滑	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	17.0	2.5	小片。
第145図 26	B708	S307	赤生土器 甕	軟質	滑/滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(5.8)	4.7	底部のみ。
第145図 27	B709	S307	赤生土器 甕	軟質	明黄滑/浅黄	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(10.0)	9.2	口1/3。
第145図 28	B197	S307	赤生土器 甕	軟質	明黄滑/明黄滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(8.8)	6.3	底部のみ。
第145図 29	B196	S307	赤生土器 甕	軟質	黄滑/滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(15.8)	11.9	口部を欠く。
第145図 15	B198	S307	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑/滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(8.8)	9.0	口1/3。
第146図 1	B532	S309	赤生土器 甕	軟質	黄滑/滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	—	4.5	小片。
第146図 2	B531	S309	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑/にぶい滑	a	外面ナデ後ミダナ。内面ナデ。	17.8	6.5	口1/6。
第146図 3	B533	SX10	縄文土器 甕	軟質	黒滑/黒滑	a	内外面共に赤褐色調。	33.0	4.2	小片。
第146図 4	B534	SX10	土師器 甕	軟質	にぶい滑/にぶい黄滑	b	内外面ともにハケメ後ナデ。	22.0	4.5	小片。
第146図 5	B535	SX11	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	12.3 (13.4)	18.1	完整。
第146図 6	B715	SX12	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	—	2.6	小片。
第146図 8	B619	SX12	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	(5.8)	7.5	底部のみ。SX12か。
第146図 9	B618	SX12	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	内外面ともにハケメ後ナデ。	26.2	6.3	小片。SX12か。
第147図 1	B468	SX181	土師器 甕	軟質	にぶい滑/にぶい黄滑	a	外面摩滅のため不明。内面ヨコナデ。ナデ。	11.0 (8.4)	2.1	口部・底面片。
第147図 2	B467	SX182	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑/にぶい滑	a	外面ヨコナデ。ナデ。内面ナデ。	32.0	3.5	口部底面片。
第147図 3	B469	SX182 No.1	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑/滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ハケメ。ナデ。	32.7	16.8	口部・側面片。
第147図 4	B476	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /明黄滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ハケメ後ナデ。	31.2	5.5	口部底面片。
第147図 5	B477	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい滑 /にぶい黄滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。ハケメ。	28.0	9.1	口部底面片。
第147図 6	B475	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	—	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ハケメ後ナデ。	32.0	4.5	口部底面片。胎土に石屑・雲母を含む。
第147図 7	B474	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい滑 /にぶい滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	30.4	3.7	口部底面片。
第147図 8	B473	SX183	赤生土器 甕	軟質	黄滑 /にぶい黄滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ハケメ。	27.2	8.4	口部底面片。
第147図 9	B470	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい滑 /にぶい黄滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	30.8	9.8	口部底面片。
第147図 10	B478	SX183	赤生土器 甕	軟質	滑/滑	a? 砂眼 少	内外面共に摩滅のため不明。	15.4	5.9	口部底面片。赤い焼きか。胎土に赤褐色砂目 立つ。
第147図 11	B471	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /黄滑	a	外面ヨコナデ。ナデ。ハケメ。内面ナデ。	28.2	8.0	口部底面片。
第147図 12	B482	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /黄滑	a	外面ハケメ。内面ハケメ。ナデ。	(9.8)	13.5	底面片。
第147図 13	B485	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい滑 /黄滑	a	外面ハケメ。ナデ。内面ナデ。	(5.8)	5.3	つまみ部片。
第147図 14	B472	SX183	赤生土器 甕	軟質	明黄滑 /明黄滑	a	外面ヨコナデ。ナデ。内面ハケメミダナ。	29.4	5.4	口部底面片。赤い焼きか。黄文。
第147図 15	B734	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい滑 /にぶい滑	a	外面ヘラミダナ。ナデ。内面ヘラミダナ。	—	4.0	胴部片。内外面片。
第147図 16	B486	SX183	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	外面ヘラミダナ。ヨコナデ。内面ヘラミダ ナ。	—	2.8	口部底面片。内外面片。
第147図 17	B483	SX183	赤生土器 甕	軟質	滑 /にぶい黄滑	a	外面ヘラミダナ。内面ナデ。ヘラミダナ。	—	6.3	胴部片。内外面片。
第147図 18	B164	SX184	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ハケメ後ナデ。	31.0	8.5	口部底面片。
第147図 19	B166	SX184	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	外面ヘラミダナ。内面ナデ。一部ハケメ。	(8.2)	12.3	胴部底面片。
第147図 20	B167	SX184	赤生土器 甕	軟質	滑/滑	a	内外面共に摩滅のため不明。	26.0	2.7	口部底面片。内外面片。
第147図 21	B165	SX184	赤生土器 甕	軟質	にぶい滑 /黄滑	a	内外面共にハケメ。ナデ。	(5.8)	8.5	底面片。
第148図 1	B521	SX185 No.1	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい滑	a	内外面共にヨコナデ。ハケメ。	31.5	4.5	口部底面片。
第148図 2	B520	SX185 No.2	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	30.0	5.6	口部底面片。
第148図 3	B602	SX185 No.3	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。内面ナデ。	28.8	24.0	口部・側面片。
第148図 4	B168	SX185	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい滑	a	外面ヨコナデ。ハケメ。ナデ。内面ヨコナ デ。ナデ。	32.4 (4.8)	35.3	残存1/2。
第148図 5	B518	SX185 No.1	赤生土器 甕	軟質	滑/滑	a	内外面共に摩滅のため不明。	20.4	6.8	口部底面片。
第148図 6	B517	SX185 No.1	赤生土器 甕	軟質	明黄滑/滑	a	外面ヘラミダナ。ヨコナデ。内面ヘラミダ ナ。	20.5	7.8	胴部片。
第148図 7	B519	SX185 No.1	赤生土器 甕	軟質	滑/滑	a	内外面共に摩滅のため不明。	(11.3)	9.8	胴部片。
第148図 8	B523	SX185	赤生土器 甕	軟質	にぶい黄滑 /にぶい黄滑	a	外面ヨコナデ。摩滅のため不明。内面摩滅 のため不明。	35.2	4.7	口部底面片。外面スリ目付。

第1表 宮ノ前遺跡出土土器観察表③

探検 番号	発掘回 番号	出土 地点	器形	土質	色調 (外面/内面)	胎土	成形・装飾手法等	寸 法		備考(破損・残存等)
								口径 (底径)	残存高	
第148回 9	R522	SK196	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /灰黄褐	a	外面ハケメ。内面ナシ。	5.7	7.0	底面片。
第148回 10	R735	SK196	弥生土器 高杯	炊飯	明赤褐 /暗赤褐	a	外面へうミガキ。口コナデ。内面へうミガ キ。	21.0	5.9	残部片。内外面片。
第151回 1	R2008	K-1 (上)	弥生土器 甕	炊飯	灰黄褐 / 灰黄褐	a	外面ハケメ。内面ナシ。	32.7 (4.9)	35.9	完整。
第151回 2	R2009	K-1 (下)	弥生土器 甕	炊飯	灰黄褐 / 灰黄褐	a	外面ハケメ。内面ナシ。	31.7 (5.0)	37.2	完整。
第151回 3	R2017	K-3 (下)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /灰黄褐	a	外面ハケメ。内面ナシ。	31.0	13.4	口縁部片。
第154回 1	R2019	K-4 (上)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ナシ・底ミガキ。内面ナシ。	31.0 (10.6)	19.8	約1/2。
第154回 2	R2011	K-5 (上)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	32.3	36.7	底面を欠く。
第154回 3	R2010	K-5 (下)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	33.3 (5.8)	39.1	ほぼ完整。
第154回 4	R2018	K-6 (下)	弥生土器 甕	炊飯	浅黄褐 / 灰白	a	外面ハケメ。内面ナシ。	30.4 (5.6)	34.1	ほぼ完整。
第157回 1	R2012	K-7 (上)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	40.0 (5.9)	44.4	約1/2。
第157回 2	R596	K-7 (下)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	34.7 (6.2)	46.5	ほぼ完整。
第160回 1	R2010	K-8 (上)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	32.9	10.7	口縁部片。
第160回 2	R2015	K-8 (下)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	33.5 (6.0)	34.2	約1/2。
第160回 3	R2013	K-10 (上)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	33.3	24.9	約1/3。
第160回 4	R2014	K-10 (下)	弥生土器 甕	炊飯	にぶい・黄 /にぶい・黄	a	外面ハケメ。内面ナシ。	33.0 (5.7)	37.7	約1/2。

※ 胎土欄の記号は、含まれる砂礫の一部に着目したものであり、下記の通りである。

- a : 片岩 + 白濁礫の礫 (矢部川流域に特徴的な胎土) b : 角閃石 + 石英多数 (片岩が確認できないもの)
 c : 角閃石 + 長石が多く入る砂礫構成。d : 角閃石 + スコリア状白色砂粒 (凝灰岩?) が多く入る砂礫構成。
 e : 金色雲母が混じる。

第2表 宮ノ前遺跡出土石器観察表①

採掘 番号	実測図 番号	出土 地点	種 別	寸 法			残存 数	石材	備 考
				最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚			
第7図 7	R013	SB02 覆土	威石	29.8	12.4	5.2	一部欠	石英斑岩	表面一部に熱痕跡。
第15図 6	R025	SB09 覆土	威石	13.4	6.6	5.0	破片	石英斑岩	全面使用。
第15図 12	R593	SB10 覆土	石包丁	5.3	9.1	0.9	一部欠	片岩	未製品?。裏面刃部剥離。
第21図 16	R575	SB13 覆土	不明	5.0	2.6	0.4	破片	片岩	石包丁の破片か。
第21図 25	R581	SB13 覆土	威石	12.6	4.6	3.1	破片	石英斑岩	研ぎ減りが著しい。
第21図 26	R582	SB13 覆土	威石	14.8	5.4	3.8	一部欠	石英斑岩	3面に研磨痕。
第21図 15	R583	SB13 覆土	掻削	5.2	2.9	1.1	欠損	安山岩 (サマカイト)	磨耗の可能性あり。
第22図 8	R564	SB14 覆土	石包丁	5.4	14.8	0.8	一部欠	片岩	4片に割れている。
不掲載	R565	SB14 覆土	不明	4.9	2.1	0.3	破片	片岩	石包丁?。
第23図 19	R585	SB15 覆土	威石	14.0	8.3	7.7	一部欠	石英斑岩	
第29図 14	R597	SB22 覆土	威石	17.6	5.8	5.5	一部欠	石英斑岩	
第29図 13	R634	SB22 No.1	威石	30.9	17.3	14.5	完形	石英斑岩	
第41図 9	R598	SB39 覆土	威石	16.2	7.5	4.4	一部欠	石英斑岩	
第41図 21	R578	SB40 覆土	石匙	5.5	3.2	0.7	一部欠	安山岩	未製品。裏面割れ。
第41図 22	R016	SB40 覆土	石匙	4.6	6.1	1.4	完形	安山岩	横断未製品?
第41図 23	R637	SB40 上層	石包丁	4.1	5.3	1.0	破片	片岩	明確な刃部なく未製品?。
第42図 10	R015	SB41 No.1	威石	22.7	8.1	7.8	完形	石英斑岩	
第42図 13	R604	SB42 No.1	石材	5.6	6.7	6.6	破片	石英斑岩	
第45図 10	R602	SB43 覆土	威石	12.3	6.4	6.4	一部欠	石英斑岩	
第48図 10	R572	SB45 覆土	石斧	3.9	2.9	1.0	ほぼ完形	泥岩?	扁平片石斧。
第50図 16	R570	SB48 覆土	石斧?	4.9	2.3	0.6	破片	安山岩	刃部の破片?。
第50図 20	R589	SB48 覆土	威石	12.6	6.9	6.5	一部欠	石英斑岩	
第50図 18	R595	SB48 P1	石包丁	7.8	14.4	9.5	ほぼ完形	片岩	未製品。
第50図 17	R606	SB48 No.7	威石 or 石皿	20.4	7.2	6.6	破片	石英斑岩	
第50図 19	R627	SB48 No.1	くばみ石	11.9	12.8	5.7	一部欠	安山岩	
第59図 8	R594	SB53 P1	石包丁	5.8	11.8	1.2	完形	片岩	未製品。
第55図 3	R587	SB54 覆土	威石	11.3	4.8	2.7	一部欠	石英斑岩	
第55図 1	R588	SB54 覆土	威石	10.3	8.7	2.6	破片	石英斑岩	
第55図 2	R596	SB54 覆土	石斧	11.5	4.9	2.1	破片	滑石	
第62図 11	R592	SB60 覆土	威石	6.2	2.8	1.6	完形	石英斑岩	再利用?ノミ?。
第62図 12	R639	SB60 覆土	威石	6.0	2.5	1.6	一部欠	石英斑岩	再利用?。
第62図 13	R508	SB61 No.3	威石	21.3	11.8	6.2	破片	石英斑岩	
第68図 8	R563	SB65 覆土	石包丁	3.6	9.8	0.8	約2/3	粘板岩	上面も刃として使用か。
第71図 1	R510	SB67 覆土	威石	6.8	9.0	5.6	破片	石英斑岩	
第71図 2	R636	SB67 覆土	威石	5.9	9.7	6.6	破片	砂岩	
第71図 3	R621	SB67 覆土	石包丁	4.9	6.2	0.6	約1/2	泥岩?	穿孔有。
第71図 4	R567	SB67 覆土	紡錘車 未製品	5.5	5.4	0.8	完形	片岩	穿孔未完了。
第79図 18	R623	SB70 覆土	威石	11.8	15.3	3.6	破片	石英斑岩	重量 1.164 g
第81図 15	R571	SB71 覆土	石斧	8.6	6.2	3.4	刃部付近のみ	片岩	重量 222g。

第2表 宮ノ前遺跡出土石器観察表②

発掘 番号	発掘 層 号	出土 地点	材 質	寸 法			残存度	石材	備 考
				最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚			
第83図 7	R590	SB72 覆土	二次加工 剥片	6.6	2.5	1.6	一部欠く。	安山岩	重量 31g。
第83図 6	R591	SB72 覆土	石包丁 片?	5.0	1.7	0.2	小片。	片岩	重量 3g
第83図 25	R601	SB73 覆土	威石	6.6	6.0	2.8	破片。	石英斑岩	重量 120g
第83図 26	R603	SB73 覆土	威石	16.4	7.8	6.3	破片。	石英斑岩	重量 1203g
第86図 11	R586	SB76 覆土	威石	9.0	3.8	2.2	破片。	砂岩	重量 125 g
第86図 12	R577	SB77 覆土	二次加工 剥片	8.3	2.7	0.9	一部欠く。	安山岩	重量 20.5 g
第86図 9	R622	SB80 覆土	威石	16.6	8.3	6.3	表面を欠く。	石英斑岩	重量 1,384 g
第89図 19	R576	SB81 覆土	石匙未製品?	5.6	3.4	0.8	一部欠く。	安山岩	重量 21.1g
第89図 20	R611	SB81 覆土	威石	15.8	11.6	9.8	破片。	石英斑岩	重量 2,759g
第98図 3	R573	SB84 覆土	石包丁	5.4	3.7	0.4	破片。	泥岩?	破片
第84図 4	R568	SB84 覆土	石包丁	12.8	6.1	0.8	一部欠く。	片岩	未製品。刃部未作成。
第98図 5	R620	SB84 覆土	威石	7.1	3.3	3.4	一部欠く。	石英斑岩	重量 135g。磨滅している。
第98図 6	R605	SB84 覆土	威石	7.4	9.1	5.3	破片。	石英斑岩	破片。
第101図 14	R569	SB85 覆土	石鏃	2.2	1.9	0.5	完形	黒曜石	重量 2g。
第105図 17	R574	SB90 覆土	石斧	5.6	3.4	0.7	破片	安山岩	磨毀石斧片で、縦穴への転用未 完か。
第109図 12	R607	SB92 覆土	石皿か	11.6	12.3	3.9	破片	石英斑岩	使用面は2面。
第109図 11	R624	SB92 覆土	剥片	7.3	9.0	1.4	—	安山岩	
第111図 22	R600	SB93 覆土	威石	7.9	4.6	3.9	破片	石英斑岩	
第112図 13	R614	SB94 P-1	威石	30.3	15.5	7.4	破片。	石英斑岩	全面に磨蝕痕有。
第109図 23	R619	SB96 覆土	石皿?	27.0	15.1	2.9	一部欠く。	片岩	重量 1967g。
第109図 24	R618	SB96 覆土	威石	16.9	9.8	4.4	一部欠く。	片岩	重量 965g。
第109図 23	R617	SB96 覆土	石包丁	10.7	5.3	0.8	一部欠く。	片岩	重量 60g。
第120図 10	R584	SK15	威石	12.5	8.6	4.9	破片	石英斑岩	使用面は3面か。
第125図 20	R580	SK90	石鏃	1.9	2.0	0.6	完形	黒曜石	
第130図 20	R638	SK114	石鏃	4.8	3.2	0.7	破片	片岩	風化、割離しやすい。
第134図 18	R609	SK132	威石	8.3	5.0	2.6	破片	石英斑岩	使用面1面。
第135図 24	R632	SK143	石鏃?	2.7	8.4	0.5	破片	片岩	表面割離。
第136図 27	R628	SK147	石鏃	10.5	10.7	5.3	完形	安山岩	
第137図 24	R633	SK154	台石	10.7	8.3	4.7	破片	安山岩	
第138図 4	R635	SK157	磨石	6.7	10.1	2.7	一部欠	安山岩	
第138図 17	R631	SK167	二次加工のある 剥片	6.6	9.8	0.9	完形	サヌカイト	
第145図 7	R579	SK04	剥片	4.0	2.6	1.1	完形	安山岩	重量 9 g
第145図 30	R562	SK07	石包丁	3.7	10.4	0.7	完形	泥岩	使い込まれて摩耗している。
第146図 10	R612	不明	威石	20.7	12.0	12.5	一部欠	石英斑岩	1面ややくぼむ。
第146図 7	R561	義操	石包丁	11.4	5.7	0.8	一部欠	安山岩	
第140図 20	R626	P40	石鏃	32.2	18.5	6.7	破片	砂岩	
第140図 17	R641	ローム 層中	尖頭器	14.0	4.0	1.9	一部欠	安山岩	重量 101g。旧石器?
第140図 9	R640	P6	剥片	2.5	2.1	0.6	—	黒曜石	重量 3 g。

圖版

PLATES

図版 1



(1) 宮ノ前遺跡調査区

南より



(2) 宮ノ前遺跡 SB07・SX01

北西より



(3) SB09・SK15

西より



(4) SB11～17

南東から



(5) SB13・14

北より



(6) SB18・19・SX01

西より



(7) SB21・SB10・65

西より



(8) SB40・SK90

南西より



(1) SB39・41・42・44

北より



(2) SB43

東より



(3) SB45・47・48

東より



(4) SB46・SX07

東より



(5) SB50・51・SX04

北より



(6) SB51・SX04

北より



(7) SB52・53

南より



(8) SB56

南より

図版 3



(1) SB61・55・60

南西より



(2) SB62・63

東より



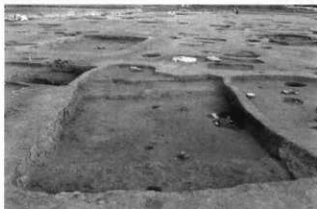
(3) SB94・SK101

東より



(4) SB66

西より



(5) SB67

南西より



(6) SB68

東より



(7) SB69

東より



(8) SB70

西より



(1) SB71・72・73・74

東より



(2) SB76

東より



(3) SB77・78

北東より



(4) SB79・80

南西より



(5) SB82

南東より



(6) SB83・SX07

西より



(7) SB84

東より



(8) SB85・94

東より

図版 5



(1) SB86

東より



(2) SB88

北より



(3) SB89

北より



(4) SB91

北より



(5) SB92

南東より



(6) SB93

北東より



(7) SB98

南より



(8) SB99

西より

(7) K-7 墓棺



(5) K-4・K-5 墓棺



(3) K-1



(1) SK07



(8) K-8 墓棺



(6) K-6 墓棺



(4) K-3 墓棺



(2) SX08



北より

東より

北より

北より



(1) K-9 甕棺

北より



(2) K-10 甕棺

北西より



(3) K-12 (石棺墓)

南より



(4) SB94 火葬場跡？

東より



(5) SK95・SK96

北より

報告書抄録

ふりがな	やめしないいせきぐん10							
書名	八女市内遺跡群10							
副書名	福岡県八女市酒井田所在 宮ノ前遺跡発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	八女市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第117集							
編著者名	檀 佳克 (だん よしかつ)							
編集機関	八女市教育委員会							
所在地	〒834-8585 福岡県八女市本町647 TEL. 0943-23-1982 FAX. 0943-24-4331							
発行年月	西暦 2017年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ ー ド 市町村 遺跡番号		北 緯 ° ' "	東 経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
みやのまえいせき 宮ノ前遺跡 (酒井田遺跡群)	ふくおかけんやめし 福岡県八女市 さかいだあざみやのまえ 酒井田字 宮ノ前	402109	406005 -19	33 11 42	130 33 10	19901015 ～ 19910331	約6,000㎡	圃場整備 事業
所収遺跡名	種 別	主 な 時 代		主 な 遺 構		主 な 遺 物		特記事項
宮ノ前遺跡	集 落 跡	弥生時代・古墳時代 奈良・平安時代 鎌倉時代		竪穴建物跡・掘立柱建物跡 溝跡・土坑 等		縄文式土器・弥生式 土器・土師器・須恵器 石器・鉄器 等		
要 約	八女南部地区圃場整備事業に伴い発掘調査された遺跡のうち、宮ノ前遺跡に関する報告である。 宮ノ前遺跡発掘調査では、弥生時代中期を中心とした竪穴建物・掘立柱建物跡が発見され、弥生時代中期の集落跡が確認された。また、妻棺墓も確実なもので小児墓が確認されたが、出土土器にも妻棺の破片と思われるものがあり、検出土坑の一部も妻棺墓の可能性のあることから、弥生時代中期に妻棺墓群が形成されていた状況が推察される。 その他、弥生時代の投弾状土製品が住居跡内土坑よりまとまって出土した例や、古墳時代前期の古式土師器のうち胎土等の特徴から佐賀平野など周辺地域からの陥入と思われる土器も確認され、当時の地域間交流を物語る資料と言える。 その他、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての遺構や古代・中世の遺構・遺物も確認されており、周辺の京田・深田遺跡・二反田遺跡・野田遺跡・水洗遺跡等も合わせると、宮ノ前遺跡周辺では弥生時代中期から古墳時代前期にかけて、および古代の集落跡が確認される状況が明らかとなってきた。 宮ノ前遺跡は、北隣接の二反田遺跡とともに集落域・墓域を構成する、一連の遺跡であると思われるため、考察の際には二反田遺跡(平成28年度刊行)と併せた検討が必要と思われる。							

八女市内遺跡群 10
八女市文化財調査報告書
第 117 集

平成29年3月31日

発行 八女市教育委員会
八女市本町 647
印刷 (株) 東 兄 弟
八女市祈祷院 563